

広域観光周遊ルート形成促進事業
(日本のてっぺん。きた北海道ルート。)に係る調査業務
(マーケティング調査事業)

報告書

平成29年3月

第1章 業務の概要	
1. 業務目的	2
2. エリアの概要	2
3. 業務の全体構成	3
3-1 マーケティング調査事業	3
3-2 マーケティング基本戦略策定にむけた調査	3
3-3 マーケティング基本戦略	3
3-4 モデルコースの提案	3
3-5 協議会運営	3
第2章 きた北海道と最重点・重点市場の概況	
1. 訪日旅行の現状	5
1-1 平成27年度来道外国人宿泊延べ人数	5
1-2 平成27年度留萌・宗谷振興局内外国人宿泊延べ人数	5
1-3 全道／道北への外国人旅行者の入込状況	6
1-4 訪日外国人旅行者のレンタカー利用状況	8
1-5 訪日外国人旅行者の旅行手配方法	8
2. 最重点・重点市場・その他市場の属性	9
2-1 台湾	9
2-2 香港	11
2-3 タイ	13
2-4 シンガポール	15
2-5 アメリカ	17
第3章 きた北海道 来訪外国人観光客の特性	
1. 訪日外国人旅行者アンケート調査	20
1-1 調査概要	20
1-2 調査の実施	24
1-3 調査結果とりまとめ	25
2. 「きた北海道」夏季宿泊者追跡アンケート調査	46
2-1 調査概要	46
2-2 調査結果	48
3. 特定目的分野ガイド事業者向けヒアリング調査	54
3-1 調査概要	54
3-2 ヒアリング結果	57
第4章 各国の北海道旅行に求める嗜好性	
1. 現地カスタマー向けアンケート調査	71
1-1 調査概要	71
1-2 調査結果	74
2. 現地旅行会社向けアンケート調査	115
2-1 調査概要	115
2-2 調査結果	117

目次

第5章	きた北海道エリアの特性分析	
1.	各エリアの特性分析及びマッチング	129
1-1	各エリアの特性整理	130
1-2	シーニックバイウェイへのヒアリング	148
2.	観光資源の取りまとめ及び特性・要因調査	149
2-1	観光資源等のとりまとめ	149
2-2	ガイドや協議会構成員へのアンケート調査	157
2-3	既存観光パンフレット等の整理	165
第6章	マーケティング基本戦略	
1.	各市場における訪日（全国）観光の特徴	172
2.	各市場における訪日（北海道）観光の特徴	173
2-1	最重点市場	173
2-2	重点市場	174
2-3	その他市場	175
3.	各市場における旅行の人気シーズン	176
4.	各市場における「きた北海道」での観光体験ニーズ	177
5.	各市場が希望する「きた北海道」の旅行プラン	178
6.	各市場が希望する「きた北海道」の旅行価格	180
7.	北海道旅行検討時の情報入手方法	181
8.	各市場へのアプローチの課題とポイント	182
9.	きた北海道エリア観光に関するSWOT分析	183
9-1	SWOT分析	183
9-2	SWOT分析を踏まえた考察	184
10.	各市場の体験観光における嗜好性ときた北海道の観光資源	185
11.	マーケティング戦略骨子	186
12.	プロモーションに関する考察	187
13.	各重点テーマにおける施策案	188
第7章	モデルコースの提案	
1.	モデルコースの設定	194
1-1	概要	194
1-2	モデルの名称	194
1-3	モデルコースの設定	194
1-4	モデルコースの旅程内容	197
1-5	有識者の意見	203
第8章	協議会運営	
1.	協議会運営	206
1-1	きた北海道広域観光周遊ルート推進協議会の概要	206
1-2	部会及び幹事会の位置づけ	206
1-3	部会議事概要	207

第1章 業務の概要

1. 業務目的

我が国では、東京周辺やゴールデンルートなど訪日外国人旅行者の需要が集中している地域以外の需要を創出するべく、地域間の連携を強化して情報発信力を高めるとともに、対象市場に訴求するストーリー性やテーマ性に富んだ多様な広域観光周遊ルートの形成を促進し、海外へ積極的に発信することとしている。

北海道においては、観光庁が設置した「世界に誇れる広域観光周遊ルート検討委員会」での審査を踏まえ、「日本のてっぺん。きた北海道ルート。」（申請者：きた北海道広域観光周遊ルート推進協議会（以下、「協議会」という。））が平成28年6月14日に国土交通大臣に認定され、広域で連携した地域による取組みを国が支援することとしている。

本事業では、マーケティング調査について実施する。具体的には、道央に集中する訪日外国人旅行者を広域観光促進地域である道北エリアに周遊させるため、対象市場を抽出し、その特性を把握する。それにあわせ、市場アプローチ優先順位の設定及びマーケティング戦略を策定するための調査を行い、訪日外国人旅行者の周遊促進と地域の活性化を図ることを目的とする。

2. エリアの概要

ルート名称： 日本のてっぺん。きた北海道ルート。

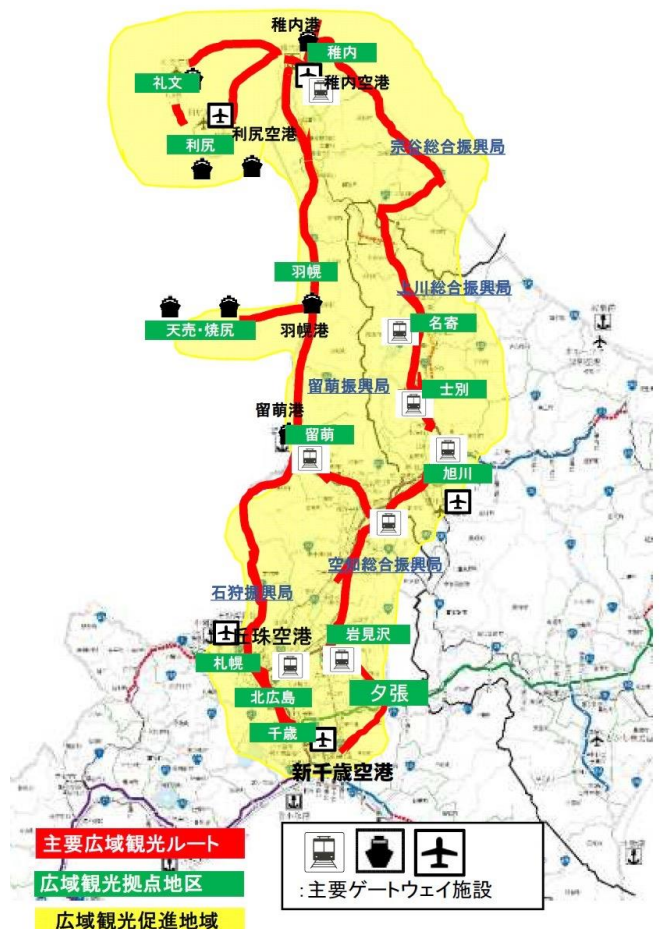
広域周遊ルート「日本のてっぺん。きた北海道ルート。」は、北海道の観光・インバウンドの一大拠点「札幌」「旭川」を含む、道北全体を網羅するエリアの観光地をネットワーク化するもので、石狩振興局、空知総合振興局、上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局を含むエリアにまたがっている。

エリア内には、空のゲートウェイ千歳市、札幌市、岩見沢市、旭川市、留萌市、名寄市、稚内市など各エリアの主要都市がルート上に含まれている。また、北海道観光の魅力の1つである離島観光エリアとして、利尻島・礼文島、天売島・焼尻島なども含まれ、北海道ならではの自然と雄大さを基軸に、特色ある観光地域を形成。

一方で二次交通、宿泊施設については脆弱であり、またインバウンド受入れ体制が未整備の地域も多く、今後の課題となっている。

同エリアの重点市場としては、アジア（香港、タイ、シンガポール、台湾、中国、韓国）、欧米（米国、豪州、英国）を想定し、その後、きた北海道広域観光周遊ルート推進協議会との協議の結果、最重点市場を台湾、重点市場を香港、タイ、その他市場をシンガポール、米国とすることで決定した。

○対象地域の地図



3. 業務の全体構成

3-1 マーケティング調査事業

調査目的／ きた北海道に訪れている観光客の「消費額・満足度等、観光特性」「きた北海道に訪れた動機」などを把握

- (1) 訪日外国人旅行者対面式アンケート調査 (2) 「きた北海道」夏季宿泊者追跡アンケート調査

- ・調査対象 訪日外国人旅行者
 - ・実施エリア 広域観光拠点地区内主要観光地
 - ・実施場所 宿泊施設、観光施設
 - ・調査方法 調査員による対面式
- ・調査対象 訪日外国人旅行者
 - ・実施エリア 広域観光拠点地区内主要観光地
 - ・実施場所 宿泊施設、観光施設
 - ・調査方法 宿泊施設経由での追跡調査

- (3) 特定目的分野ガイド・事業者に対するヒアリング調査

- ・調査対象 バックカントリースキー、サイクリング、キャンプなど特定の目的で訪れる外国人旅行者の受入経験が豊富なガイド事業者

3-2 マーケティング基本戦略策定にむけた調査

調査目的／ 各国の北海道旅行に関する現状ニーズや嗜好性の掌握及び、現状の観光資源とのマッチング

- (1) 現地カスタマー向け旅行会社を通じたウェブアンケート調査

- ・調査対象 台湾、香港、タイ、シンガポール、米国
- ・調査方法 旅行会社を通じたウェブアンケート方式

- (2) 現地カスタマー向け各国における対面式アンケート調査

- ・調査対象 台湾、香港、タイ、シンガポール、米国
- ・調査方法 各国における対面式アンケート

- (3) 現地旅行会社向け商品造成・仕入れ担当者へのメールアンケート

- ・調査対象 台湾、香港、タイ、シンガポール、米国
- ・調査方法 商品造成・仕入れ担当者へのメールアンケート方式

- (4) 広域観光促進地域各エリアの特性分析及びマッチング

- ・既存調査や既存データを活用した調査
- ・シーニックバイウェイ北海道の各活動団体を中心に地域活動団体等へのグループヒアリング調査

- (5) 観光資源の取りまとめ及び共通する特性・要因調査

- ・既存資料や文献等による広域観光促進地域の特性を整理
- ・アウトドアガイドへのアンケート調査による、潜在的な観光資源、ガイドや語り部等の人材等の多様な観光資源を把握

3-3 マーケティング基本戦略

本調査結果を踏まえた最重点市場、重点市場ごとのマーケティング戦略と5カ年の市場アプローチ

3-4 モデルコースの提案

既存調査データ及び地域の観光資源を活用し、自由度の高い個人旅行者向けのモデルコースを設定

3-5 協議会運営

幹事会、4部会の円滑な運営

第2章

きた北海道と最重点・重点市場の概況

第2章 きた北海道と最重点・重点市場の概況

1. 訪日旅行の現状

1-1 平成27年度来道外国人宿泊延べ人数

- 来道外国人宿泊客延数616.1万人①のうち、「宗谷+留萌」は1.74万人②。全道の0.3%。
- 宗谷+留萌で多い外国人は、1.台湾（5,145人 全道の0.3%③）で、エリア計の約3割を占める。次いで、2.ロシア（1,841人 全道の11.4%④）、3.香港（1,763人 全道の0.3%⑤）、4.中国（1,634人 全道の0.1%⑥）となる。
- アメリカは764人と、韓国に次いで多く、また全道の0.7%と宗谷+留萌エリアに来る比率が比較的高い。⑦

平成27年度振興局別・国別訪日外国人宿泊者延べ人数

圏域	ア ジ ア																	ヨ ー ロ ッ プ				北 米		オーストラリア	その他	計													
	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	マレーシア	タイ	インド	インドネシア	フィリピン	ベトナム	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	アメリカ	カナダ																						
道央圏域計	1,117,902	575,121	989,056	523,368	214,123	147,190	300,030	3,158	37,852	23,278	3,459	12,277	23,792	7,599	7,678	89,031	16,338	221,386	161,706	4,474,344																			
空知	10,403	2,104	14,984	570	1,722	622	3,849	9	82	30	36	8	32	0	30	99	1	45	619	35,245																			
石狩	764,393	340,590	539,118	298,631	106,789	92,411	206,501	2,389	24,545	17,360	2,187	8,510	7,640	4,117	3,888	53,163	9,221	27,212	71,242	2,579,907																			
後志	111,618	70,112	80,544	149,496	74,684	27,599	46,315	379	7,765	3,768	544	2,158	15,037	2,721	3,413	30,235	6,190	191,621	59,365	883,564																			
胆振	231,324	162,134	354,283	74,604	30,915	26,553	43,001	380	5,454	2,113	688	1,588	1,062	745	342	5,456	920	2,489	30,283	974,334																			
日高	164	181	127	67	13	5	364	1	6	7	4	13	21	16	5	78	6	19	197	1,294																			
道南圏域計	121,630	24,738	253,656	15,240	13,735	10,661	12,711	240	4,740	543	141	194	731	475	277	5,430	1,505	1,890	9,566	478,103																			
渡島	121,579	24,724	253,604	15,234	13,725	10,656	12,707	229	4,740	543	141	191	731	475	274	5,396	1,502	1,888	9,549	477,888																			
檜山	51	14	52	6	10	5	4	11	0	0	0	3	0	0	3	34	3	2	17	215																			
道北圏域計	191,700	30,094	249,613	81,014	37,963	15,673	43,597	183	5,458	2,690	502	2,377	2,115	1,819	1,343	9,440	1,725	24,868	34,702	736,876																			
上川	190,066	29,179	244,468	79,251	37,328	15,516	42,399	137	5,392	2,663	489	536	1,940	1,481	1,020	8,676	1,597	24,528	32,767	719,433																			
留萌	81	112	129	18	8	0	1	0	16	0	0	282	1	3	1	21	3	0	9	685																			
宗谷	1,553	803	5,016	1,745	627	157	1,197	46	50	27	13	1,559	174	335	322	743	125	340	1,926	16,758																			
オホーツク	19,556	4,407	38,258	26,663	10,843	3,286	4,587	111	453	181	105	141	618	680	682	2,539	232	1,170	4,728	119,240																			
十勝	26,305	4,334	65,877	28,888	15,378	5,268	2,987	96	1,268	83	18	19	355	380	197	2,556	156	13,181	17,592	184,938																			
釧路・根室圏域計	38,753	3,368	79,476	17,037	8,988	4,238	2,625	130	488	295	153	1,183	982	719	583	3,525	283	1,428	3,606	167,860																			
釧路	37,217	3,128	78,244	16,026	8,821	4,172	2,422	120	451	262	72	300	563	543	378	2,907	210	1,192	3,295	160,323																			
根室	1,536	240	1,232	1,011	167	66	203	10	37	33	81	883	419	176	205	618	73	236	311	7,537																			
合 計	1,515,846	642,062	1,675,936	692,210	301,030	186,316	366,537	3,918	50,259	27,070	4,378	16,191	28,593	11,672	10,760	112,521	20,239	263,923	231,900	6,161,361																			
留萌+宗谷																				1,634	915	5,145	1,763	635	157	1,198	46	66	27	13	1,841	175	338	323	764	128	340	1,935	17,443
																				0.1%	0.1%	0.3%	0.3%	0.2%	0.1%	0.3%	1.2%	0.1%	0.1%	0.3%	11.4%	0.6%	2.9%	3.0%	0.7%	0.6%	0.1%	0.8%	0.3%

(出典：北海道経済部観光局『北海道観光入込客数調査報告書(平成27年度)』)

1-2 平成27年度留萌・宗谷振興局内外国人宿泊延べ人数

- 平成27年度の留萌・宗谷振興局内来道外国人宿泊客延数1.74万人の内訳をみると、「稚内」および「利尻・礼文」での宿泊となっている。
- その他「枝幸町(歌登)」はタイ、「豊富町」は台湾、「増毛町」はロシアの滞在が多く見られる。

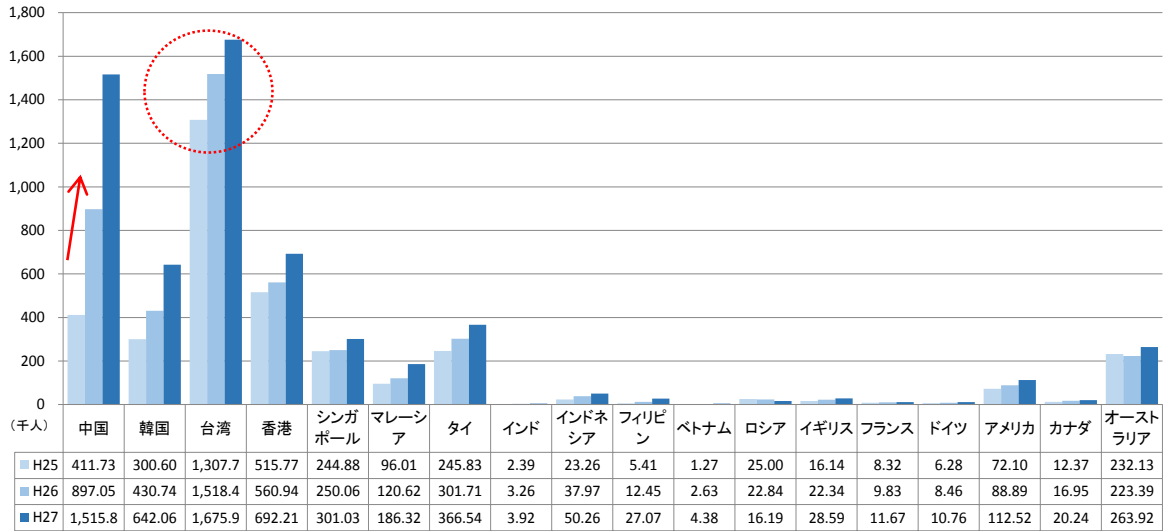
平成27年度 留萌・宗谷振興局内市町村別・国別訪日外国人宿泊者延べ人数

振興局 市町村	ア ジ ア																	ヨ ー ロ ッ プ				北 米		オーストラリア	その他	計
	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	マレーシア	タイ	インド	インドネシア	フィリピン	ベトナム	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	アメリカ	カナダ									
留萌振興局計	81	112	129	18	8	0	1	0	16	0	0	282	1	3	1	21	3	0	9	685						
留萌市	49	84	64	3	1	0	0	0	16	0	0	1	1	3	1	12	3	0	1	239						
増毛町	7	3	22	0	4	0	0	0	0	0	0	281	0	0	0	0	0	0	2	319						
小平町	0	0	18	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22						
苫前町	8	12	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	27						
羽幌町	7	12	25	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	6	65						
初山別村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
遠別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
天塩町	10	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	13						
宗谷総合振興局計	1,553	803	5,016	1,745	627	157	1,197	46	50	27	13	1,559	174	335	322	743	125	340	1,926	16,758						
稚内市	1,293	555	3,790	1,480	534	115	197	39	50	27	2	1,540	80	186	198	555	68	177	1,437	12,323						
網走町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
猿払村	5	10	10	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	20	0	0	0	53						
浜頓別町	17	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	7	2	36						
中頓別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3						
枝幸町	38	13	0	2	6	0	929	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	1	27	1,030						
豊富町	1	0	264	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	16	285						
礼文町	54	97	432	104	23	21	21	5	0	3	16	33	59	21	63	15	57	113	1,137							
利尻町	42	19	24	28	4	2	6	2	0	0	0	6	18	19	17	8	7	57	259							
利尻富士町	103	103	496	128	60	19	44	0	0	0	3	55	72	84	69	34	90	272	1,632							
留萌+宗谷合計	1,634	915	5,145	1,763	635	157	1,198	46	66	27	13	1,841	175	338	323	764	128	340	1,935	17,443						

(出典：北海道経済部観光局『北海道観光入込客数調査報告書(平成27年度)』)

1-3 全道／道北への外国人旅行者の入込状況

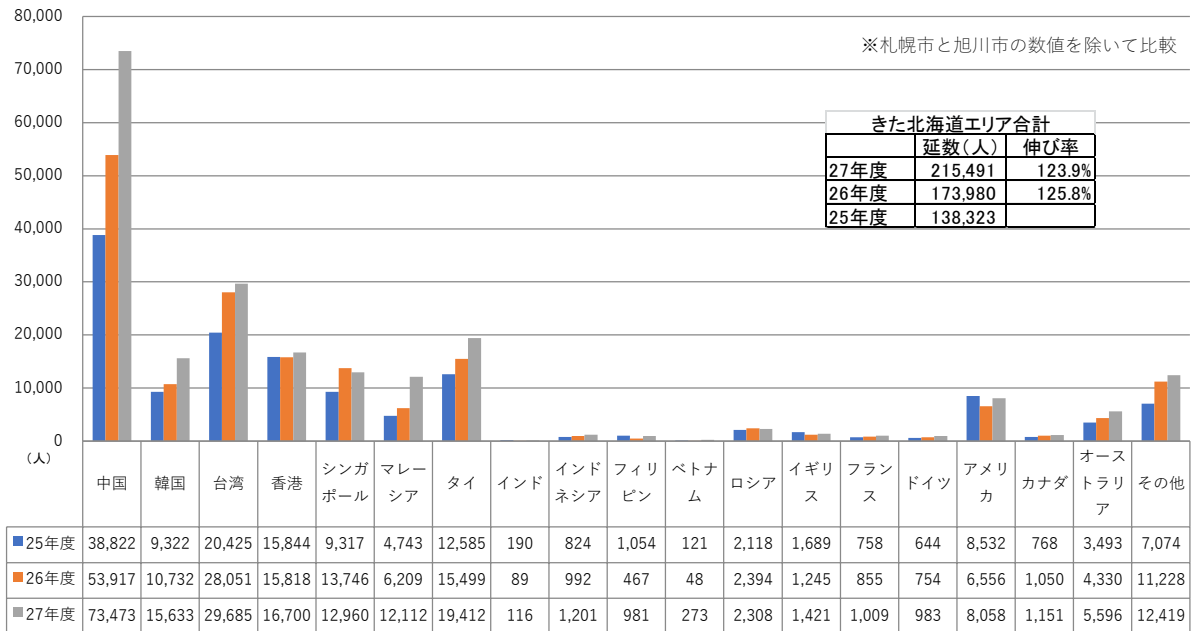
来道訪日観光客（宿泊客延べ数）の総計



(出典：北海道経済部観光局『北海道観光入込客数調査報告書』)

- 北海道全体の訪日観光客は、「台湾」が最も多く、近年「中国」が伸び台湾に迫っている。次いで「韓国」「香港」が多くなっている。

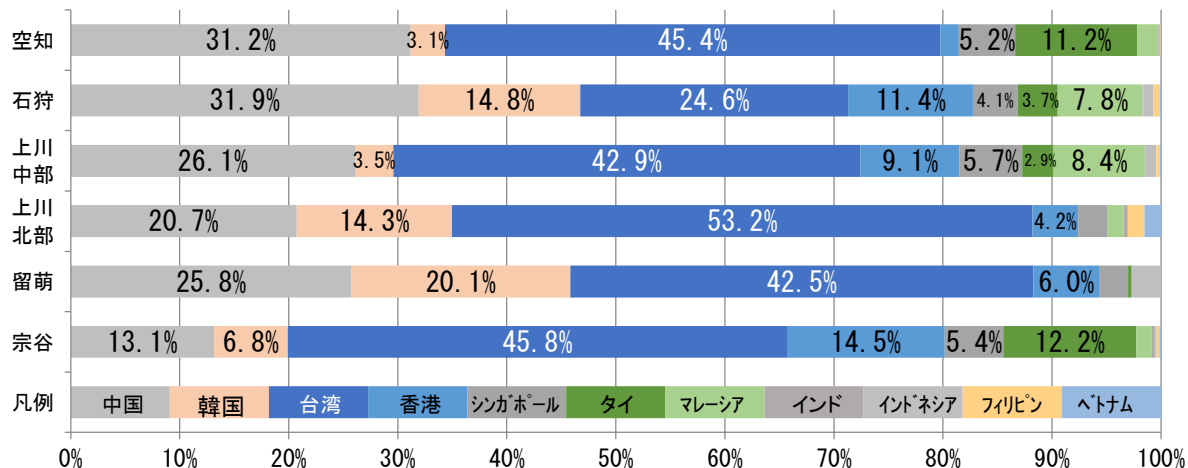
きた北海道エリアの訪日観光客（宿泊客延べ数）の総計



(出典：北海道経済部観光局『北海道観光入込客数調査報告書』)

- 道北エリアの宿泊者数でも「中国」が突出して多いが、「千歳」「北広島」における宿泊数が大きく反映されている。
- 中国以外では「台湾」が最も多く、次いで「タイ」「香港」が多くなっている。
- 欧米豪の中ではアメリカが比較的多い。

エリアごとの国別外国人宿泊数シェア（平成27年）



（出典：北海道経済部観光局『北海道観光入込客数調査報告書』（平成27年度））

- 石狩を除く全てのエリアで「台湾」のシェアがもっとも高くなっている。宗谷は「香港」「タイ」が高いのが特長的となっている。

宗谷管内国別訪日外国人宿泊延べ数

順位	国名	平成28年度		平成27年度	対前年度	対前年度比
		宿泊延べ数	構成比			
1	台湾	5,281人泊	36.4%	4,111人泊	1,170人泊	128.5%
2	香港	2,203人泊	15.2%	1,100人泊	1,103人泊	200.3%
3	中国	1,110人泊	7.7%	1,230人泊	△120人泊	90.2%
4	アメリカ	954人泊	6.6%	635人泊	319人泊	150.2%
5	韓国	696人泊	4.8%	621人泊	75人泊	112.1%
	その他	4,260人泊	29.3%	4,922人泊	△662人泊	86.6%
	合計	14,504人泊	100.0%	12,619人泊	1,885人泊	114.9%

	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	マレーシア	タイ	インド	インドネシア	フィリピン	ベトナム	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	アメリカ	カナダ	オーストラリア	その他	計
稚内	872	447	3,857	1,711	255	143	165	22	17	11	6	493	92	118	99	476	68	172	1,363	10,387
幌延町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猿払村	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	12	6	10	92
浜頓別町	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	5	0	14
中頓別町	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	1	1	3	17
枝幸町	12	3	0	24	2	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	5	28	102
豊富町	0	0	285	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	309
礼文町	55	156	461	89	18	9	10	2	2	0	0	23	49	42	25	253	109	59	178	1,540
利尻町	52	47	79	89	2	0	3	0	0	0	0	0	17	15	24	16	15	17	50	426
利尻富士町	95	41	593	290	27	13	9	0	0	0	6	21	79	36	154	42	60	151	1,617	
計	1,110	696	5,281	2,203	304	165	211	24	19	11	6	522	181	254	184	954	247	325	1,807	14,504

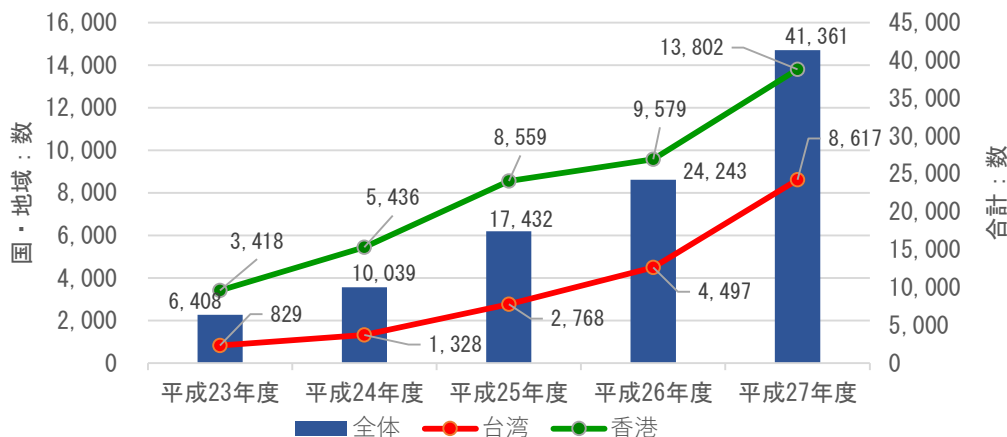
（出典：宗谷総合振興局『宗谷管内市町村観光入込客数調査結果 平成28年度（上期）』）

- 平成28年上期、宗谷管内への入込は「香港」で対前年比200%、「アメリカ」で対前年比150%と伸長。アメリカは礼文町、利尻富士町の入込客数からもわかるように離島への移動も多い

1-4 訪日外国人旅行者のレンタカー利用状況

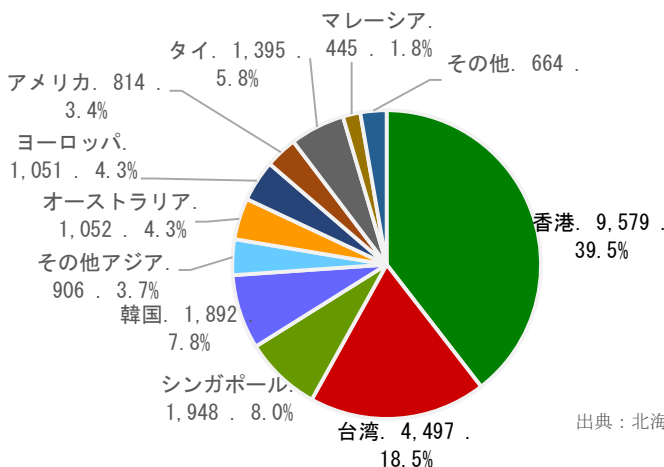
二次交通が脆弱な「きた北海道」において、当面はレンタカー移動が重要な手段となることからレンタカー需要の側面からも検証した。

平成23年度～27年度貸出件数の推移



出典：北海道地区レンタカー協会連合会のデータより

平成26年度 国・地域別貸出件数シェア

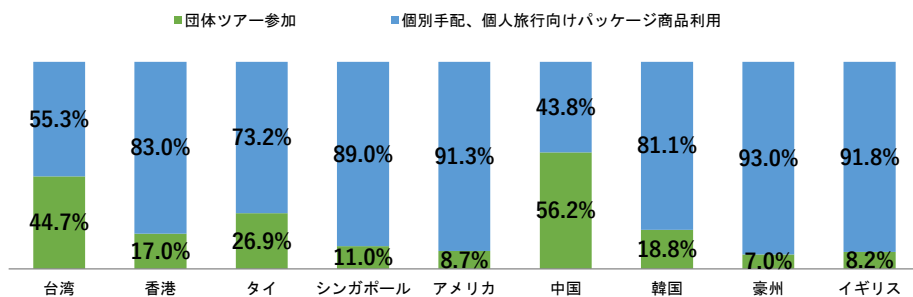


出典：北海道地区レンタカー協会連合会のデータより

- 訪日外国人旅行者のレンタカー利用は年々増加しており、国別では香港、台湾で6割のシェアを持つ。また、シンガポール、韓国、タイの利用も多い。中国はレンタカー利用ができない。

1-5 訪日外国人旅行者の旅行手配方法

観光目的の訪日外国人旅行者の旅行手配方法



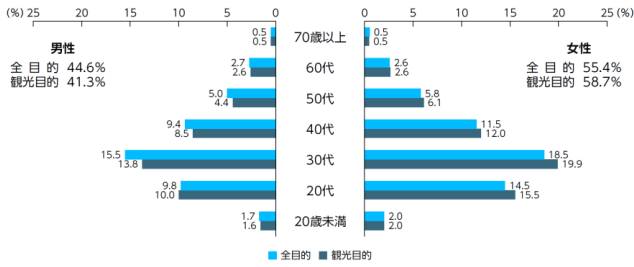
出典：JNTO訪日旅行データハンドブック2015より

- 香港、シンガポール、アメリカ、韓国、豪州、英国で8割以上、タイでも半数以上が個人手配旅行となっており、台湾も55.3%が個人手配または個人旅行向けパッケージ商品を利用している。
- 中国については団体ツアーが多い表記になっているが、2016年以降急速にFIT化が進んでいる。

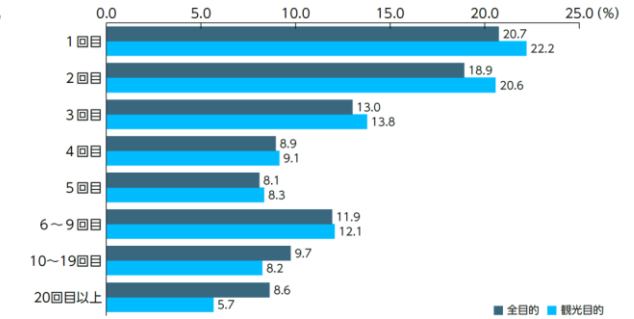
2. 最重点・重点市場・その他市場の属性

2-1 台湾

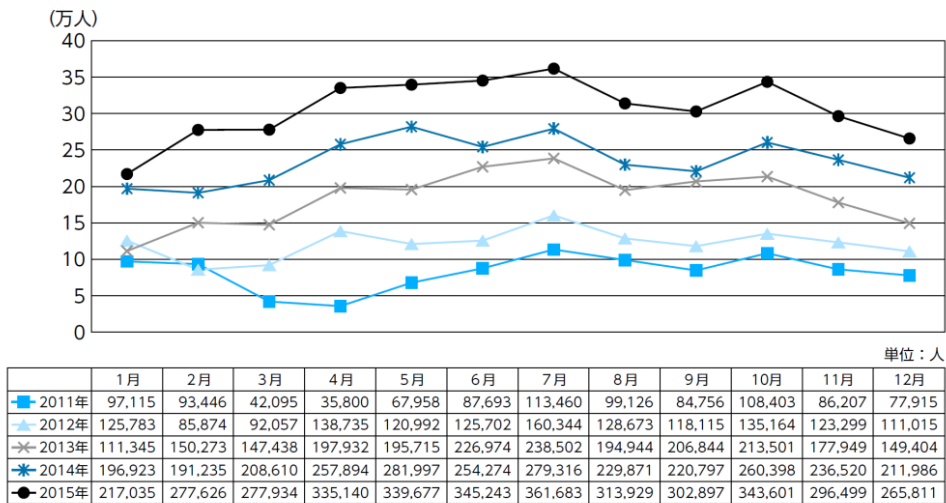
■訪日台湾人の性・年齢別構成（2015年）



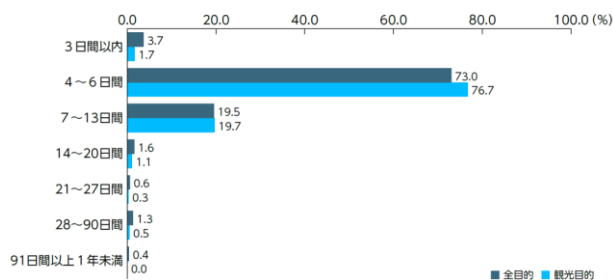
■訪日台湾人の訪日回数（2015年）



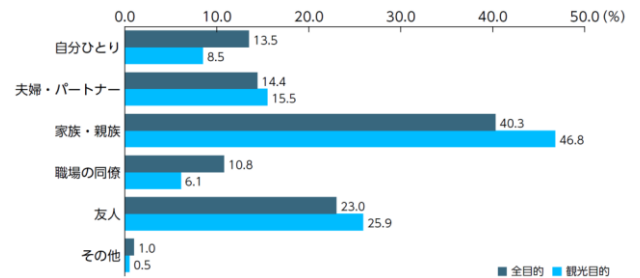
■月別訪日台湾人の推移（2011年～2015年）



■訪日台湾人の滞在日数（2015年）



■訪日台湾人の同行者（2015年）



（出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（平成27年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成）

2-1 台湾

■台湾人が今回の訪日旅行でしたこと（2015年）

	単位：%	
	全目的	観光目的
日本食を食べること	94.8	95.2
日本の酒を飲むこと（日本酒・焼酎等）	30.9	29.5
旅館に宿泊	44.0	47.4
温泉入浴	39.2	42.6
自然・景勝地観光	72.8	78.8
繁華街の街歩き	74.8	78.2
ショッピング	90.4	91.4
美術館・博物館	18.3	19.5
テーマパーク	28.1	31.4
スキー・スノーボード	3.5	3.8
その他スポーツ（ゴルフ等）	2.1	1.9
舞台鑑賞（歌舞伎・演劇・音楽等）	3.7	3.8
スポーツ観戦（相撲・サッカー等）	1.6	1.3
自然体験ツアー・農漁村体験	7.9	8.4
四季の体感（花見・紅葉・雪等）	14.2	15.3
映画・アニメ縁の地を訪問	4.0	4.1
日本の歴史・伝統文化体験	22.3	23.4
日本の日常生活体験	21.3	21.3
日本のポップカルチャーを楽しむ	15.0	15.8
治療・健診	1.1	0.8
上記には当てはまるものがない	0.4	0.0

*上の数値は、全て複数回答の結果である。

■台湾人が次回の訪日旅行でしたいこと（2015年）

	単位：%	
	全目的	観光目的
日本食を食べること	58.7	58.3
日本の酒を飲むこと（日本酒・焼酎等）	17.8	17.5
旅館に宿泊	29.3	30.4
温泉入浴	40.8	41.3
自然・景勝地観光	46.4	47.6
繁華街の街歩き	32.9	33.9
ショッピング	51.4	51.3
美術館・博物館	16.5	17.5
テーマパーク	28.9	30.5
スキー・スノーボード	23.8	24.7
その他スポーツ（ゴルフ等）	7.3	7.3
舞台鑑賞（歌舞伎・演劇・音楽等）	10.5	10.9
スポーツ観戦（相撲・サッカー等）	9.9	10.0
自然体験ツアー・農漁村体験	16.8	17.4
四季の体感（花見・紅葉・雪等）	34.5	35.8
映画・アニメ縁の地を訪問	9.7	10.1
日本の歴史・伝統文化体験	24.9	25.0
日本の日常生活体験	22.8	23.1
日本のポップカルチャーを楽しむ	15.1	15.7
治療・健診	4.2	4.5
上記には当てはまるものがない	1.7	0.9

*上の数値は、全て複数回答の結果である。

■属性別訪日台湾人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2015年）

全目的	回答数		日本滞在中の1人当たりの支出額(円)	観光目的	回答数		日本滞在中の1人当たりの支出額(円)
	人数	割合			人数	割合	
全体	3,608		141,620	全体	3,012		139,292
滞在日数	3日以内	136	83,147	3日以内	56		96,988
	4~6日間	2,640	131,142	4~6日間	2,305		132,149
	7~13日間	700	159,428	7~13日間	591		157,312
	14~20日間	56	229,699	14~20日間	36		264,383
	21~27日間	17	252,953	21~27日間	10		223,993
28~90日間	43	242,393	28~90日間	14		305,255	
91日以上1年未満	16	818,095	91日以上1年未満	0		-	
性・年代	男性	1,598	140,940	男性	1,229		138,498
	20歳未満	60	149,846	20歳未満	46		117,011
	20代	352	145,051	20代	301		131,965
	30代	552	131,799	30代	404		132,444
	40代	327	136,480	40代	246		141,943
	50代	189	155,517	50代	138		168,239
	60代	100	157,493	60代	79		148,642
70歳以上	18	134,954	70歳以上	15		118,757	
女性	2,003	142,189	女性	1,777		139,801	
20歳未満	74	131,394	20歳未満	64		103,199	
20代	518	134,437	20代	470		129,391	
30代	674	139,256	30代	606		139,822	
40代	421	140,350	40代	360		138,123	
50代	210	156,441	50代	187		157,212	
60代	89	184,661	60代	76		187,814	
70歳以上	17	196,112	70歳以上	14		179,863	
日本への来訪回数	1回目	742	130,828	1回目	670		125,852
	2回目	673	131,503	2回目	609		129,632
	3回目	469	125,582	3回目	420		129,342
	4回目	323	137,066	4回目	273		133,431
	5回目	290	144,435	5回目	250		141,768
	6~9回目	426	147,177	6~9回目	363		152,160
10~19回目	350	169,382	10~19回目	249		172,237	
20回目以上	332	174,451	20回目以上	177		180,579	

注：上の「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分が含まれている。但し、日本の航空会社および船会社に支払われる国際旅客運賃は含まれていない。

注：上の「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分が含まれている。但し、日本の航空会社および船会社に支払われる国際旅客運賃は含まれていない。

■項目別訪日台湾人の購入者単価（2015年）

全目的	回答数		購入者単価(円/人)	観光目的	回答数		購入者単価(円/人)
	人数	割合			人数	割合	
訪日旅行前の支出	1,639		131,363	訪日旅行前の支出	1,533		131,450
往復航空（船舶）運賃	695		96,829	往復航空（船舶）運賃	627		96,065
宿泊料金	1,620		55,087	宿泊料金	1,238		52,552
飲食費	1,448		45,535	飲食費	1,110		39,463
交通費	2,350		21,201	交通費	1,898		18,875
航空（日本国内移動）	2,087		13,199	交通費	1,656		12,052
Japan Rail Pass	28		27,794	航空（日本国内移動）	21		22,727
鉄道・新幹線・地下鉄・モーター	295		11,318	Japan Rail Pass	269		11,043
バス・タクシー	1,745		9,261	鉄道・新幹線・地下鉄・モーター	1,361		8,301
レンタカー	582		4,559	バス・タクシー	422		3,709
その他交通費	237		14,251	レンタカー	221		11,956
娯楽サービス費	67		5,119	その他交通費	58		4,914
現地ツアー・観光ガイド	916		9,739	娯楽サービス費	830		8,747
ゴルフ場・テーマパーク	110		11,686	現地ツアー・観光ガイド	94		9,775
舞台鑑賞・スポーツ観戦	367		11,368	ゴルフ場・テーマパーク	342		10,880
美術館・博物館・動物園・水族館	31		10,319	舞台鑑賞・スポーツ観戦	22		8,509
スキー・スノーボード・スキー用品レンタル	460		3,435	美術館・博物館・動物園・水族館	412		3,117
その他娯楽サービス費	36		16,650	スキー・スノーボード・スキー用品レンタル	33		10,444
買物代	39		11,816	その他娯楽サービス費	32		12,671
菓子類	3,257		61,368	買物代	2,700		59,683
その他食品・飲料・酒・たばこ	2,238		9,363	菓子類	1,865		9,207
カメラ・ビデオカメラ・時計	1,965		9,654	その他食品・飲料・酒・たばこ	1,642		9,204
電気製品	237		35,373	カメラ・ビデオカメラ・時計	196		34,920
化粧品・香水	908		30,891	電気製品	751		29,514
医薬品・健康グッズ・トイレタリー	1,318		16,331	化粧品・香水	1,143		15,706
和服（着物）・民芸品	2,619		19,092	医薬品・健康グッズ・トイレタリー	2,203		18,701
服（和服以外）・かばん・靴	249		13,121	和服（着物）・民芸品	222		9,600
マゴ・アヌ・キラタタ・量産品	1,678		28,782	服（和服以外）・かばん・靴	1,463		26,935
書籍・絵葉書・CD・DVD	374		10,389	マゴ・アヌ・キラタタ・量産品	322		8,467
その他買物代	419		4,884	書籍・絵葉書・CD・DVD	351		3,898
その他	126		28,300	その他買物代	101		19,282
	12		8,956	その他	11		9,642

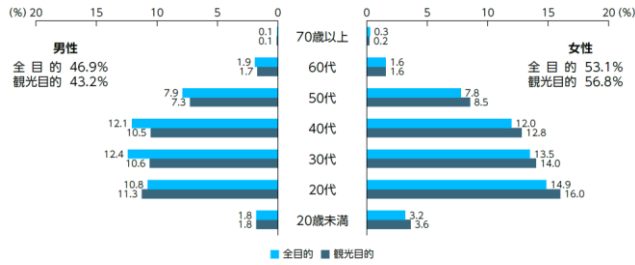
注：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

注：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

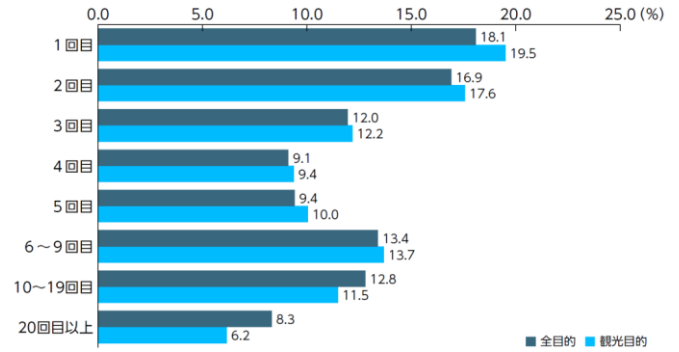
（出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（平成27年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成）

2-2 香港

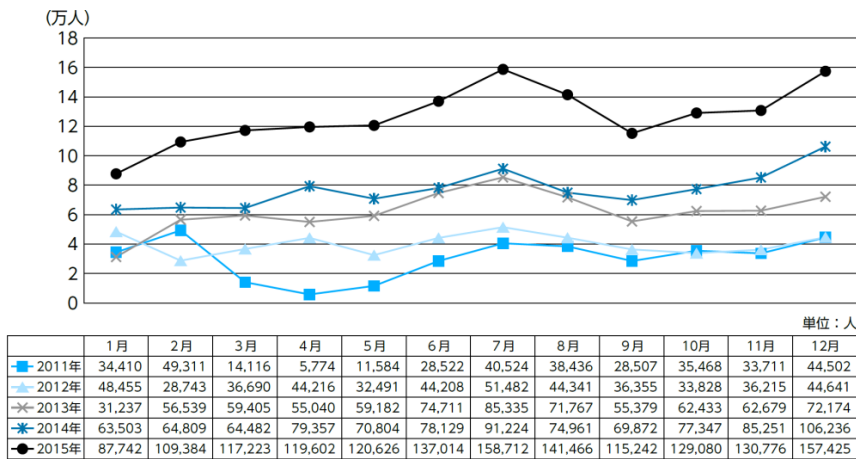
■訪日香港人の性・年齢別構成（2015年）



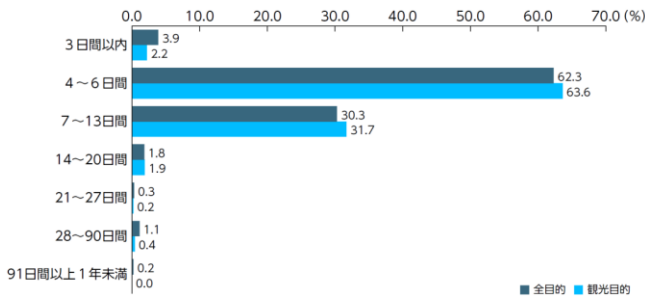
■訪日香港人の訪日回数（2015年）



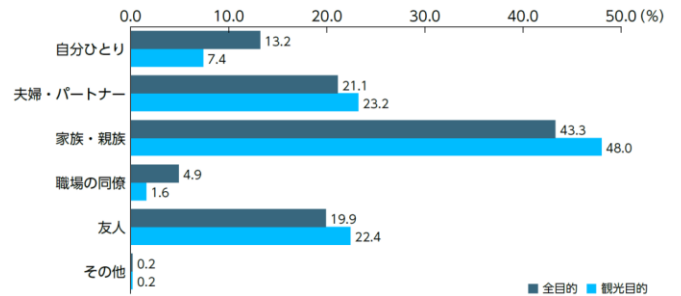
■月別訪日香港人の推移（2011年～2015年）



■訪日香港人の滞在日数（2015年）



■訪日香港人の同行者（2015年）



(出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（平成27年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成）

2-2 香港

■香港人が今回の訪日旅行でしたこと（2015年）

	単位：%	
	全目的	観光目的
日本食を食べること	96.8	97.0
日本の酒を飲むこと（日本酒・焼酎等）	29.5	28.4
旅館に宿泊	38.2	40.9
温泉入浴	34.3	37.5
自然・景勝地観光	68.6	73.0
繁華街の街歩き	73.6	76.1
ショッピング	91.7	93.2
美術館・博物館	18.3	20.0
テーマパーク	26.5	30.0
スキー・スノーボード	3.3	3.6
その他スポーツ（ゴルフ等）	1.1	1.2
舞台鑑賞（歌舞伎・演劇・音楽等）	2.7	2.8
スポーツ観戦（相撲・サッカー等）	0.7	0.8
自然体験ツアー・農漁村体験	7.6	8.6
四季の体感（花見・紅葉・雪等）	14.3	15.9
映画・アニメ縁の地を訪問	2.9	2.9
日本の歴史・伝統文化体験	17.4	18.1
日本の日常生活体験	18.2	18.3
日本のポップカルチャーを楽しむ	15.5	16.6
治療・健診	0.9	0.8
上記には当てはまるものがない	0.4	0.0

※上の数値は、全て複数回答の結果である。

■香港人が次回の訪日旅行でしたいこと（2015年）

	単位：%	
	全目的	観光目的
日本食を食べること	69.6	69.2
日本の酒を飲むこと（日本酒・焼酎等）	16.9	15.9
旅館に宿泊	29.5	30.6
温泉入浴	44.9	45.8
自然・景勝地観光	43.4	44.0
繁華街の街歩き	31.8	33.2
ショッピング	59.1	59.5
美術館・博物館	16.0	16.6
テーマパーク	25.3	27.4
スキー・スノーボード	24.2	25.5
その他スポーツ（ゴルフ等）	6.0	6.0
舞台鑑賞（歌舞伎・演劇・音楽等）	8.6	8.6
スポーツ観戦（相撲・サッカー等）	7.7	7.5
自然体験ツアー・農漁村体験	16.7	16.6
四季の体感（花見・紅葉・雪等）	34.2	35.2
映画・アニメ縁の地を訪問	9.0	9.3
日本の歴史・伝統文化体験	19.6	19.2
日本の日常生活体験	21.4	21.6
日本のポップカルチャーを楽しむ	16.9	17.6
治療・健診	4.1	4.3
上記には当てはまるものがない	1.4	1.3

※上の数値は、全て複数回答の結果である。

■属性別訪日香港人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2015年）

全目的			観光目的		
	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの支出額 (円)		回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの支出額 (円)
全体	900	172,356	全体	789	171,650
滞在日数			滞在日数		
3日以内	35	108,135	3日以内	18	123,347
4~6日間	561	157,075	4~6日間	499	158,143
7~13日間	274	194,753	7~13日間	252	193,228
14~20日間	17	235,495	14~20日間	15	240,674
21~27日間	2	460,961	21~27日間	2	461,030
28~90日間	10	481,237	28~90日間	3	297,307
91日以上1年未満	1	361,151	91日以上1年未満	0	-
性別・年代			性別・年代		
男性	417	178,778	男性	337	182,076
20歳未満	13	151,364	20歳未満	13	151,020
20代	102	141,041	20代	94	141,786
30代	114	169,109	30代	88	184,260
40代	96	168,654	40代	70	172,643
50代	76	250,673	50代	60	248,434
60代	16	201,308	60代	12	191,824
70歳以上	0	-	70歳以上	0	-
女性	481	167,197	女性	450	164,022
20歳未満	25	130,490	20歳未満	25	130,506
20代	140	161,696	20代	132	160,020
30代	122	190,388	30代	111	181,378
40代	109	151,261	40代	103	153,430
50代	66	182,829	50代	63	183,080
60代	16	158,409	60代	14	137,835
70歳以上	3	104,253	70歳以上	2	106,079
日本への来訪回数			日本への来訪回数		
1回目	158	146,628	1回目	150	142,791
2回目	149	163,596	2回目	135	165,205
3回目	105	153,119	3回目	95	155,117
4回目	78	169,727	4回目	70	174,369
5回目	88	161,599	5回目	82	166,462
6~9回目	123	153,153	6~9回目	112	156,036
10~19回目	115	186,787	10~19回目	92	189,464
20回目以上	83	290,988	20回目以上	53	309,662

注：上の「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分が含まれていない。但し、日本の航空会社および船会社に支払われる国際旅客運賃は含まれていない。

■項目別訪日香港人の購入者単価（2015年）

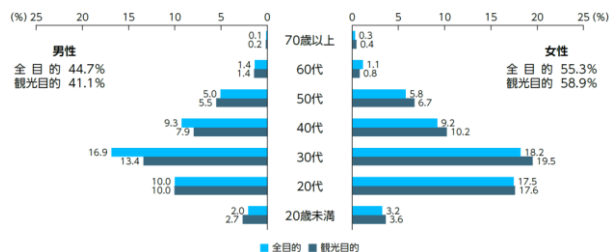
全目的			観光目的		
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)
訪日旅行前の支出			訪日旅行前の支出		
団体パッケージツアー	156	142,143	団体パッケージツアー	151	141,557
個人旅行向けパッケージ商品	272	125,379	個人旅行向けパッケージ商品	263	123,080
往復航空（船舶）運賃	515	70,403	往復航空（船舶）運賃	446	69,175
宿泊料金	467	52,342	宿泊料金	397	51,058
飲食費	697	31,666	飲食費	610	29,855
交通費	647	15,127	交通費	567	15,247
航空（日本国内移動）	12	31,111	航空（日本国内移動）	11	32,597
Japan Rail Pass	79	12,238	Japan Rail Pass	75	12,606
鉄道・新幹線・地下鉄・モノレール	494	9,235	鉄道・新幹線・地下鉄・モノレール	420	8,989
バス・タクシー	180	4,478	バス・タクシー	147	4,036
レンタカー	129	20,333	レンタカー	123	20,424
その他交通費	22	6,793	その他交通費	21	6,799
娯楽サービス費	273	9,546	娯楽サービス費	261	9,468
現地ツアー・観光ガイド	54	12,616	現地ツアー・観光ガイド	52	12,915
ゴルフ場・テーマパーク	61	10,619	ゴルフ場・テーマパーク	58	10,572
舞台鑑賞・スポーツ観戦	3	15,555	舞台鑑賞・スポーツ観戦	3	15,575
美術館・博物館・動物園・水族館	175	4,461	美術館・博物館・動物園・水族館	169	4,347
スキー・リフト・スキー用具レンタル	16	17,036	スキー・リフト・スキー用具レンタル	16	17,036
その他娯楽サービス費	10	8,549	その他娯楽サービス費	9	6,085
買物代	805	72,865	買物代	709	72,179
菓子類	497	9,632	菓子類	441	9,271
その他飲料品・飲料・酒・たばこ	434	10,751	その他飲料品・飲料・酒・たばこ	388	10,167
カメラ・ビデオカメラ・時計	80	109,249	カメラ・ビデオカメラ・時計	70	105,361
電気製品	118	22,649	電気製品	103	20,362
化粧品・香水	386	21,152	化粧品・香水	348	20,555
医薬品・健康グッズ・トイレタリー	496	15,744	医薬品・健康グッズ・トイレタリー	446	15,629
和服（着物）・民芸品	84	11,117	和服（着物）・民芸品	80	10,671
服（和服以外）・かばん・靴	523	33,847	服（和服以外）・かばん・靴	478	32,413
マンガ・アニメ・キャラクター関連品	112	13,423	マンガ・アニメ・キャラクター関連品	108	13,697
書籍・絵葉書・CD・DVD	115	4,241	書籍・絵葉書・CD・DVD	107	4,017
その他買物代	37	36,269	その他買物代	34	36,740
その他	3	234,843	その他	2	174,888

注：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

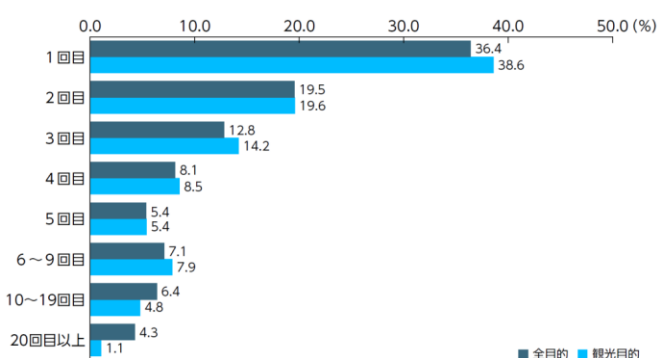
（出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（平成27年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成）

2-3 タイ

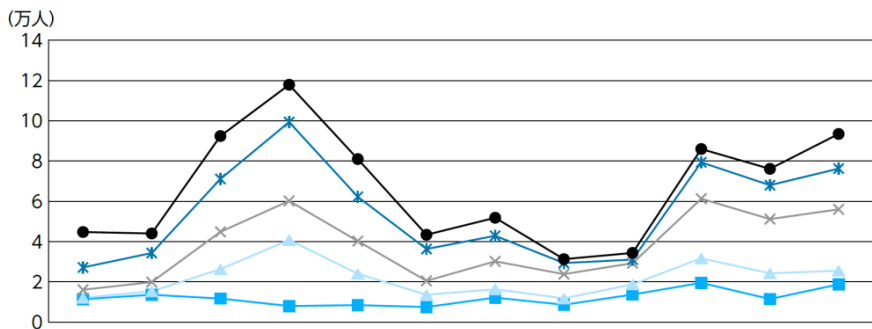
■訪日タイ人の性・年齢別構成（2015年）



■訪日タイ人の訪日回数（2015年）



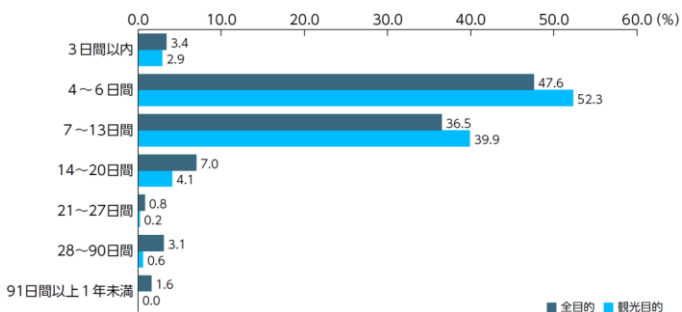
■月別訪日タイ人の推移（2011年～2015年）



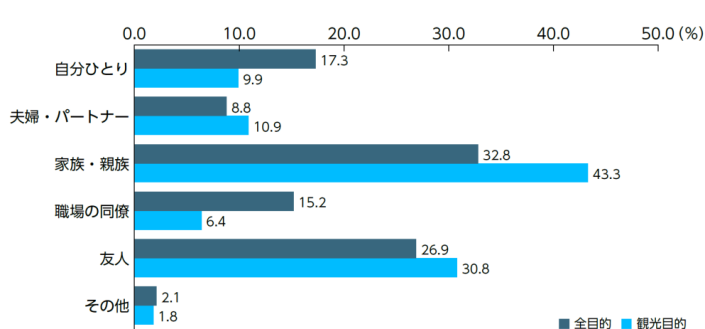
単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2011年	11,412	13,597	11,718	8,001	8,457	7,507	12,180	8,631	13,701	19,517	11,488	18,760
▲ 2012年	12,092	15,345	26,313	40,821	24,016	13,608	16,347	11,812	18,775	31,701	24,239	25,571
× 2013年	16,101	19,890	44,848	60,212	40,263	20,502	30,189	23,849	29,278	61,306	51,185	56,019
★ 2014年	27,161	34,334	71,122	99,396	62,254	36,323	42,891	29,355	31,058	79,388	68,024	76,264
● 2015年	44,770	44,038	92,438	117,930	81,015	43,390	51,852	31,289	34,385	86,001	76,145	93,478

■訪日タイ人の滞在日数（2015年）



■訪日タイ人の同行者（2015年）



(出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（平成27年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

2-3 タイ

■タイ人が今回の訪日旅行でしたこと (2015年)

	単位：%	
	全目的	観光目的
日本食を食べること	95.1	94.5
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	32.4	29.8
旅館に宿泊	27.2	30.6
温泉入浴	38.6	42.4
自然・景勝地観光	66.5	72.0
繁華街の街歩き	66.3	70.9
ショッピング	86.4	89.4
美術館・博物館	28.3	32.1
テーマパーク	27.0	30.7
スキー・スノーボード	9.0	8.8
その他スポーツ (ゴルフ等)	4.2	4.7
舞台鑑賞 (歌舞伎・演劇・音楽等)	9.5	10.7
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	4.9	5.2
自然体験ツアー・農漁村体験	14.2	15.7
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	21.6	24.9
映画・アニメ縁の地を訪問	8.3	8.6
日本の歴史・伝統文化体験	33.5	37.1
日本の日常生活体験	30.3	31.7
日本のポップカルチャーを楽しむ	19.3	21.8
治療・健診	5.2	5.0
上記には当てはまるものがない	0.0	0.0

*上の数値は、全て複数回答の結果である。

■タイ人が次回の訪日旅行でしたいこと (2015年)

	単位：%	
	全目的	観光目的
日本食を食べること	71.4	73.7
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	21.2	22.2
旅館に宿泊	27.3	33.4
温泉入浴	39.8	42.5
自然・景勝地観光	49.1	52.1
繁華街の街歩き	42.7	47.2
ショッピング	61.4	63.0
美術館・博物館	24.0	26.5
テーマパーク	28.8	32.9
スキー・スノーボード	22.9	22.8
その他スポーツ (ゴルフ等)	9.2	10.0
舞台鑑賞 (歌舞伎・演劇・音楽等)	13.3	13.9
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	11.7	13.0
自然体験ツアー・農漁村体験	18.6	20.9
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	28.5	31.0
映画・アニメ縁の地を訪問	13.8	15.9
日本の歴史・伝統文化体験	28.4	31.0
日本の日常生活体験	26.7	27.7
日本のポップカルチャーを楽しむ	14.6	15.0
治療・健診	6.2	6.2
上記には当てはまるものがない	1.3	0.5

*上の数値は、全て複数回答の結果である。

■属性別訪日タイ人の日本滞在中の1人当たりの支出額 (2015年)

全目的		観光目的	
	回答数 (人)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの支出額 (円)
全体	620	418	152,477
滞在日数			
3日以内	22	12	138,499
4-6日	296	225	145,544
7-13日	218	161	161,783
14-20日	45	17	157,804
21-27日	5	0	-
28-90日	23	3	156,008
91日以上1年未満	11	0	-
性別			
男性	280	175	165,795
女性	333	239	143,565
性・年代			
20歳未満	12	11	100,797
20代	60	42	152,632
30代	111	56	158,382
40代	57	38	206,416
50代	30	21	169,794
60代	10	7	208,768
70歳以上	0	0	-
日本への来訪回数			
1回目	232	168	135,143
2回目	115	74	141,394
3回目	76	57	190,013
4回目	53	38	170,893
5回目	34	24	155,645
6-9回目	44	32	153,018
10-19回目	37	19	214,735
20回目以上	29	6	115,554

注：上の「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分が含まれている。但し、日本の航空会社および船舶会社に支払われる国際旅客運賃は含まれていない。

注：上の「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分が含まれている。但し、日本の航空会社および船舶会社に支払われる国際旅客運賃は含まれていない。

■項目別訪日タイ人の購入者単価 (2015年)

全目的		観光目的	
調査項目	回答数 (人)	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)
訪日旅行前の支出			
団体パッケージツアー	168	139	159,995
個人旅行向けパッケージ商品	54	43	159,381
往復航空 (船舶) 運賃	425	297	90,633
宿泊料金	320	232	60,958
飲食費	363	241	32,823
交通費	360	236	22,466
航空 (日本国内移動)	27	19	54,483
Japan Rail Pass	93	77	18,175
鉄道・新幹線・地下鉄・モルル	255	170	12,257
バス・タクシー	155	94	6,692
レンタカー	16	12	17,633
その他交通費	20	11	21,352
娯楽サービス費	121	96	17,915
現地ツアー・観光ガイド	17	15	44,733
ゴルフ場・テーマパーク	42	35	11,832
舞台鑑賞・スポーツ観戦	6	6	7,948
美術館・博物館・動物園・水族館	48	35	3,833
スキー/フト・スキー用品レンタル	10	9	6,340
その他娯楽サービス費	17	10	18,435
買物代			
菓子類	378	257	13,558
その他食料品、飲料・酒・たばこ	229	149	15,343
カメラ・ビデオカメラ・時計	88	52	31,464
電気製品	53	35	19,613
化粧品、香水	285	200	21,092
医薬品・健康グッズ・トイレタリー	80	60	13,161
和服 (着物)・民芸品	52	40	18,584
ぬいぐるみ (ぬいぐるみ以外)・かばん・靴	222	154	26,835
マンガ・アニメ・キャラクター関連品	48	34	11,174
書籍・絵葉書・CD・DVD	29	22	11,120
その他買物代	43	25	32,411
その他	6	4	41,659

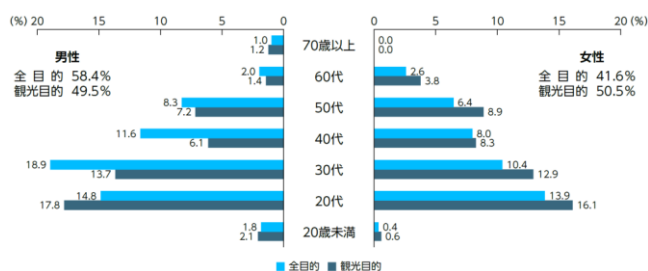
注：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

注：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

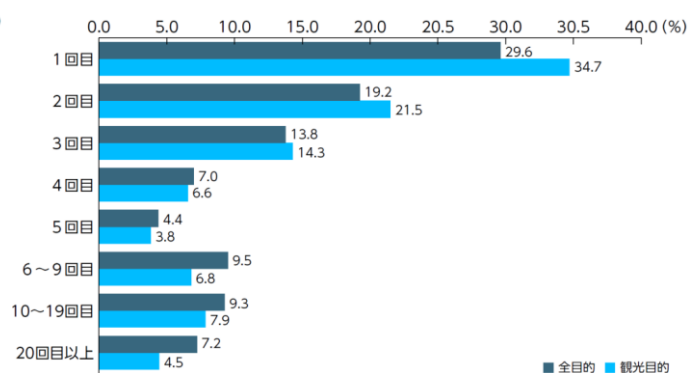
(出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査 (平成27年)」に基づき日本政府観光局 (JNTO) が作成)

2-4 シンガポール

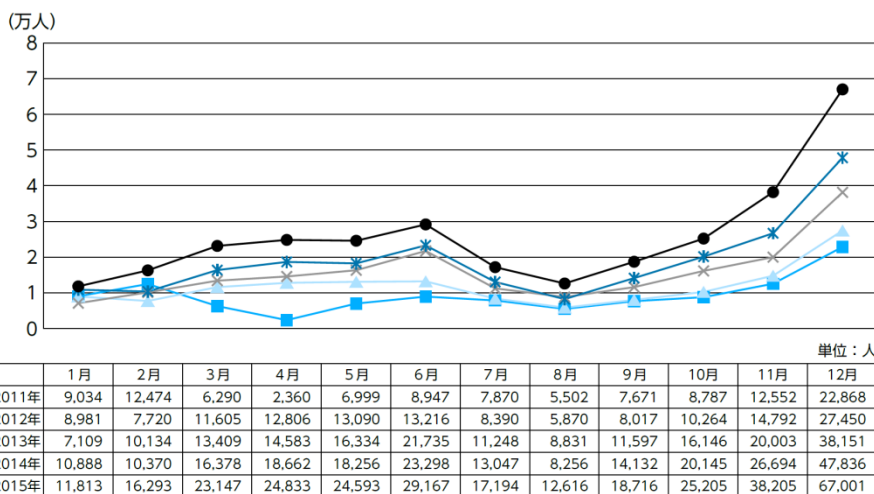
■訪日シンガポール人の性・年齢別構成（2015年）



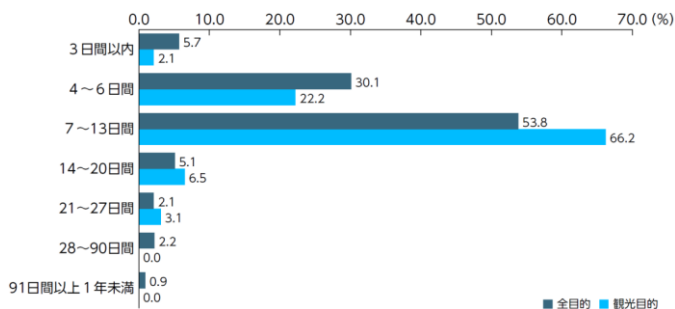
■訪日シンガポール人の訪日回数（2015年）



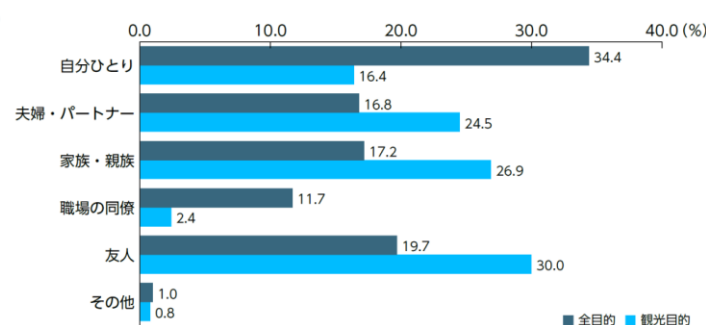
■月別訪日シンガポール人の推移（2011年～2015年）



■訪日シンガポール人の滞在日数（2015年）



■訪日シンガポール人の同行者（2015年）



(出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査(平成27年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

2-4 シンガポール

■シンガポール人が今回の訪日旅行でしたこと (2015年)

	単位：%	
	全目的	観光目的
日本食を食べること	97.2	98.8
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	41.8	36.4
旅館に宿泊	30.0	38.3
温泉入浴	28.7	39.9
自然・景勝地観光	57.6	76.9
繁華街の街歩き	77.1	81.8
ショッピング	82.7	91.3
美術館・博物館	17.6	25.2
テーマパーク	23.2	31.6
スキー・スノーボード	1.8	2.6
その他スポーツ (ゴルフ等)	0.6	0.5
舞台鑑賞 (歌舞伎・演劇・音楽等)	4.3	5.1
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	2.1	2.1
自然体験ツアー・農漁村体験	9.4	11.3
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	15.7	20.7
映画・アニメ線の地を訪問	5.7	6.7
日本の歴史・伝統文化体験	26.4	31.0
日本の日常生活体験	25.4	27.4
日本のポップカルチャーを楽しむ	15.7	21.5
治療・健診	0.4	0.3
上記には当てはまるものがない	1.8	0.0

*上の数値は、全て複数回答の結果である。

■シンガポール人が次回の訪日旅行でしたいこと (2015年)

	単位：%	
	全目的	観光目的
日本食を食べること	64.5	71.4
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	22.8	23.4
旅館に宿泊	34.2	44.4
温泉入浴	42.0	46.3
自然・景勝地観光	47.4	54.4
繁華街の街歩き	26.5	30.9
ショッピング	44.6	50.7
美術館・博物館	14.2	16.0
テーマパーク	20.3	22.7
スキー・スノーボード	18.3	20.5
その他スポーツ (ゴルフ等)	5.0	6.0
舞台鑑賞 (歌舞伎・演劇・音楽等)	11.6	14.3
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	12.6	16.7
自然体験ツアー・農漁村体験	17.3	18.3
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	33.8	39.1
映画・アニメ線の地を訪問	9.6	11.3
日本の歴史・伝統文化体験	26.1	25.6
日本の日常生活体験	23.2	23.8
日本のポップカルチャーを楽しむ	12.1	16.6
治療・健診	1.2	1.6
上記には当てはまるものがない	2.8	0.3

*上の数値は、全て複数回答の結果である。

■属性別訪日シンガポール人の日本滞在中の1人当たりの支出額 (2015年)

全目的			観光目的		
	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの支出額 (円)		回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの支出額 (円)
全体	260	187,383	全体	160	213,641
滞在日数			滞在日数		
3日以内	20	61,437	3日以内	5	33,036
4~6日間	87	153,709	4~6日間	39	211,636
7~13日間	124	204,945	7~13日間	98	208,325
14~20日間	14	226,191	14~20日間	13	228,106
21~27日間	6	431,682	21~27日間	5	458,011
28~90日間	6	158,440	28~90日間	0	-
91日以上1年未満	3	466,501	91日以上1年未満	0	-
性別・年代			性別・年代		
男性	151	174,227	男性	82	202,591
20歳未満	3	231,900	20歳未満	3	241,512
20代	38	159,576	20代	30	152,500
30代	53	143,142	30代	25	166,170
40代	32	240,877	40代	9	533,208
50代	17	154,883	50代	10	171,154
60代	7	180,068	60代	4	147,408
70歳以上	1	938,780	70歳以上	1	930,789
女性	109	202,631	女性	78	222,826
20歳未満	2	35,236	20歳未満	2	34,936
20代	30	187,738	20代	21	162,017
30代	31	180,151	30代	24	195,829
40代	21	233,200	40代	11	329,610
50代	18	240,660	50代	14	278,833
60代	7	213,529	60代	6	225,999
70歳以上	0	-	70歳以上	0	-
日本への来訪回数			日本への来訪回数		
1回目	69	182,856	1回目	49	194,078
2回目	53	190,541	2回目	38	187,737
3回目	34	155,055	3回目	21	147,981
4回目	20	178,950	4回目	12	208,948
5回目	14	273,457	5回目	7	459,224
6~9回目	22	139,783	6~9回目	10	201,316
10~19回目	26	221,122	10~19回目	14	271,823
20回目以上	22	180,384	20回目以上	9	321,880

注：上の「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分が含まれている。但し、日本の航空会社および船務会社に支払われる国際旅客運賃は含まれていない。

■項目別訪日シンガポール人の購入者単価 (2015年)

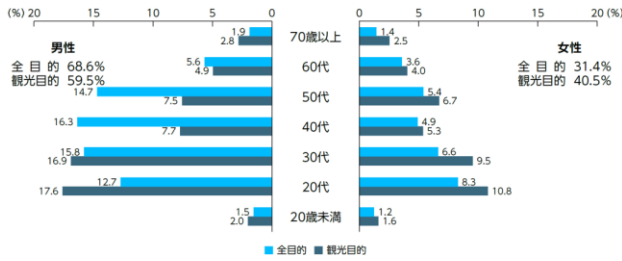
全目的			観光目的		
調査項目	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	調査項目	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)
訪日旅行前の支出			訪日旅行前の支出		
団体パッケージツアー	24	239,779	団体パッケージツアー	22	249,851
個人旅行向けパッケージ商品	24	167,450	個人旅行向けパッケージ商品	22	179,925
往復航空 (船舶) 運賃	229	83,804	往復航空 (船舶) 運賃	162	74,244
宿泊料金	217	75,145	宿泊料金	143	73,104
飲食費	228	39,542	飲食費	144	36,455
交通費	235	20,728	交通費	145	22,375
航空 (日本国内移動)	12	16,564	航空 (日本国内移動)	12	16,233
Japan Rail Pass	43	22,878	Japan Rail Pass	35	25,028
鉄道・新幹線・地下鉄・モノレール	196	12,209	鉄道・新幹線・地下鉄・モノレール	126	12,898
バス・タクシー	97	8,039	バス・タクシー	47	5,668
レンタカー	12	27,252	レンタカー	11	22,733
その他交通費	2	11,599	その他交通費	2	10,900
娯楽サービス費	84	10,849	娯楽サービス費	68	11,646
現地ツアー・観光ガイド	10	10,927	現地ツアー・観光ガイド	8	13,250
ゴルフ場・テーマパーク	35	11,290	ゴルフ場・テーマパーク	31	11,591
舞台鑑賞・スポーツ観戦	8	10,413	舞台鑑賞・スポーツ観戦	5	7,638
美術館・博物館・動物園・水族館	48	4,651	美術館・博物館・動物園・水族館	43	4,884
スキー・スノーボード・スキー用品レンタル	2	35,000	スキー・スノーボード・スキー用品レンタル	2	35,000
その他娯楽サービス費	6	4,986	その他娯楽サービス費	2	4,400
買物代	247	65,807	買物代	150	78,189
菓子類	156	9,277	菓子類	99	10,092
その他食料品・飲料・酒・たばこ	130	11,345	その他食料品・飲料・酒・たばこ	80	10,229
カメラ・ビデオカメラ・時計	17	159,572	カメラ・ビデオカメラ・時計	10	208,182
電気製品	18	51,165	電気製品	14	37,762
化粧品・香水	71	17,429	化粧品・香水	50	16,679
医薬品・健康グッズ・トイレタリー	55	11,192	医薬品・健康グッズ・トイレタリー	39	10,290
和服 (着物)・民芸品	33	9,719	和服 (着物)・民芸品	23	10,739
服 (靴履以外)・かばん・靴	120	38,340	服 (靴履以外)・かばん・靴	90	40,416
マンガ・アニメ・キャラクター関連品	35	41,215	マンガ・アニメ・キャラクター関連品	30	47,246
書籍・絵巻物・CD・DVD	29	8,959	書籍・絵巻物・CD・DVD	21	4,087
その他買物代	12	19,648	その他買物代	4	19,575
その他	1	25,000	その他	0	-

注：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

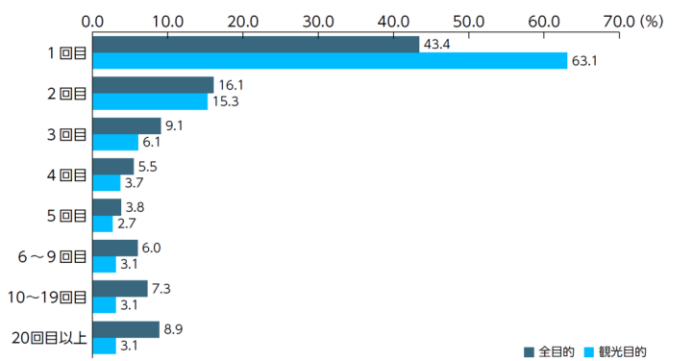
(出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査 (平成27年)」に基づき日本政府観光局 (JNTO) が作成)

2-5 アメリカ

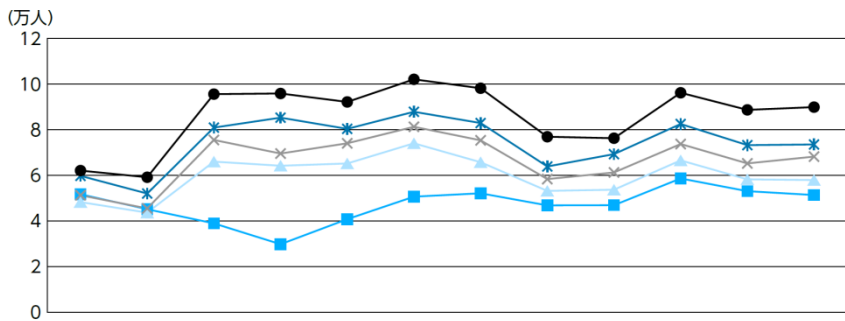
■訪日アメリカ人の性・年齢別構成（2015年）



■訪日アメリカ人の訪日回数（2015年）



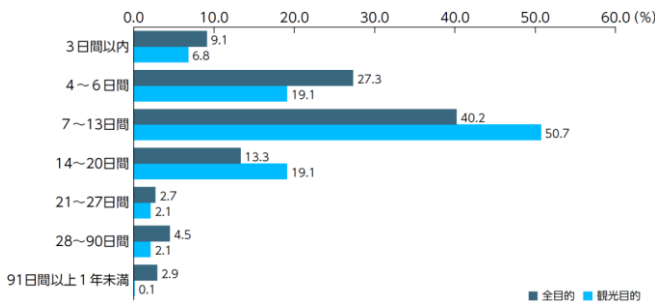
■月別訪日アメリカ人の推移（2011年～2015年）



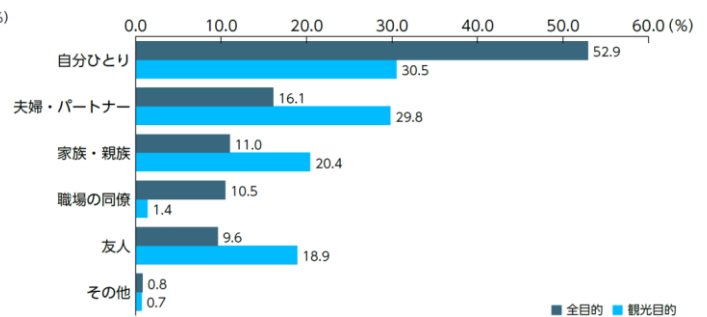
単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2011年	51,706	45,135	38,934	29,788	40,770	50,648	52,127	46,823	46,903	58,632	53,055	51,366
▲ 2012年	48,268	43,637	66,010	64,208	65,195	74,049	65,750	53,180	53,692	66,556	58,238	57,926
× 2013年	51,261	45,488	75,506	69,565	74,045	81,290	75,350	58,347	61,261	73,731	65,228	68,208
★ 2014年	59,767	52,016	80,929	85,298	80,373	87,870	82,937	63,883	69,301	82,512	73,243	73,539
● 2015年	62,081	59,157	95,609	95,891	92,184	102,103	98,201	76,926	76,279	96,208	88,707	89,912

■訪日アメリカ人の滞在日数（2015年）



■訪日アメリカ人の同行者（2015年）



(出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（平成27年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成）

2-5 アメリカ

■アメリカ人が今回の訪日旅行でしたこと (2015年)

	単位：%	
	全目的	観光目的
日本食を食べること	97.9	99.3
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	62.1	62.9
旅館に宿泊	21.9	31.8
温泉入浴	19.7	29.6
自然・景勝地観光	54.6	75.4
繁華街の街歩き	65.3	79.4
ショッピング	64.9	78.9
美術館・博物館	31.4	46.2
テーマパーク	10.3	14.0
スキー・スノーボード	2.6	3.7
その他スポーツ (ゴルフ等)	3.0	1.9
舞台鑑賞 (歌舞伎・演劇・音楽等)	8.9	11.7
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	4.9	5.4
自然体験ツアー・農漁村体験	8.9	13.2
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	12.2	15.9
映画・アニメ縁の地を訪問	6.4	9.4
日本の歴史・伝統文化体験	49.0	65.7
日本の日常生活体験	43.4	52.5
日本のポップカルチャーを楽しむ	20.3	28.9
治療・健診	2.1	1.2
上記には当てはまるものがない	0.8	0.0

※上の数値は、全て複数回答の結果である。

■アメリカ人が次回の訪日旅行でいたいこと (2015年)

	単位：%	
	全目的	観光目的
日本食を食べること	70.6	67.7
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	36.9	35.9
旅館に宿泊	30.8	36.1
温泉入浴	38.3	43.3
自然・景勝地観光	49.5	54.0
繁華街の街歩き	34.9	39.4
ショッピング	38.5	43.8
美術館・博物館	33.4	38.9
テーマパーク	17.3	20.3
スキー・スノーボード	14.1	16.8
その他スポーツ (ゴルフ等)	10.3	9.4
舞台鑑賞 (歌舞伎・演劇・音楽等)	25.9	31.1
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	21.1	24.4
自然体験ツアー・農漁村体験	22.0	26.4
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	33.1	39.4
映画・アニメ縁の地を訪問	12.8	15.7
日本の歴史・伝統文化体験	45.2	49.0
日本の日常生活体験	33.8	38.4
日本のポップカルチャーを楽しむ	18.4	23.5
治療・健診	3.9	3.8
上記には当てはまるものがない	2.1	0.9

※上の数値は、全て複数回答の結果である。

■属性別訪日アメリカ人の日本滞在中の1人当たりの支出額 (2015年)

全目的	回答数 (人)		日本滞在中の1人当たりの支出額 (円)
	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの支出額 (円)	
全体	2,209	175,554	
滞在日数			
3日以内	230	49,496	
4~6日	628	120,318	
7~13日	861	175,321	
14~20日	279	255,580	
21~27日	57	240,434	
28~90日	59	282,755	
91日以上1年未満	96	661,435	
性別・年代			
男性	1,512	167,185	
20歳未満	28	168,323	
20代	269	167,442	
30代	354	177,327	
40代	368	147,845	
50代	341	182,701	
60代	116	140,736	
70歳以上	36	202,555	
女性	688	194,068	
20歳未満	23	141,032	
20代	179	189,281	
30代	156	172,113	
40代	109	182,418	
50代	115	204,213	
60代	79	238,091	
70歳以上	27	250,252	
日本への来訪回数			
1回目	914	191,680	
2回目	364	182,405	
3回目	203	151,921	
4回目	122	128,062	
5回目	84	178,152	
6~9回目	138	123,374	
10~19回目	180	144,666	
20回目以上	203	202,276	

注：上の「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分が含まれている。但し、日本の航空会社および船務会社を支払われる国際旅客運賃は含まれていない。

観光目的	回答数 (人)		日本滞在中の1人当たりの支出額 (円)
	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの支出額 (円)	
全体	763	198,459	
滞在日数			
3日以内	61	42,407	
4~6日	162	117,239	
7~13日	372	216,121	
14~20日	137	291,536	
21~27日	16	307,149	
28~90日	14	228,858	
91日以上1年未満	1	603,933	
性別・年代			
男性	437	192,268	
20歳未満	10	134,164	
20代	134	145,358	
30代	127	192,654	
40代	58	183,415	
50代	61	282,233	
60代	29	179,745	
70歳以上	18	288,719	
女性	321	206,591	
20歳未満	11	146,097	
20代	85	152,744	
30代	81	188,334	
40代	42	189,924	
50代	53	225,662	
60代	33	316,697	
70歳以上	16	367,758	
日本への来訪回数			
1回目	469	204,914	
2回目	123	181,049	
3回目	46	201,878	
4回目	29	141,923	
5回目	18	292,827	
6~9回目	23	174,528	
10~19回目	28	156,135	
20回目以上	26	204,038	

注：上の「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分が含まれている。但し、日本の航空会社および船務会社を支払われる国際旅客運賃は含まれていない。

■項目別訪日アメリカ人の購入者単価 (2015年)

全目的	調査項目	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)
個人旅行向けパッケージ商品	118	498,573	
往復航空 (船舶) 運賃	71	333,590	
宿泊料金	2,101	215,173	
飲食費	1,942	44,331	
交通費	1,849	27,847	
航空 (日本国内移動)	96	42,211	
Japan Rail Pass	409	29,025	
鉄道・新幹線・地下鉄・モノレール	1,347	15,653	
バス・タクシー	1,158	9,231	
レンタカー	55	37,772	
その他交通費	26	10,501	
娯楽サービス費	690	15,025	
現地ツアー・観光ガイド	100	18,739	
ゴルフ場・テーマパーク	109	20,097	
舞台鑑賞・スポーツ観戦	105	10,100	
美術館・博物館・動物園・水族館	460	5,530	
スキー・スノーボード・スキー用品レンタル	49	26,254	
その他娯楽サービス費	53	24,278	
買物代	1,856	36,112	
菓子類	805	6,676	
その他食品・飲料・酒・たばこ	1,114	16,217	
カメラ・ビデオカメラ・時計	56	26,897	
電気製品	138	28,591	
化粧品・香水	183	16,120	
医薬品・健康グッズ・トイレタリー	227	6,792	
和服 (着物)・民芸品	560	15,924	
服 (靴履以外)・かばん・靴	483	20,289	
マンガ・アニメ・キャラクター関連商品	256	11,532	
書籍・絵葉書・CD・DVD	364	6,536	
その他買物代	270	26,929	
その他	9	8,963	

注：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

観光目的	調査項目	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)
個人旅行向けパッケージ商品	77	556,985	
往復航空 (船舶) 運賃	42	330,609	
宿泊料金	644	89,085	
飲食費	679	41,002	
交通費	658	30,559	
航空 (日本国内移動)	40	33,984	
Japan Rail Pass	258	31,522	
鉄道・新幹線・地下鉄・モノレール	504	15,204	
バス・タクシー	373	7,628	
レンタカー	19	23,842	
その他交通費	11	9,726	
娯楽サービス費	388	17,945	
現地ツアー・観光ガイド	63	19,446	
ゴルフ場・テーマパーク	55	13,384	
舞台鑑賞・スポーツ観戦	55	12,419	
美術館・博物館・動物園・水族館	278	5,725	
スキー・スノーボード・スキー用品レンタル	30	29,294	
その他娯楽サービス費	21	65,282	
買物代	658	36,753	
菓子類	319	6,241	
その他食品・飲料・酒・たばこ	413	13,560	
カメラ・ビデオカメラ・時計	17	33,342	
電気製品	53	26,929	
化粧品・香水	83	13,497	
医薬品・健康グッズ・トイレタリー	95	7,341	
和服 (着物)・民芸品	230	16,075	
服 (靴履以外)・かばん・靴	207	20,314	
マンガ・アニメ・キャラクター関連商品	130	12,408	
書籍・絵葉書・CD・DVD	167	6,827	
その他買物代	82	21,754	
その他	3	2,430	

注：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

(出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査 (平成27年)」に基づき日本政府観光局 (JNTO) が作成)

第3章

きた北海道 来訪外国人観光客の特性

1. 訪日外国人旅行者アンケート調査

きた北海道に訪れている旅行者の消費額や満足度、観光特性、きた北海道に訪れた動機を把握するために、来訪者アンケート調査を実施した。

1-1 調査概要

訪日外国人旅行者アンケート調査の概要は以下の通りである。

(1) 調査手法

きた北海道に訪れている旅行者に対して確実にアンケートを行うため、対面式を基本として、調査を実施した。

調査目的	北海道・きた北海道に訪れている外国人旅行者の「消費額」や「満足度」、「旅行動機」を把握し、きた北海道の特性や強みを把握する。	
調査手法	対面式での聞きとり調査	
調査票	A3両面 きた北海道来訪者の属性を比較分析するために、旭川市以北に訪れている旅行者を『きた北海道訪問旅行者』とし、それ以外の札幌市や旭川市を訪れている外国人旅行者は『来道旅行者』とし、2種類の調査票を作成。	
言語	英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語の4言語	
調査箇所	きた北海道 来訪者	<ul style="list-style-type: none"> ・キタカラ、J R 稚内駅 ・稚内フェリーターミナル ・稚内市内ホテル（事前に予約状況を確認）
	来道者	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌大通公園、狸小路、旧道庁赤レンガ庁舎、J R 旭川駅

(2) 調査票

「日本のてっぺん。きた北海道ルート。」は、千歳市・札幌市の道央から稚内市・利尻島・礼文島までの広域であり、本アンケート調査においては、旭川市以北を訪れている旅行者を『きた北海道訪問旅行者』とし、それ以外の札幌市や旭川市を訪れている外国人旅行者は『来道旅行者』とし、2種類の調査票を作成した。

調査票の概要は、以下の通りである。

種別		目的	設問
A	きた北海道に訪れた方	個人属性	<ul style="list-style-type: none"> ・国籍 ・性別 ・年齢 ・職業 ・世帯構成 ・世帯年収 ・年間の旅行回数
		基本的な旅行に関する状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の旅行形態 ・同行者、人数 ・訪日回数 ・来道回数 ・滞在期間 ・旅行目的
		きた北海道の旅行地や消費額の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・きた北海道内（旭川以北）の訪問地 ・きた北海道外の訪問地 ・道内で利用する交通機関 ・道内での1人あたりの消費額
		きた北海道の来訪理由とコンテンツの満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・きた北海道を訪れた理由 ・今回の旅行で体験するコンテンツと満足度
		体験コンテンツのニーズと観光動機の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・きた北海道で体験したいコンテンツ ・旅行動機
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自由意見
B	きた北海道以外に訪れた方	個人属性	<ul style="list-style-type: none"> ・国籍 ・性別 ・年齢 ・職業 ・世帯構成 ・世帯年収 ・年間の旅行回数
		基本的な旅行に関する状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の旅行形態 ・同行者、人数 ・訪日回数 ・来道回数 ・滞在期間 ・旅行目的
		きた北海道の旅行地や消費額の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問地 ・道内で利用する交通機関 ・道内での1人あたりの消費額 ・今回の旅行で体験するコンテンツと満足度
		きた北海道の認知度とニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・広域観光拠点地区の認知度 ・きた北海道を訪れたい場所
		体験コンテンツのニーズと観光動機の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・きた北海道で体験したコンテンツ ・旅行動機
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自由意見

きた北海道以外に訪れた方の調査票【B】を以下に示す。

北海道観光についてのアンケート調査 (b)

このアンケートは、北海道が外国人旅行者にとってより魅力的なものとなることを目的に、北海道に訪れている外国人観光旅行者の方々を対象として、満足度や旅行の好みなどを把握させていただいたものです。調査の結果は統計的に処理し、個人を特定することはありません。調査の建書をご理解の上、アンケートのご協力をお願いいたします。

■調査実施主体 国土交通省 北海道運輸局
■調査実施機関 株式会社近畿日本ツーリスト北海道

質問1 あなたご自身のことについてお聞きします。

国 1 中国 2 韓国 3 台湾 4 香港 5 シンガポール 6 マレーシア
7 タイ 8 アメリカ 9 オーストラリア 10 その他 ()

性別 1 男性 2 女性

年齢 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代 6 60代 7 70代以上

職業 1 会社員・役員 2 自営業 3 専門職 4 公務員 5 学生 6 専業主婦
7 パート・アルバイト 8 無職(フリーター) 9 無職(年金)
10 その他 ()

世帯構成 1 単身 2 夫婦のみ 3 親子(二世帯) 4 三世帯以上の家族 5 その他

世帯年収 ◆年金や利子、配当金等の収入も含む
世帯年収 () 万円 (右つめ) 未満

年間旅行回数 ◆宿泊を伴う旅行のみ
自国内 () 回/年 自国外 () 回/年

質問2 今回の旅行についてお聞きします。

旅行形態 1 旅行会社等が企画した団体ツアーに参加
2 往復航空(船舶)券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用
3 往復航空(船舶)券や宿泊等を個別に手配

同行者・人数 1 自分ひとり 2 家族・親族 3 友人 4 職場の同僚 自分を含めて()人

訪日回数 今回で()回目

来道回数 今回で()回目 きた北海道(2ページ中段) ()回目


滞在期間 日本 ()日 北海道 ()日 きた北海道 ()日

道内で利用した(利用する)交通機関 1 貸切バス 2 路線バス 3 鉄道 4 レンタカー 5 タクシー
6 レンタサイクル 7 その他 (具体的に:)

旅行目的 1 日本食や北海道の食材を食べること
2 日本や北海道の酒を飲むこと(日本酒・焼酎等)
3 旅館に宿泊 4 温泉入浴 5 自然・景勝地観光 6 繁華街の街歩き
7 ショッピング 8 美術館・博物館 9 アーパーク 10 スキー・スノーボード
11 その他スポーツ(ゴルフ等) 12 舞台鑑賞(歌舞伎・演劇・音楽等)
13 スポーツ観戦(相撲・サッカー等) 14 自然体験ツアー・農漁村体験
15 四季の体感(花見・紅葉・雪等) 16 映画・アニメ緑の地を訪問
17 日本や北海道の歴史・伝統文化体験 18 日本や北海道の日常生活体験
19 日本のポップカルチャーを楽しむ(ファッション・アニメ等) 20 治療・検診
21 その他 ()

質問2 北海道の旅行についてお聞きします。

◆地名または代表的施設名
◆知原の北海道内マップを参照してお読みください。



道内での訪問地	1 貸切バス 2 路線バス 3 鉄道 4 レンタカー 5 タクシー 6 レンタサイクル 7 その他 (具体的に:)
道内での1人あたりの消費額(日本円)	宿泊料金 () 円 飲食費 () 円 買い物代 () 円 交通費(道内のみ) () 円 娯楽サービス費 () 円 その他 () 円 合計(調査員記入) () 円

体験した又はするものに☑ 体験した際の満足度に☑ (満足ななかった やや満足 満足 とても満足)

< コンテンツ >	体験した又はするものに☑	満足ななかった	やや満足	満足	とても満足
海・川・湖での体験					
1 サーフイン・ボディボード	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 カヤック・カヌー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 パドックオッチング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 漁業体験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 BBQ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
陸・山・空での体験					
6 トレッキング・高山植物鑑賞	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 登山・クライミング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 乗馬	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 ナイタリング・マウンテンバイク	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 パラグライダー・グライダー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11 ドライブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12 農業・畜産体験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
食での体験					
13 スノーシュー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14 スノーボード・スキー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15 スノーモービル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
文化・ものづくり体験					
16 果物などの収穫狩り	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17 伝統工芸・文化体験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18 そば打ちなどの食・物づくり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19 陶芸・ガラス・木工加工体験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20 アイヌ・縄文文化見学/体験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他					
21 天体観測	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22 産業遺産や工場などの見学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23 その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

今日の旅行で体験するコンテンツを何ですか? 12 農業・畜産体験

また、体験したコンテンツの満足度はどのくらいでしたか?

「日本のてっぺん。きた北海道ルート」
～恵まれた大自然から享受する大祭な食や景観。
日本のてっぺんをめざし、北の大地、海、島をかけるぼる。～


「きた北海道」は、外国人観光客の入り口となる札幌・旭川と東北の都市圏内を結ぶ南北350kmにも渡る広大なエリアを指します。

以下で知っている場所・地名はありますか? 知っている場所・地名に☑を入れて下さい。

札幌 日本東北のまち	利尻 利尻山がそびえる島	礼文 高山植物が咲き乱れる島	羽幌 天然・焼尻島	留萌 日本海側の漁業のまち	名寄 ひまわりや天文台を有する	士別 羊肉が特産のまち
旭川 ニシン漁で栄えた北の古都	道北の中心都市	岩見沢 ワイナリーが立ち並ぶ	夕張 メロンが特産のまち	札幌 北海道の中心地	北広島 札幌から近いベッドタウン	千歳 空港を抱えるまち

以下の地図を見て、行ってみたい場所や体験してみたいことに☑を入れて下さい。

礼文島 奥瀬高高山植物の島にトレッキング	日本東北の地からサリシを望む	宗谷岬 カニボウテイクアウトを堪能する	宗谷地域等の乳製品 冷涼な気候で育つ新鮮な牛乳
利尻島 美しい登山はバックカントリースキー	利尻島、文島、別島公園	豊富温泉 アビーに良いゆの湯	天塩川 カニや釣りが楽しめる北の大河
サロト原野 道北の大草原で自然を満喫	天塩島・焼尻島 海鳥の楽園・高級肉の生産される島	名寄のサンピラ 樹液が生み出す大樹	空知のワイン 様々なワイナリーが個性あふれるワインをつくる
ものづくり体験 北の暮らしを彩る木工・ガラス・織物体験	釧路屋 宗室を垣めたメーゾン漁を学ぶ	最北の日本酒 古く、街道みや最北の酒蔵	



質問3 きた北海道に観光についてお聞きします。

< コンテンツ >	海・川・湖での体験	文化・ものづくり体験
1 サーフイン・ボディボード	<input type="checkbox"/>	16 果物などの収穫狩り
2 カヤック・カヌー	<input type="checkbox"/>	17 伝統工芸・文化体験
3 パドックオッチング	<input type="checkbox"/>	18 そば打ちなどの食・物づくり
4 漁業体験	<input type="checkbox"/>	19 陶芸・ガラス・木工加工体験
5 BBQ	<input type="checkbox"/>	20 アイヌ・縄文文化見学/体験
陸・山・空での体験		その他
6 トレッキング・高山植物鑑賞	<input type="checkbox"/>	21 天体観測
7 登山・クライミング	<input type="checkbox"/>	22 産業遺産や工場などの見学
8 乗馬	<input type="checkbox"/>	23 その他 ()
9 ナイタリング・マウンテンバイク	<input type="checkbox"/>	
10 パラグライダー・グライダー	<input type="checkbox"/>	1位 _____
11 ドライブ	<input type="checkbox"/>	2位 _____
12 農業・畜産体験	<input type="checkbox"/>	3位 _____
食での体験		4位 _____
13 スノーシュー	<input type="checkbox"/>	5位 _____
14 スノーボード・スキー	<input type="checkbox"/>	
15 スノーモービル	<input type="checkbox"/>	

もし、きた北海道にきたときに体験したいコンテンツはどれですか?

上位5つを順番に選んでください。

質問4 あなたの旅行の「考え方・好み」についてお聞きします。 ※全員回答

< 旅行動機 >	全くあてはまらない	あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる
自国とは違う環境で新しい経験をしてみたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
旅先では、ドキドキするような興奮を感じたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
生活に変化を与えるために外国に行きたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有名な遺跡や建築物を見てみたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
美術館や博物館で芸術品を見てみたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
現地の歴史や伝統についてよく知りたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
現地の人々と仲良くなりたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
現地の言葉や文化を覚えて、地元の人々と話したい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の国からやって来た旅行者たちと仲良くなりたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
日本の生活で変わったストレスを解消したい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
日本の生活で疲れた心身を癒したい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
日本の生活を忘れて、思い切り羽を伸ばしたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スケールの大きな自然を体験したい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
野山を散策して、身近に自然を感じたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
空気が水的美しさを感じたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
旅先では、はっきりとした目的地を決めて、流れに身をまかせたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
行き当たりばったりの旅行がしたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外国へ旅行する時は、しっかりと日程や計画を立てていきたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
価値観や人生観を変えたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分自身を見つめなおしたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
いつも自分とは違った新たな一面を発見したい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

質問5 きた北海道の観光について、ご意見・ご希望などをお聞かせください。

1-2 調査の実施

訪日外国人旅行者アンケート調査は、以下のスケジュールにて調査を実施した。

日程	調査箇所	調査員数 (延べ)	回収票数
平成29年1月18日～31日	札幌大通公園、狸小路	2名	30票
平成29年2月14日～26日	キタカラ・JR稚内駅、稚内市内ホテル、稚内フェリーターミナル	4名	114票
平成29年2月16日～20日	狸小路、旧道庁赤レンガ庁舎	1名	20票
平成29年2月21日～24日	JR旭川駅	2名	60票



キタカラ・JR稚内駅



キタカラ・JR稚内駅



JR旭川駅



札幌狸小路

本調査における回収票は、以下の通りである。

種別		回収票数
A	きた北海道訪問旅行者	114
B	来道旅行者	110

※調査協力：(株)まちづくり稚内、(一社)稚内観光協会、北海道旅客鉄道(株)、(株)共立メンテナンス、ハートランドフェリー(株)、稚内観光開発(株)

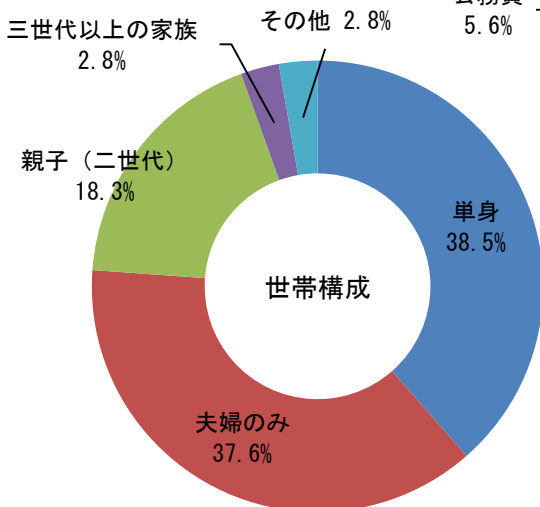
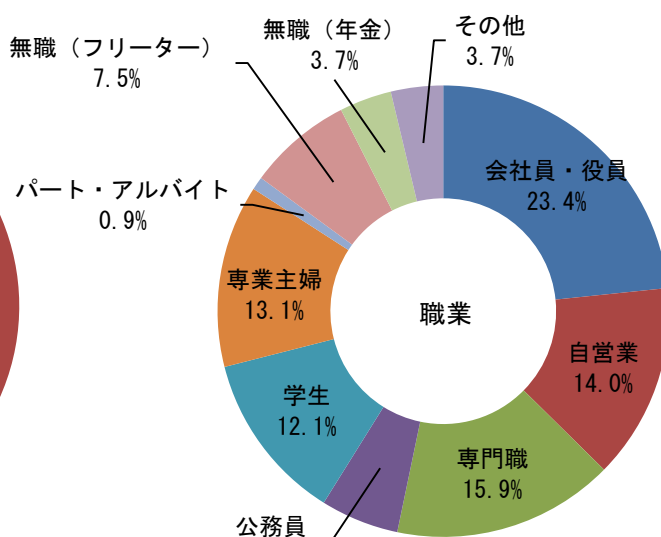
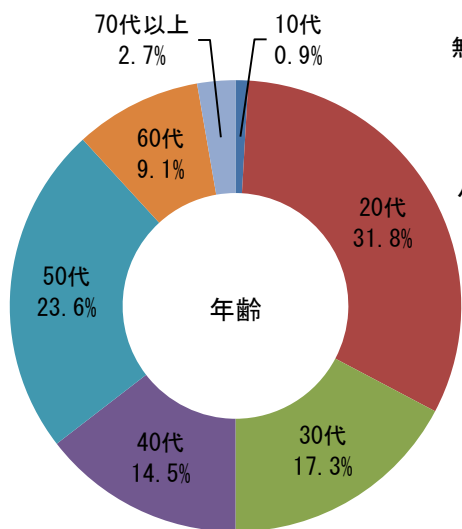
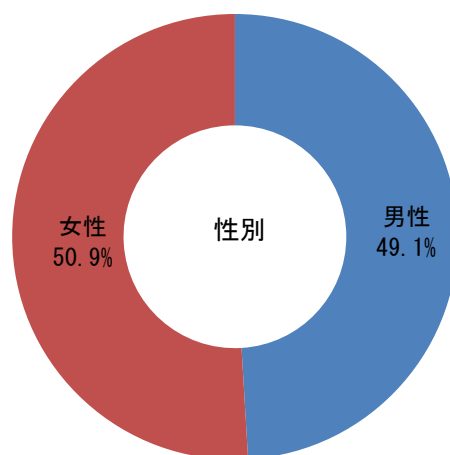
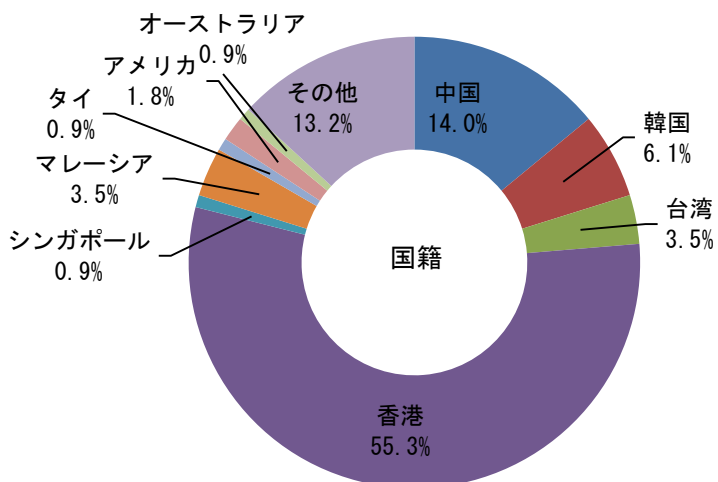
1-3 調査結果とりまとめ

訪日外国人旅行者アンケート調査の結果は以下の通りである。

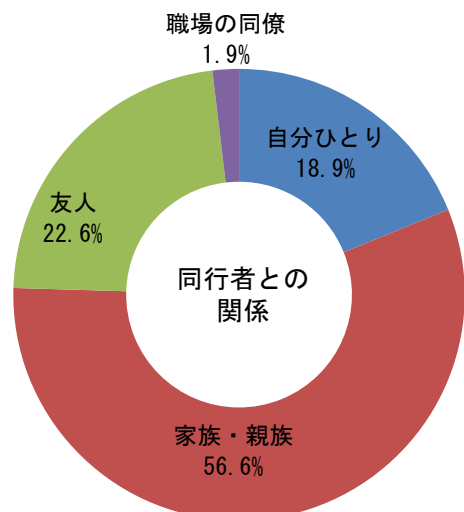
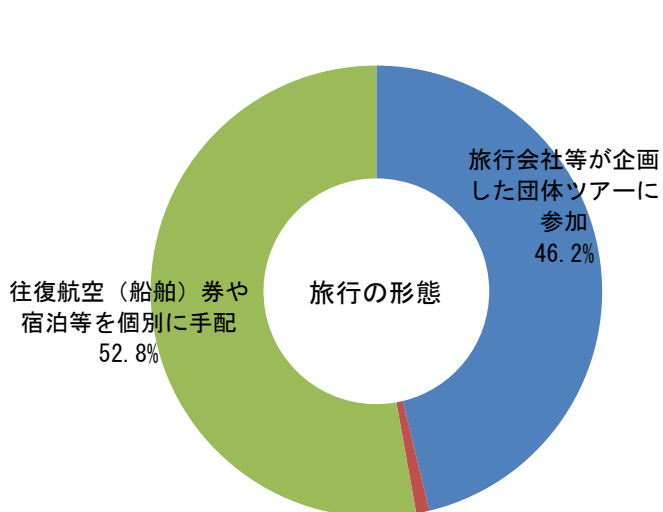
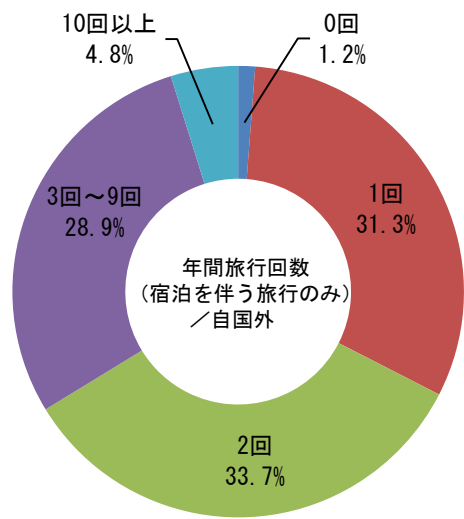
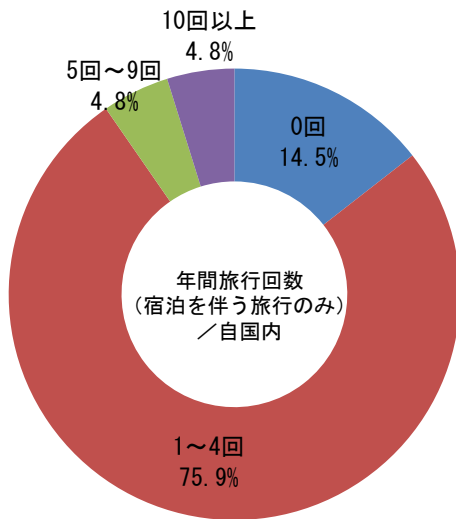
(1) きた北海道に訪れた方の調査結果

きた北海道訪問旅行者の調査結果を以下に示す。

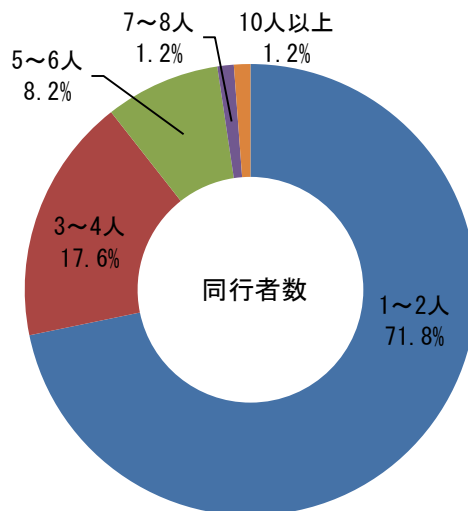
きた北海道に訪れた方の調査結果



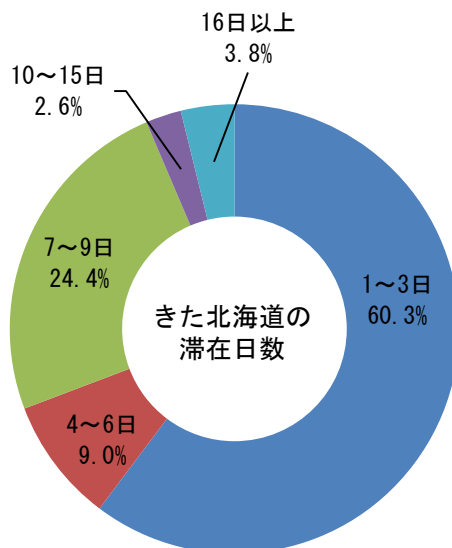
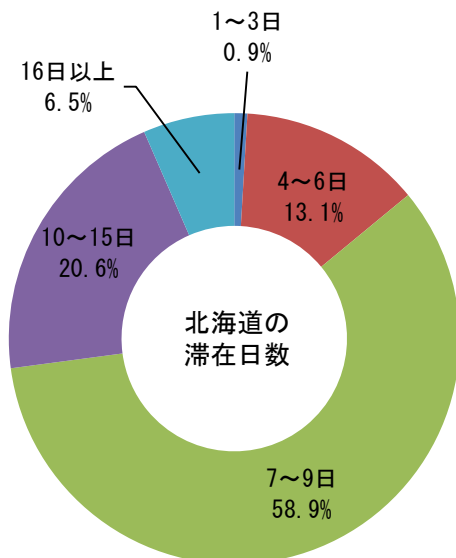
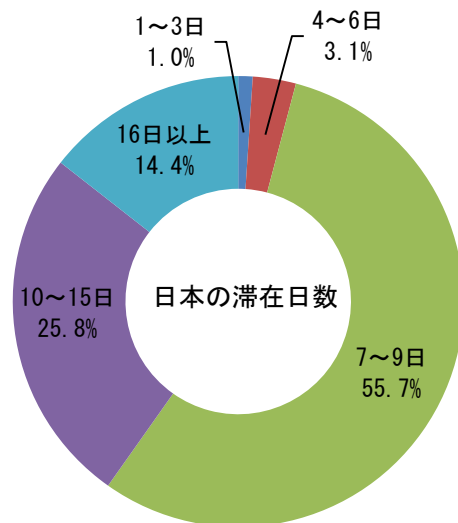
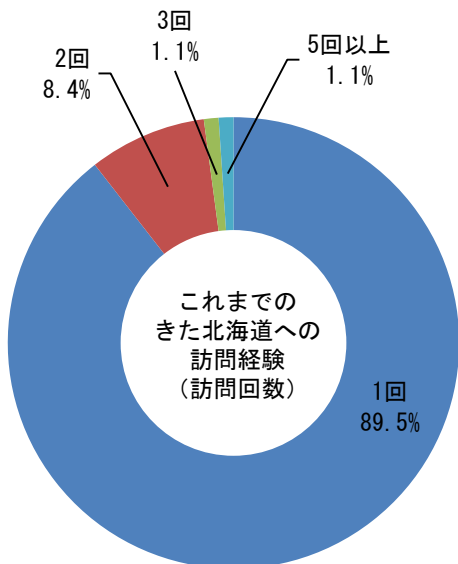
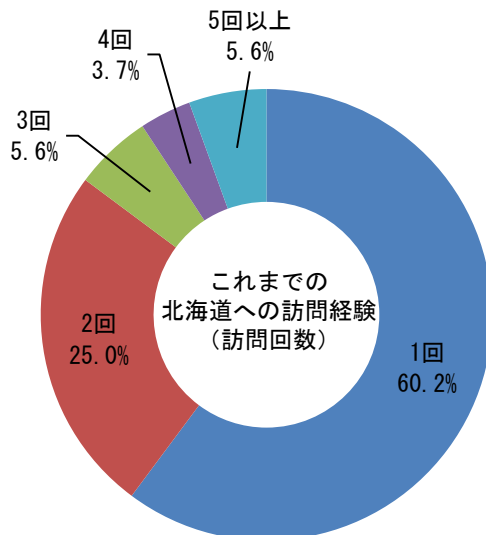
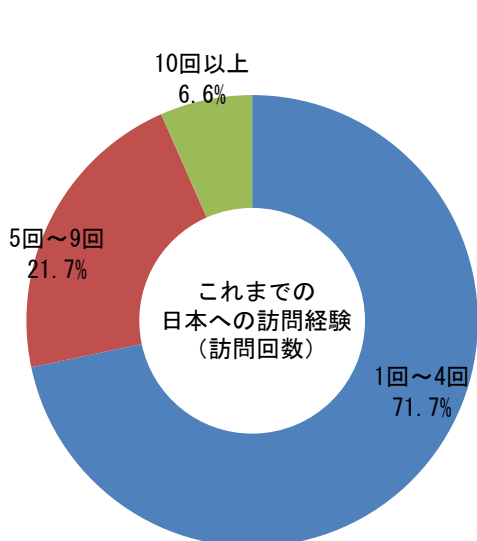
きた北海道に訪れた方の調査結果



往復航空(船舶)券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用
0.9%

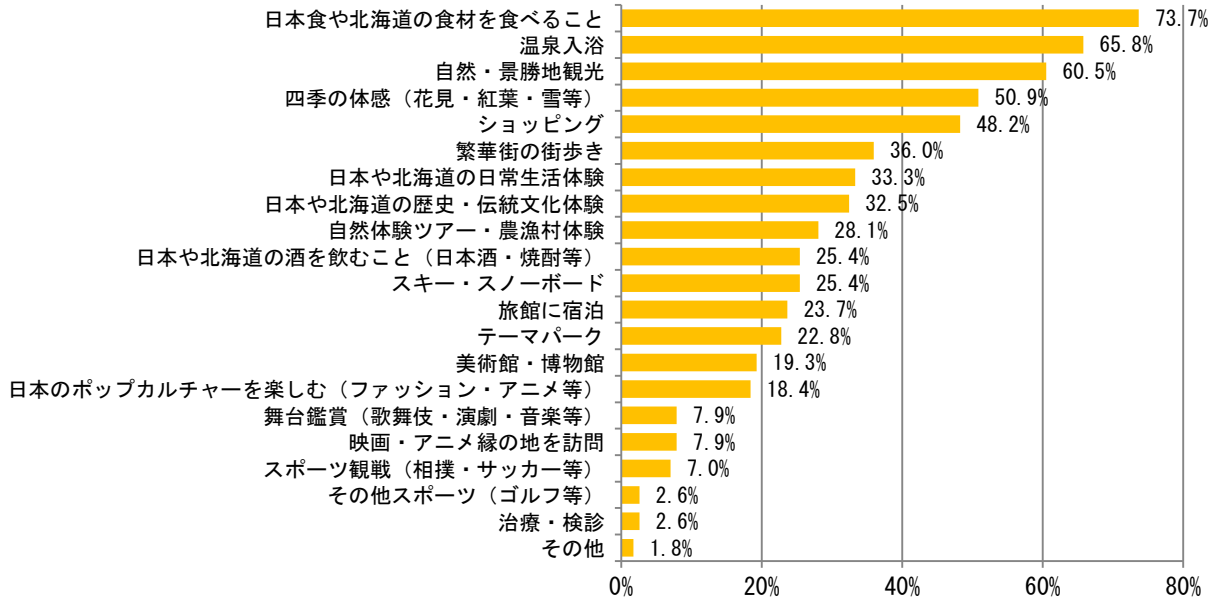


きた北海道に訪れた方の調査結果

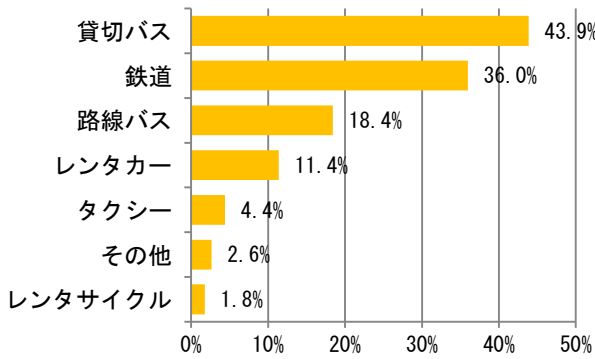


きた北海道に訪れた方の調査結果

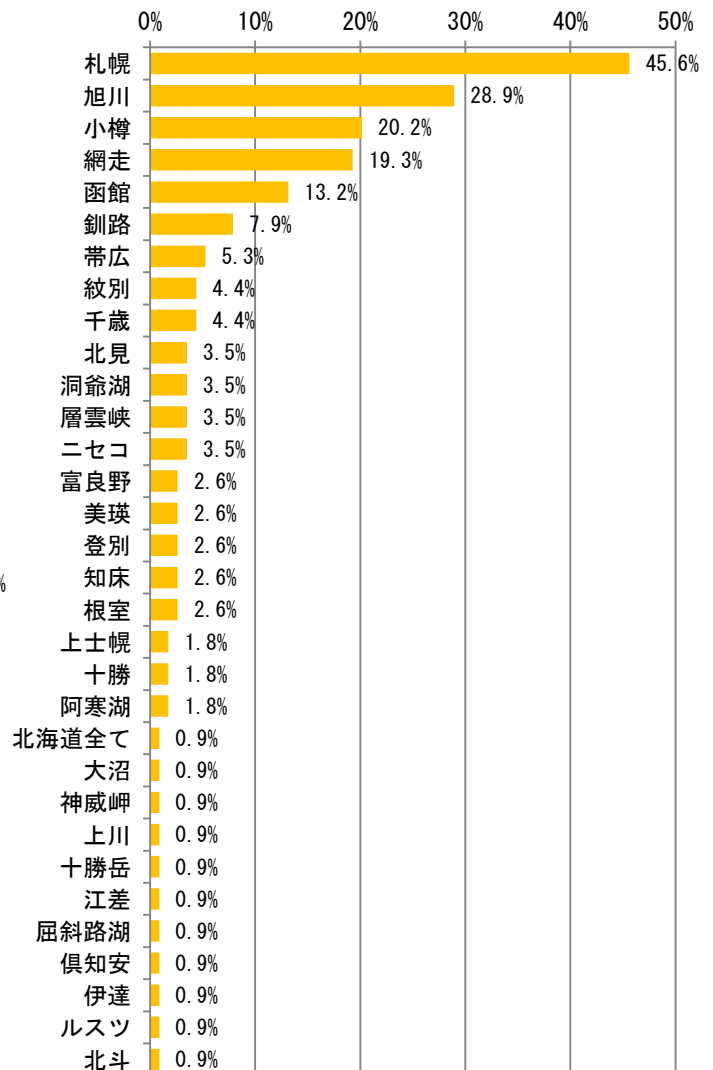
<旅行の目的（複数回答可）>



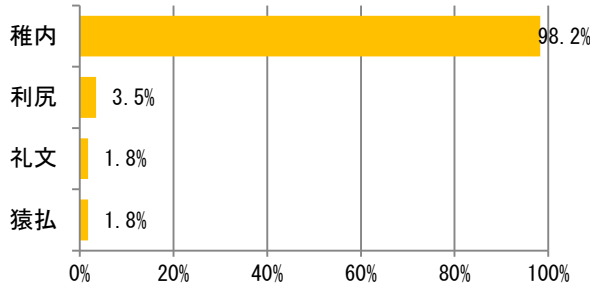
<利用した交通手段（複数回答可）>



<北海道の訪問箇所（複数回答可）>



<きた北海道の訪問箇所（複数回答可）>



きた北海道に訪れた方の調査結果

<調査員が外国人旅行者へヒアリングした「きた北海道（稚内）」への来訪目的等のまとめ>

- きた北海道へ訪れた理由として、“日本の最北だから”という外国人が大半を占めた。稚内への日帰りの外国人も多く、稚内に12時53分で到着後、4時間の滞在で17時00分発のJRで帰る方がいた。最北を目指して来た外国人は、ガイドブックで稚内に何があるのかを簡単に理解してはいるものの、バス時間等細かく情報を調べて来た様子はなく、稚内駅に着いたが、宗谷岬に行く方法がわからないという方もいた（理由はインターネットでの情報が無いとのこと）。

今回の調査対象の外国人旅行者のJR利用状況は以下のとおり

【稚内駅から出発の列車】

7時00分出発	特急スーパー宗谷2号	◎	(結構乗っている)
13時44分出発	特急サロベツ	○～△	(少し乗っている)
17時00分出発	特急スーパー宗谷4号	○～△	(少し乗っている)

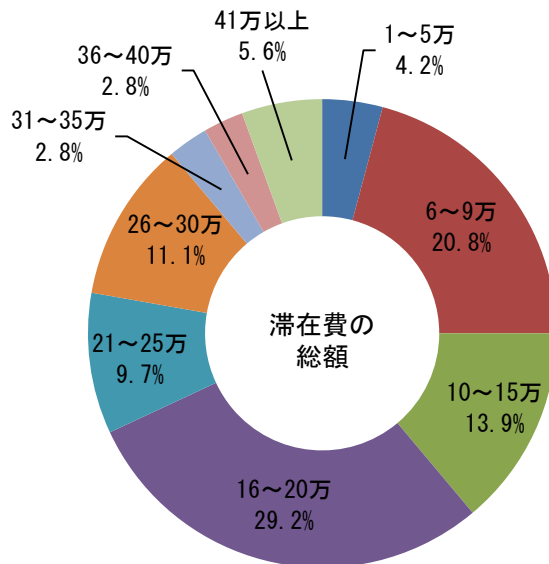
【稚内駅に到着の列車】

12時53分到着	特急スーパー宗谷1号	○	(多少乗っている)
18時22分到着	特急サロベツ	△	(少ない)
22時58分到着	特急スーパー宗谷3号	△～×	(非常に少ない)

※上記のJR北海道のダイヤは平成29年2月現在のもの

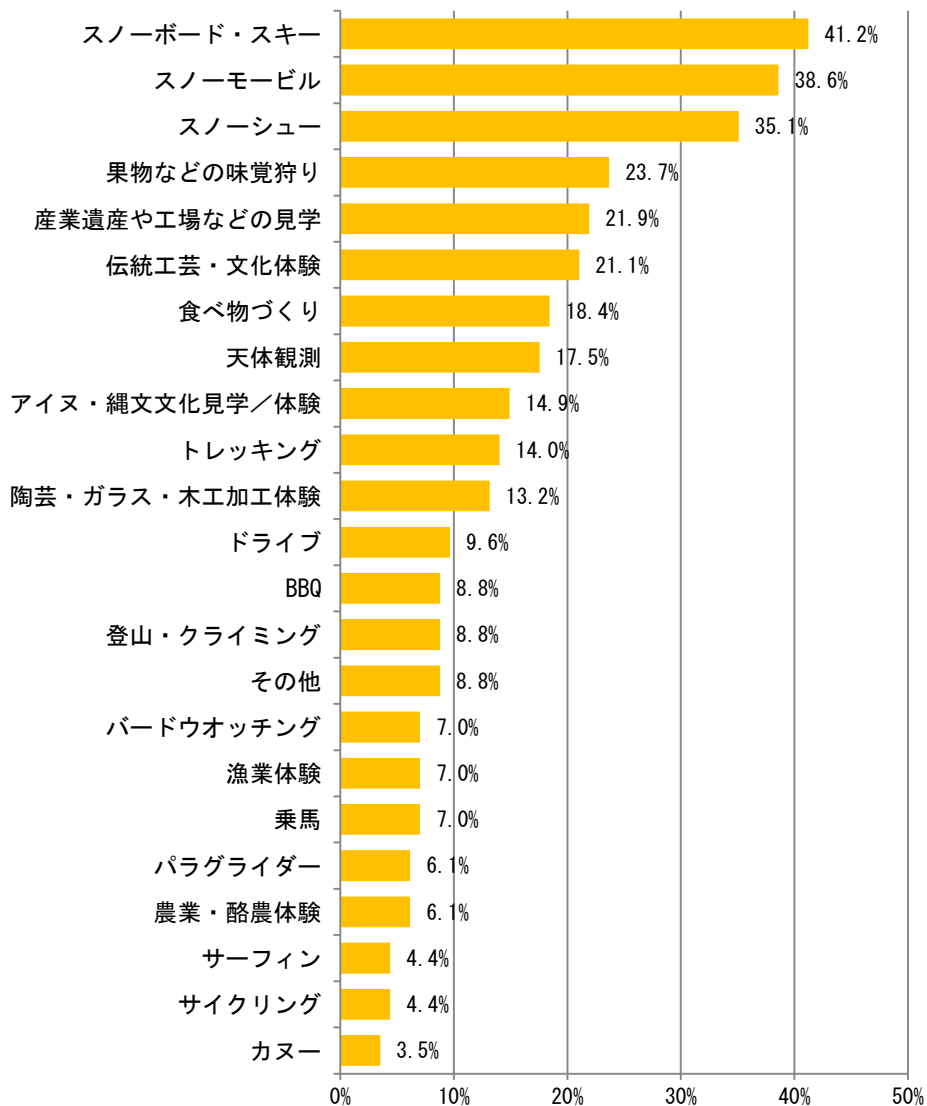
- 利用の交通機関はJRの北海道レールパスを使っている外国人がほとんどで、札幌、小樽等の道央圏を滞在中に足をのぼしている方が多かった。
- JR利用の次に多かったのが道北、道東をレンタカーで周遊している外国人。
- 一人旅で稚内を含め北海道を周遊旅行している外国人が意外といた。
- スキー客はオーストラリア、アメリカからが多く、稚内に到着後、真直ぐ利尻島へ向かって行った。
- 稚内市内のレストランでは英語が通じないため、コンビニエンスストアで購入して食事を済ませている外国人もいた。

きた北海道に訪れた方の調査結果



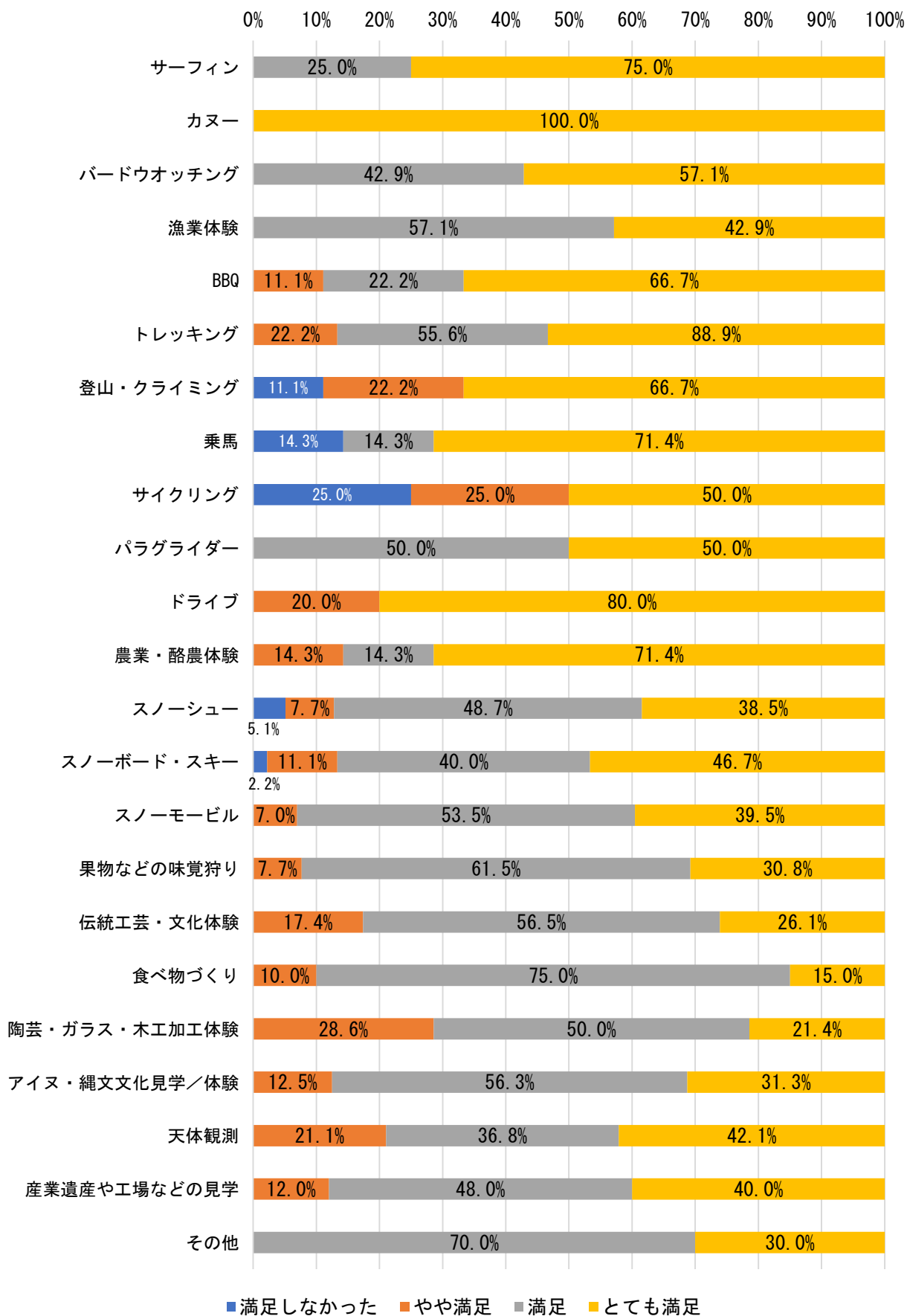
平均滞在費（飛行機代を除く旅行費用）は22万円

< 今回の旅行で体験したコンテンツ（複数回答可） >



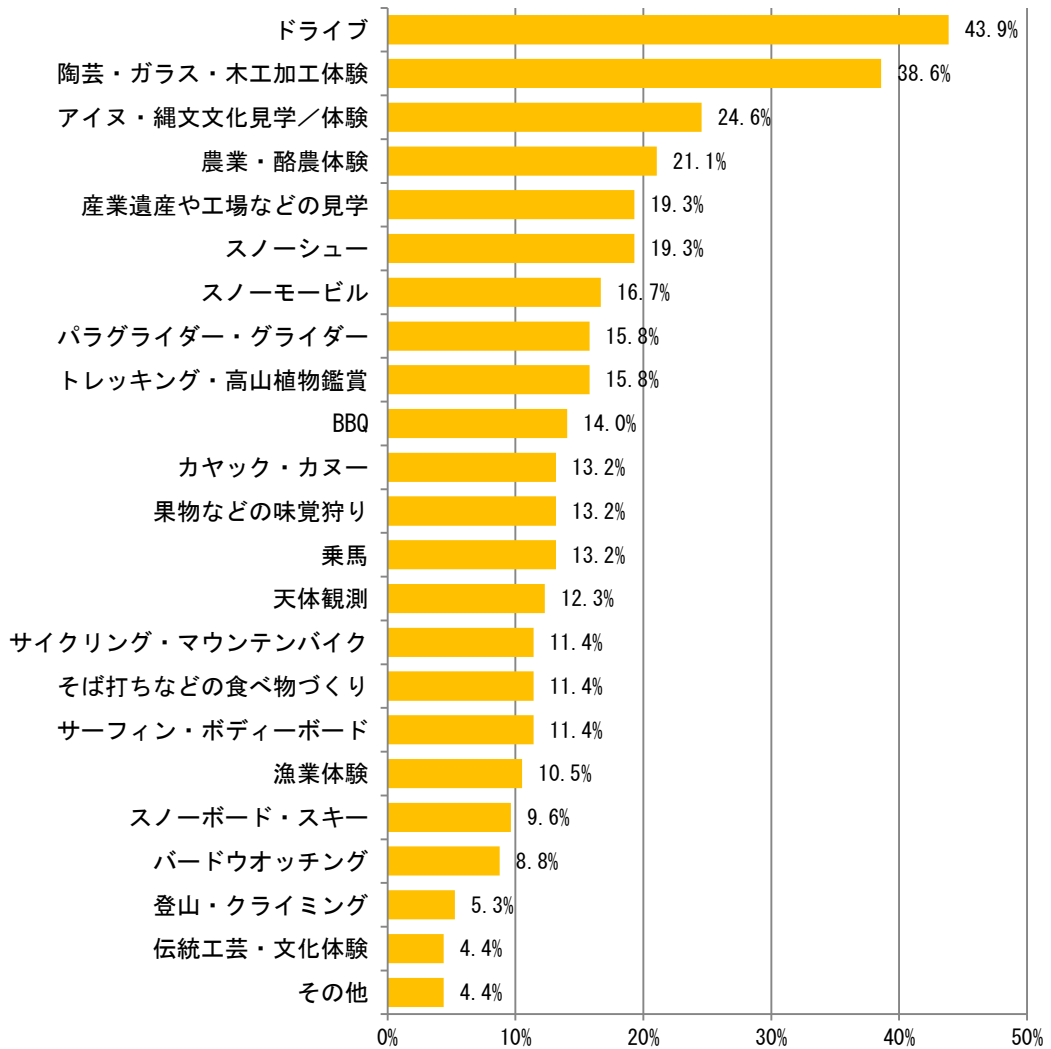
きた北海道に訪れた方の調査結果

<体験したコンテンツの満足度>



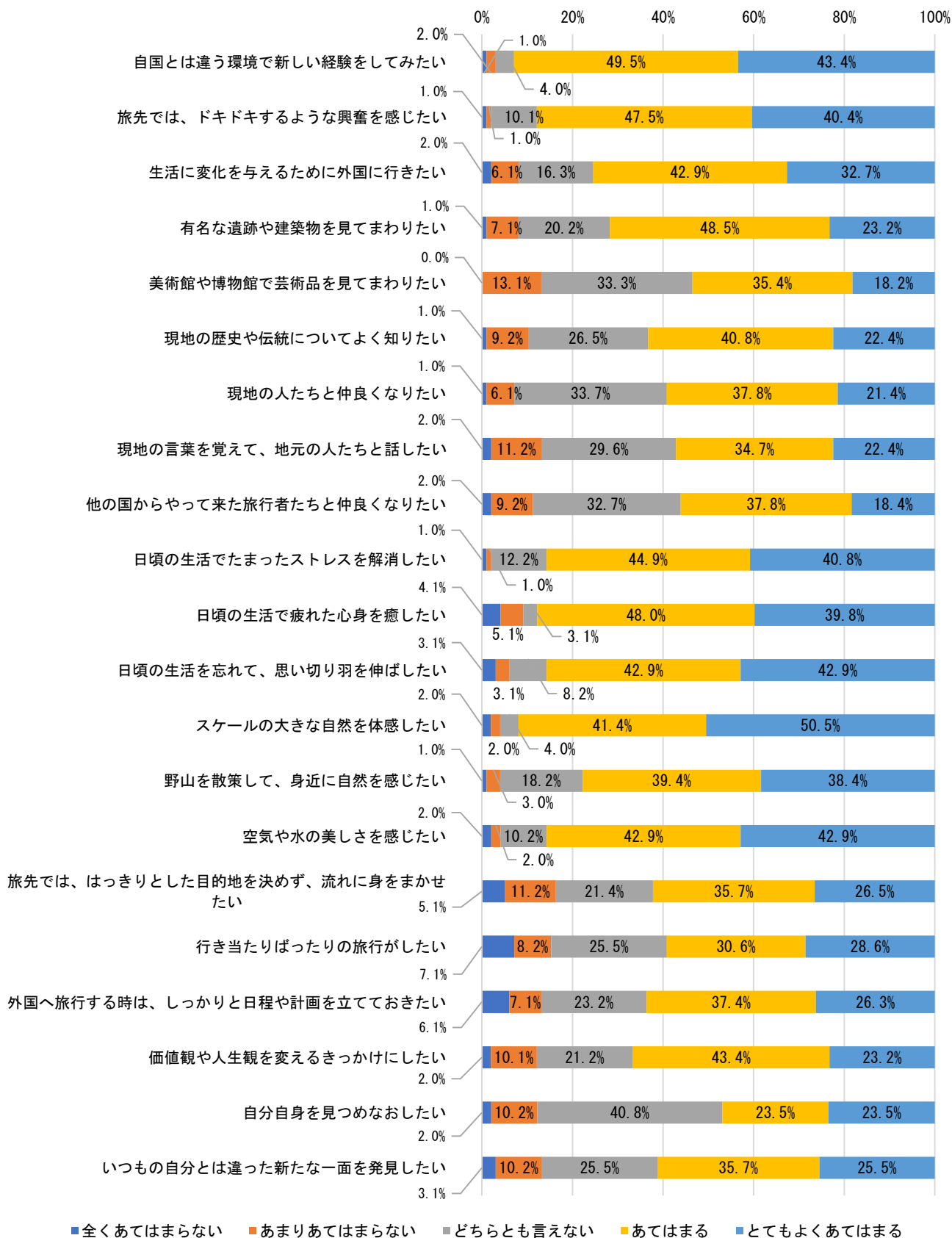
きた北海道に訪れた方の調査結果

<きた北海道にきたときに体験したいコンテンツ（複数回答可）>



きた北海道を訪れた方の調査結果

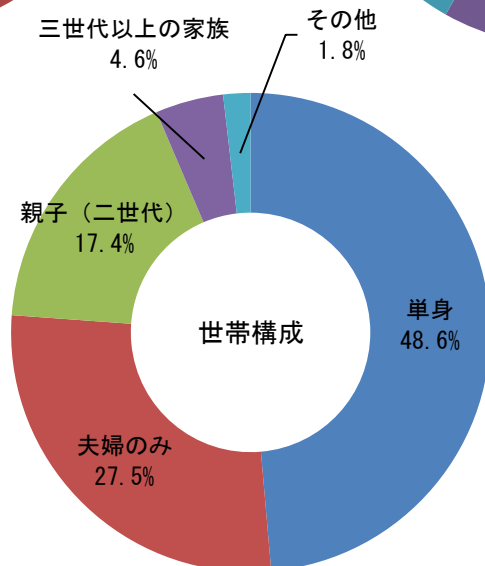
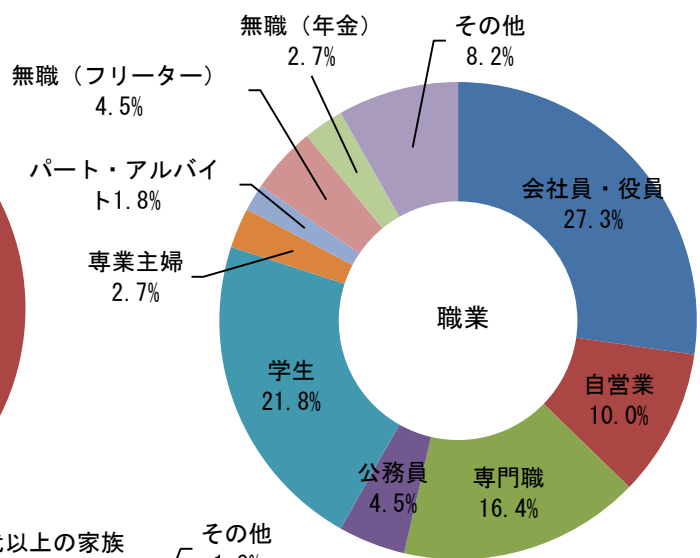
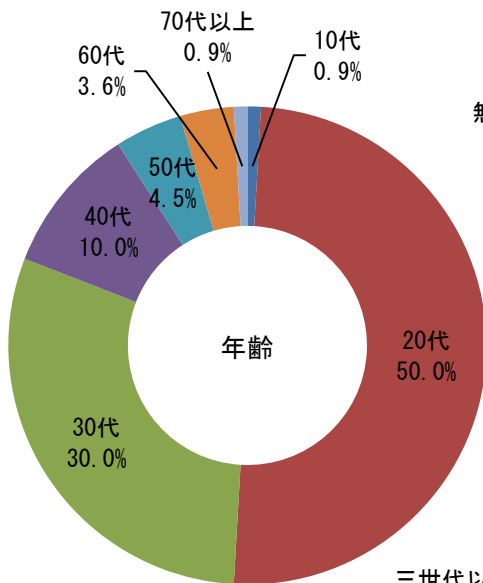
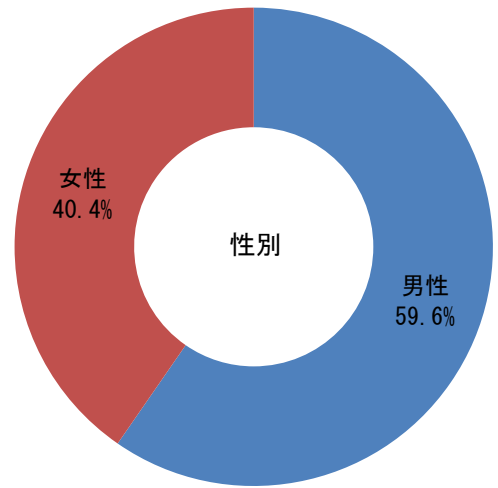
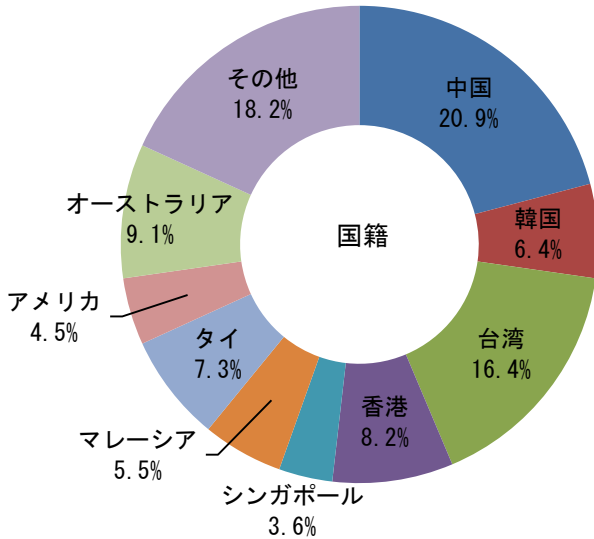
<旅行動機>



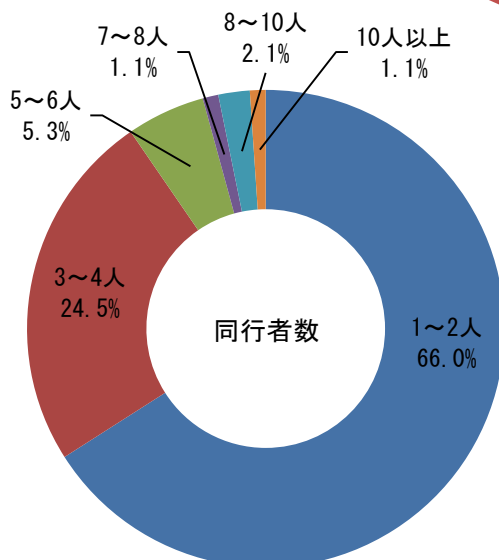
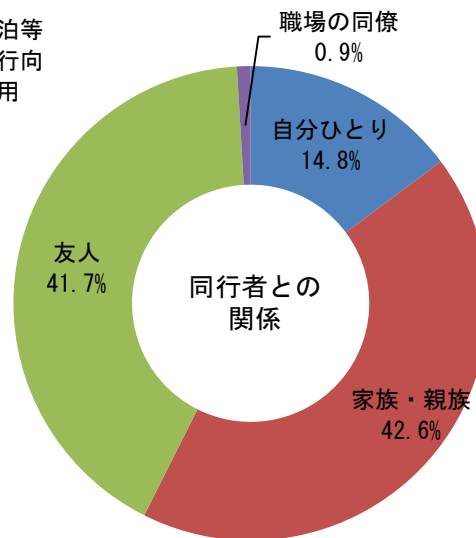
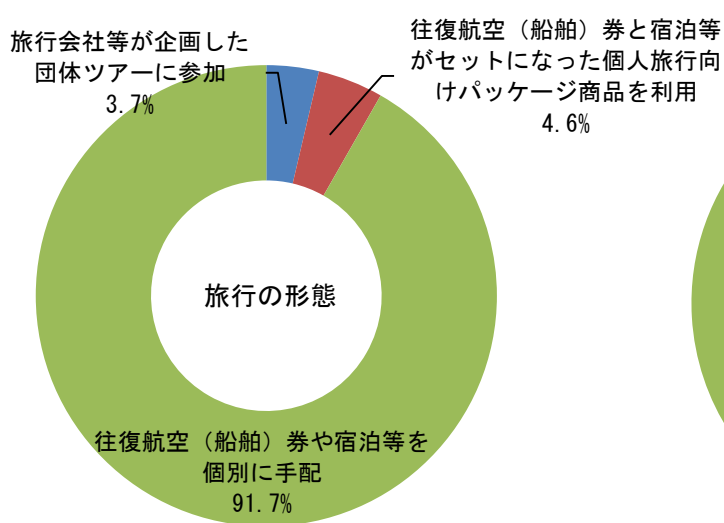
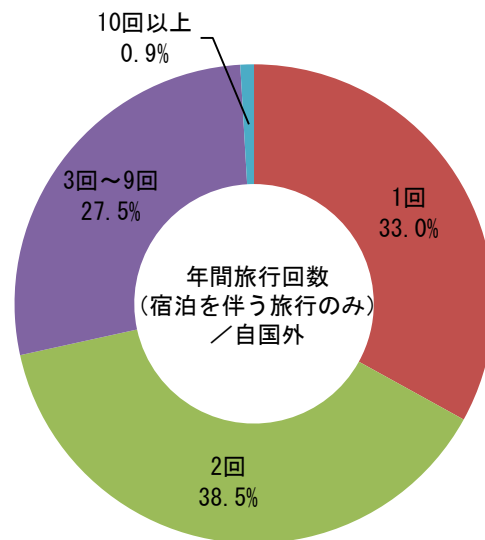
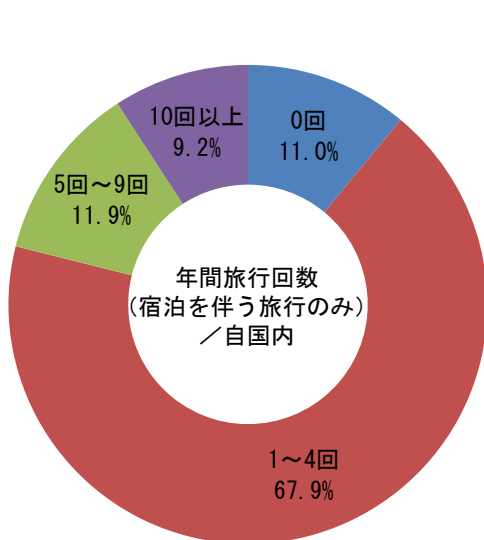
(2) 来道旅行者

来道旅行者の調査結果を以下に示す。

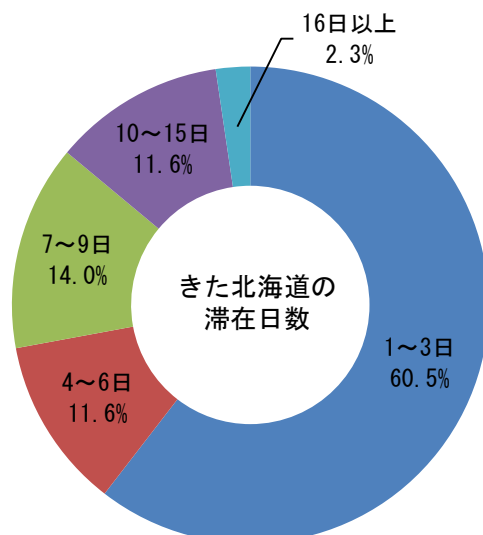
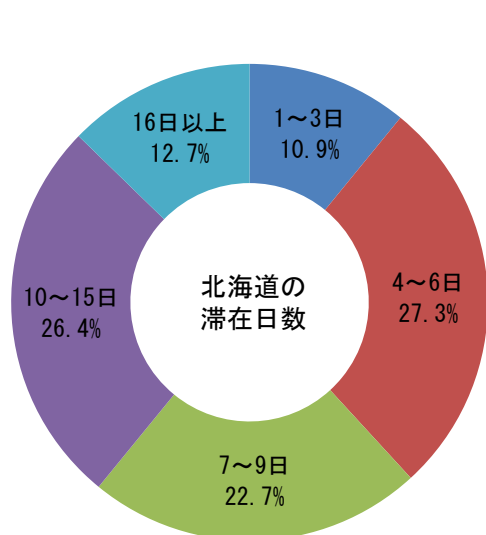
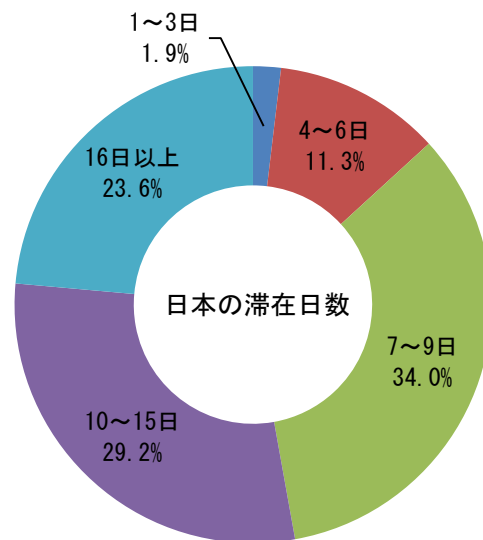
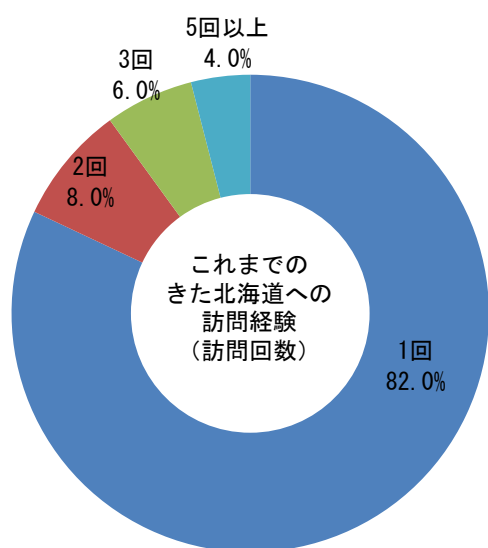
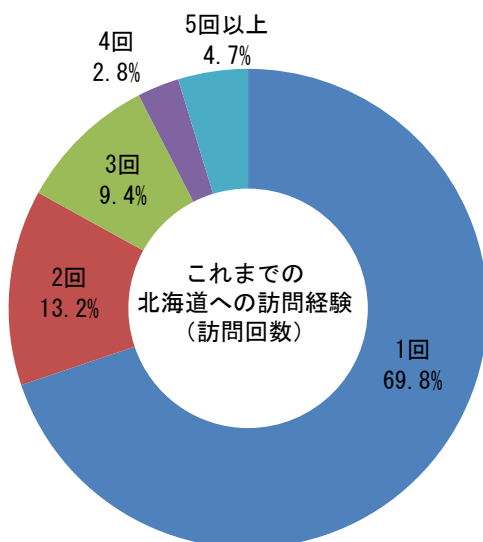
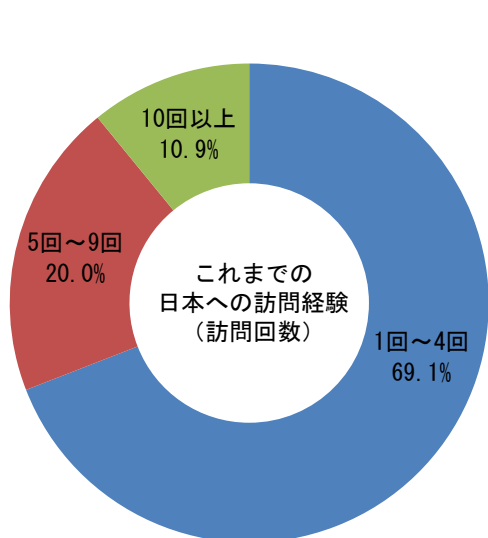
きた北海道以外に訪れた方の調査結果



きた北海道以外に訪れた方の調査結果

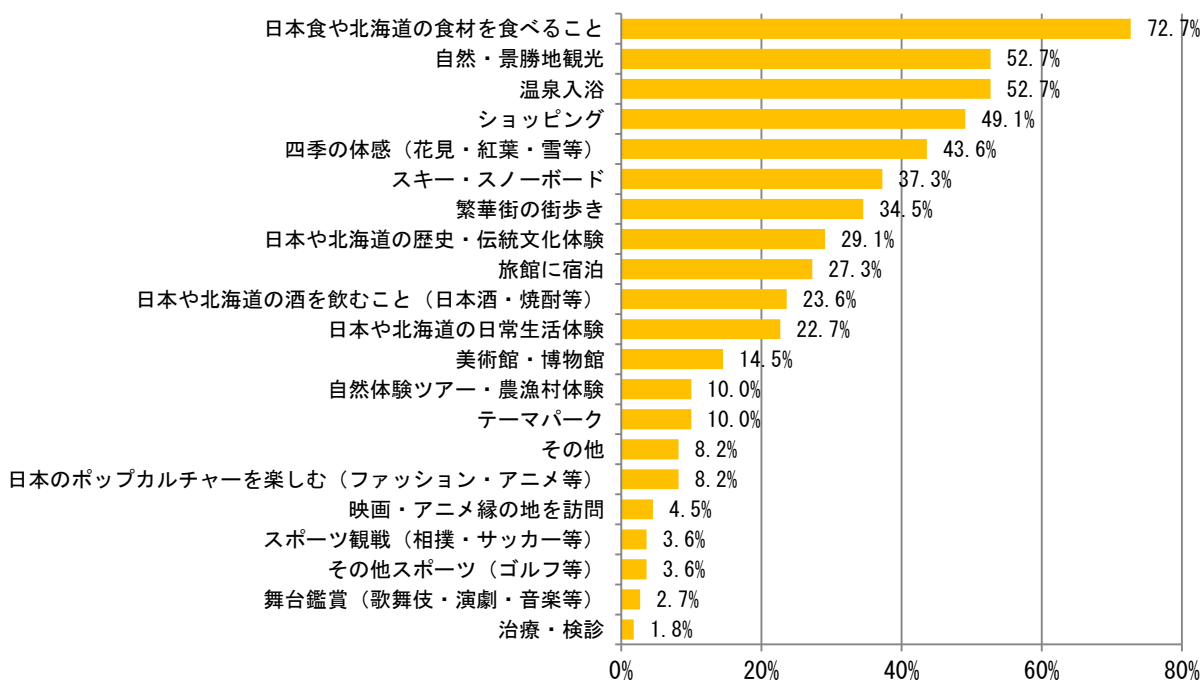


きた北海道以外に訪れた方の調査結果

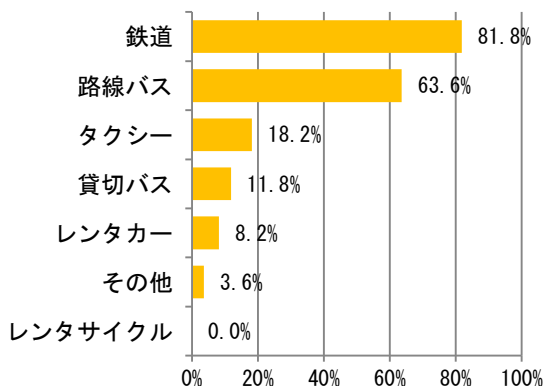


きた北海道以外に訪れた方の調査結果

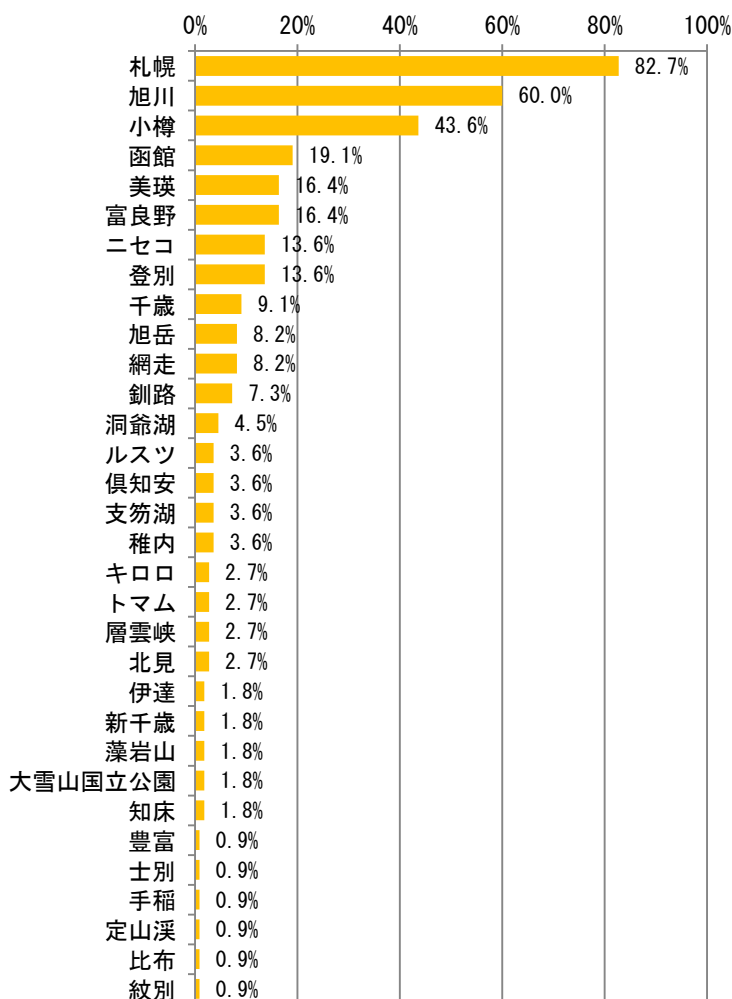
<旅行の目的（複数回答可）>



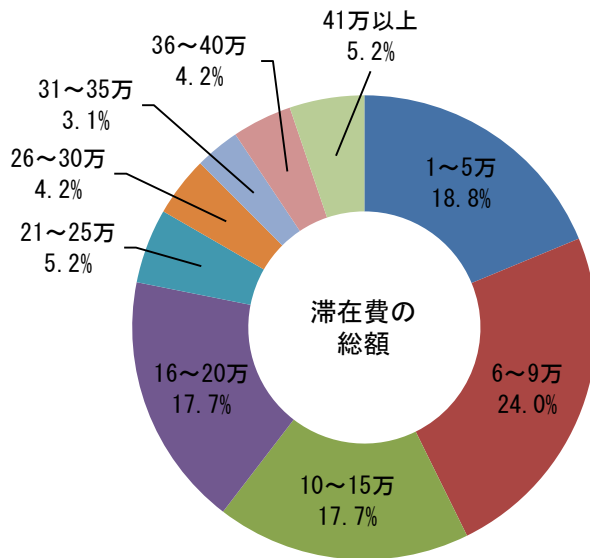
<利用した交通手段（複数回答可）>



<北海道の訪問箇所（複数回答可）>

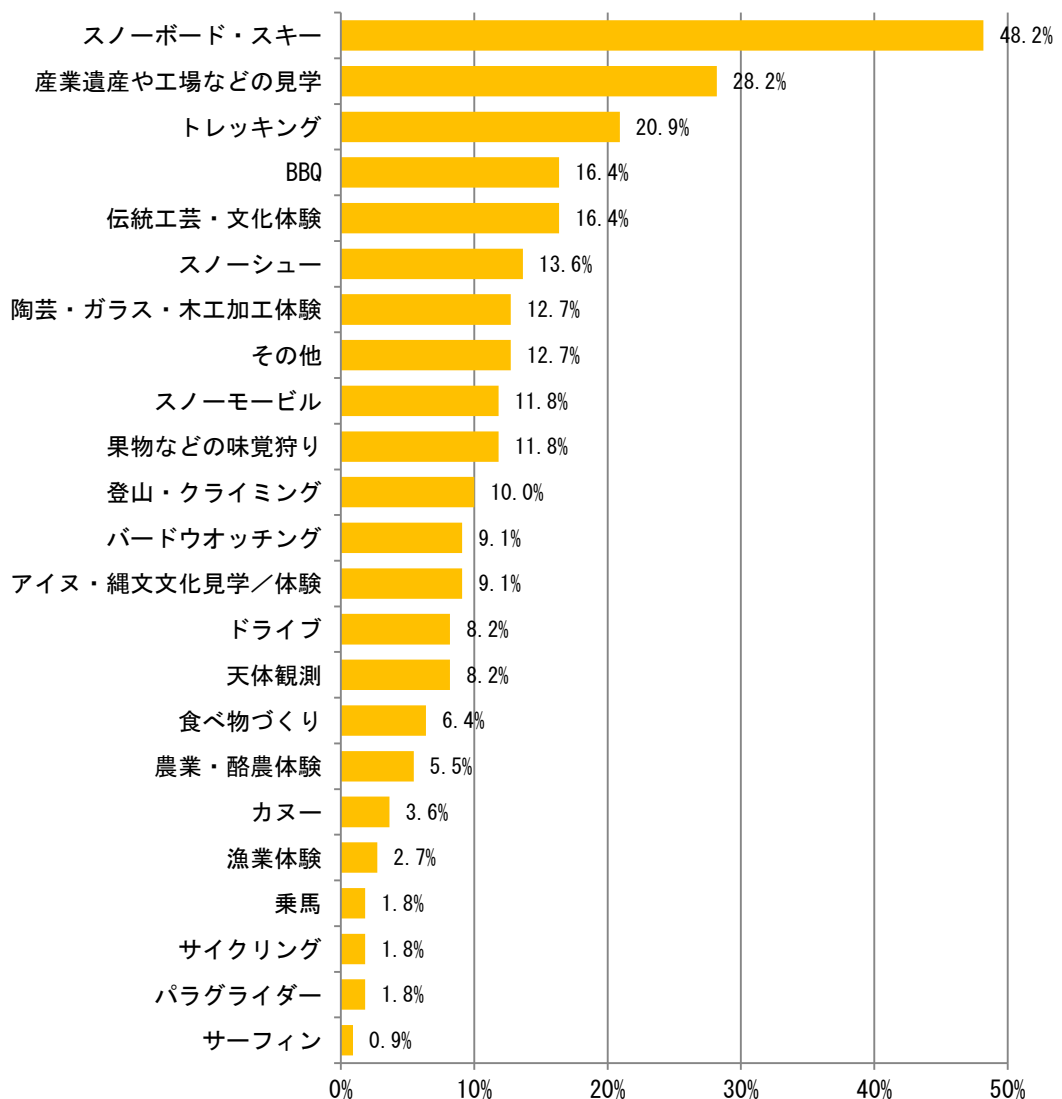


きた北海道以外に訪れた方の調査結果



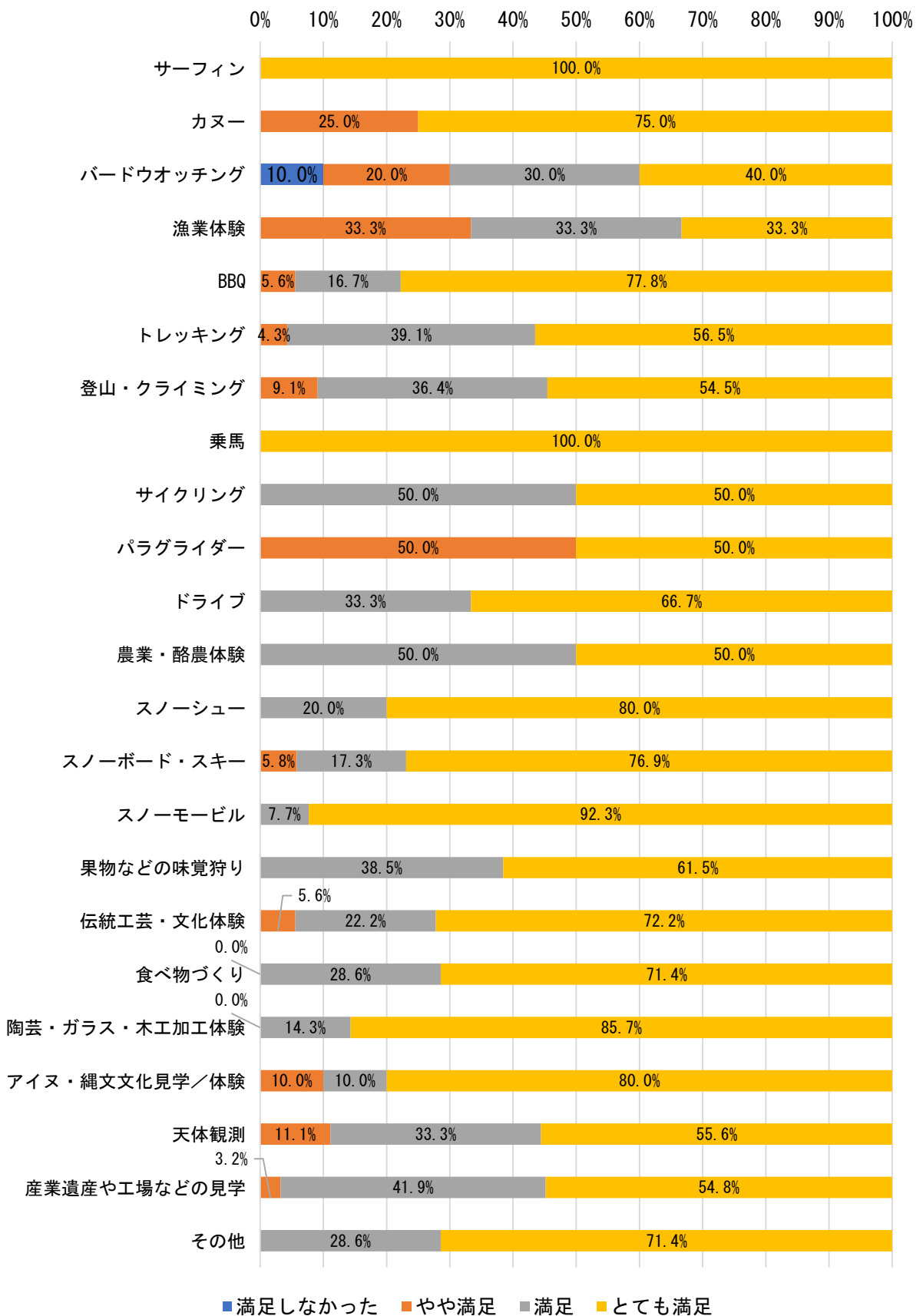
平均滞在費（飛行機代を除く旅行費用）は17万円

< 今回の旅行で体験したコンテンツ（複数回答可） >



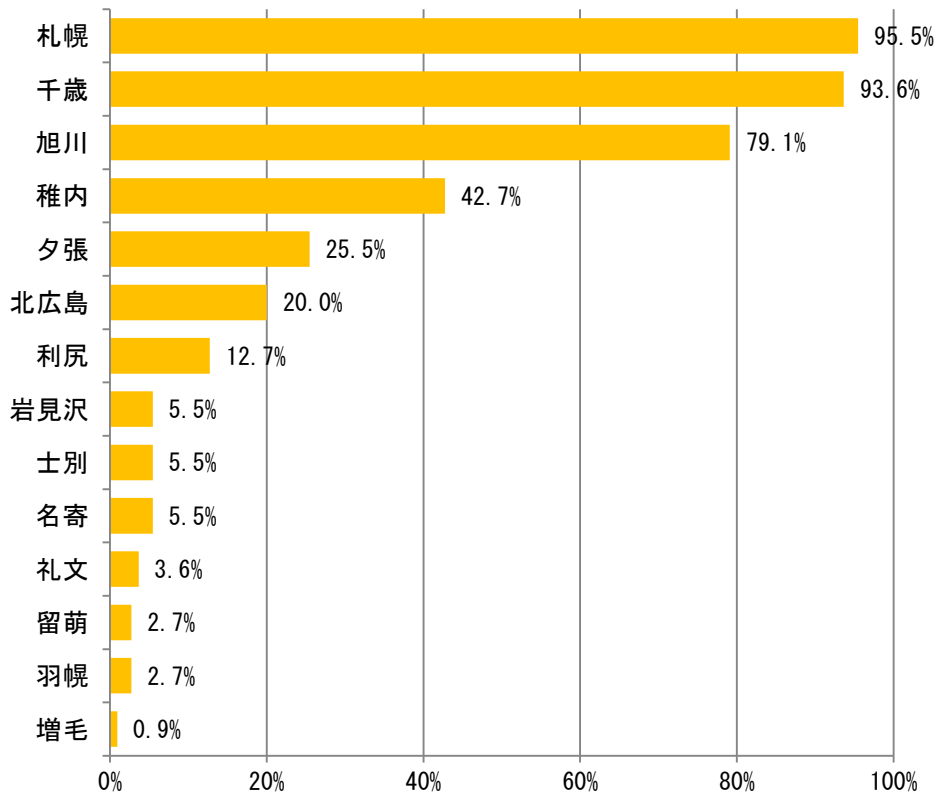
きた北海道以外に訪れた方の調査結果

<体験したコンテンツの満足度>

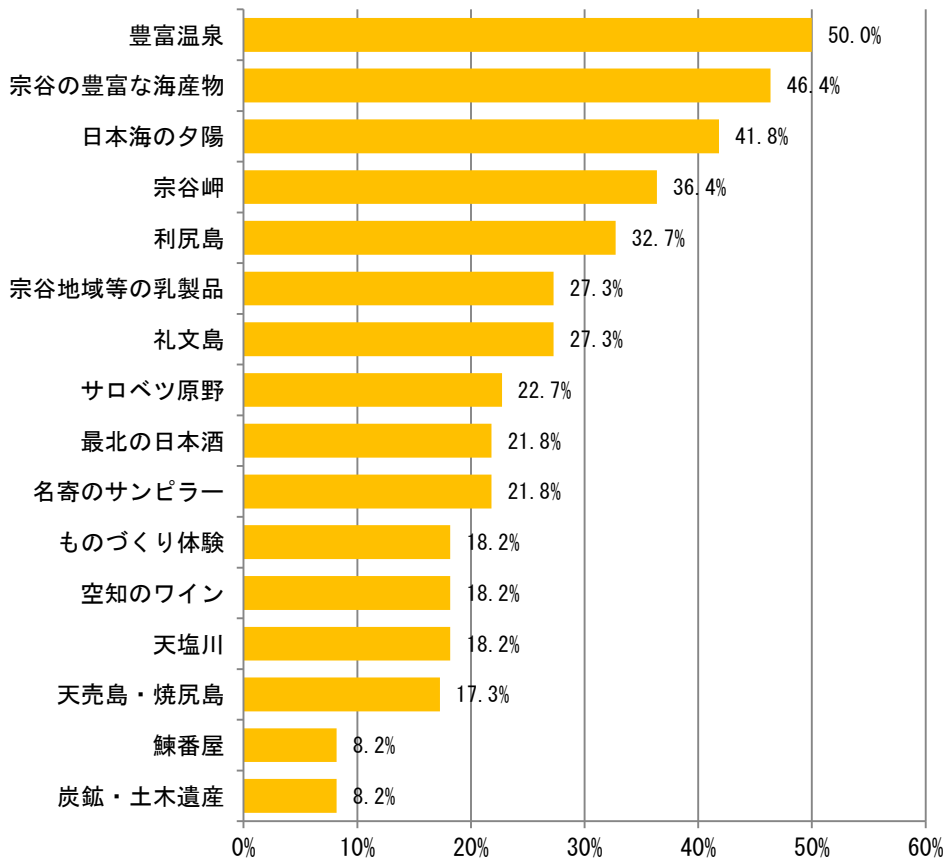


きた北海道以外に訪れた方の調査結果

<きた北海道 地域の認知度（複数回答可）>

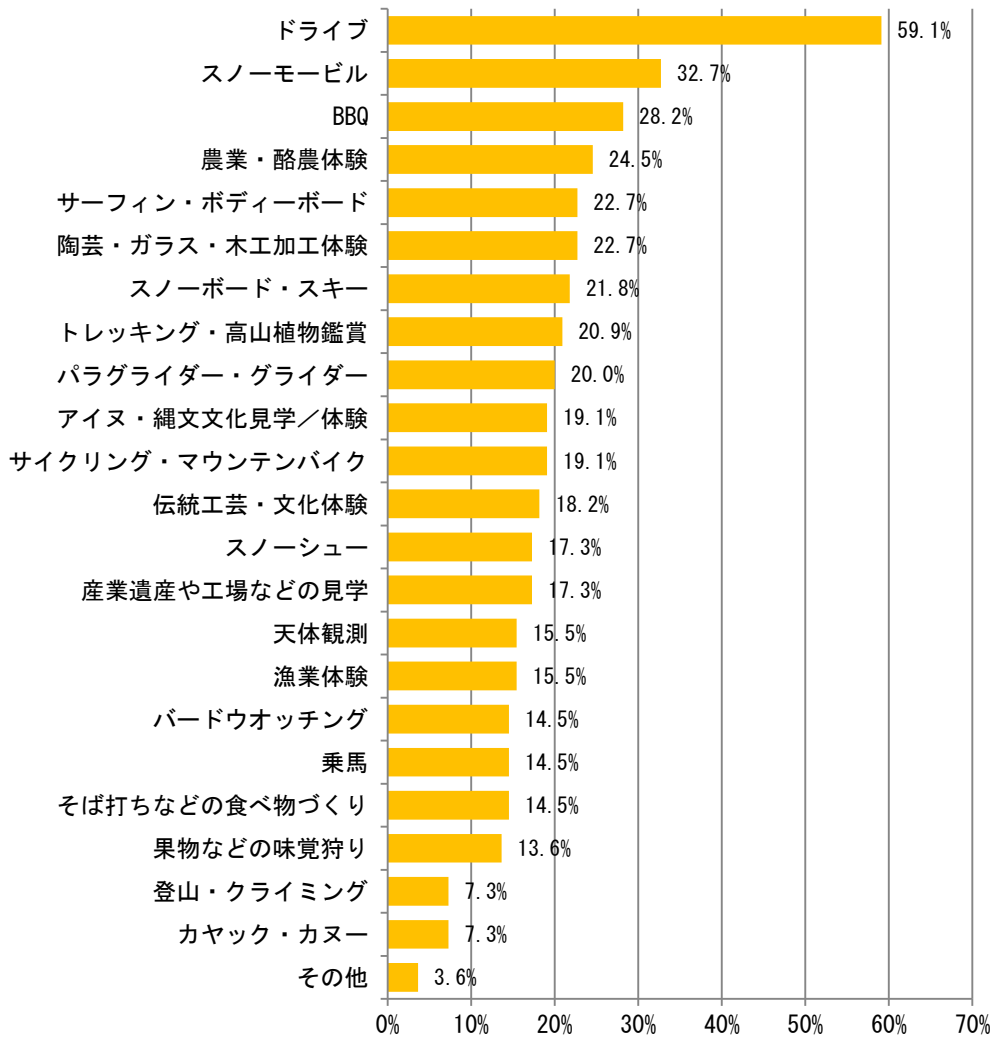


<地図を見て、きた北海道で行ってみたい場所や体験してみたいこと（複数回答可）>



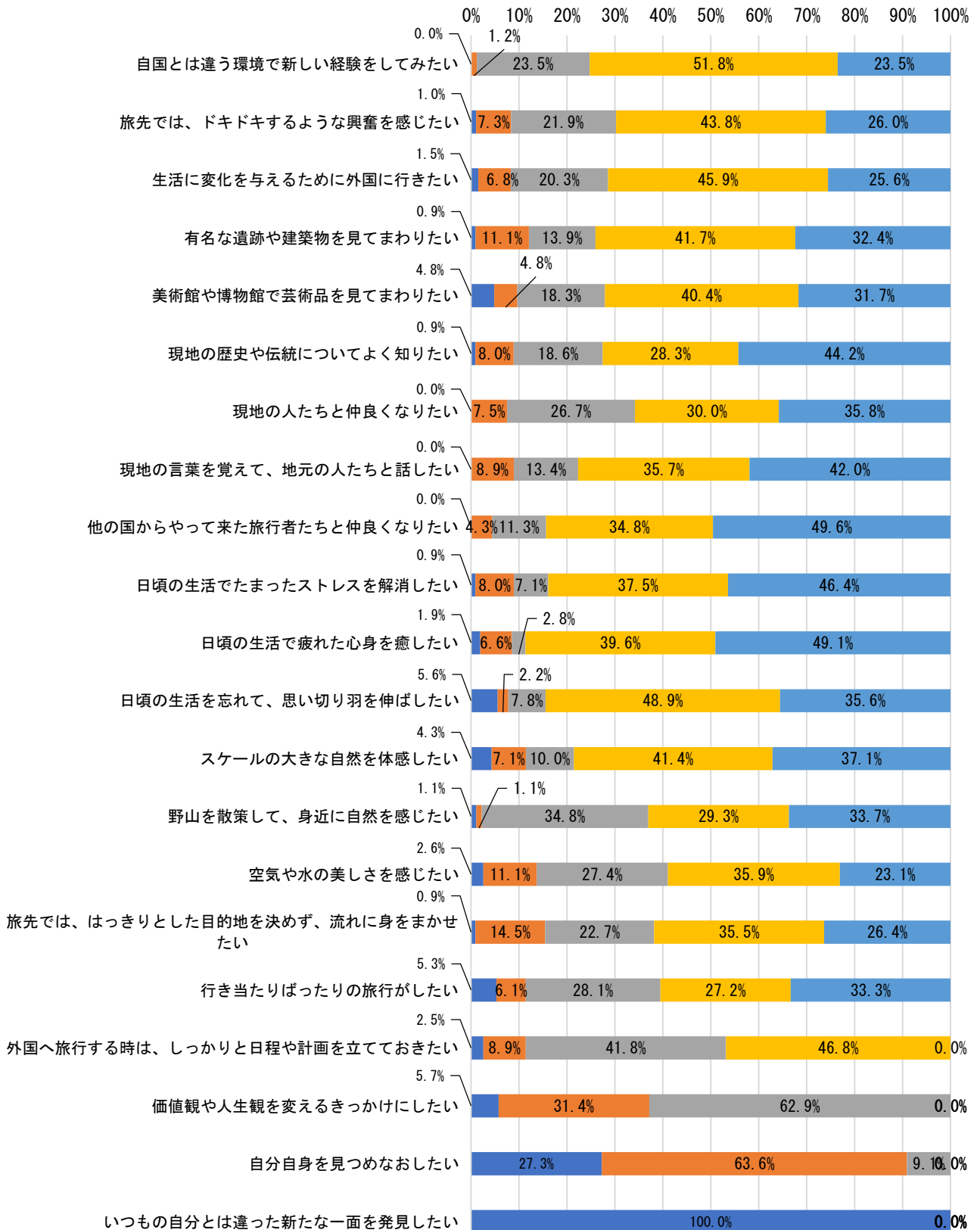
きた北海道以外に訪れた方の調査結果

<きた北海道にきたときに体験したいコンテンツ（複数回答可）>



きた北海道以外に訪れた方の調査結果

<旅行動機>



■ 全くあてはまらない ■ あまりあてはまらない ■ どちらとも言えない ■ あてはまる ■ とてもよくあてはまる

(3) 比較分析

消費額の平均額について、「全体」「来道旅行者」「きた北海道来道者」を比較すると以下のようになった。なお、宿泊費、飲食費、買い物代、交通費、娯楽サービス費、その他費用、合計ごとに、最も高い金額部分を赤、最も少ない金額部分に青を色付けしている。

旅行形態	全体		来道旅行者		きた北海道来訪者	
	全体 n=152	団体旅行 n=14	全体 n=61	個人旅行 n=60	全体 n=91	個人旅行 n=79
宿泊費	¥7,963	¥7,294	¥7,459	¥6,566	¥8,290	¥7,869
飲食費	¥4,366	¥4,439	¥3,892	¥3,216	¥4,683	¥4,635
買い物代	¥4,293	¥5,321	¥5,018	¥3,745	¥3,807	¥3,774
交通費 (道内)	¥3,136	¥876	¥2,770	¥2,371	¥3,381	¥3,738
娯楽サービス費	¥1,481	¥209	¥2,263	¥1,919	¥956	¥1,083
その他費用	¥1,229	¥11,032	¥1,511	¥394	¥1,039	¥110
合計	¥22,797	¥26,248	¥22,157	¥19,043	¥23,227	¥22,674

合計消費額が最も高い属性は、団体旅行となっており、「買い物代」「その他費用」が他よりも高いことから、合計額が高くなっている。しかし、「交通費（道内）」や「娯楽サービス費」については、最も少ない状況にあった。

来道旅行者については、「宿泊費」「飲食費」が最も少ない状況であった。

きた北海道来訪者については、全体として「宿泊費」「飲食費」が高い状況にあるが、「買い物代」は最も少ない。きた北海道来訪者の個人旅行者を見ると、「交通費（道内）」が他と比べると最も高い状況にある。

観光動機の平均点について、全体と個人旅行に対して、きた北海道に訪れた旅行者とそれ以外の旅行者を比べると以下のように整理できる。0.2点以上の差がついた部分に、赤で色付けした。

項目	設問	平均点					
		全体			個人旅行		
		きた北海道来訪者	来道旅行者	点差	きた北海道来訪者	来道旅行者	点差
刺激性	自国とは違う環境で新しい経験をしてみたい	4.32	4.50	-0.18	4.57	4.55	0.03
	旅先では、ドキドキするような興奮を感じたい	4.25	4.41	-0.16	4.48	4.42	0.06
	生活に変化を与えるために外国に行きたい	3.98	4.05	-0.07	4.30	4.11	0.19
文化見聞	有名な遺跡や建築物を見てまわりたい	3.86	3.91	-0.05	4.13	3.93	0.20
	美術館や博物館で芸術品を見てまわりたい	3.59	3.57	0.02	3.65	3.57	0.08
	現地の歴史や伝統についてよく知りたい	3.74	3.97	-0.23	4.06	3.99	0.07
現地交流	現地の人たちと仲良くなりたい	3.72	3.97	-0.25	3.91	4.01	-0.10
	現地の言葉を覚えて、地元の人たちと話したい	3.64	3.96	-0.32	3.79	4.00	-0.21
	他の国からやって来た旅行者たちと仲良くなりたい	3.61	3.82	-0.21	3.60	3.84	-0.23
健康回復	日頃の生活でたまったストレスを解消したい	4.23	4.21	0.03	4.36	4.24	0.12
	日頃の生活で疲れた心身を癒したい	4.14	4.06	0.09	4.17	4.05	0.12
	日頃の生活を忘れて、思い切り羽を伸ばしたい	4.19	4.09	0.10	4.19	4.08	0.11
自然体感	スケールの大きな自然を体感したい	4.36	4.38	-0.02	4.57	4.37	0.20
	野山を散策して、身近に自然を感じたい	4.11	4.30	-0.19	4.31	4.28	0.04
	空気や水の美しさを感じたい	4.22	4.32	-0.09	4.39	4.31	0.08
意外性	旅先では、はっきりとした目的地を決めず、流れに身をまかせたい	3.67	3.73	-0.06	3.74	3.76	-0.03
	行き当たりばったりの旅行がしたい	3.65	3.48	0.18	3.55	3.52	0.03
	外国へ旅行する時は、しっかりと日程や計画を立てておきたい	3.76	3.87	-0.11	3.85	3.86	-0.00
自己拡大	価値観や人生観を変えるきっかけにしたい	3.71	3.67	0.03	3.72	3.64	0.08
	自分自身を見つめなおしたい	3.56	3.77	-0.21	3.77	3.76	0.01
	いつもの自分とは違った新たな一面を発見したい	3.70	3.93	-0.23	3.89	3.94	-0.05

全体でみると、きた北海道来訪者は現地交流や自己拡大で、点数が低くなっている。一方で、個人旅行者では、「有名な遺跡や建築物を見てまわりたい」という動機が強い。

3設問で1つの動機を図る調査となっており、7つの動機ごとに平均点数を整理し、全体と個人旅行を比較すると以下ようになる。

項目	平均点					
	全体			個人旅行		
	きた北海道来訪者	来道旅行者	点差	きた北海道来訪者	来道旅行者	点差
刺激性	4.19	4.32	-0.14	4.45	4.36	0.09
文化見聞	3.73	3.81	-0.09	3.94	3.83	0.11
現地交流	3.66	3.92	-0.26	3.77	3.95	-0.18
健康回復	4.19	4.12	0.07	4.24	4.12	0.12
自然体感	4.23	4.33	-0.10	4.43	4.32	0.11
意外性	3.69	3.69	0.00	3.71	3.71	0.00
自己拡大	3.66	3.79	-0.13	3.79	3.78	0.01

動機別にみると「現地交流」については、きた北海道来訪者はきた北海道以外に訪れている旅行者より低い点数となっている。また、きた北海道来訪者の個人旅行を見ると、「文化見聞」「健康回復」「自然体感」について、点数が高くなっている。

2. 「きた北海道」 夏季宿泊者追跡アンケート調査

今年度実施した「きた北海道来訪者外国人アンケート調査」は、冬季の調査となっていることから、夏季にきた北海道を訪れたことのある外国人旅行者に対してアンケート調査を実施し、実際に夏季を訪れた方のニーズや意向を把握する。

2-1 調査概要

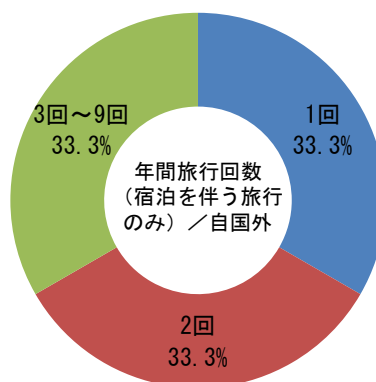
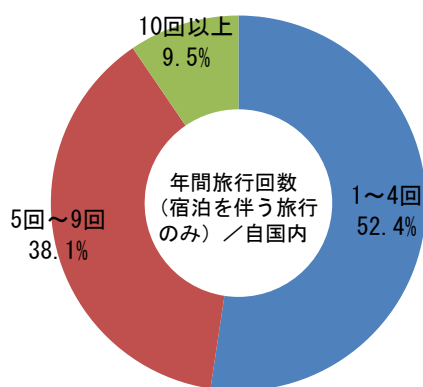
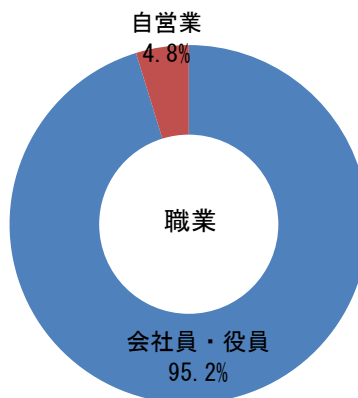
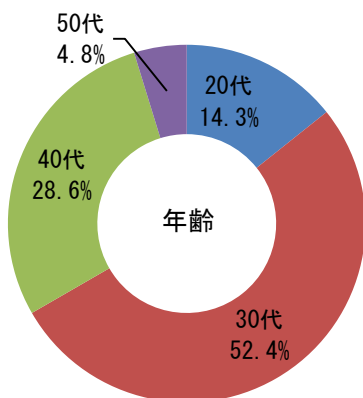
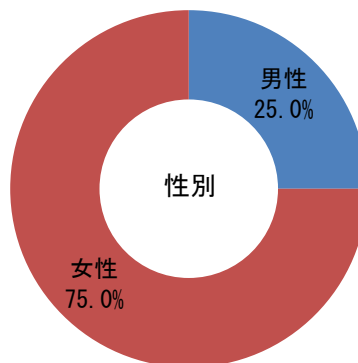
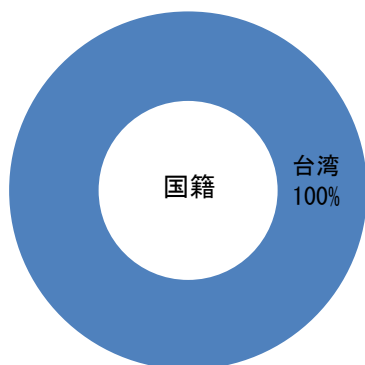
「きた北海道」夏季宿泊者追跡アンケート調査は、ホテルや旅行会社などに協力を仰ぎ、きた北海道に夏季滞在したことのある旅行者にメールにてアンケートをお送りし、回答頂いた。

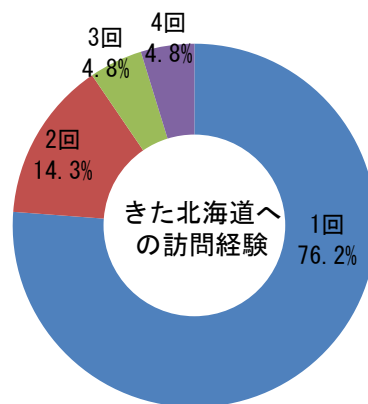
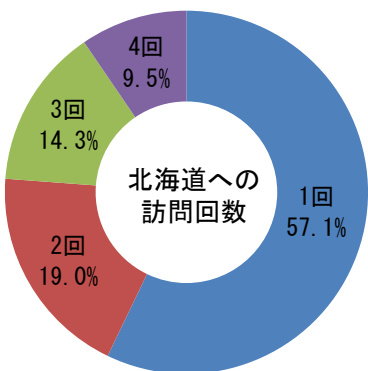
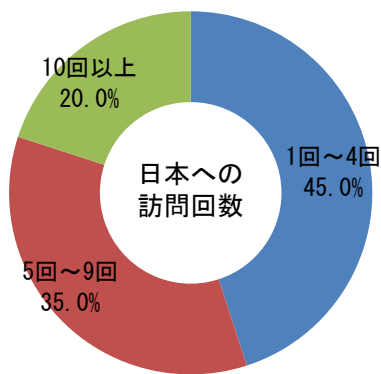
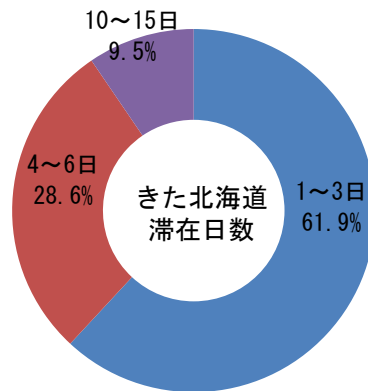
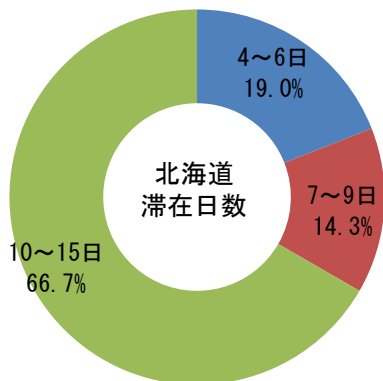
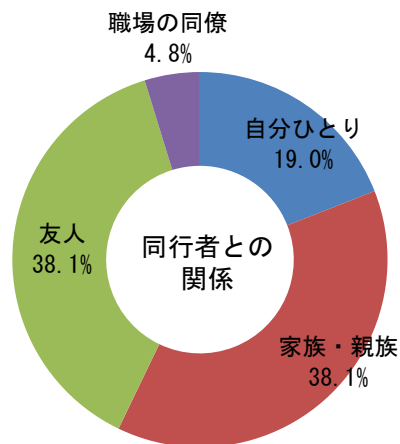
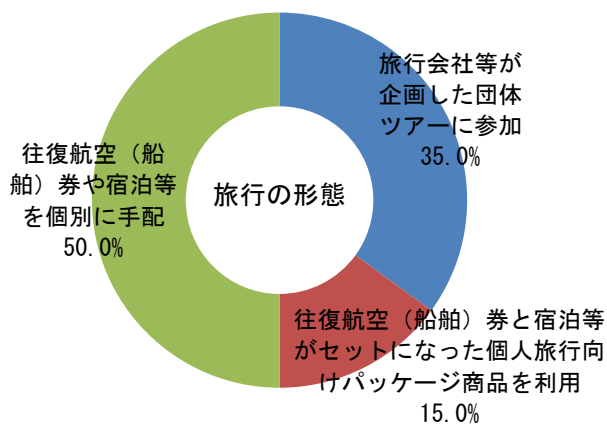
調査の概要は以下の通りである。

調査目的	夏季にきた北海道に滞在したことがある外国人旅行者の「来訪地」や「消費額」や「満足度」、「旅行動機」などを把握する	
調査手法	きた北海道の宿泊施設やきた北海道へのツアー催行実績のある旅行会社に協力頂き、外国人旅行者へメールにてアンケートを依頼	
調査票	A3両面	
言語	中国語（繁体字）、英語	
回収サンプル数	21件	
設問	目的	設問
	個人属性	<ul style="list-style-type: none"> ・国籍 ・性別 ・年齢 ・職業 ・世帯構成 ・世帯年収 ・年間の旅行回数
	基本的な旅行に関する状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の旅行形態 ・同行者、人数 ・来訪日程 ・訪日回数 ・来道回数 ・旅行目的
	きた北海道の旅行地や消費額の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問地 ・道内で利用する交通機関 ・道内での1人あたりの消費額 ・今回の旅行で体験するコンテンツと満足度
	きた北海道の認知度とニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・広域観光拠点地区の認知度 ・きた北海道で訪れたい場所
	体験コンテンツのニーズと観光動機の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・きた北海道で体験したことのあるコンテンツ ・旅行動機
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自由意見

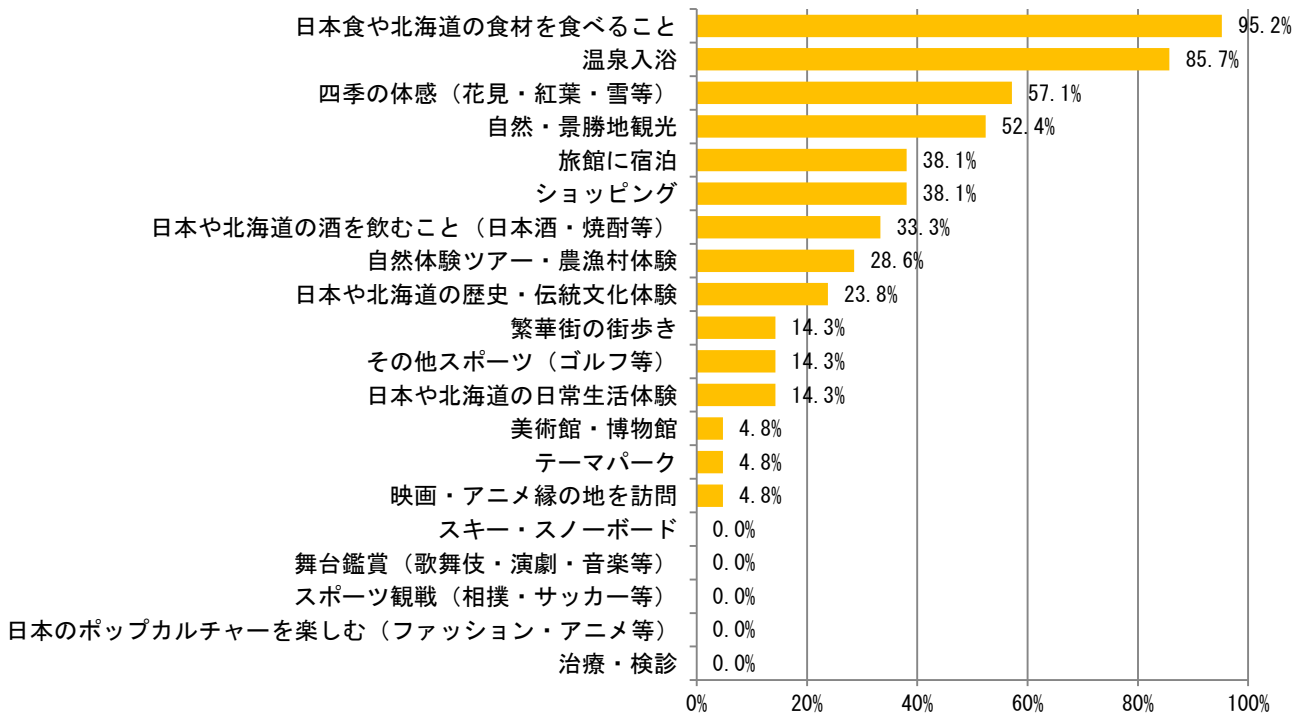
2-2 調査結果

きた北海道夏季宿泊者追跡アンケート調査の結果を以下に示す。

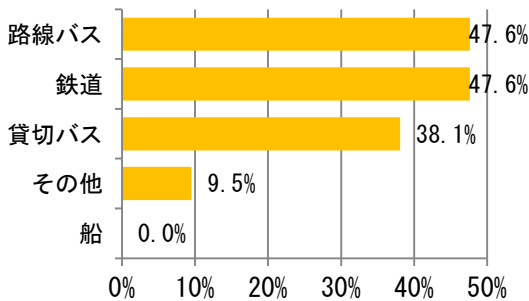




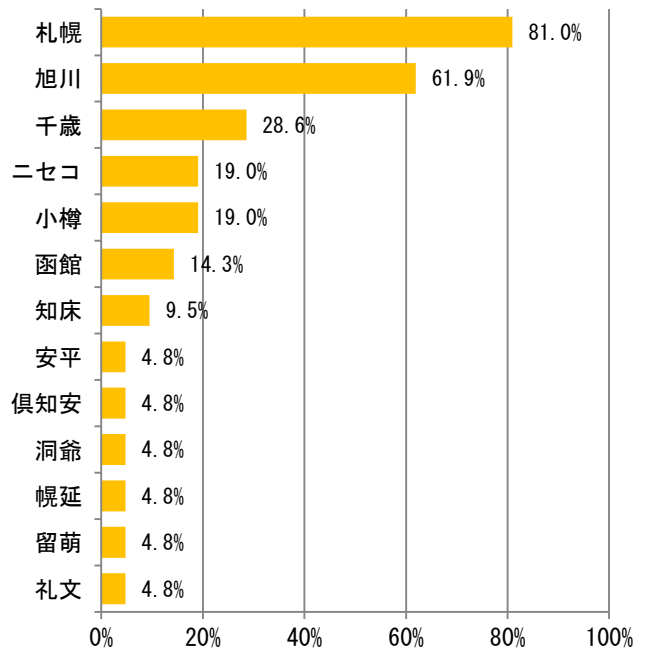
<旅行の目的（複数回答可）>



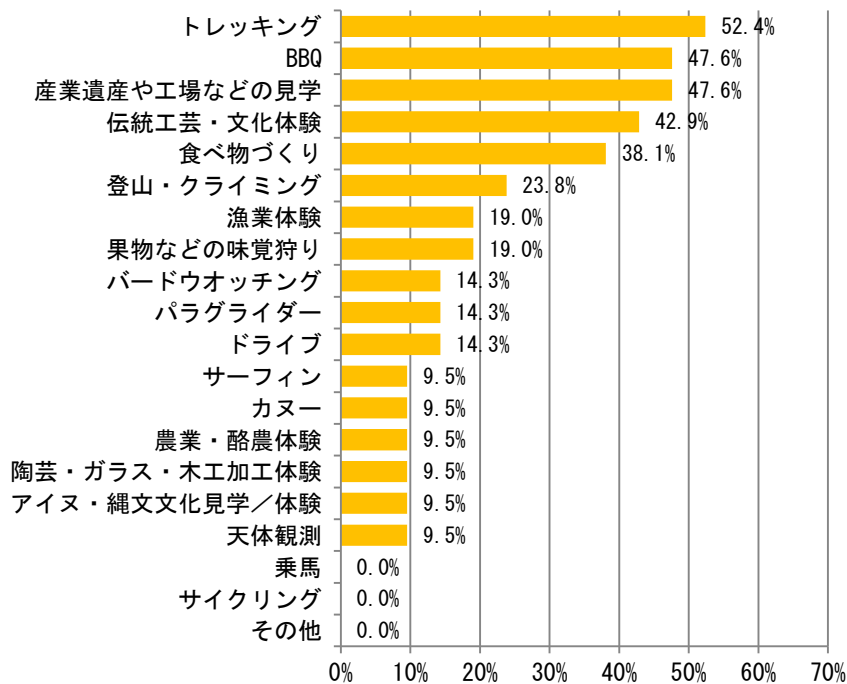
<利用した移動手段（複数回答可）>



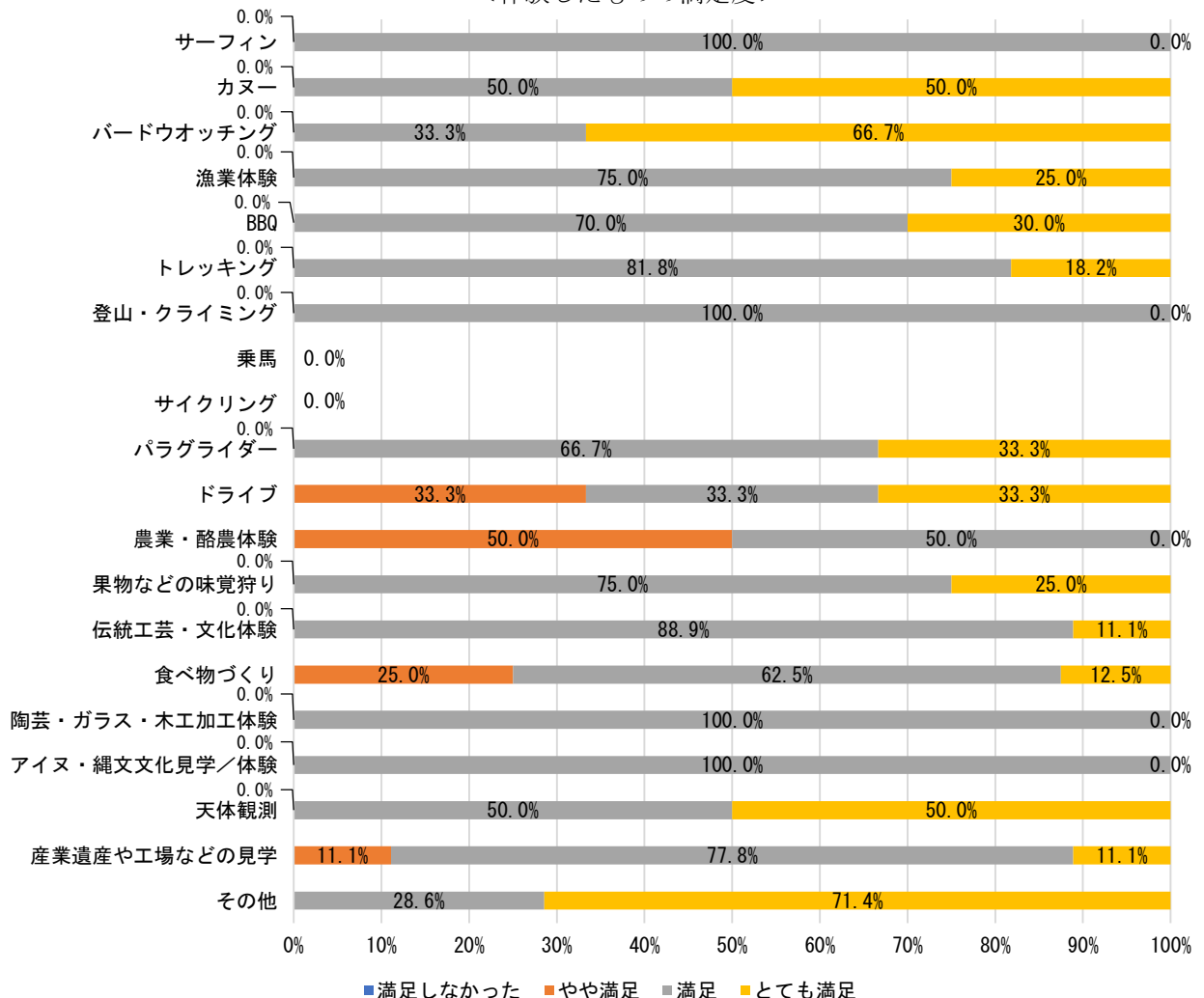
<稚内以外の立寄り箇所（複数回答可）>



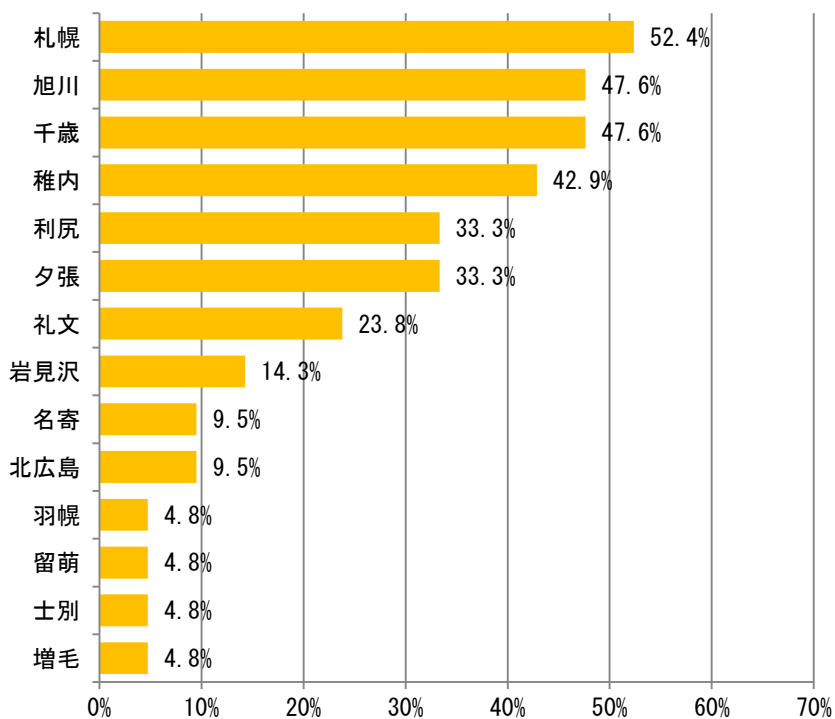
<旅行中に体験したもの（複数回答可）>



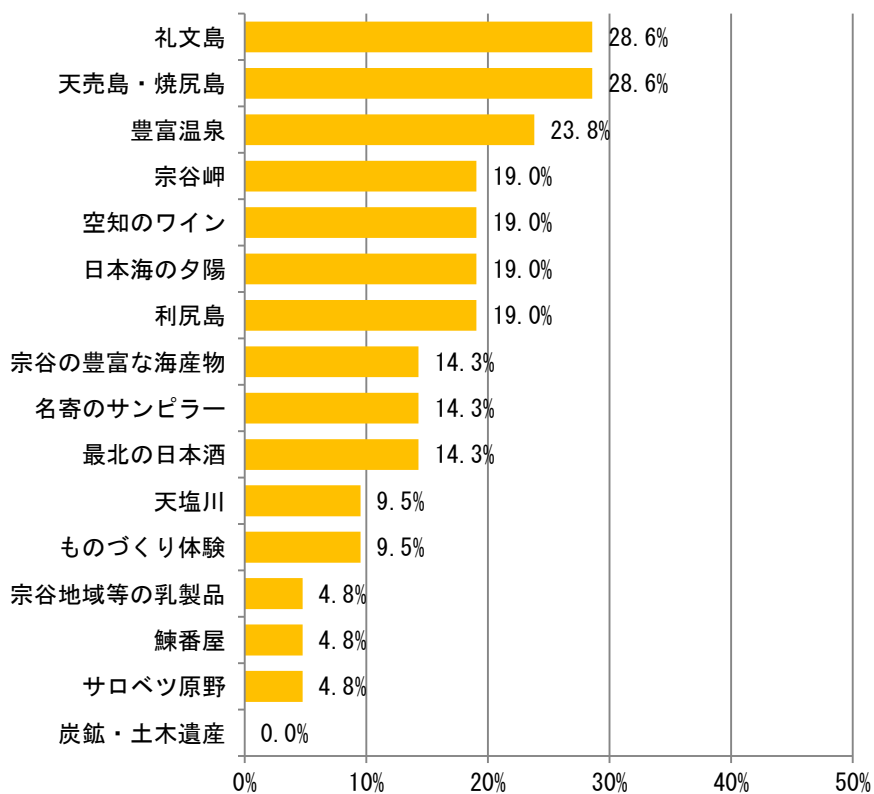
<体験したものの満足度>



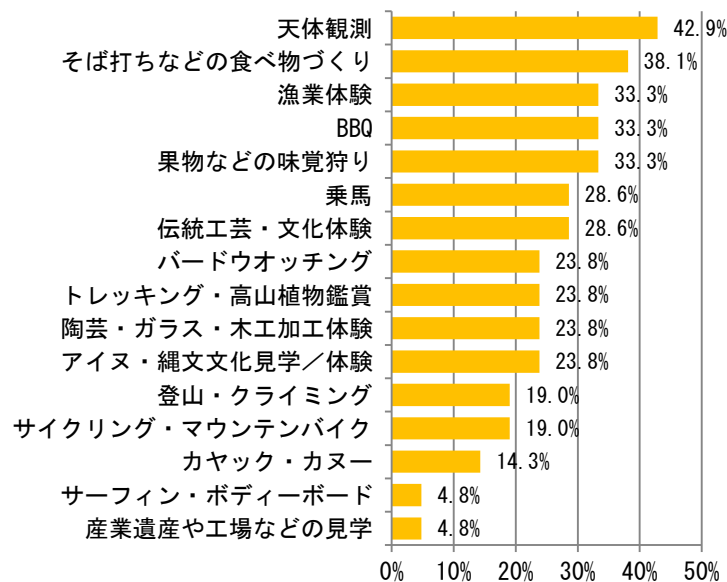
< 広域観光拠点地区の認知度（複数回答可） >



< きた北海道で体験したいこと・行きたい場所（複数回答可） >



<きた北海道で体験してみたいこと（複数回答可）>



<旅行者の平均消費額>

項目	1泊又は1日あたりの平均額
宿泊費	¥15,174
飲食費	¥4,080
買い物代	¥1,401
交通費（道内）	¥2,470
娯楽サービス費	¥1,721
その他費用	¥1,387
合計	¥25,603

<観光の動機（設問ごとの平均）>

項目	設問	平均点
刺激性	自国とは違う環境で新しい経験をしてみたい	3.86
	旅先では、ドキドキするような興奮を感じたい	3.90
	生活に変化を与えるために外国に行きたい	3.86
文化見聞	有名な遺跡や建築物を見てまわりたい	3.76
	美術館や博物館で芸術品を見てまわりたい	3.48
	現地の歴史や伝統についてよく知りたい	3.90
現地交流	現地の人たちと仲良くなりしたい	3.62
	現地の言葉を覚えて、地元の人たちと話したい	3.67
	他の国からやって来た旅行者たちと仲良くなりしたい	3.86
健康回復	日頃の生活でたまったストレスを解消したい	4.19
	日頃の生活で疲れた心身を癒したい	4.14
	日頃の生活を忘れて、思い切り羽を伸ばしたい	4.05
自然体感	スケールの大きな自然を体感したい	3.95
	野山を散策して、身近に自然を感じたい	3.95
	空気や水の美しさを感じたい	3.90
意外性	行き当たりばったりの旅行がしたい	3.24
	外国へ旅行する時は、しっかりと日程や計画を立てておきたい	4.05
自己拡大	価値観や人生観を変えるきっかけにしたい	3.57
	自分自身を見つめなおしたい	3.67
	いつもの自分とは違った新たな一面を発見したい	4.05

<観光の動機（項目ごとの平均）>

項目	平均点
刺激性	3.87
文化見聞	3.71
現地交流	3.71
健康回復	4.13
自然体感	3.94
意外性	3.63
自己拡大	3.76

3. 特定目的分野ガイド事業者向けヒアリング調査

きた北海道のアウトドア・自然、芸術、文化などの特定目的分野への外国人旅行者の実態や今後の可能性を把握するため、きた北海道エリアで活躍するガイドや事業者に聞き取り調査を行った。

3-1 調査概要

「バックカントリースキー」「登山・トレッキング」「バードウォッチング」「カヌー」などガイド・事業者を抽出し、ヒアリングを実施した。インターネットや既存文献等を活用し、きた北海道で活躍するガイド・事業者を抽出した上で、対面式等でヒアリングを実施した。

(1) ガイド・事業者の抽出

全道的に比べても、きた北海道で活躍するガイドは少ない状況にあるが、インターネットや既存文献等を活用し、以下のガイド・事業者をヒアリング対象として抽出した。

北海道認定ガイドに登録されている事業者は、以下の通りである。

区域	市町村	事業者名
宗谷	利尻富士町	利尻島ガイドセンター
宗谷	利尻富士町	利尻はなガイドクラブ
宗谷	利尻富士町	まるぜん観光(株)利尻自然ガイドサービス
宗谷	礼文町	礼文島自然ガイド
上川中部	旭川市	クラークホースガーデン
上川中部	旭川市	大雪山倶楽部
上川中部	美瑛町	有限会社 山川海舎 ガイドの山小屋事業部
上川中部	東川町	旭岳ビジターセンター
上川中部	東川町	山樂舎BEAR
上川中部	東川町	Natures
上川中部	東川町	大雪山ネイチャーガイド(塩谷秀和)
空知	北広島	北広島乗馬クラブ
空知	栗山	ガイドピリカ
石狩	夕張	ゆうばり自然体験塾
石狩	札幌	札幌山岳ガイドセンター
石狩	札幌	石狩ホーストレック
石狩	札幌	秀岳荘 白石店
石狩	札幌	秀岳荘 北大店
石狩	札幌	ノマド
石狩	札幌	Life Styling abmi
石狩	札幌	アミューズスポーツ
石狩	札幌	mini MOON FLOWER
石狩	札幌	山旅倶楽部「山歩好」
石狩	札幌	りんゆう観光
石狩	札幌	山岳ガイド GAO
石狩	札幌	自然ウォッチングセンター
石狩	札幌	札幌市定山溪自然の村
石狩	千歳	支笏ガイドハウス かのあ
石狩	江別	野幌森林公園自然ふれあい交流館
石狩	江別	ハローポーター

(2) ヒアリング項目等の検討

きた北海道で活躍しているガイド及び人材リストから、各エリア数名をヒアリング対象として選定し、ヒアリングを実施した

以下の項目によりヒアリングを実施した。

項目	設問内容
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> 会社名 担当者名 (所属・氏名) 住所 電話 ファックス メール 設立年 従業員数 顧客数
実施しているプログラムやメニューの内容	<ul style="list-style-type: none"> 主な商品やプログラム、メニューなど 最近人気の商品やプログラム、メニュー等 主な販売方法 年間利用者数や利用者の属性等 (利用者数/主に利用者の属性)
きた北海道に関わる商品やインバウンドの状況	<ul style="list-style-type: none"> きた北海道の状況 (商品の有無、状況) 外国人旅行者への対応状況及び今後の予定 (対応状況/今後の予定)
広域観光周遊ルートコンテンツの可能性等	<ul style="list-style-type: none"> 外国人旅行者に人気又は人気が出そうな商品やプログラム等 今後取組みたいこと きた北海道の外国人旅行者受入に期待されること その他

きた北海道の体験観光に関するヒアリング

平成28年6月に広域観光周遊ルート形成計画事業「日本のてっぺん。きた北海道ルート」が国土交通大臣に認定され、今年度は1年目として、きた北海道の強みを活かすマーケティング戦略等を策定することを目的に、各種アンケート調査などを行っております。そこで、きた北海道の強みとなりうる体験観光の現状、可能性を探るため、関係する方へのヒアリングを実施させていただきますので、ご協力のほど、お願いします。

調査機関	国土交通省北海道運輸局
調査実施期間	株式会社 近畿日本ツーリスト北海道/一般社団法人 北海道開発技術センター
対象者	きた北海道の体験観光に関わる団体・組織等

— 日本のてっぺん。きた北海道ルートの概要 —

■名称
日本のてっぺん。きた北海道ルート。
恵まれた大自然から享受する多彩な食や景観。日本のてっぺんをめざし、北の大地、海、島を駆けのぼる。

■広域観光周遊ルートのコンセプト
「きた北海道」とインバウンドの一大拠点「札幌」「旭川」をつなぎ、国が目指すインバウンド誘致4,000万人の一翼を担い、観光先進国化に貢献する。

■主な対象市場
アジア (香港、タイ、シンガポール、台湾等)、欧米 (米国、豪州、英国等)

■主なターゲット
FIT、テーマ型ツーリズム (食/自然/森/湖/島など)、リピーター

ヒアリング項目 (案)			
会社名		担当者名 (所属・氏名)	
連絡先	住所: 電話: ファックス: メール:		
設立年		従業員数	顧客数
主な商品やプログラム・メニューなど			
最近人気の商品やプログラム・メニュー等			
主な販売方法			
年間利用者数や利用者の属性等	●利用者数	●主に利用者の属性	
きた北海道の状況 (商品の有無、状況)			
外国人旅行者への対応状況及び今後の予定	●対応状況	●今後の予定	
外国人旅行者に人気又は人気が出そうな商品やプログラム・メニュー等	◎具体的な内容・場所等		
今後取組みたいこと			
きた北海道の外国人旅行者受入に期待されること			
その他			

ヒアリングは、以下の事業者に実施した。

地域	エリア	所属	氏名
宗谷	利尻	利尻自然ガイドサービス	渡邊 俊哉
宗谷	利尻	利尻島ガイドセンター	西島 徹
宗谷	礼文	礼文島自然ガイド	鹿川 明美
宗谷	豊富	NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク	嶋崎 暁啓
上川北部	美深	リバー・トリップ・キャメル	辻 亮多
上川北部	幌加内	幌加内町観光協会	古屋 大輔
留萌	初山別	一般社団法人マッチワークス	佐古 大
留萌	羽幌	(一社) 天売島おらが島活性化会議	斉藤 暢
留萌	苫前	NPO法人ふれあいとままえ	青木 和雄
留萌	留萌	FMもえる	米倉 礼子
留萌	留萌	留萌観光協会	海東 剛哲

3-2 ヒアリング結果

ヒアリングの結果は、以下の通りである。

会社名	利尻・島ガイドセンター		担当者名	西島 徹	
設立年	—	従業員数	4名 冬期は1名体制	顧客数	
主な商品やプログラム・メニュー等	<ul style="list-style-type: none"> ・杓形や鷺泊のまち歩き、トレッキング、バードウォッチング。 ・スノーシューハイクなど。 ・1日 プライベートガイド。 				
最近人気の商品等	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には個人はプライベートガイドが多く、団体旅行からの依頼もある。 ・ガイドする場所としては、甘露泉やラナルド・マクドナルド、仙法志御崎公園へ行くことが多い。 ・団体旅行は姫沼や南浜などで1時間ほど散策することが多い。 				
主な販売方法	<ul style="list-style-type: none"> ・個人はインターネットが多く、団体は旅行会社から依頼を受けてガイドする。 				
年間利用者数や利用者の属性等	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者数 ・年間1500人くらい ・6月～9月が多い ・冬期はほとんど利用者はいない 		<ul style="list-style-type: none"> ●主に利用者の属性 ・関東からの国内旅行が多い ・利用者は高齢者が多い ・外国人利用者はあまりいない 		
きた北海道の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利尻島、礼文島のガイド商品のみ。 ・利尻山の登山ガイドは行わない。 				
外国人旅行者への対応状況及び今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ●対応状況 ・特に対応していないため、なかなか受入が進まない。 ●今後の予定 ・特に予定はしていないが、通訳兼ガイド付きのグループの受け入れは行っている 				
外国人旅行者に人気又は人気が出そうな商品等	<ul style="list-style-type: none"> ・通訳付きガイドグループを案内した際に、人気が高かったガイドは、日本で初めての英語教師となったラナルドマクドナルドの話しや利尻昆布や甘露泉などの食に関する話であった。 				
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・おすすめは5月後半から6月上旬である。そのころは天気も安定しており、木々に葉も少なく、新緑と利尻山の残雪が美しい。個人的には最も好きな季節である。リピーターを増やし、5月後半から6月上旬の旅行者を増やしたい。 				
旅行者受入に期待されること	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストハウスも運営しており、安価に旅ができる環境づくりを進めたい。 				
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・春から秋までの収入で年間食べて行けるのであれば、そのような観光やガイドでも良いと思う。 				

会社名	利尻自然ガイドサービス		担当者名	渡辺 俊哉	
設立年	—	従業員数	2名	顧客数	—
主な商品やプログラム・メニュー等	<p>夏メニュー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利尻山登山、利尻登山と礼文島トレッキング、利尻山縦走、山中泊登山、DAYトレッキング、花ガイドツアー、ポン山トレッキング、ポン山～姫沼トレッキング、万年雪とヤムナイ沢、利尻島シーカヤックツアー、礼文島シーカヤックキャンプ、シーカヤックフィッシング <p>冬メニュー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利尻山バックカントリー、スノーシュートレッキング 				
最近人気の商品等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏＝サイクリング ・冬＝バックカントリースキー 				
主な販売方法	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスブックなどのSNSを見てくる方や口コミで来る方が多い。 ・エクスプローラシェアというサイトで、登山ガイドとして登録しておりそれを見てきている方もいる。 ・スイスの登山協会が発行しているフリーペーパーに利尻が掲載された。それをみてスイス人が来ることもある。 				
年間利用者数や利用者の属性等	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者数 ・冬期は外国人が100人以上。レラモシリ以外の宿に宿泊している方もいる。 ●主に利用者の属性 ・ほとんどが欧米。2月は利用者の8割が外国人であった。 ・東京の外資系外国人が知人とともに来る方が多い。 ・外国人と同時に日本人の方も増加傾向にある。 ・リピーターも多く、北海道在住の方や東京の在住の方は、シーズンに何度も訪れる方がいる。 ・4～6人のグループで1週間ほど滞在するグループが多く短い方でも4～5日程度滞在している。 ・滞在中はバックカントリースキーのみを楽しむ。 				
外国人旅行者への対応状況及び今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ●対応状況 ・バックカントリースキーのお客さんは年々増加しており、お断りしている方もいる。北海道全体でスキーガイドが足りない状況にある。 ・ガイド1名で6名までガイドでき、補助が1名付けば10名まで可能。 ・自らガイドを用意して、バックカントリーを楽しんでいるグループもいる。今のところ事故は無い。 ・以前は4月の春スキーが多かったが、今は厳冬期が増えつつある。 				
外国人旅行者に人気又は人気が出そうな商品等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場はサイクリストも増えつつある。夏はサイクリング、冬はバックカントリースキーを伸ばしていきたい。 				
今後取組みたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・バックカントリーの聖地として、人の少ない環境を守りつつ、来訪者を増やしていきたい。キャパとのバランスを考えなくてはいけない。 				
旅行者受入に期待されること	<ul style="list-style-type: none"> ・少しでも宿泊客が増え、利尻山のイメージが世界に認知されれば、もっとお客さんは増えると思う。 				
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・バックカントリースキーは、悪天候での中止は無い。利尻山は風下に行けば風は無いいため、低気圧が来てもほぼ100%の確率で楽しめる。 ・お客さんのレベルに合わせて、フィールドを選択している。 ・装備は自分達で持ってくる。持ってくる方と往復宅配便が多い。 ・今年2月からフェリーにスキーを持ち込む場合、車が乗り降りする甲板に自らで積み込まなくてはならなくなった。利用者からは不評でクレームが多い。フェリーの利用者も少ないので、フェリー船室内に置けるようにしてほしい。また、下船時も車が優先され、スキー客が寒い甲板で待たされる。 ・また、フェリーはスキーの持ち込2セット目から追加手荷物料金がかかる。 ・12年前からバックカントリーのメニューを提供しているが、最初は年間5人ぐらいであった。当初は、知り合いのガイドに5名以上のお客さんを連れてくれば、ガイド料無料とするようにし、少しずつ広げていった。 ・長期滞在は食事のバリエーションが必要となるため苦労している。 ・先日、レットブルTVのロケが入り、マウイ島のウィンドサーファーが利尻でスノーカイトをする映像を撮影した。4月にはレットブルTVで放映される予定である。 				

会社名	礼文島自然ガイド		担当者名	鹿川明美	
設立年	2000年	従業員数	2名	顧客数	1名
主な商品やプログラム・メニューなど	礼文島のトレッキングコースガイドやバードウォッチングガイド。高山植物の説明や野鳥観察のガイドを行う。冬期には、スノーシューハイクのガイドも行う。				
最近人気の商品やプログラム・メニュー等	桃岩展望台コースのガイド				
主な販売方法	ホームページ・パンフレット・観光協会や役場、宿からの紹介、秋には旅行会社に営業をすることもある。SNSやブログからの直接の申込もある。				
年間利用者数や利用者の属性等	●利用者数 全体数は分からないが、個人と団体で半分ずつの組数		●主に利用者の属性 最近FITの申込が増加		
きた北海道の状況 (商品の有無、状況)	-				
外国人旅行者への対応状況及び今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ●対応状況 多言語対応できていない状況、今年台湾人8人グループへのバードウォッチングガイドを行った際は、事前に礼文島で観察できる野鳥のリストを繁体字と英語で作成してあげた。 ●今後の予定 現在、稚内の馬上さんに師事し、通訳案内士になるための勉強をしている。礼文島のガイドで使いそうな文章を英訳してもらい、それらを空で話せるように訓練している。 				
外国人旅行者に人気又は人気が出そうな商品やプログラム・メニュー等	バードウォッチングは、カメラの機材も高価できっと富裕層に人気のある資源になると思う。他にも欧米系のガイドをしているときは、あまり花の説明を求めないで、黙々とコースを歩く。フットパスというよりかは、トレイルに近い。あとは、食やアイヌ・縄文などは喜ばれると思う。礼文島にも毎夏遺跡の発掘があるので、そういうものも喜ばれるだろう。				
今後取組みたいこと	金田ノ岬で、ゴマフアザラシが見れるので、そのガイドもやってみたい。ただ、漁師はアザラシを害獣として見ているので、そこの兼ね合いが難しい。自然保護と自然利用の両立はとても難しい課題であるが、礼文島ではそこまで問題とはなっていない。				
きた北海道の外国人旅行者受入に期待されること	特にはないが、今回を契機としてガイドたちによる組合ができれば、もっとスキルやガイドスケジュールについての情報交換をしたり、資源をシェアできると思う。				
その他	稚内や礼文島で、外国人観光客のおもてなしセミナーを開催してほしい。				

会社名	リバー・トリップ・キャメル		担当者名 (所属・氏名)	辻 亮多 (ガイド)	
設立年	2013年	従業員数	2名	顧客数	130～140名
主な商品やプログラム・メニューなど	カヌートリップ (半日/1日) / ドリフトボートトリップ (6時間程度/日) / キャンプトリップ (アウトドア料理+テント泊+体験の組合せ) / スノーピクニック (スノーハイク) / 「終わり火」と「なごり雪」 (年2回開催されるプレミアムツアー: アウトドア料理+テント泊+クラフト体験+体験メニューの組合せ)				
最近人気の商品やプログラム・メニュー等	<ul style="list-style-type: none"> カヌートリップ (カヌー下り) またはドリフトボートトリップ (ダウンリバーフィッシング) が人気が高い。 カヌーは基本的に初心者でもしっかりレクチャーの時間をとり、自分達で漕いでもらうため、体験としては楽しくリピーターも多い。 基本的に個人客が多いため、スケジュールと予算などを考慮したオーダープランが喜ばれている。 				
主な販売方法	サイト「river trip CAMEL (http://camel-trip.biz/)」での情報発信がメイン/パンフレットの配布 (札幌・旭川などでのアウトドアショップ他) / FBはなし				
年間利用者数や利用者の属性等	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者数 130～140名 (3～5日間での旅行するお客が多い) ●主に利用者の属性 個人客/初心者よりも、釣りやカヌーが好きな人が多い 				
きた北海道の状況 (商品の有無、状況)	<ul style="list-style-type: none"> きた北海道としての広域的な商品は現在はないと思う。 ただ、近隣市町村との協力したツアー企画を試行的に行っており、これから自走できるようにと考えている (終わり火、なごり雪)。 				
外国人旅行者への対応状況及び今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ●対応状況 特になし ●今後の予定 言語対応は必要と感じてはいるが、現在はなんとなく対応。サイトも外国語対応ができるとよいとは思いますが、サイトの準備を進めているわけではない。 				
外国人旅行者に人気又は人気が出そうな商品やプログラム・メニュー等	<ul style="list-style-type: none"> ※具体的な内容・場所等 天塩川も朱鞠内湖も、釣り好きにとっては「聖地」のような場所。「釣り」だけでも何箇所も魅惑のスポットがあるので、ジャンルに沿った周遊ルートの提案がここには合っているように思う。 				
今後取組みたいこと	<ul style="list-style-type: none"> このエリア (朱鞠内湖、天塩川など) の「釣り」や「カヌー」で繋いだブランド化ができると感じている。 釣り (川) に関するこのエリア全体のガイドライン的なもの (regulation) を作るが良い (作りたい)。もともとカヌー文化のある国の人達にとっては、いくらよい水辺を持っていても、マナーなどの意識の違いで二度と来なくなってしまい、それが守られていることで信頼へ繋がり、この土地のブランドとしていくためにも必要。 雪質が良いので、欧米人が流れてくるようなことを見込んで、今年の冬から始めた冬の体験メニュー (スノーピクニック、雪板など) にも力を入れていきたい。 				
きた北海道の外国人旅行者受入に期待されること	きた北海道ということであまり考えていなかったが、広域観光周遊ルートのような動きがあるのであれば、川や湖と森などを組み合わせて、ゆっくり滞在してもらう地として、ブランド化できるように思う。				
その他	<ul style="list-style-type: none"> 夏期間は、半日～1日程度の観光体験くらいのメニューを好む家族連れが多い。春と秋は釣りだけで5日間等とコアな人がお客に多くなる。冬は始めたばかりなので、まだ読めていない。 一応一通りレンタルも用意しているが、もともと道具に拘りの有る好きな人が集っているので、レンタルということは殆どない。 				

会社名	NPO法人シュマリナイ湖 ワールドセンター		担当者名 (所属・氏名)	中野 信之 (理事長/ガイド)	
設立年	2010年	従業員数	9名	顧客数	—
主な商品やプログラム・メニューなど	①施設の運営：レークハウスしゅまりない（食事、宿泊施設）／ふれあいの家まどか（研修施設）／朱鞠内湖キャンプ場（ログキャビン、キャンプ場） ②フィッシング体験、ツアー：フライフィッシング、アイスフィッシング（氷上ワカサギ釣り、トラウト釣り）				
最近人気の商品やプログラム・メニュー等	イトウを狙いに行く「プライベートガイドツアー」は、通常は人が入れないエリア（漁業権の関係）へ案内してくれるため、金額も高いが、自分しかいない無心になれる極上の贅沢を味わえ、イベント等で販売すると、一日で10組が即埋まってしまうほどの人気メニュー。（10万円/1泊2食付/1名）				
主な販売方法	サイト「朱鞠内湖（ http://syumari.com/ ）」での情報発信／パンフレットや冊子の配布／口コミ（これまでの繋がりあるお客様）／釣りやカヌーを好む人が集るイベントなどでの出展・PR				
年間利用者数や利用者の属性等	●利用者数 — ●主に利用者の属性 フライフィッシングは60歳代が多い（定年退職されて時間とお金があるような“釣り好き”な人）／ワカサギ釣りは家族連れでの1泊2日など				
きた北海道の状況（商品の有無、状況）	まだ確立されているものはないと思う。				
外国人旅行者への対応状況及び今後の予定	●対応状況 特になし ●今後の予定 外国語対応のスタッフの補充（氷点下30度を越えるこの環境を愉しめる人材）／現在、サイトのリニューアルとともに英語版を作成中				
外国人旅行者に人気又は人気が出そうな商品やプログラム・メニュー等	※具体的な内容・場所等 ・朱鞠内湖をメインとした期間限定（7月～9月）の「プライベートガイドツアー」は、欧米人には自信をもってお勧めできる。また、一度くればまた来たくなるほどの風景や、通常いけないエリアは奥深く沢山スポットがあるので、口コミで広がる確率と、リピートが期待できる。				
今後取組みたいこと	・外国人対応のできるスタッフの補充。 ・一方で、外国人が家族できた場合の、趣向にあわせた体験メニューの充実も必要と感じている。（例えば、父親はフィッシングを数日、母と子ども達は毎日メニューをかえつつ、この地に滞在（または周辺の地域）。カヌー、トレッキング、クラブ体験、そば打ち体験など。） ・「ふれあいの家まどか」は宿泊研修に使われるような施設だが、企業研修やそれ以外の目的でも使用できるようにしたい。 ・朱鞠内湖だけをピックアップした「シュマリ」冊子を販売予定（1000円程度想定）				
きた北海道の外国人旅行者受入に期待されること	・「釣り」というキーワードだけでも、充分この地域のブランドが形成できると考える。少し尖がった人が対象となるが、マナーなどは壊さないように。				
その他					

会社名	認定NPO法人 サロベツ・エコ・ネットワーク	担当者名	事務局長 嶋崎 暁啓		
設立年	2004年 (H16)	従業員数	5	顧客数	—
主な商品やプログラム・メニュー等	(無雪期) サロベツ湿原木道自然ガイドツアー (積雪期) 森と湿原スノーシューツアー				
最近人気の商品等	森と湿原スノーシューツアーの問合せ、ガイドツアー参加者は徐々に増えて来ている ここ1年ほど、ネットメディアでの紹介が増えてきた。				
主な販売方法	センター窓口、紙媒体 (チラシ・ポスター等)、インターネット				
年間利用者数や 利用者の属性等	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者数 ●主に利用者の属性 <ul style="list-style-type: none"> ・サロベツ湿原センターは、年間約4万～5万人の利用者 ・そのうち有料ネイチャーツアーの個人旅行者の利用は、年20回程度、計40人程度の受入。その他に団体ツアーは、年10件程度、計300人程度の受入 				
きた北海道の状況	現状では、ネイチャーガイドで大きな収益を上げられるほどの需要も無いため、今のところスタッフが片手間に対応している程度。				
外国人旅行者への対応状況・今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ●対応状況 湿原センターでのスノーシューのレンタルはあるが、外国人向けネイチャーガイドツアーの実績はなし。現在、センターを訪れる外国人は、欧米の個人旅行者とアジア系の団体バスツアーを合わせて年間500人～1,000人程度。センター全体の利用者の2%程度とまだまだ少ない状況。 ●今後の予定 稚内観光協会・豊富町観光協会と、外国人向けバードウォッチングツアーについて検討中。探鳥地ガイド、見られる時期など、情報発信に向けた基本情報の収集を行っている。 				
外国人旅行者に人気 又は人気が出そうな 商品等	<ul style="list-style-type: none"> ※具体的な内容・場所等 ・冬のスノーシューツアー ・冬の世界ワシ観察ツアー ・春秋の渡り鳥観察ツアー 				
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行や大学等の教育旅行の受入 ・周遊ガイドツアー 				
旅行者受入に期待 されること	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人とは違った目線での魅力発見 ・冬期など閑散期の利用者の増加 				
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人旅行者が周遊するには、交通の便の悪さが大きな課題 				

会社名	一般社団法人マッチワークス		担当者名	代表理事 佐古 大	
設立年	平成28年6月	従業員数	8名	顧客数	
主な商品やプログラム・メニュー等	現在は、コミュニティカフェと自学塾の運営を実施。そのほか、観光協会の事務局業務を実施。（現在、インバウンド向けの体験観光に取り組んでいるわけではなく、将来的に視野に入れている状況）				
外国人旅行者への対応状況・今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ●対応状況 ・村内には、少しずつ外国人の方も来ているが、外国語の案内がなく、外国語が堪能な住民がいないので、来ても十分な案内ができない。 ・ちょっと暮らし体験移住（役場事業）に、2名のアメリカ人が来ていた。 				
外国人旅行者に人気又は人気が出そうな商品等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人と一緒に、地域の生活に溶け込むような体験プログラムの開発 				
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドにしても、国内の方にしても、人が近い分だけ人の生活に入り込んでいけるほうが楽しめるのではないかと考えている。 ・例えば、民泊だったり、寒い時期に、漁の船に乗せて連れて行ったり、吹雪の中をあえて外に出て寒さを体験したり、雪かきを一緒にやるなど、住んでいる方の生活に入り込むような体験の仕方を提案していきたい。 ・2人暮らしの方に、自宅の空いているお部屋を使った民泊をやってみないかと声かけているところ。 ・初山別には、星がきれいということはあるが、それは他にも沢山あるので、それ以外の付加価値、初山別らしさを出せればと思い、メニュー出しに取り組んでいる。 				
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎の人は、外から人が来ることに慣れていないので、少しずつ繋がる機会を増やしていければと思っている。 				

会社名	一般社団法人 天売島おらが島活性化会議		担当者名 (所属・氏名)	代表 齊藤 暢
設立年	2014年4月	従業員数	12名 (うち、常駐職員2名)	
主な商品やプログラム・メニュー等	<ul style="list-style-type: none"> ・シーカヤック：昨年はイベント参加も含めて70名 ・星空観察：一昨年はモニター募集20名に対し60名程度の応募あり (昨年は、天候不良にて実施できず) ・ウニ獲り体験も観光協会と一緒に実施。 ・留萌観光協会とともに、福島キッズの天売プログラムとして、子供たちの受入も実施している。 ・この他、天売観光バスにてウトウのナイトウォッチングを実施しており、齊藤さんも運転手兼ガイドとして携わっている。 			
最近人気の商品等	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年前にモニターツアーを実施。ツアーの結果を踏まえて、去年からスタートしたところ。 ・シーカヤックは、1時間半、3時間コースなど。お客さんの体力にあわせて実施。去年は、当日受付も実施した (今後、改善必要)。 			
主な販売方法	島内の旅館の個室にチラシを置いていただいているのと、羽幌町の観光パンフレットに掲載している。今後は、インターネットの予約活用を考えている。			
年間利用者数や利用者の属性等	●利用者数 70名 (シーカヤック) ●主に利用者の属性 日本人ウトウのナイトウォッチングにはアジア系の参加者も来ている。			
きた北海道の状況	・羽幌町では、インバウンドの受入を積極的に進めようとしている。翻訳機能の付いたタブレットを、天売島と焼尻島に各2台用意する準備を進めている)			
外国人旅行者への対応状況・今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ●対応状況 ・シーカヤック、星空観察会には去年までの参加者はいない。 ・ウトウナイトウォッチングツアーには、アジア系の参加者も徐々に増えている。 ●今後の予定 ・現在のメニューを定着化させつつ、外国人対応やPR等も進めて行きたい。 			
外国人旅行者に人気又は人気が出そうな商品等	<ul style="list-style-type: none"> ※具体的な内容・場所等 ・ウトウのナイトウォッチングツアーは人気 ・ウトウ以外にも、ケイマフリ、オオワシ、オジロワシなどもあるので、バードウォッチャーは来ている。(台湾など) 			
今後の取組み	・道東で実施しているオオワシ、オジロワシなどの野鳥も、西海岸 (留萌地域) にはたくさんいるし、天売島の野鳥を見にバードウォッチャーも来ている。海岸沿いのきれいな景色を見ながら、30~40分移動すれば、アザラシが300頭くらい見られる場所 (抜海?) にもいけるし、島だけじゃなく、より広域な連携をしていくことで、今あるものがもっと良くなると思っている。			
旅行者受入に期待されること	・外国人旅行者について、3-4年前とは意識が変わった。宿のキャパなどを考えても難しいと思っていたが、個人旅行者も増えてきているので、取り組み方によっては、地域の観光を活性化させる可能性があると思う。			

会社名	一般社団法人 天売島おらが島活性化会議	担当者名	代表 齊藤 暢
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・天売島では、ウトウのナイトウォッチングツアーを昔から実施しており人気商品となっている。ウトウは、80～100万羽が繁殖のために天売島に飛来する（4月～7月）。ぶつかりそうになったり、羽音が聞けるくらいで迫力があり、人気である。 ・7月にウトウがいなくなってから9月くらいまでで夜にできないかということで、星空観察ツアーの実施を始めた。（メンバーの（漁師の方など）が星空ガイドが出来るように、勉強中） ・ウニ獲り体験は、当日午前中のウニ漁で獲れたウニを漁協からウニ獲り体験予約者分を購入し、指定された海岸に撒いておき、自分たちで獲る楽しみを体験してもらっている。（ほこ、はこ眼鏡、胴付きなどは貸し出し）一人2個までのウニを獲ることができる。家族連れ、学生、年配のご夫婦などの参加もある。自分で獲った後に「とったどー！」と誇らしげに掲げる方もいて、楽しんでもらっている。課題としては、ウニ漁があるときのみであり、去年はニーズはあったが、応えられないケースもあった。 ・冬のプログラムとしては、自分ではないが地域おこし協力隊の方（うさみさん）が、焼尻島でトレッキングツアーをやっている。3年目。まだ、初めたばかりで、参加はわずかだが、スノーシューで3-4km歩けば、そんなに歩かなくても絶景を見に行くことが出来るので、初心者にも楽しめるプログラムだと思う。 ・羽幌町役場ともいろいろと連携しており、打ち合わせを実施している。 ・その中で、去年の課題として、当日申込みについては、対応が困難な現状があった。スタッフの多くが別の仕事を持っていることや、ガイドの人数が現状では2名体制であったことなども要因となっており、今年は、基本は事前申込みのみの体制で実施することと、ガイドの人数を増やす（メンバーの資格取得）を実施予定である。 ・また、PR不足との認識はあるが、現状では更なるPRをしても受け付けられないケースが増えてしまい、別の問題になる可能性もあるため、まずは体制の強化を進めているところである。 		

会社名	NPO法人ふれあいとままえ		担当者名 (所属・氏名)	青木 和雄 (代表)	
設立年	2016年	従業員数	2名	顧客数	—
主な商品やプログラム・メニューなど	体験観光に従事しているわけではないが、無料宿泊施設とままえふれあいハウス（無料ライダーハウス）を運営している。（外国人の宿泊もある）				
最近人気の商品やプログラム・メニュー等	ふれあいハウス滞在者（外国人、日本人ともに）に、滞在中のおもてなし、地域の魅力紹介や地域住民とのふれあいの場、近隣農家で農作業体験等のコーディネートを実施。				
主な販売方法	ふれあいハウスのHP (http://www.tomamae.net/bikehouse/house.html) 英語併記				
年間利用者数や利用者の属性等	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者数 2016年度 101名 (199泊) ●主に利用者の属性 女性 (8名)、外国人 (14名)、自転車 (14名)、車 (5名)、他はライダー 平均年齢 34歳 				
きた北海道の状況 (商品の有無、状況)	・様々な自然やくらしぶり、そして地域の人との交流、そのものが貴重な体験資源とを感じる。				
外国人旅行者への対応状況及び今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ●対応状況 無料宿泊施設の滞在者を対象に、農作業体験（メロン農家の農作業のお手伝い等）、滞在中のおもてなし（観光案内、バーベキューなど） ●今後の予定 外国人来訪者を増やし、地域で長期滞在してもらうメニューづくり 				
外国人旅行者に人気又は人気が出そうな商品やプログラム・メニュー等	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業体験 ・畳打ちの見学など、地域内での日常生活を紹介 				
今後取組みたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・無料宿泊施設を拠点に滞在型の観光を楽しんでもらう仕組みづくり ・空き家を活用した無料滞在施設の活用（それにより、空き家を減らすことにも繋がる） 				
きた北海道の外国人旅行者受入に期待されること	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人に来てもらい、地域に滞在してもらい、そこで食べて、飲んで、体験してもらうことで、地域の活性化に繋がるし、地域の産業にも有益（人材補強）である。 				
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドの体験観光というのは、来てもらってお金をもらうだけじゃない。無料で宿泊先を提供し、長期滞在している間に地域の生活に溶け込み、地域の人と交流していくことで、その地域の本当に姿を伝えることが出来るし、農業体験等を通して地域に人材を還元していける。 さらに、地域が外に目を向ける機会を生み出し、地域全体の活性化に繋がる。 ・苫前は、ライダーなどの道北観光をする際の中継地点としての立地条件を持っている。霧立峠はライダーの人気コースの一つ。 ・ホテルは維持費も含めて大変。ホテルじゃなく、民泊でもいいので、来て滞在してもらうことが大事。そうすることで、町が元気になる。 ・体験してもらうには、協力してくれる人（例えば農家さん）とそれを繋ぐ人（青木さん）の存在が重要。 				

会社名	エフエムもえる（留萌観光連盟）		担当者名 （所属・氏名）	米倉 礼子 （局長）	
設立年	2004年	従業員数	—	顧客数	—
主な商品やプログラム・メニューなど	<p>るもい体験ナビ（http://rumoifan.net/taiken/）にて、留萌管内（増毛町、留萌市、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町）の多様な体験プログラムの紹介と、地域のプログラムガイドとの仲介を行っている。</p> <p>歴史・産業遺産（鯨文化、炭鉱等）、自然（星、海鳥、磯カニ、エゾシカ猟等）、農業・酪農・水産（漁港施設見学、漁業体験、ジャム作り等）、アウトドア・スポーツ（シーカヤック、沖釣り、カヌー、トレッキング、ガイドウォーク、凧あげ、和太鼓、浜焼き、ニュースポーツ（雨天可））、食文化・クラフト（料理、羊毛、陶芸、刺し網、FMオリジナル番組制作等）、リラクゼーション&健康（健康チェック、園芸療法等）がある。</p>				
最近人気の商品やプログラム・メニュー等	るもい浜焼き体験（魚介のバーベキュー）等				
主な販売方法	るもい体験ナビ（ http://rumoifan.net/taiken/ ）を通じた周知活動				
年間利用者数や利用者の属性等	<p>●利用者数 —</p> <p>●主に利用者の属性 —</p>				
きた北海道の状況（商品の有無、状況）	きた北海道としての商品というのは、まだこれからと思う。				
外国人旅行者への対応状況及び今後の予定	<p>●対応状況 たまに参加者あり（去年は、浜焼きに香港から取材が来ていた。北大の留学生が、家族の来日の際の記念旅行での利用もあった）</p> <p>●今後の予定 インバウンド対応についても、今後検討したい</p>				
外国人旅行者に人気又は人気が出そうな商品やプログラム・メニュー等	<p>・管内には、体験観光を生業にしている方は少ないが、いろんな形で体験観光に取り組んでいる（取り組もうとしている）人がいるので、多様なプログラムを提供できる（ただし、少人数制が多いと思う）</p>				
今後取組みたいこと	<p>・現在は、コンテンツを集めた状態。いろんな分野の体験プログラムはあるが、お客さんに届いていない、届けられていない。プログラムの周知、そして、他地域との連携について、取り組んでいきたい。</p>				
きた北海道の外国人旅行者受入に期待されること	<p>・外国人も国内も含めて、他地域との連携によって魅力を上げるなどして観光客が増加する。</p>				
その他	特になし				

会社名	NPO法人 留萌観光協会		担当者名 (所属・氏名)	理事 海東 剛哲	
設立年	2007年	従業員数	—	顧客数	—
主な商品やプログラム・メニュー等	<ul style="list-style-type: none"> • はっちゃキッズhttp://rumoi-rasisa.jp/taiken/ • 長期プログラム（1週間）、短期プログラム（日帰り）等あり • 内容的には大人も楽しめるが、主に子供向けの体験プログラムを広域的に展開している。 • 平成27年まで4年間、「ふくしまキッズ」という取組みを行っていた。当初は留萌と小平のみで受け入れていたが、その後、苫前や羽幌、初山別と連携できるようになった。これまでの実績を活用し、昨年から新たなステージに入り、挑戦を続けている。 • 自然体験等に理解のある、主に都会（東京や神奈川など）の親たちをターゲットに、ネイチャーキッズとして自然体験を提供している。 • 広域で役割分担を明確にして実施しており、現地は子供達の受け入れ、営業周知・全体構成等は留萌観光協会が担っている。全てを留萌で担うことは無理があるため、良いシステムが出来つつある。 • 苫前町は西さん、天売島は斉藤さん、初山別村は佐古さんが担当している。 • 長期のキャンプ利用者も多く、6泊7日が基本的な日程で、利用者は60名くらいいる。 • 船場公園を拠点に日帰りのプログラムも実施しており、留萌住民が中心であるが延べ100名くらいが参加している。冬季はスノーシューやハンター体験、釣りなどを行っている。 • 3月には留萌を入り口とし、留萌で1泊、天塩で農業体験をし1泊、美深で1泊、東川で雪遊びをして2泊するキャンプを実施する。札幌からの参加者が多い。 • イグルーについては留萌のイベントであるスノーパラダイスなどで制作している。 				
最近人気の商品やプログラム・メニュー等	冬：ドラム缶風呂体験、イグルー作り体験 夏：釣り、星空				
主な販売方法	WEB、ネイチャーキッズ（東京・神奈川）、旭川・札幌の自然学校等のネットワーク				
年間利用者数や利用者の属性等	●利用者数 60人		●主に利用者の属性 道内外の子供		
外国人旅行者への対応状況・今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> • 現状では、外国人旅行者を対象としたサービス等はない。 • ニセコにきている長期滞在者やその家族が、ニセコだけではなく、留萌から天売・焼尻、そして利尻にも行ってもらえるような取組みを行いたい。 				
外国人旅行者に人気又は人気が出そうな商品等	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年3月に日本のでっぺんを目指すキャンピングカーのツアーを実施し、3台のキャンピングカーで実施した。 • ニセコに長期滞在している家族を見た時に、大人は大人の楽しみがある。子供は子供の楽しみがあっても良いのではないかと考えている。例えば、子供向けのプランを企画し、ニセコの長期滞在家族の子供に来てもらうことが出来ないか。3泊程度であれば、留萌でも対応できる。 • 外国人向けを考えるのではなく、日本人でも子供でも楽しい物は共通ではないか。 • ドラム缶風呂も楽しいが、身長制限がある。175cm以下なら楽しめる。それ以上は、膝があたり、ドラム缶に入ることが出来ない。ドラム缶風呂の出張サービスも良いかもしれない。 • 1週間ぐらい子供だけの体験プログラムについては実績もあり、外国人も面白いのではないか。基本は子供たちの自立を目的にしているので、コンセプトが変わるが、親子プログラムや外国人向けも対応できる。（問題は「言葉の壁」ここのクリアが今後重要） • 体験メニューやプログラムは、たくさんあるが情報発信できていない。 				

会社名	NPO法人 留萌観光協会	担当者名	理事 海東 剛哲
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> • ドラム缶風呂を留萌で実施しており、スノーパラダイスでドラム缶風呂を10個くらい並べたら楽しむ人も増えるのではないかと思う。浜焼きを実施しても良いと思う。 • 留萌はガイドはアウトドアガイドではなく、「楽しいこと」を教えてくれる人・案内人としている。ガイドがいれば色々なことが出来るが、ガイドの雇用が問題となっている。ガイドの雇用・育成に予算がつけば良い。 • インバウンドでは、言語的な課題がある。通訳出来る人材の確保が必要となる。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 地域性もあり、留萌地域は観光が中心的地域はわずかしかない。法人格を有して、活用しているところは、留萌観光協会ぐらいしかない。留萌地域のゲートウェイ的な役割が留萌にはあると思っている。 • 留萌のみでは冬のプログラム提供は難しい。他の地域の魅力も合わせて、留萌が入り口・ゲートウェイとなり、繋げて行きたい。留萌は札幌、旭川から近いというメリットもある。冬のアクティビティでは、作ったものは壊すのが鉄則である。 • 通訳として、例えば札幌などの留学生に通訳を兼ねて来てもらい、食事代程度で参加してもらうのもよい。エゾロックとの連携なども。 • 現在、地元の高校生にも一緒に参加してもらい、自身も楽しんでもらいつつ、子供たちのリーダーになって参加してもらう取組みを3年続けている。羽幌高校、千望高校、留萌高校、天塩など。 • 他の地域と同じことはやらない。というか出来ない。でも、楽しいことはたくさんある。 • 留萌にお客さんが来てくれれば、出来ることはたくさんあるが、集客力がまだまだこれから。 • 浜焼きだけのために、留萌に来ることはほぼないし、留萌だけにきてもらおうとは考えていない。他の地域にいったついでによってもらえる仕組みを考え、周知の方法を模索したほうがよいと考えている。 		

第4章 各国の北海道旅行に求める嗜好性

1. 現地カスタマー向けアンケート調査

1-1 調査概要

最重点市場・重点市場の5カ国、地域を対象に、現地カスタマーのニーズ等を把握し、基本戦略の4P分析等の参考とするために、現地カスタマー向けに旅行会社のウェブサイトを通じたウェブアンケート調査、旅行博等における対面式アンケート調査を実施した。

(1) ウェブアンケート調査

日本旅行に興味を持つ現地カスタマーを対象に調査を実施するために、ウェブ上で回答できるアンケート調査フォームを作成し、旅行会社のウェブサイトにはバナーを貼り付け、アンケート調査を実施した。

	国・地域名	旅行会社名
最重点市場	台湾	雄獅旅行社
重点市場	香港	西敏旅行社
	タイ	Quality Express
その他市場	シンガポール	Chan Brothers Travel
	米国 (アメリカ)	IACE Travel

◆アンケート掲載サイト

台湾／雄獅旅行社



香港／西敏旅行社



タイ／Quality Express



シンガポール／
Chan Brothers Travel



アメリカ／IACE Travel



※赤丸はアンケートサイトへの
リンクバナー

(2) 旅行博等での対面式アンケート調査概要

ウェブアンケートとあわせて、各市場200サンプルを確保するため、旅行博等においても対面式でアンケート調査を実施した。

	国・地域名	実施箇所名	日程
最重点市場	台湾	2016台北国際旅行博（ITF2016） （日本ブースへの来場者を対象）	2016年11月6日
重点市場	香港	香港尖沙咀 （人材派遣会社のPRイベントに来場の 北海道旅行に興味のある方を対象）	2017年2月2日～8日
	タイ	タイ国際旅行フェア（TITF#20） （日本ブースへの来場者を対象）	2017年2月16日～19日
その他市場	シンガポール	クラークキーセントラル （ショッピングモール） 平日12時～14時 （北海道旅行に興味のある方を対象）	2017年1月22日～3月8日
	アメリカ	—	—



タイ国際旅行フェア（TITF）の日本ブースにて

(3) 調査項目の検討

最重点市場・重点市場の観光に関する嗜好性やニーズを把握するために、以下の設問でウェブアンケートフォーム、アンケート調査票を作成し、調査を実施した。

項目	設問内容
北海道の旅行に関する嗜好性等の把握	<ul style="list-style-type: none"> 北海道旅行に関する計画検討の有無 北海道の旅行に関心があること（JNTOの調査と同一項目） 北海道の旅行を検討する際の情報入手先（JNTOの調査と同一項目） 北海道の旅行が実現しない理由
きた北海道の認知度と立寄り希望先	<ul style="list-style-type: none"> 知っている場所、地名 行ってみたい場所や体験したいこと
希望する旅行の形態	<ul style="list-style-type: none"> きた北海道を観光すると考えた際の訪れたい季節、滞在したい日数、一緒に訪れたい同行者、利用したい飛行機のクラス、希望する移動手段、希望する宿泊施設、夕食の形態 きた北海道で体験したいこと 負担できる旅費
基本事項	<ul style="list-style-type: none"> 性別 / ・年齢 / ・職業 / ・今後行ってみたい国と理由 主に旅行する季節 / ・これまでの日本への訪問回数と訪問先

きた北海道の観光についてのアンケート調査 ご協力をお願い

本アンケートは、これまでに日本や北海道への旅行を経験された方やこれから北海道旅行をしたい方に意見を伺い、「きた北海道」がより魅力ある旅行先となるよう、検討するためのものです。

調査の結果は統計的に処理し、個人を特定することはございません。調査の旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。
なお、「きた北海道」(右図)とは、北海道の札幌市から日本最北の稚内市までをまたがるエリアを指します。



- 調査実施主体：国土交通省 北海道運輸局
- 調査実施機関：株式会社近畿日本ツーリスト北海道

質問1 北海道への旅行についてお聞きします。あてはまる数字に○をつけてください。

1-1 これまで北海道への旅行を検討されたことはありますか？

1 行ったことがある (具体的な地名：)

2 ある (具体的な地名：) 2 ない

1-2 北海道での旅行であなたの関心のあることやしたい(した)ことはなんですか？(複数回答可)

1 日本食や北海道の食材を食べること	2 日本や北海道の語を教わりたい (日本語・挨拶等)
3 旅館に宿泊	4 温泉入浴
5 自然・景勝地観光	6 繁華街の街歩き
7 ショッピング	8 美術館・博物館
9 テーマパーク	10 スキー・スノーボード
11 その他スポーツ (ゴルフ等)	12 舞台鑑賞 (歌舞伎・演劇・音楽等)
13 スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	14 自然体験ツアー・農漁村体験
15 四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	16 映画・アニメ・緑の地を訪問
17 日本や北海道の歴史・伝統文化体験	18 日本や北海道の日常生活体験
19 日本のポップカルチャーを楽しむ (ファッション・アニメ等)	20 治療・検診
21 その他 ()	

1-3 北海道での旅行を検討する際、旅行先の情報はどのように入手されますか？(複数回答可)

1 日本観光観光局ホームページ	2 旅行会社ホームページ	3 宿泊施設ホームページ
4 航空会社ホームページ	5 自治体や地方観光協会ホームページ	6 宿泊予約サイト
7 口コミサイト (トリップアドバイザー等)	8 SNS (Facebook/Twitter/微信等)	9 個人ブログ
10 動画サイト (YouTube/土豆網等)		
11 その他インターネット (サイト名：)		
12 日本政府観光局の案内所	13 旅行会社パンフレット	14 旅行ガイドブック
15 自前の親族・知人	16 日本在住の親族・知人	17 旅行の思い出や見本市
18 テレビ番組	19 新聞	20 旅行専門誌
21 その他雑誌	22 その他 ()	23 特になし

※北海道旅行に訪れたことが無い方、なかなか北海道旅行が実現しない方にお聞きします。

1-4 北海道での旅行が実現しない理由を教えてください。(複数回答可)

1 弊に理由が無い	2 物価が高い	3 料金が安い	4 言語障害
5 まとまった旅行期間を確保できない	6 ショッピングが楽しめる	7 交通機関が不便	
8 都市の景観が美しい	9 食事が合わない/不味い		
10 日本人々が不親切	11 生活水準が高い	12 サービスが悪い	
13 治安が悪い	14 にぎわい・気取らない	15 文化と歴史が素晴らしい	
16 映画、アニメ、音楽のイメージ	17 産業/工業製品のイメージが良くない		
18 自然/田舎が美しい	19 弊にイメージはないが、どちらかと言うと悪いイメージ		
20 その他 ()			

質問2 現在、北海道旅行より魅力的なものをとするため、「きた北海道」エリアを観光するモデルルートの計画を検討しています。仮にあなたが、前頁でご説明する「きた北海道」エリアを観光すると仮定して、以下の質問にお答え下さい。

2-1 どのような旅行プランで「きた北海道」を旅行したいですか。下表の旅行の各内容からあなたが希望するものをひとつずつ選んで、○をつけてください。各行からひとつずつ選ぶ場合です。

希望する旅行形態を教えてください。(3つのうちひとつ)	旅行会社等が企画した団体ツアーに参加	往復航空(初航)券と宿泊やレンタカーなど個人旅行向けパッケージ商品を利用	往復航空(初航)券や宿泊やレンタカーなどを個別に手配	-
旅行したい季節を教えてください。(4つのうちひとつ)	春	夏	秋	冬
希望する滞在日数を教えてください。(4つのうちひとつ)	1~3日	4~5日	6~9日	10日以上
誰と旅行をしたいと思いますか？(4つのうちひとつ)	自分ひとり	家族・親族	友人	同僚の同僚
自国から「きた北海道」へはどのクラスの飛行機で飛来したいですか？(4つのうちひとつ)	LCC	エコノミークラス	ビジネスクラス	ファーストクラス
「きた北海道」をどの交通手段で移動したいですか？(4つのうちひとつ)	JR・都市間バス・路線バス	団体ツアーバス	レンタカー	歩きや自転車やカーナビなど、自分の力で移動
宿泊施設はどのような施設を希望しますか？(4つのうちひとつ)	ユースホステルやゲストハウス	安価で基本的な設備のみが備わっているホテル	日本旅館	高級ホテル
毎晩の夕食はどのような夕食を希望しますか？(4つのうちひとつ)	自炊	宿泊地にある地域のレストランや居酒屋	宿泊施設で提供される夕食	地域を代表する高級料理店

2-2 「きた北海道」で、あなたが体験したいと思うものを、最大3つ選んで、○をつけてください。

- 海・川・湖での体験
- | | | |
|----------------|------------|-------------|
| 1 サーフィン・ボディボード | 2 カヤック・カヌー | 3 バードウォッチング |
| 4 漁業体験 | 5 BBQ | |
- 陸・山・空での体験
- | | | |
|-------------------|------------------|---------|
| 6 トレーキング・高山植物鑑賞 | 7 登山・クライミング | 8 乗馬 |
| 9 サイクリング・マウンテンバイク | 10 パラグライダー・グライダー | 11 ドライブ |
| 12 農業・畜産体験 | | |
- 冬での体験
- | | | |
|-----------|---------------|------------|
| 13 スノーシュー | 14 スノーボード・スキー | 15 スノーマービル |
|-----------|---------------|------------|
- 文化・ものづくり体験
- | | | |
|------------------|------------------|-------------------|
| 16 果物などの味覚狩り | 17 伝統工芸・文化体験 | 18 そば打ちなどの食べものづくり |
| 19 陶芸・ガラス・木工加工体験 | 20 アニメ・観光文化見学/体験 | |
- その他
- | | | |
|------------|-----------------|--|
| 21 天体観測 | 22 産業遺産や工場などの見学 | |
| 23 その他 () | | |

2-3 2-1と2-2で選んだ旅行内容で、きた北海道を旅行する場合は、あなたはいくらなら旅行料金として負担してもよいと思いますか。ひとつ選んで、○をつけてください。

150~100千円/1人 200~150千円/1人 300~200千円/1人 400~250千円/1人

※各国の通貨に合わせて、設問を変更

「日本のてっぺん。きた北海道ルート」
～恵まれた大自然から享受する大らかな食や景観、日本のてっぺんをめざし、北の大地、海、島をかけたほろ。～

「きた北海道」は、外国人観光客の入り口となる札幌・旭川と最北の都市稚内を結ぶ南北350kmにも渡る広大なエリアを指します。

以下で知っている場所・地名はありますか？知っている場所・地名に○を入れて下さい。

稚内	利尻	礼文	羽幌	留萌	名寄	士別
日本最北のまち	利尻山がそびえる島	高山植物が咲き乱れる島	天売・焼尻島を抱えるまち	日本海側の漁業のまち	ひまわりや天文台を有する	羊肉が特産のまち
増毛	旭川	岩見沢	夕張	札幌	札幌に近いベッドタウン	千歳
ニシン漁で栄えた北の古都	道北の中心都市	ワイナリーが立ち並び	メロンが特産のまち	北海道の中心地		空港を抱えるまち

以下の地図を見て、行ってみたい場所や体験してみたいことに○を入れて下さい

礼文島

宗谷岬

宗谷の豊富な海産物

宗谷地域の乳製品

豊富温泉

天塩川

名寄のリンゴ

空知のワイン

炭酸・土産物

最北の日本酒

利尻礼文佐呂別公園

天売島・焼尻島

ものづくり体験

峠を越え

峠を越え

日本海の夕陽

質問3 あなたご自身のことについてお聞きします。あてはまる数字に○をつけてください。

性別	1 男性 2 女性
年齢	1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代 6 60代 7 70代以上
職業	1 会社員・役員 2 自営業 3 専門職 4 公務員 5 学生 6 専業主婦 7 パート・アルバイト 8 無職 (フリーター) 9 無職 (年金) 10 その他 ()
世帯年収 (年金や利息、配当、親代等の収入も含む)	世帯年収 □□□,□□□,□□□,□□□ (右つめ) 通貨 ()
年間旅行回数 (宿泊を伴う旅行のみ)	自国内 () 回/年 自国外 () 回/年
今後行ってみたい国外での訪問地を教えてください。	●一カ国を記入してください。() ●それはなぜですか？(複数回答可)
あなたご自身が旅行をする時期を教えてください。	※各国の休日に合わせて設問を変更
これまでの日本の訪問経験数を教えてください。	訪問回数 () 回

質問4 きた北海道の観光について、ご意見を自由に記入ください。

Blank area for comments.

アンケートは以上です。ありがとうございました。

1-2 調査結果

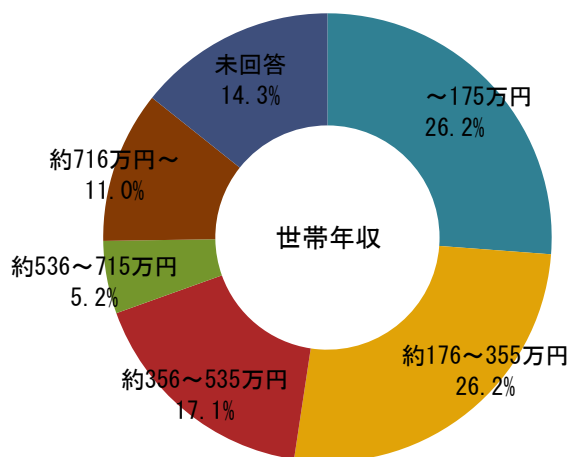
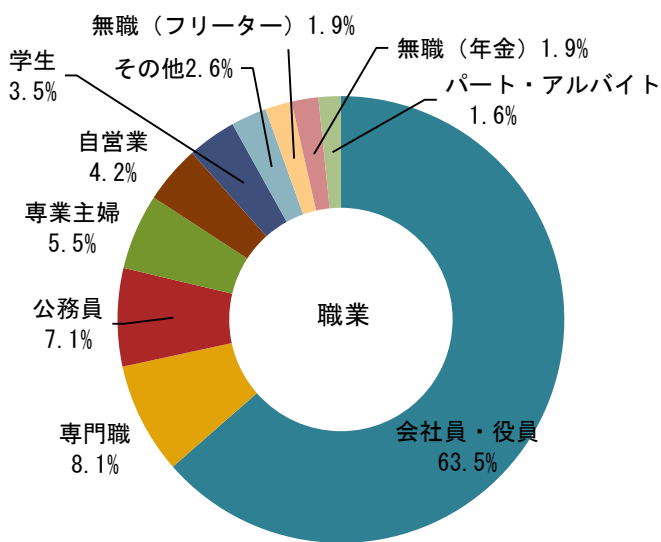
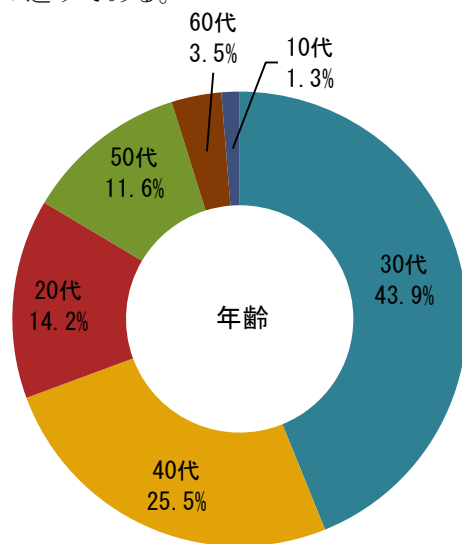
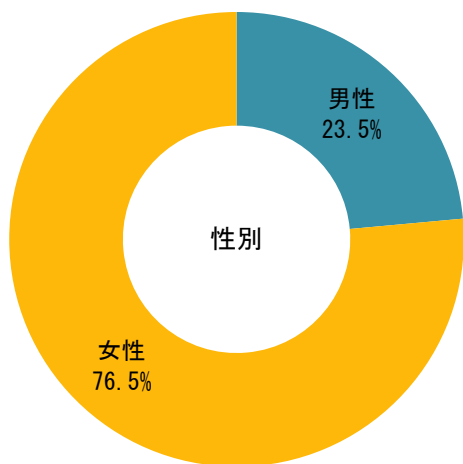
調査結果は、以下の通りである。

	国・地域名	回収数		合計
		旅行会社を通じたウェブアンケート	旅行博等での対面式アンケート	
最重点市場	台湾	270票	40票	310票
重点市場	香港	40票	163票	203票
	タイ	22票	200票	222票
その他市場	シンガポール	7票	200票	207票
	アメリカ	212票	—	212票

(1) 台湾の調査結果

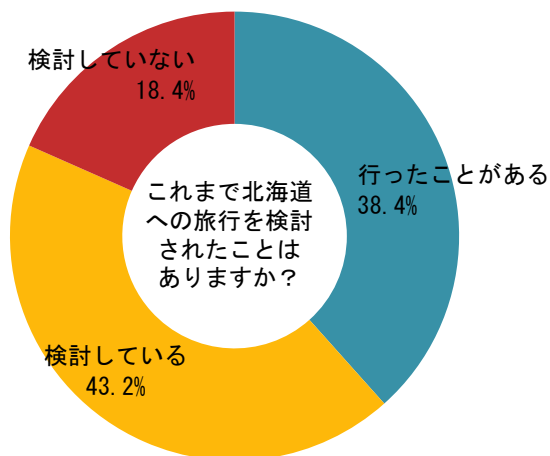
台湾の現地カスタマー向けアンケート調査の結果は、以下の通りである。

■回答者の属性



(1) 台湾の調査結果

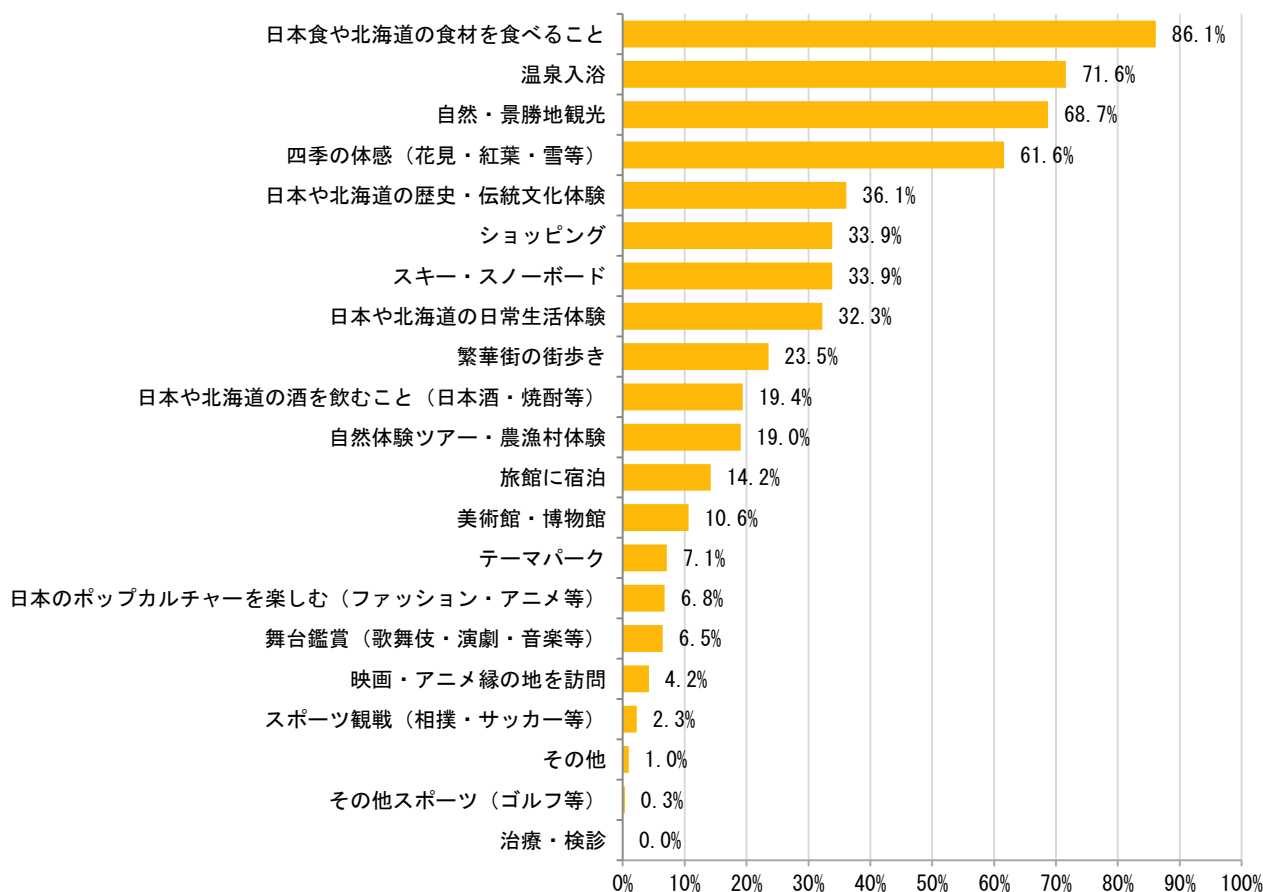
■北海道旅行の検討について



北海道への旅行の検討については、「行っただことがある」38.4%、「検討している」43.2%。「検討していない」18.4%となっている。来道リピーターと検討層で約8割を占めている。

■北海道旅行での関心やしたいことについて

<北海道での旅行であなたの関心のあることやしたい（した）ことはなんですか？（複数回答可）>

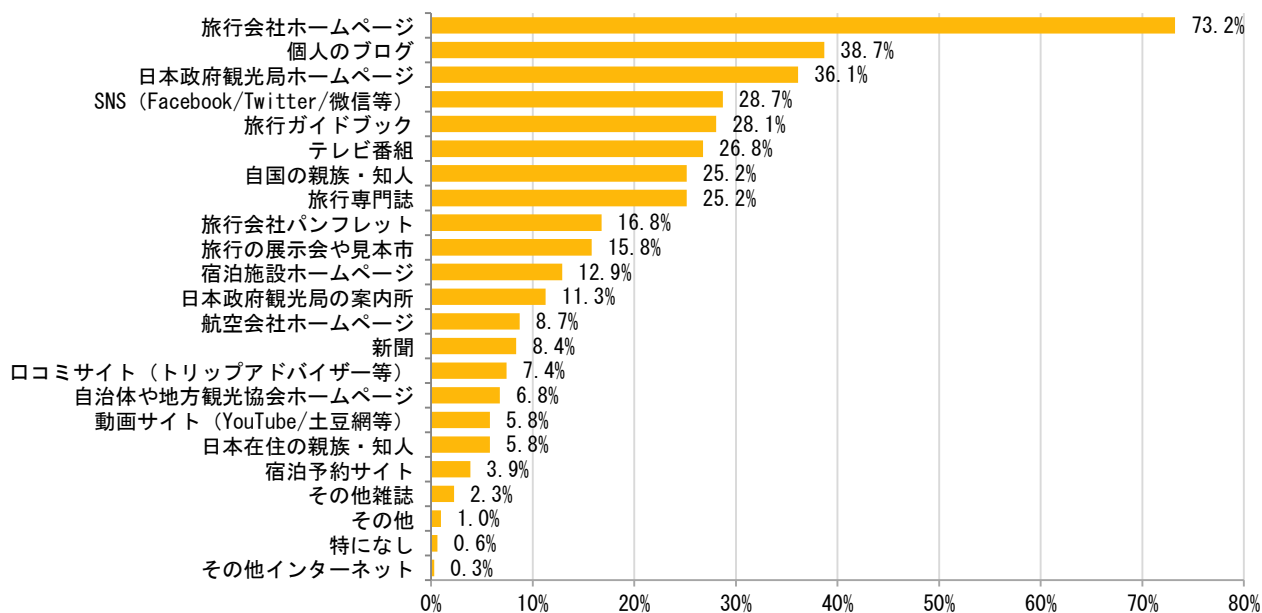


北海道旅行の目的・関心については、「日本食や北海道の食材を食べること」が86.1%でトップ。「温泉入浴」71.6%、「自然・景勝地観光」68.7%と続いている。

(1) 台湾の調査結果

■北海道旅行に関する情報の入手先について

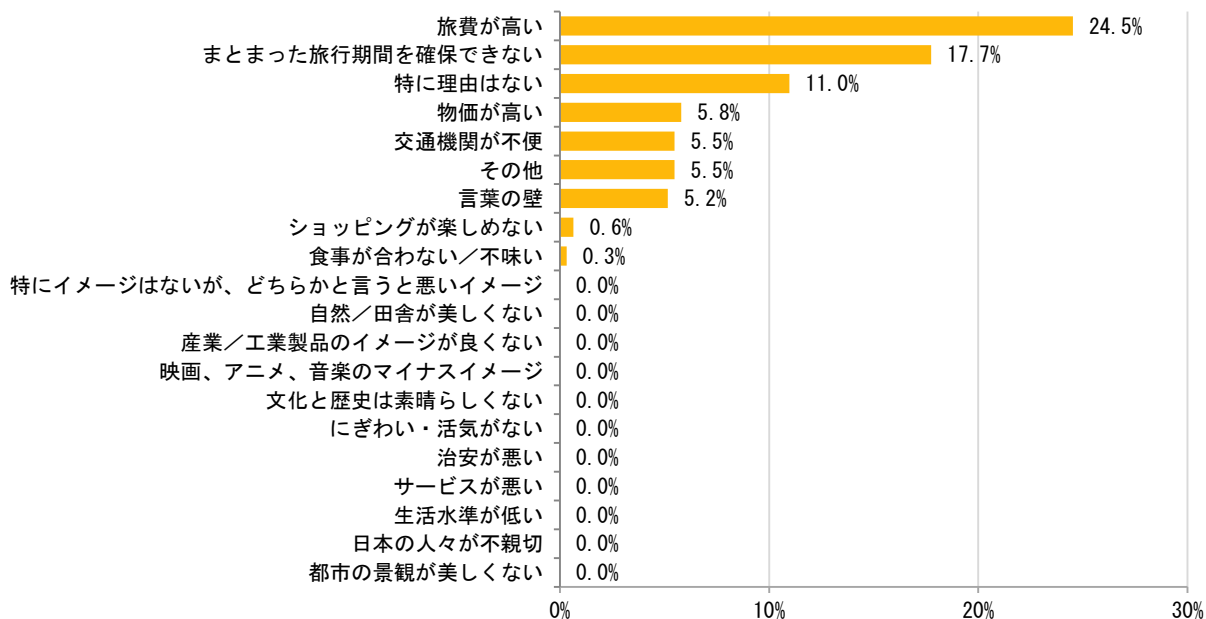
＜北海道での旅行を検討する際、旅行先の情報はどのように入手されますか？（複数回答可）＞



北海道旅行に関する情報の入手先については、「旅行会社ホームページ」が73.2%でトップ。以降、「個人のブログ」38.7%、「日本政府観光局ホームページ」36.1%、「SNS (Facebook/Twitter/微信等)」28.7%と続いている。

■北海道旅行の障害要因（実現しない理由）について

＜北海道での旅行が実現しない理由を教えてください（複数回答可）＞

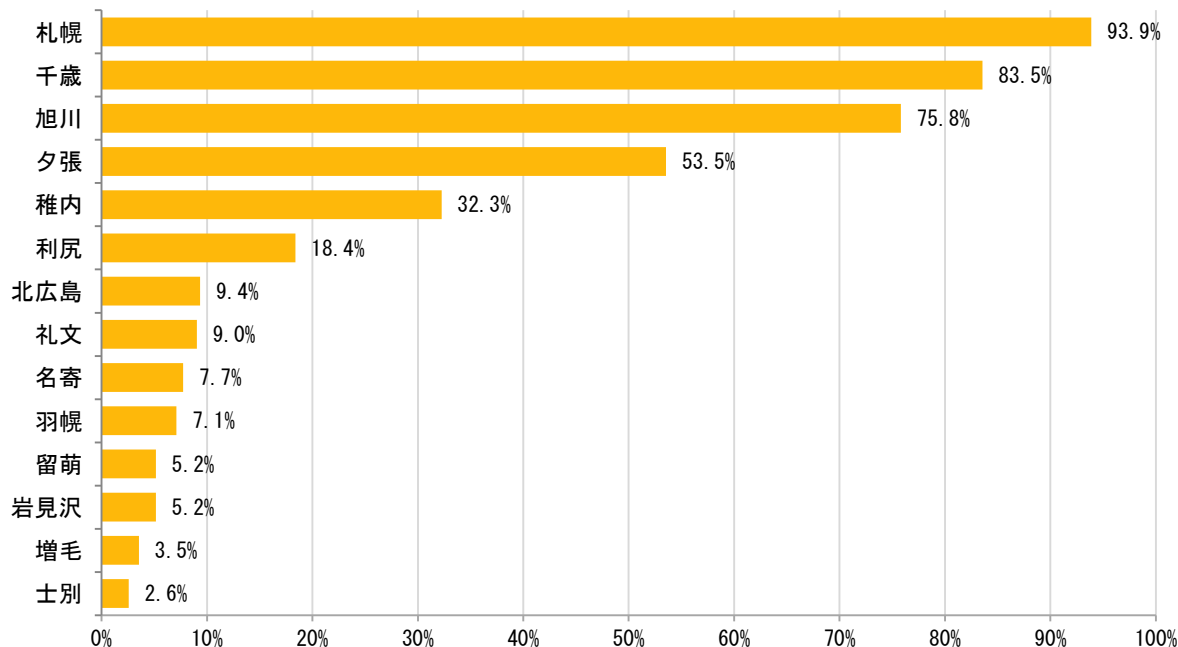


北海道旅行の障害となっているものについては、「旅費が高い」24.5%、「まとまった旅行期間を確保できない」17.7%、「特に理由はない」11.0%がトップ3。以降、「物価が高い」「交通機関が不便」「言葉の壁」などが続いている。

(1) 台湾の調査結果

■きた北海道エリアの認知度について

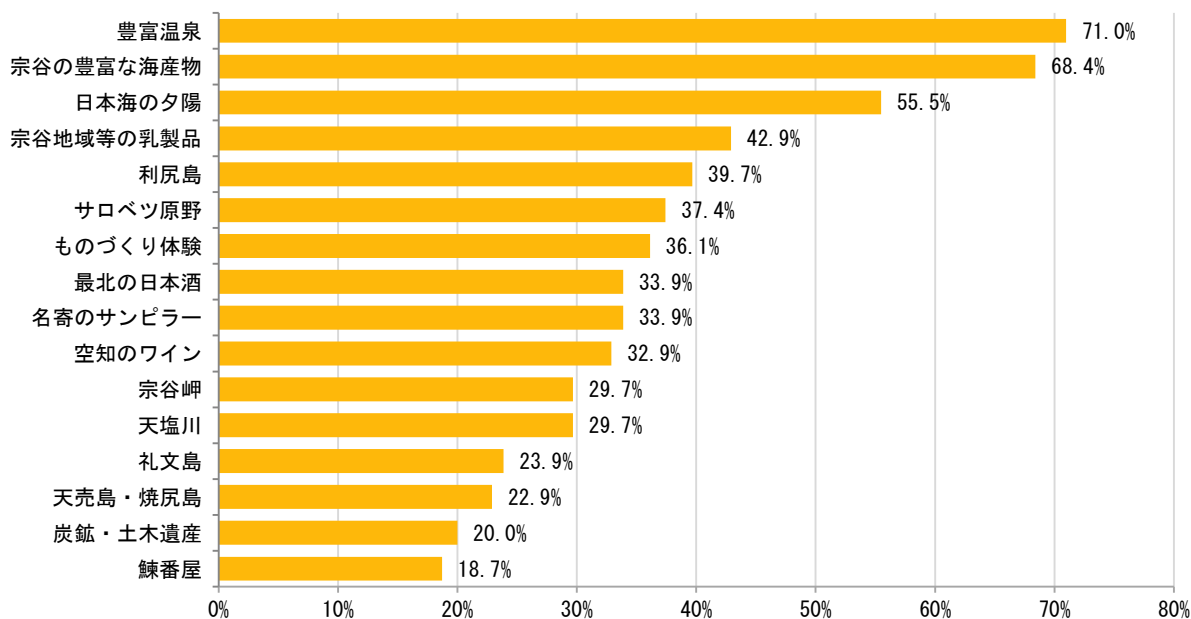
＜きた北海道で知っている場所・地名はありますか？（複数回答可）＞



知っている場所・地名については、「札幌」93.9%、「千歳」83.5%、「旭川」75.8%がトップ3。以降、「夕張」53.5%、「稚内」32.3%、「利尻」18.4%と続いている。「稚内」は3割程度となっているものの道北圏の認知度は総じて低くなっている。

■きた北海道エリアで行きたい場所・したいことについて

＜地図を見て、きた北海道で行ってみたい場所や体験してみたいこと（複数回答可）＞

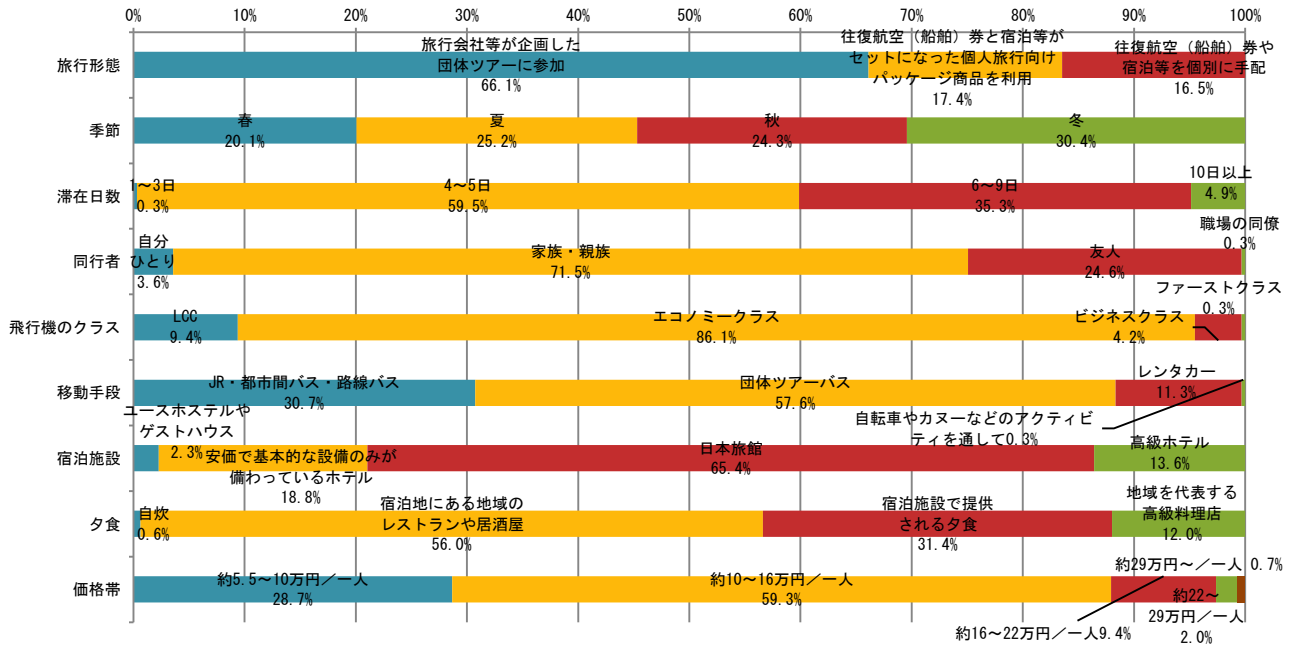


きた北海道で、行ってみたい場所や体験してみたいことについては、「豊富温泉」71.0%、「宗谷の豊富な海産物」68.7%、「日本海の夕陽」55.5%がトップ3。温泉・食・景勝などが多い傾向で、体験コンテンツでは、「ものづくり体験」が36.1%となっている。

(1) 台湾の調査結果

■きた北海道における旅行プランのニーズについて

＜どのような旅行プランで、きた北海道を旅行したいですか？＞



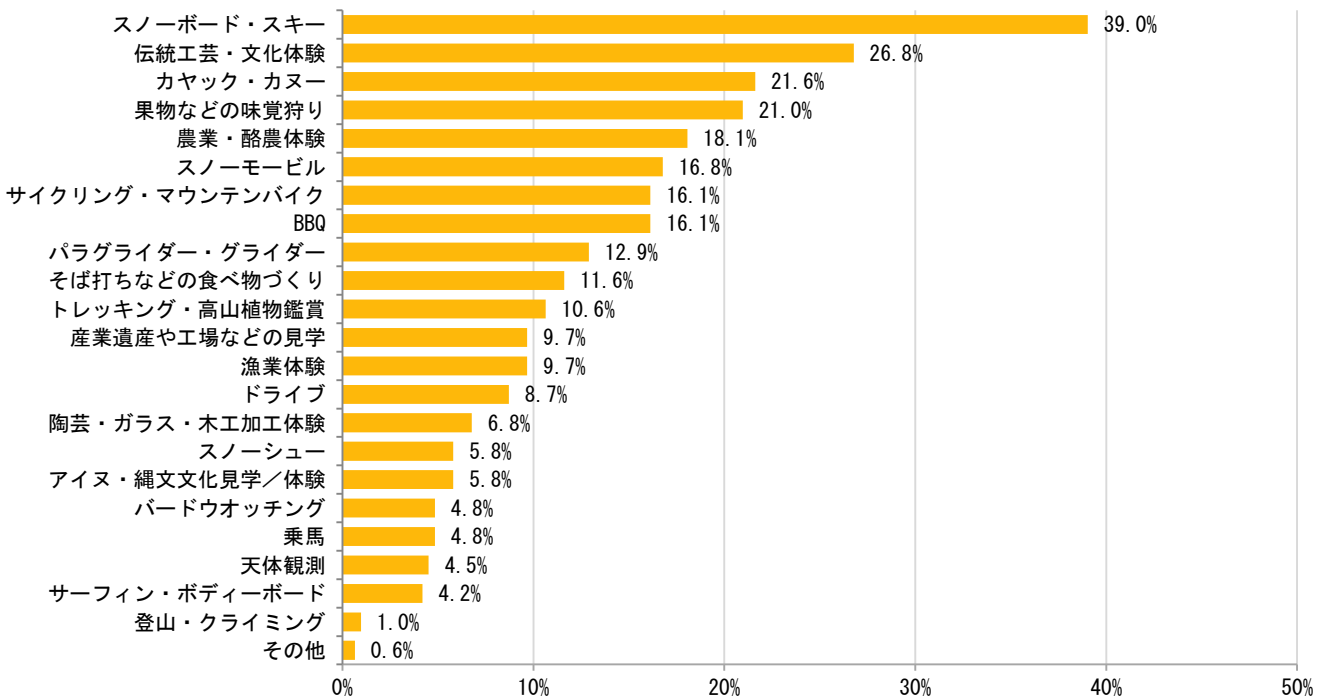
旅行プランについては、「旅行会社等が企画した団体ツアーに参加」が66.1%と多くなっている。観光庁の「訪日外国人消費動向調査」では団体ツアーのシェアが4割を下回っているが、北海道においては、団体ツアーの入込数は減っているもの依然として5~6割のシェアを占める。

(台湾大手旅行会社、台湾航空会社へのヒアリングより)

季節に関しては春夏秋冬でほぼ同様の傾向、滞在日数については「4~5日」が59.4%で最も多い。

■きた北海道で体験したいことについて

＜きた北海道であなたが体験したいと思うもの(最大3つ)＞

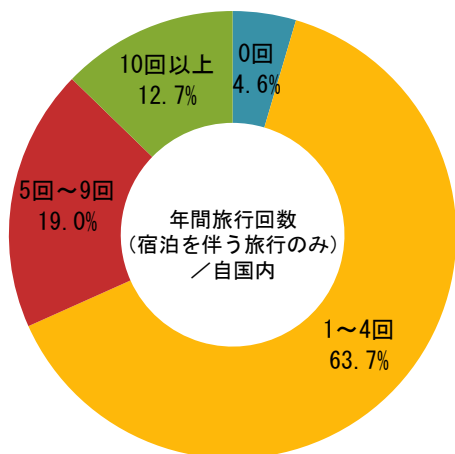


きた北海道での体験コンテンツについては、「スノーボード・スキー」が39.0%でトップ。以降、「伝統工芸・文化体験」26.8%、「カヤック・カヌー」21.6%、「果物などの味覚狩り」21.0%と続いている。

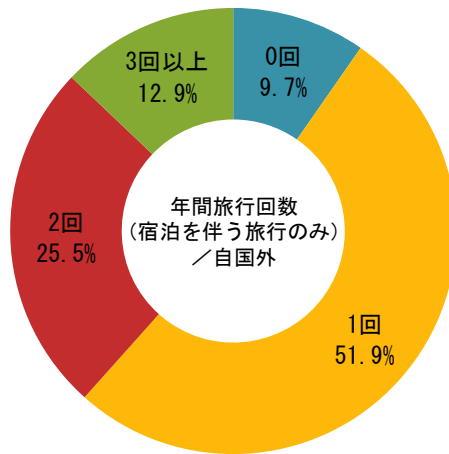
(1) 台湾の調査結果

■ 回答者の旅行経験などについて

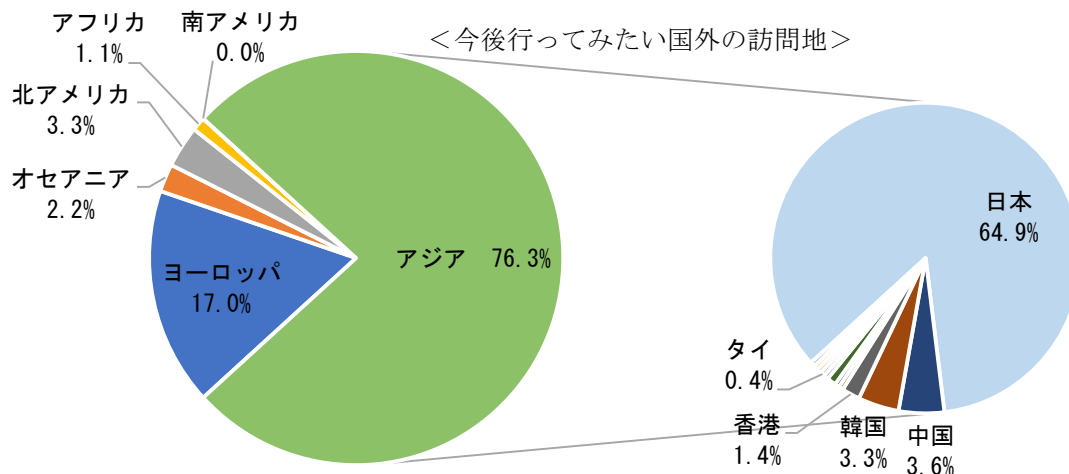
<年間旅行回数（自国内）>



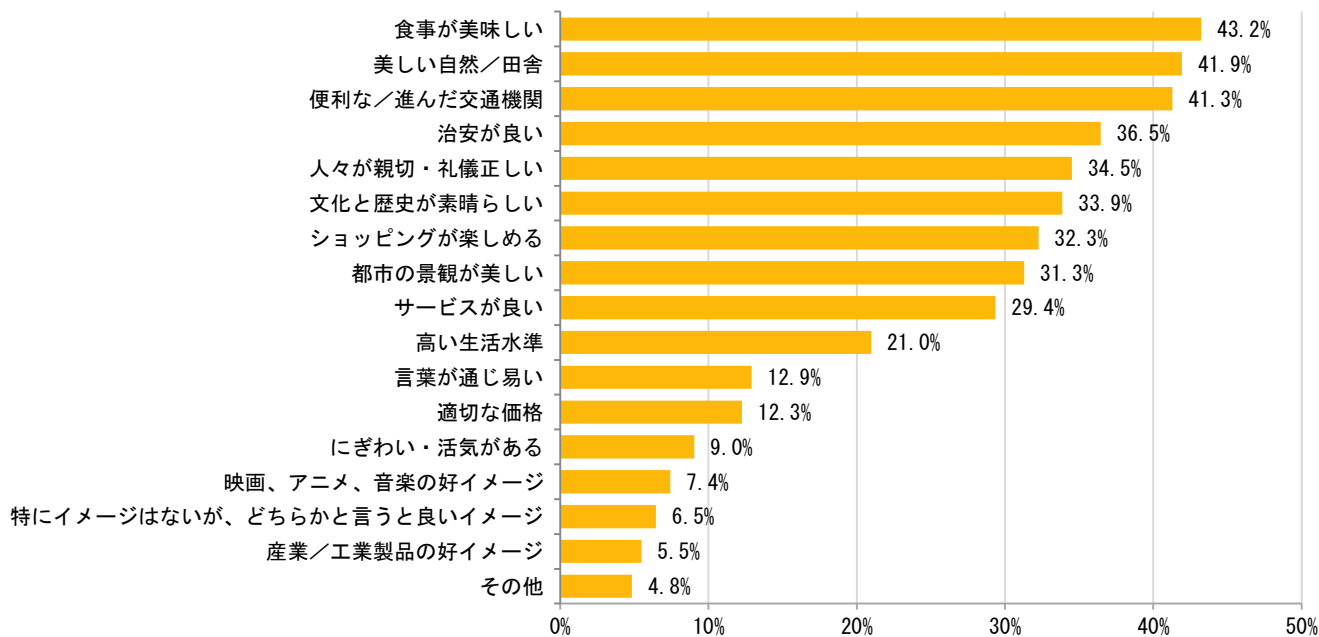
<年間旅行回数（自国外）>



<今後行ってみたい国外の訪問地>



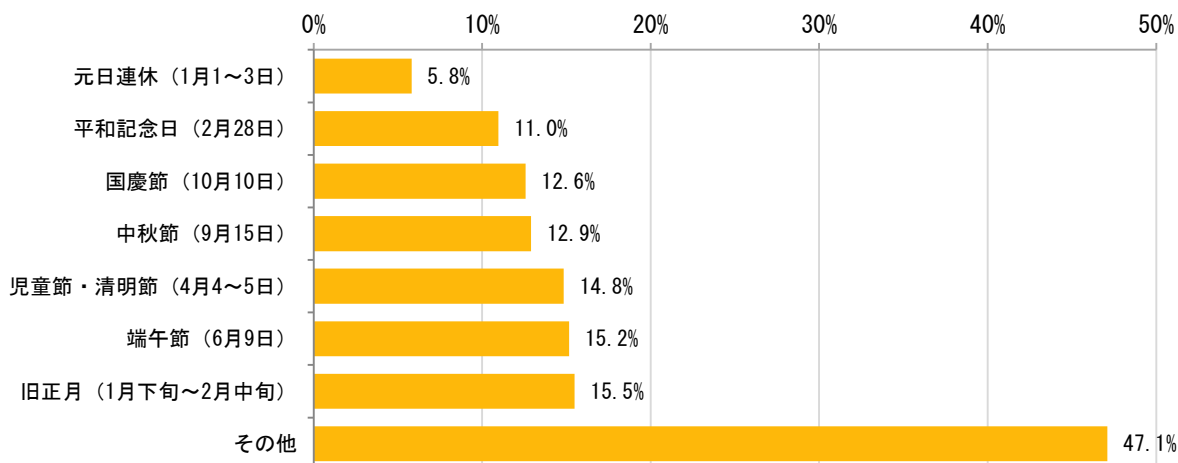
<今後行ってみたい国外の訪問地の理由（複数回答可）>



(1) 台湾の調査結果

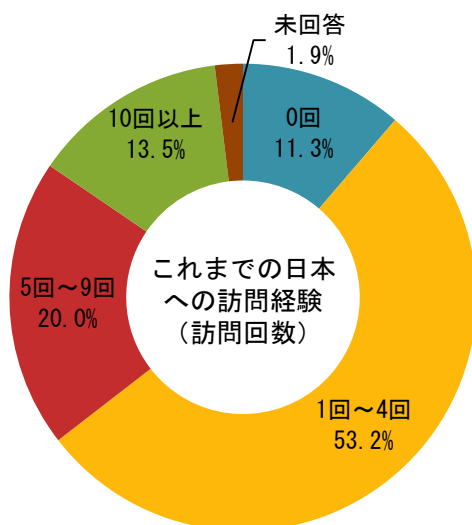
■ 旅行をする時期について

<あなたが主に旅行をする時期を教えてください（複数回答可）>



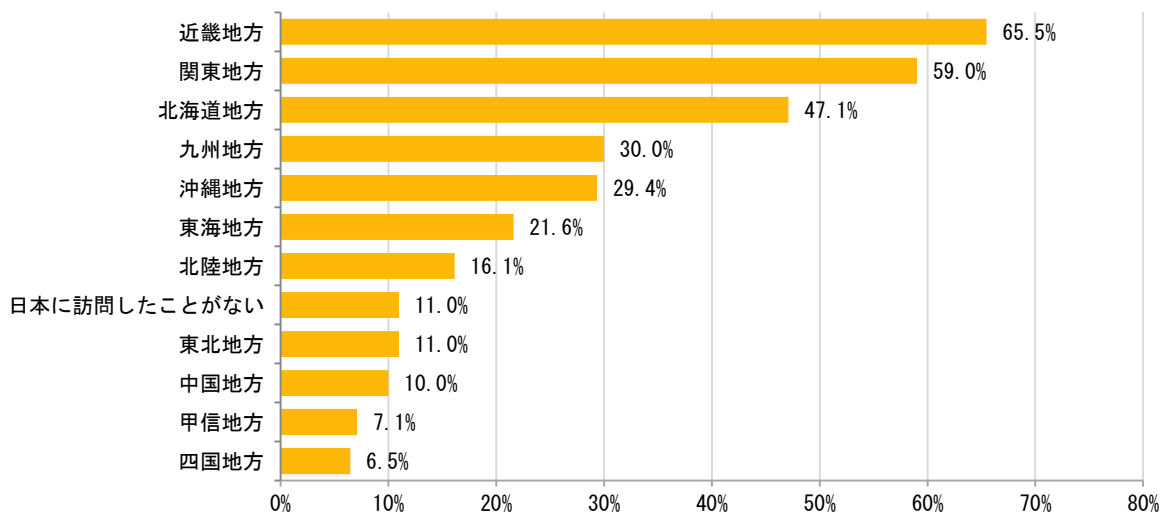
■ 日本への訪問経験について

<これまでの日本への訪問経験（訪問回数）を教えてください>



■ 日本への訪問経験について

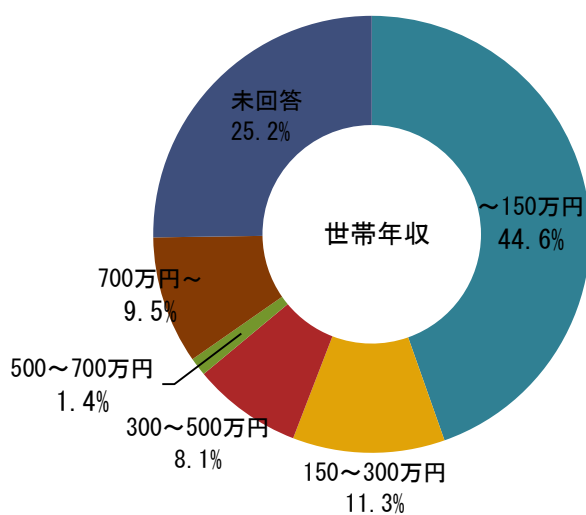
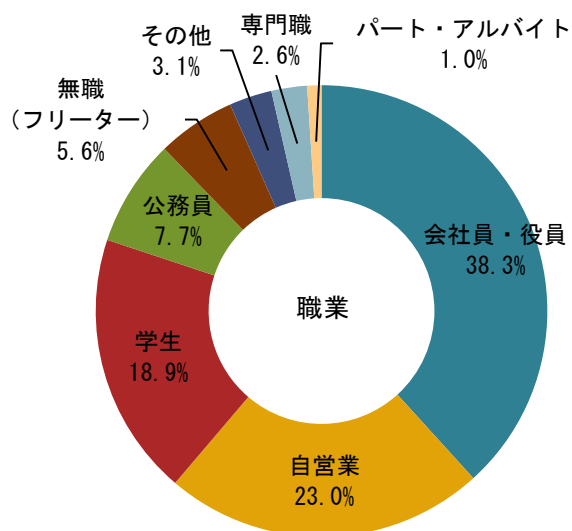
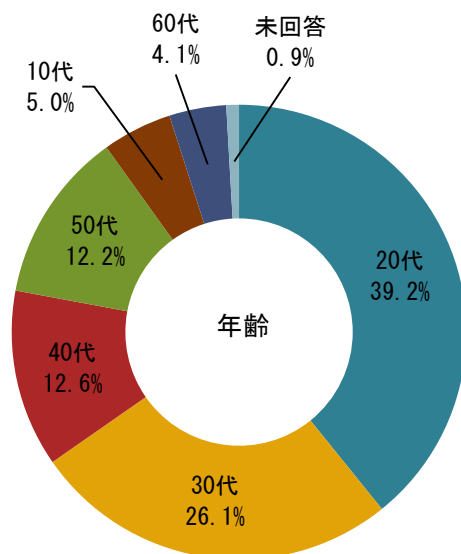
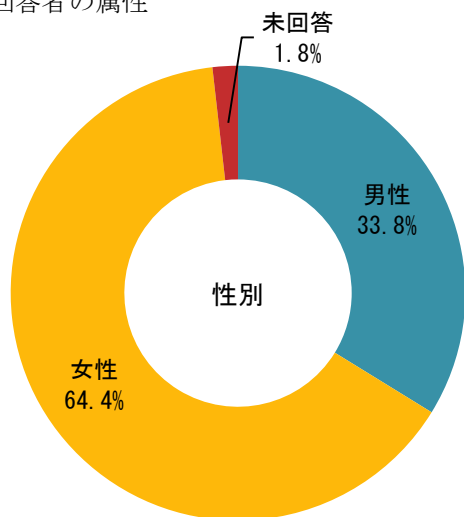
<これまでの日本への訪問経験（訪問地）を教えてください（複数回答可）>



(2) 香港の調査結果

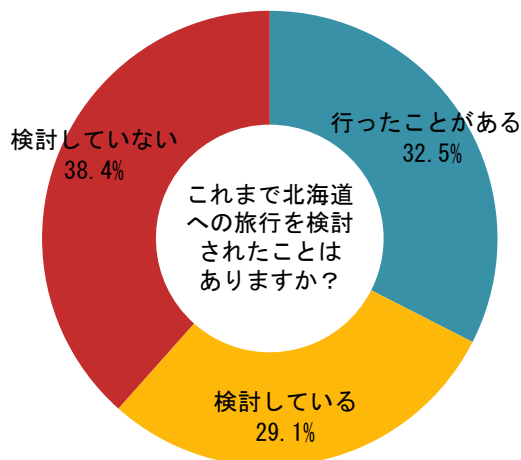
香港の現地カスタマー向けアンケート調査の結果は、以下の通りである。

■回答者の属性



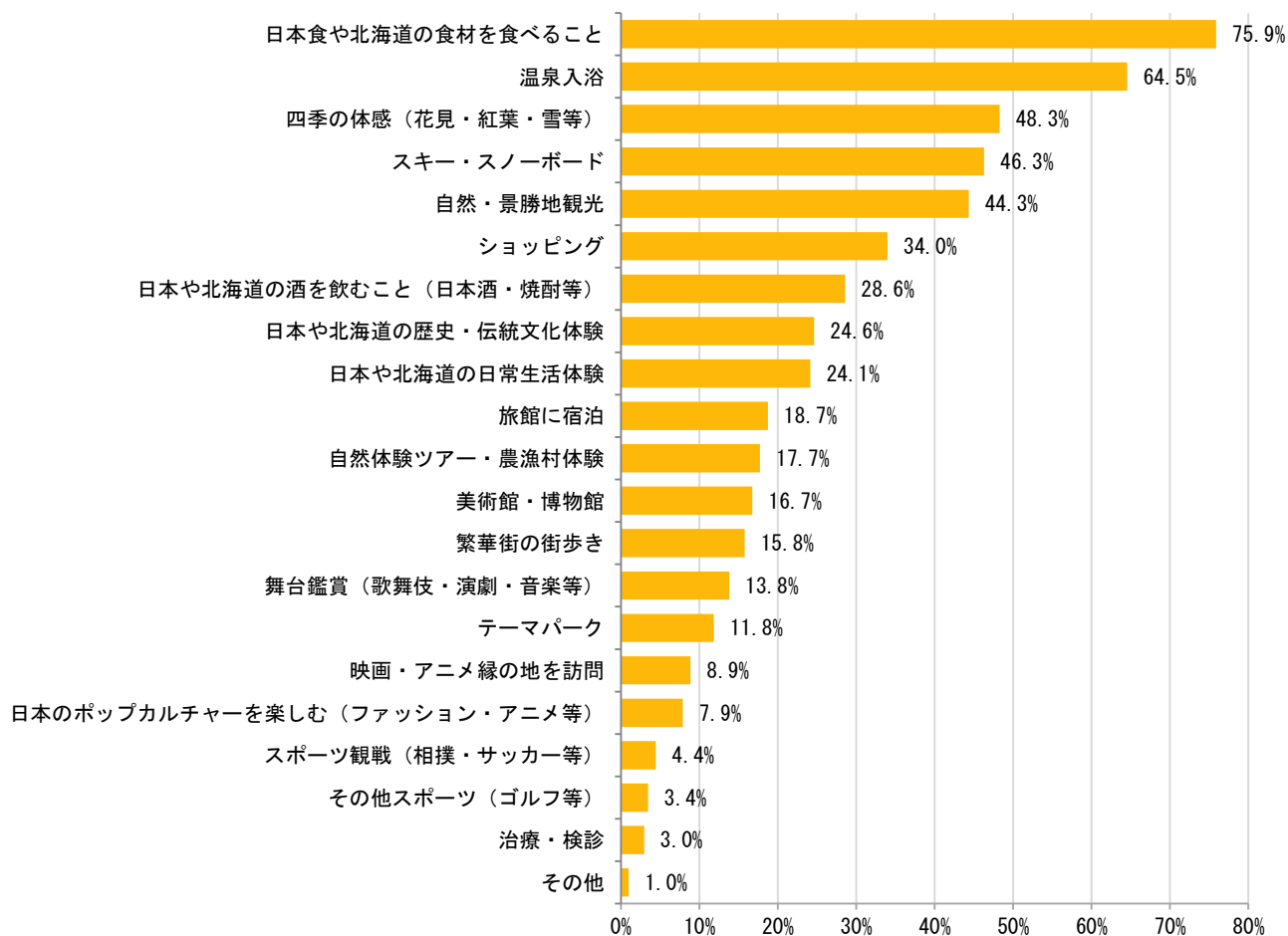
(2) 香港の調査結果

■北海道旅行の検討について



■北海道旅行での関心やしたいことについて

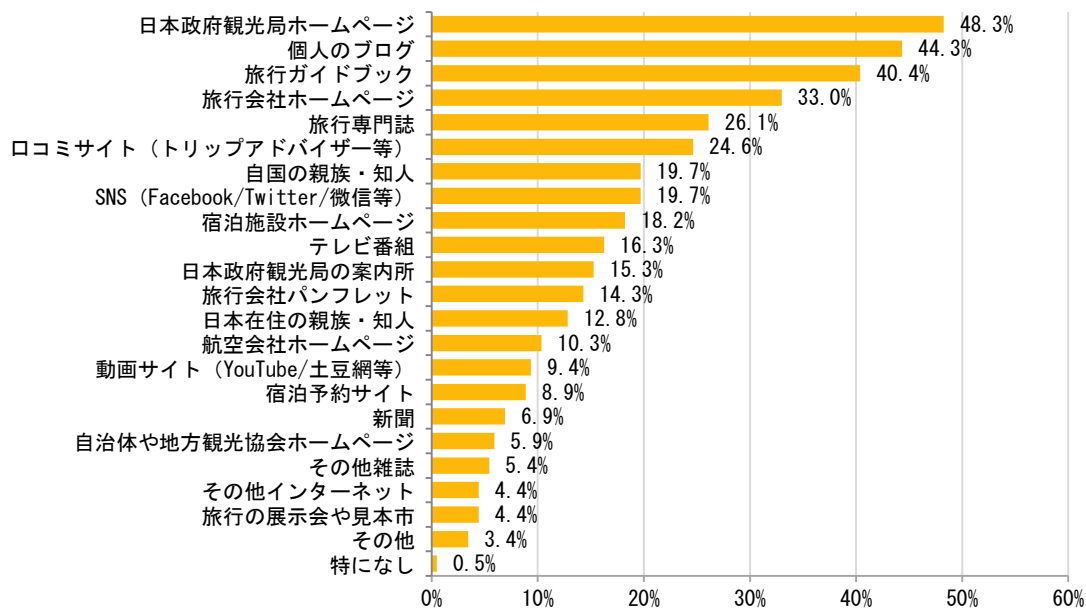
<北海道での旅行であなたの関心のあることやしたい（した）ことはなんですか？（複数回答可）>



(2) 香港の調査結果

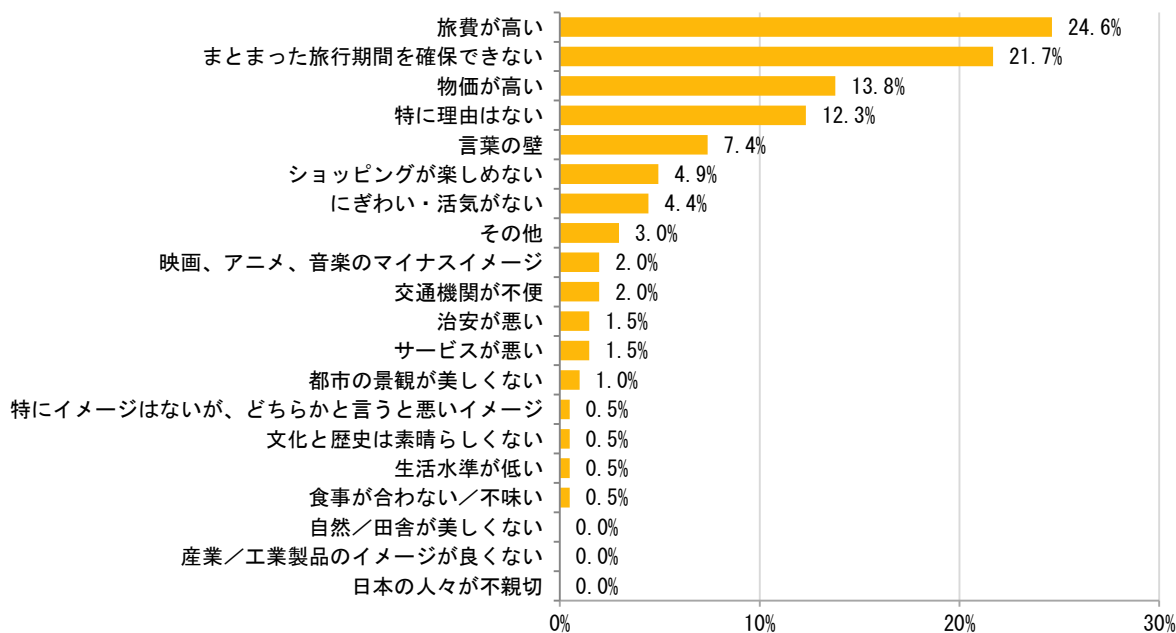
■北海道旅行に関する情報の入手先について

<北海道での旅行を検討する際、旅行先の情報はどのように入手されますか？（複数回答可）>



■北海道旅行の障害要因（実現しない理由）について

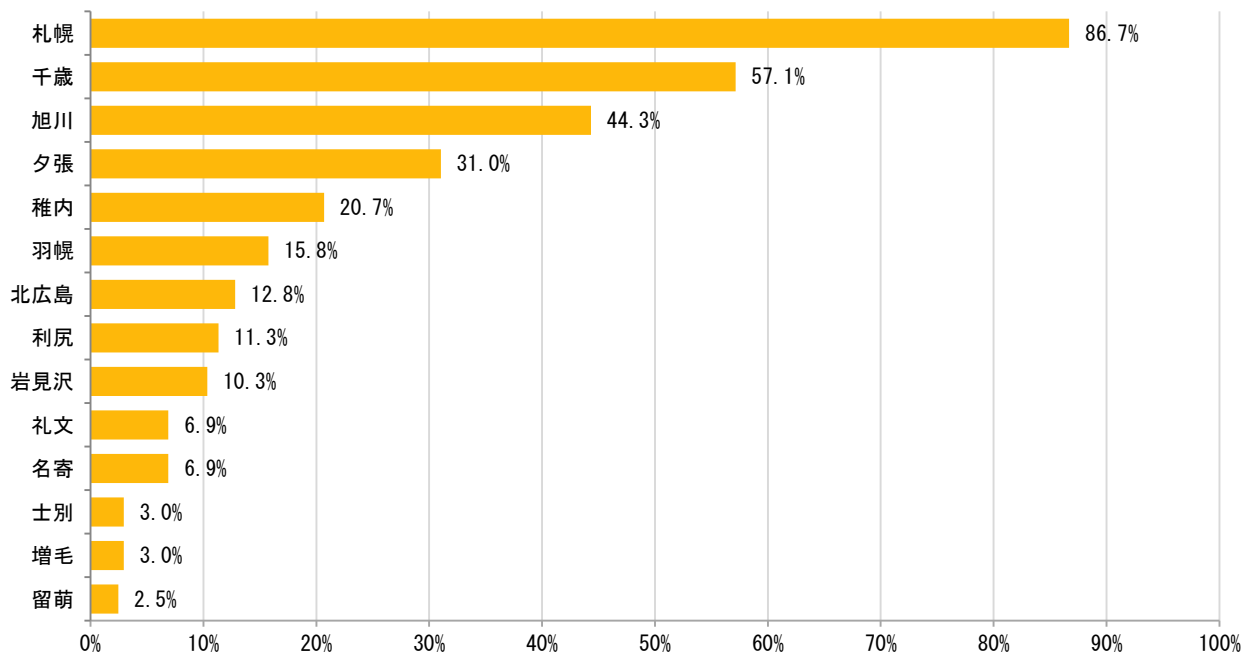
<北海道での旅行が実現しない理由を教えてください（複数回答可）>



(2) 香港の調査結果

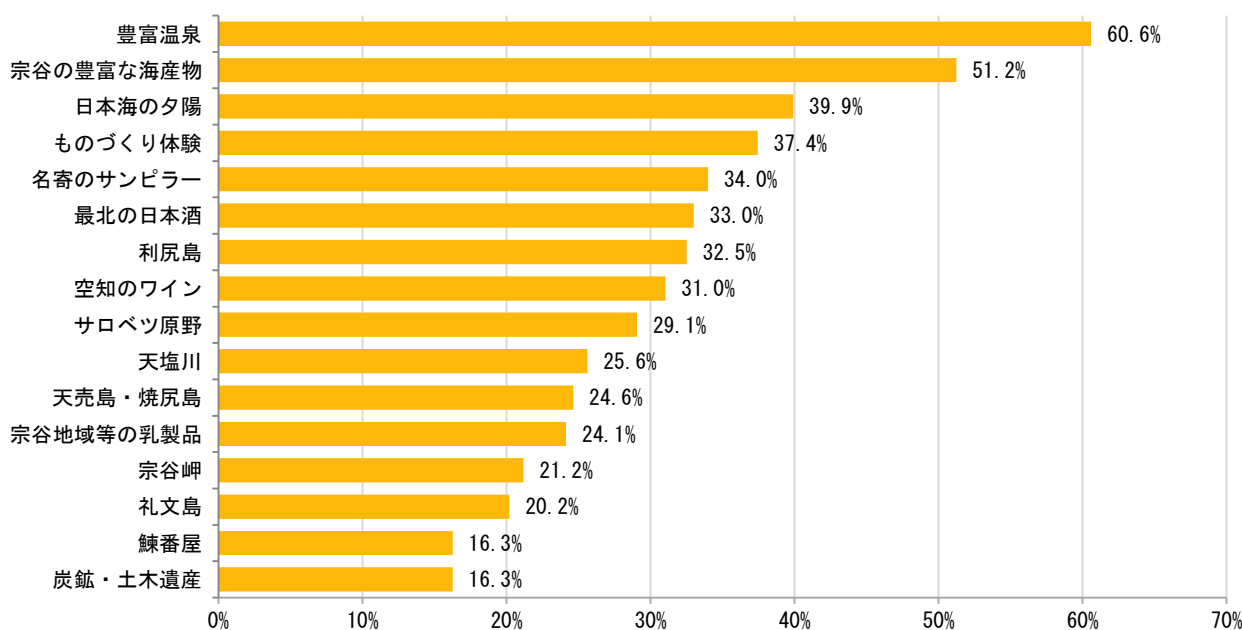
■きた北海道エリアの認知度について

<きた北海道で知っている場所・地名はありますか？（複数回答可）>



■きた北海道エリアで行きたい場所・したいことについて

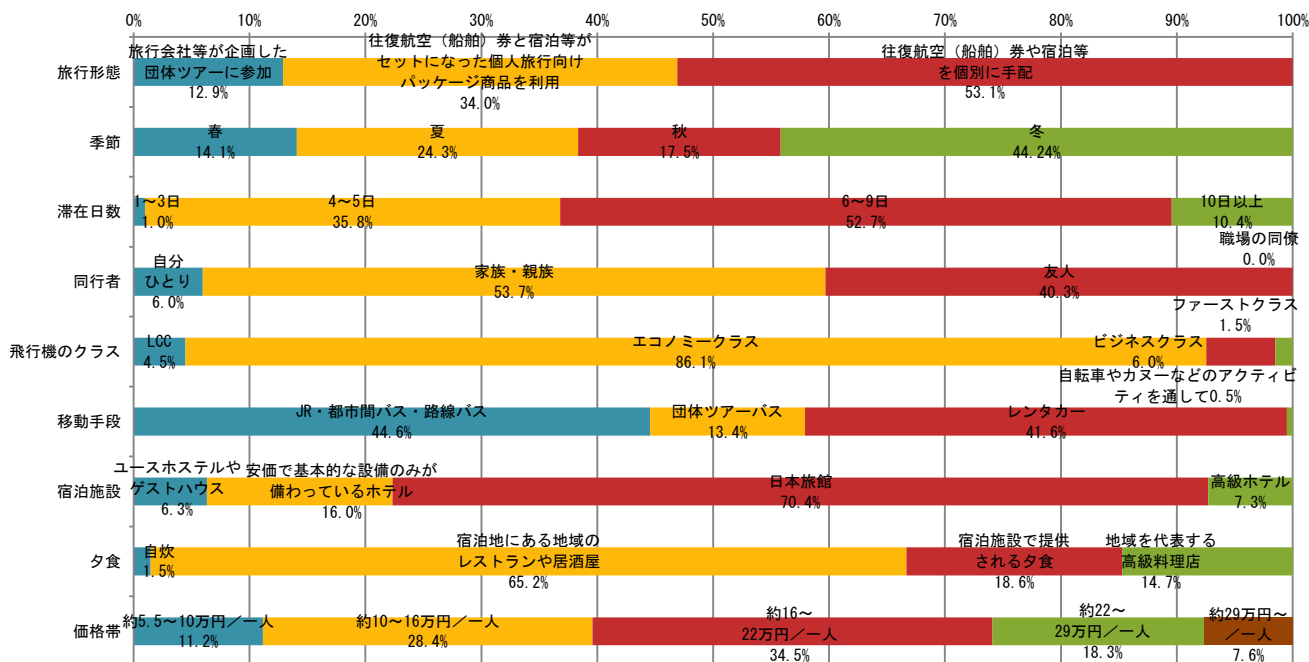
<地図を見て、きた北海道で行ってみたい場所や体験してみたいこと（複数回答可）>



(2) 香港の調査結果

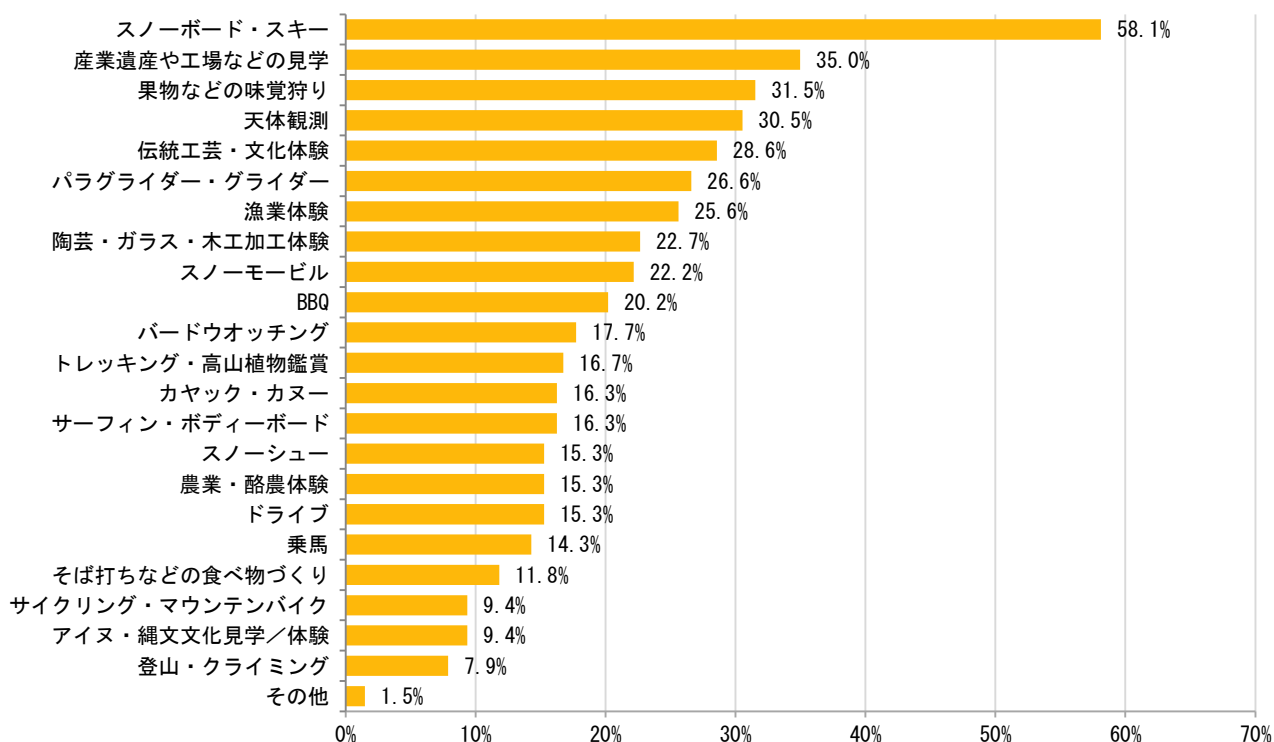
■きた北海道における旅行プランのニーズについて

<どのような旅行プランで、きた北海道を旅行したいですか？>



■きた北海道で体験したいことについて

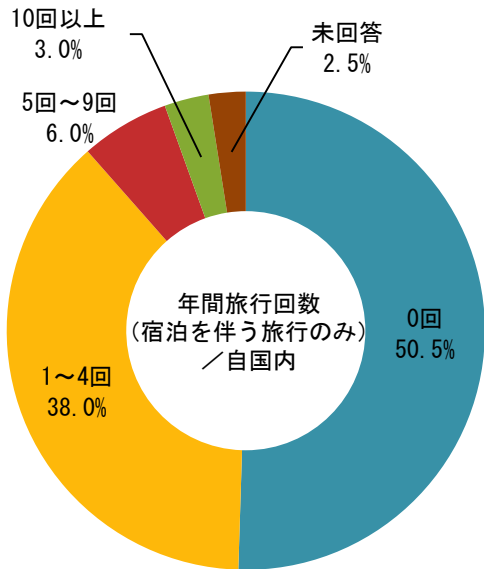
<きた北海道であなたが体験したいと思うもの(最大3つ)>



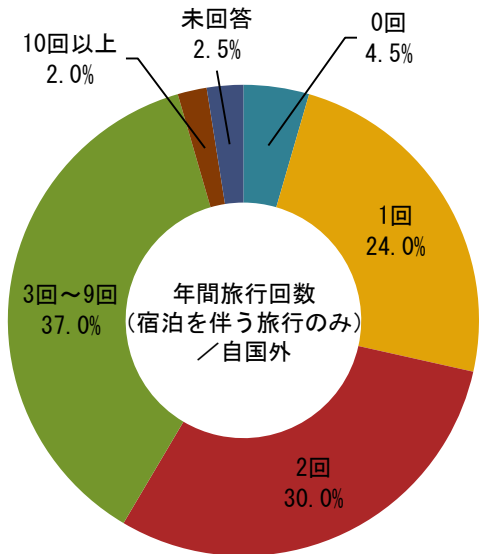
(2) 香港の調査結果

■回答者の旅行経験などについて

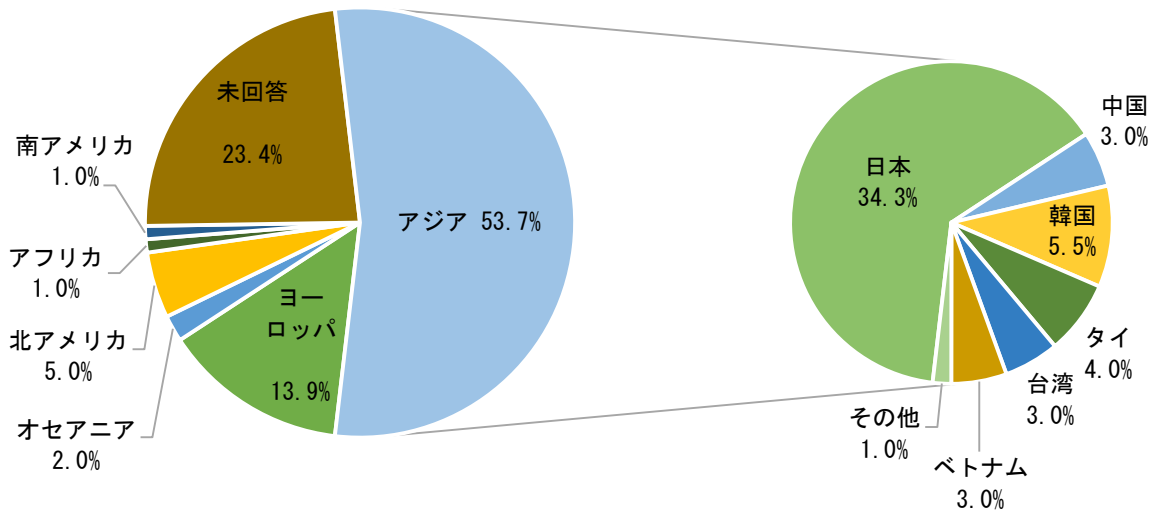
<年間旅行回数（自国内）>



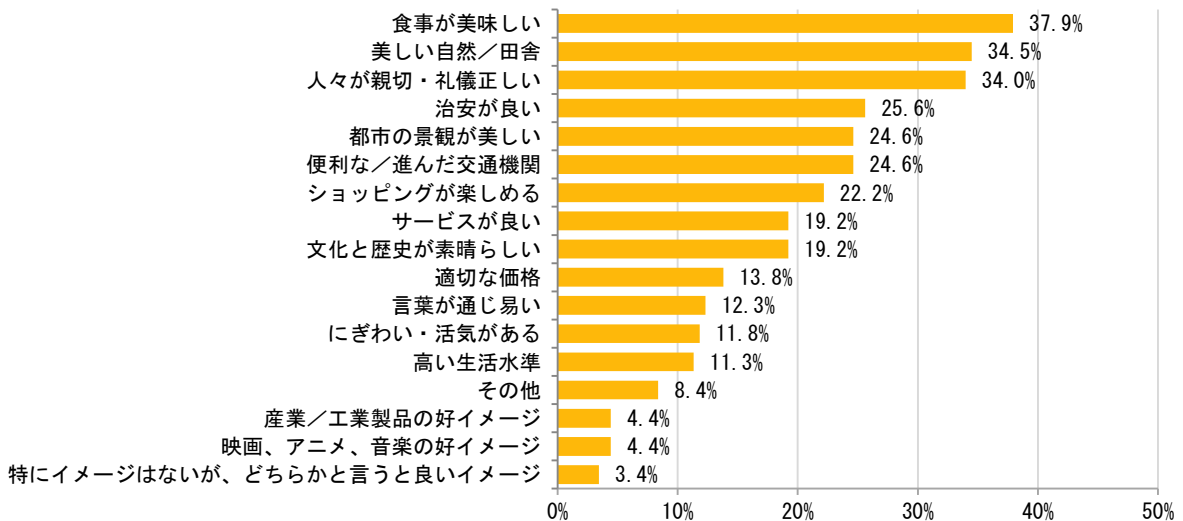
<年間旅行回数（自国外）>



<今後行ってみたい国外の訪問地>



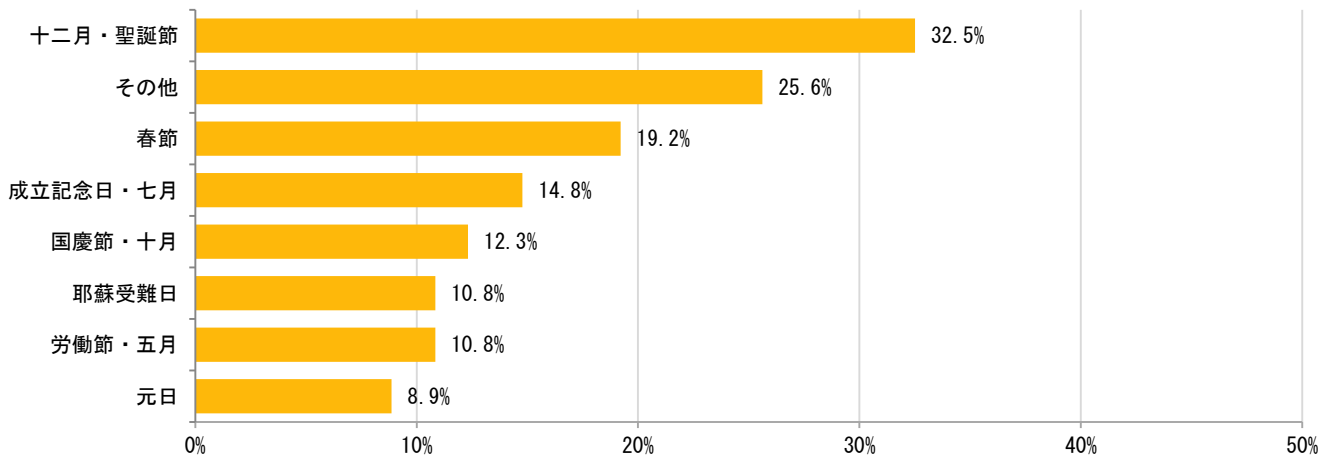
<今後行ってみたい国外での訪問地の理由（複数回答可）>



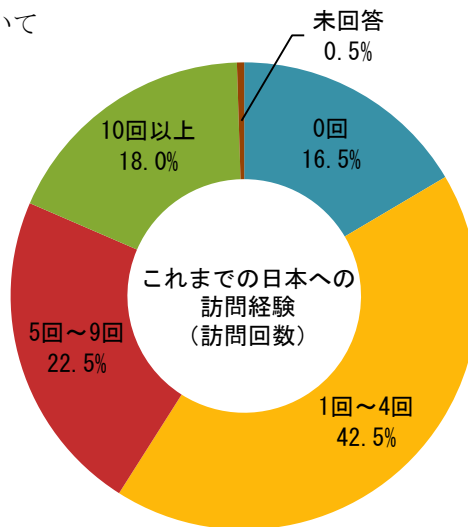
(2) 香港の調査結果

■ 旅行をする時期について

<あなたが主に旅行をする時期を教えてください（複数回答可）>

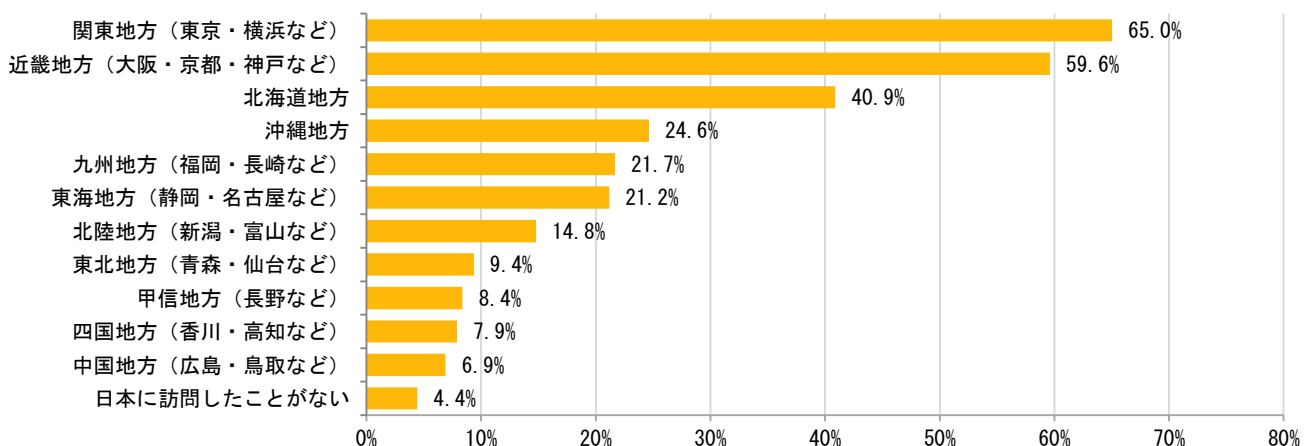


■ 日本への訪問経験について



■ 日本への訪問経験について

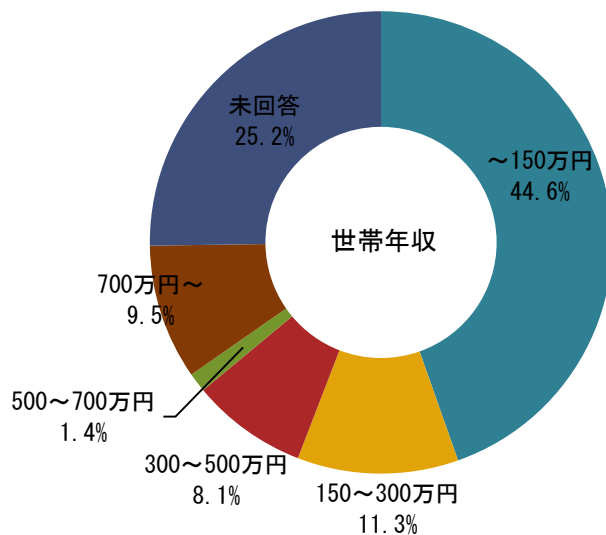
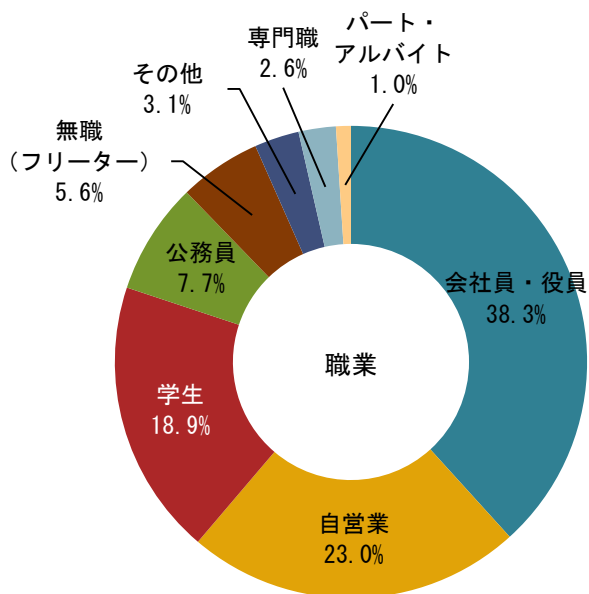
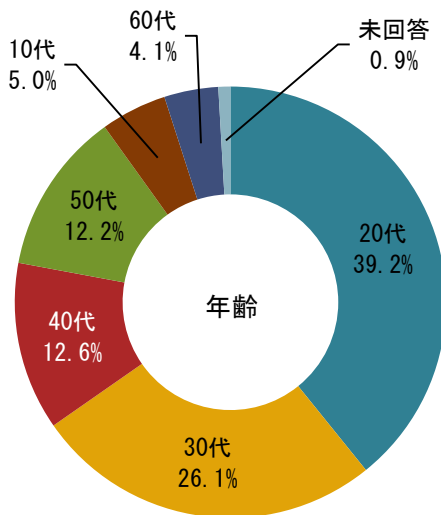
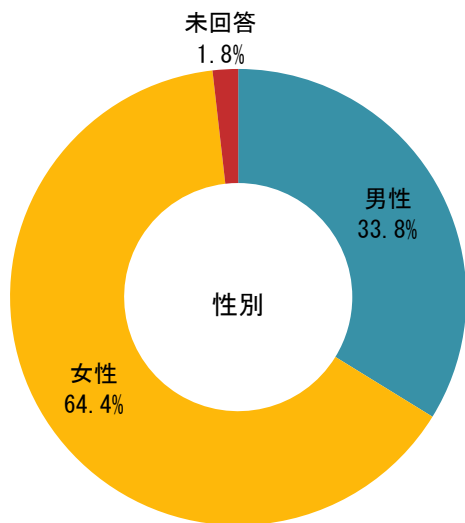
<これまでの日本への訪問経験（訪問地）を教えてください（複数回答可）>



(3) タイの調査結果

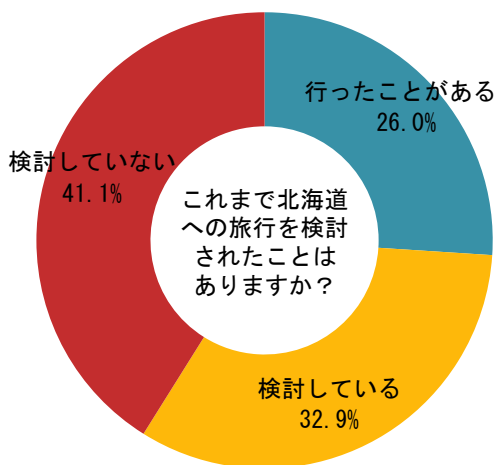
タイの現地カスタマー向けアンケート調査の結果は、以下の通りである。

■回答者の属性



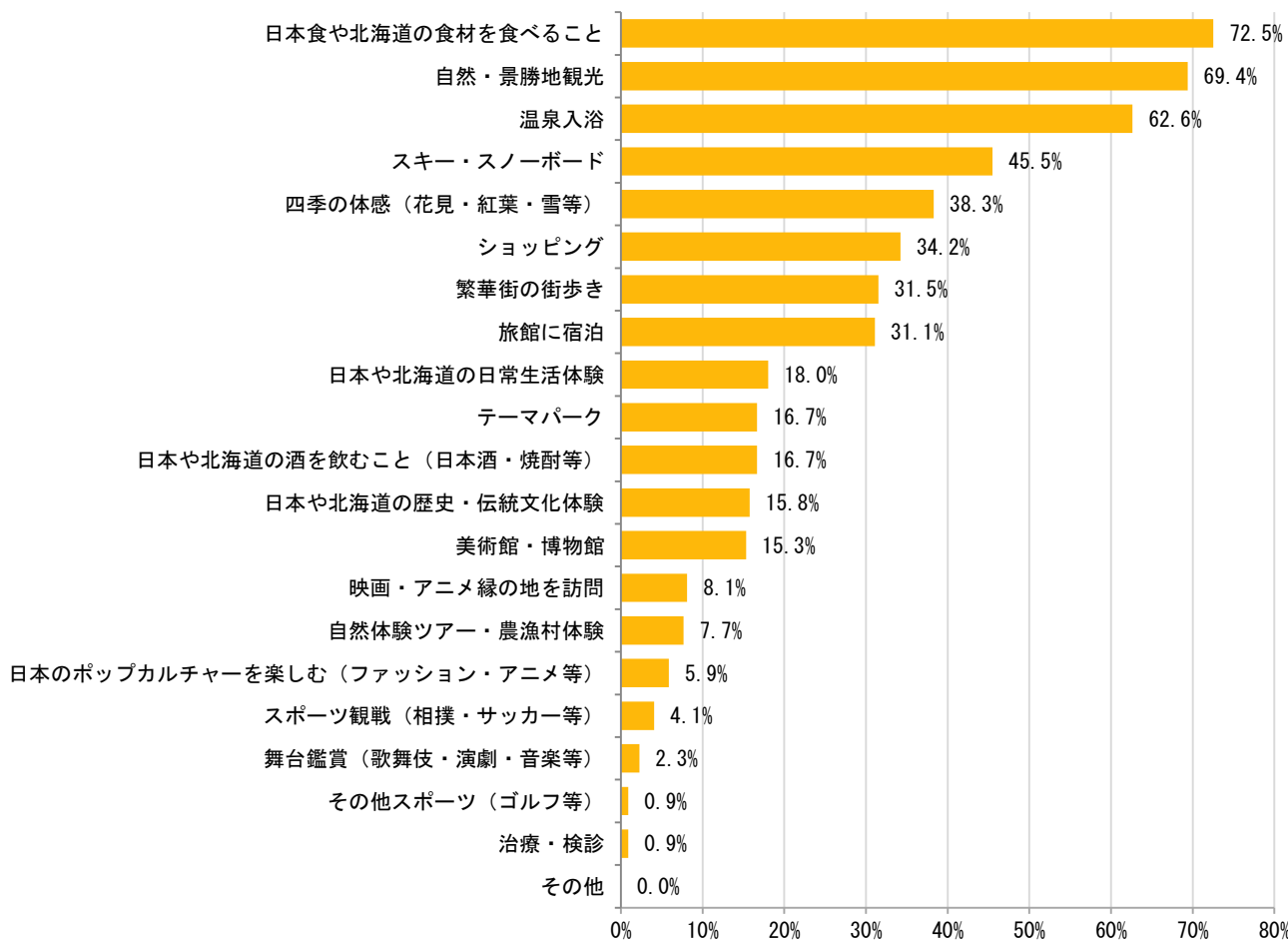
(3) タイの調査結果

■北海道旅行の検討について



■北海道旅行での関心やしたいことについて

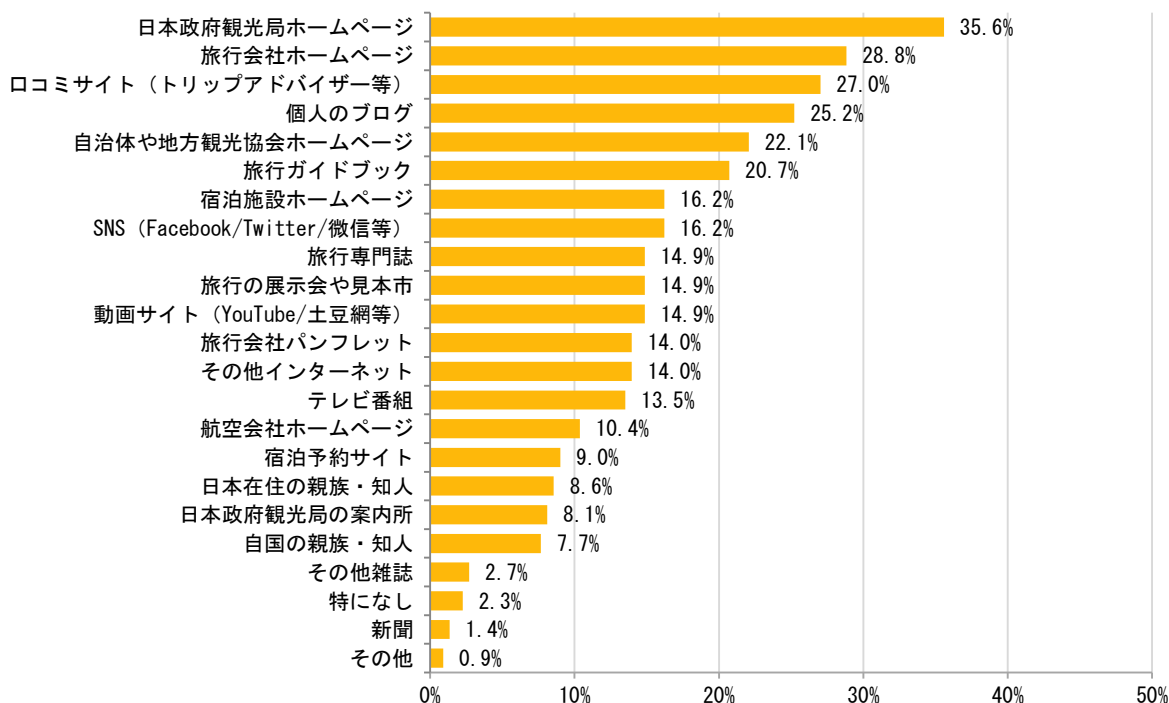
<北海道での旅行であなたの関心のあることやしたい（した）ことはなんですか？（複数回答可）>



(3) タイの調査結果

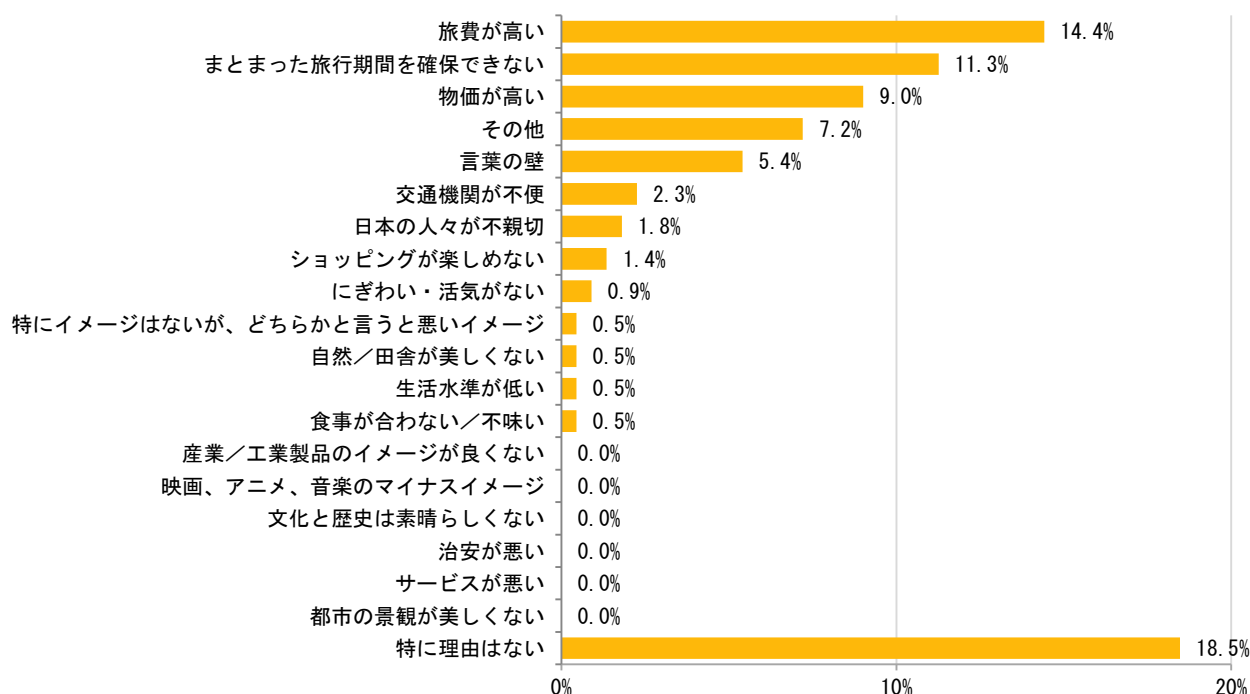
■北海道旅行に関する情報の入手先について

<北海道での旅行を検討する際、旅行先の情報はどのように入手されますか？（複数回答可）>



■北海道旅行の障害要因（実現しない理由）について

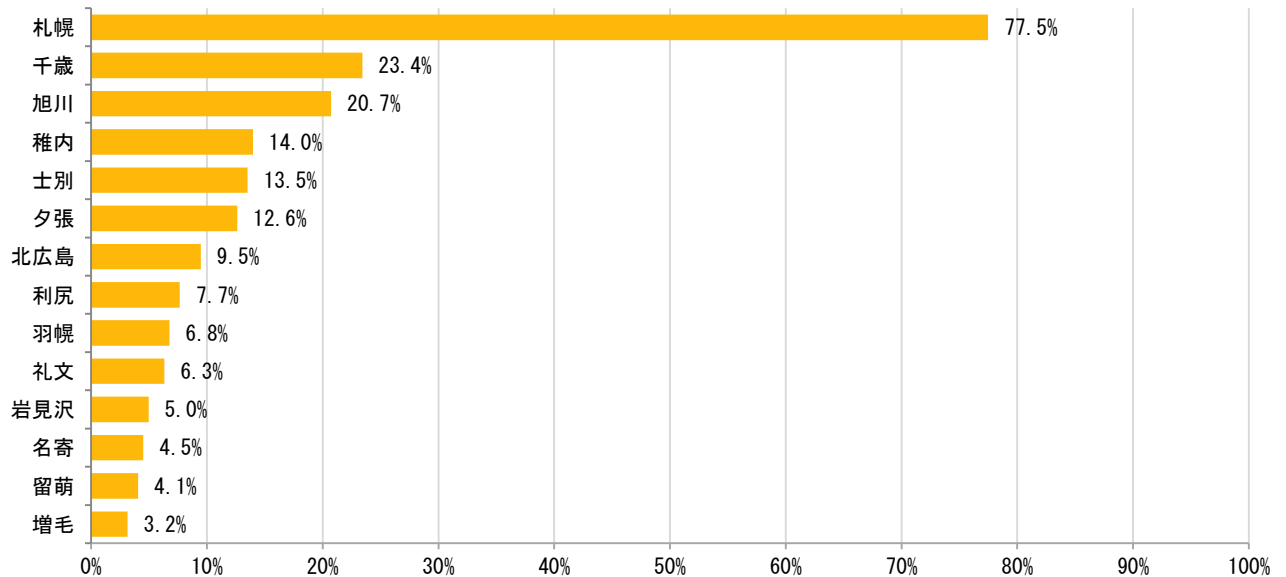
<北海道での旅行が実現しない理由を教えてください（複数回答可）>



(3) タイの調査結果

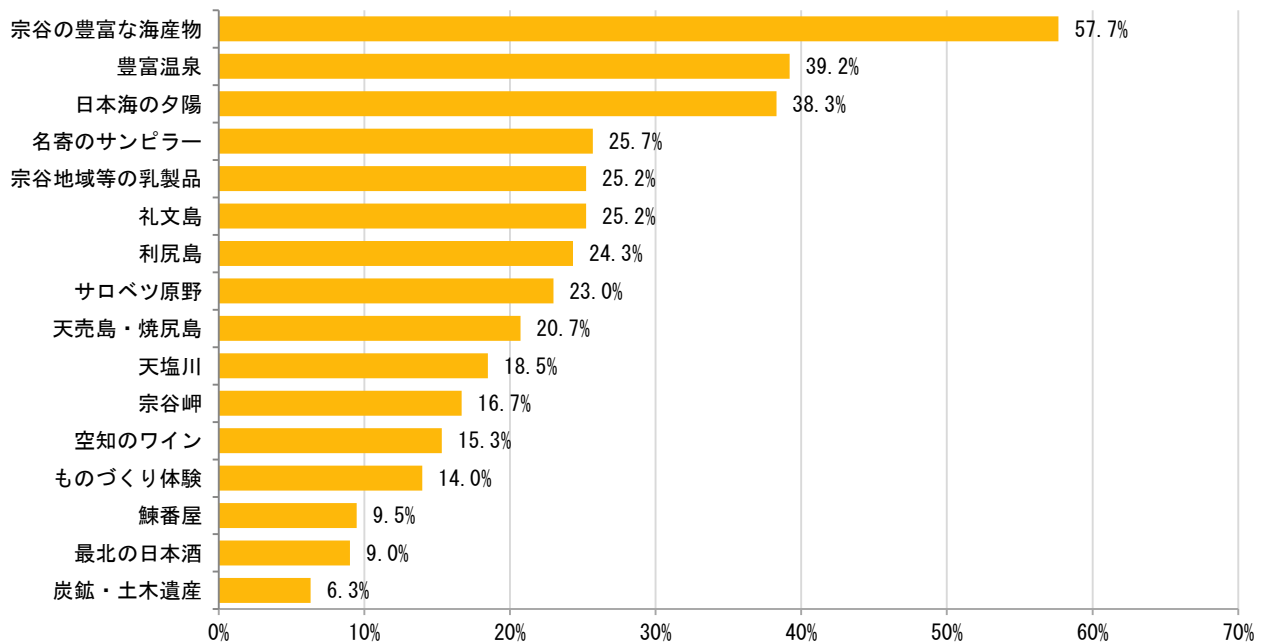
■きた北海道エリアの認知度について

<きた北海道で知っている場所・地名はありますか？（複数回答可）>



■きた北海道エリアで行きたい場所・したいことについて

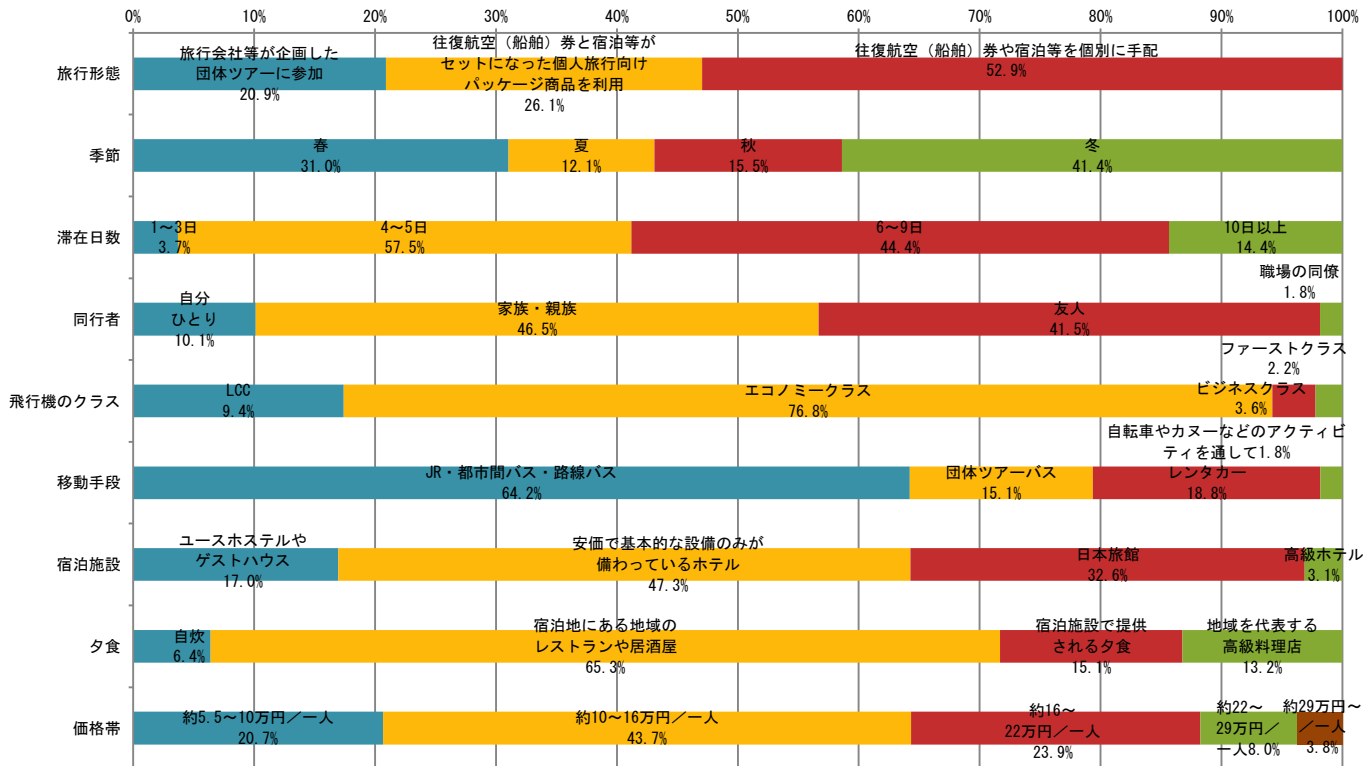
<地図を見て、きた北海道で行ってみたい場所や体験してみたいこと（複数回答可）>



(3) タイの調査結果

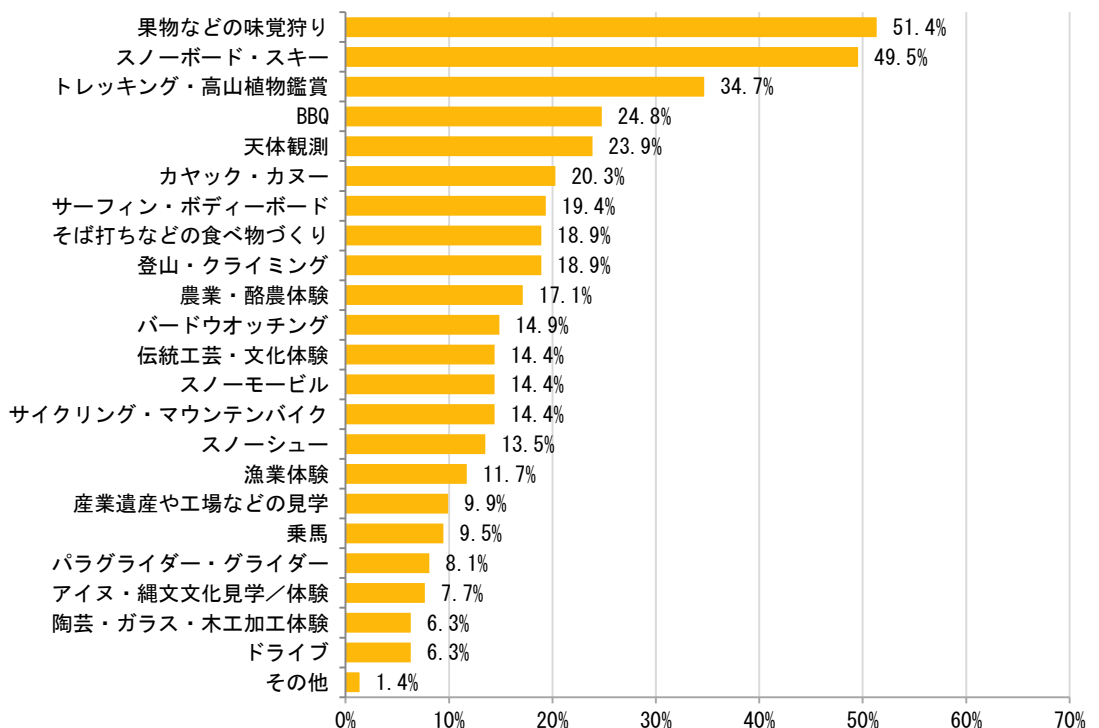
■きた北海道における旅行プランのニーズについて

<どのような旅行プランで、きた北海道を旅行したいですか？>



■きた北海道で体験したいことについて

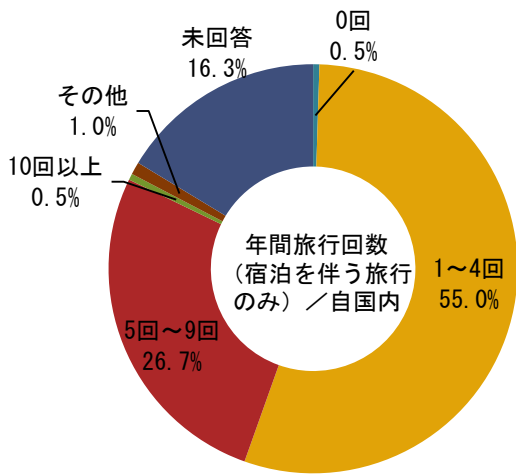
<きた北海道であなたが体験したいと思うもの（最大3つ）>



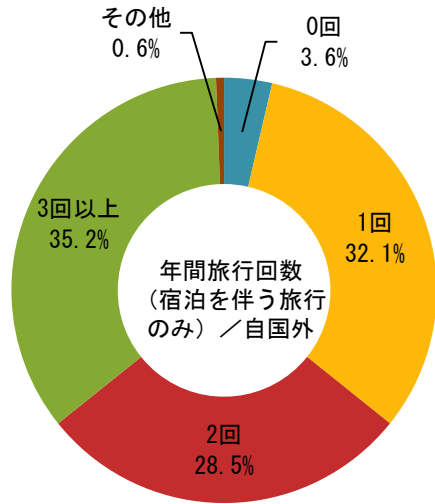
(3) タイの調査結果

■回答者の旅行経験などについて

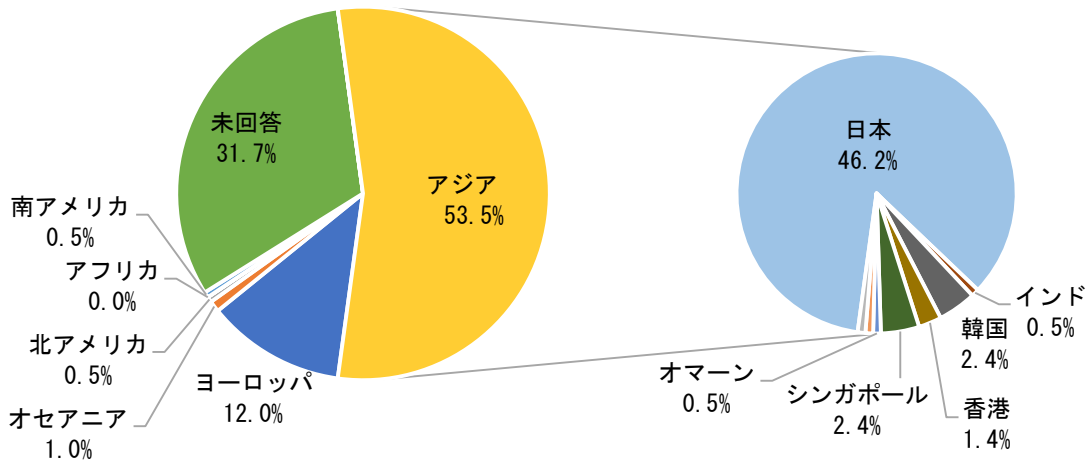
<年間旅行回数（自国内）>



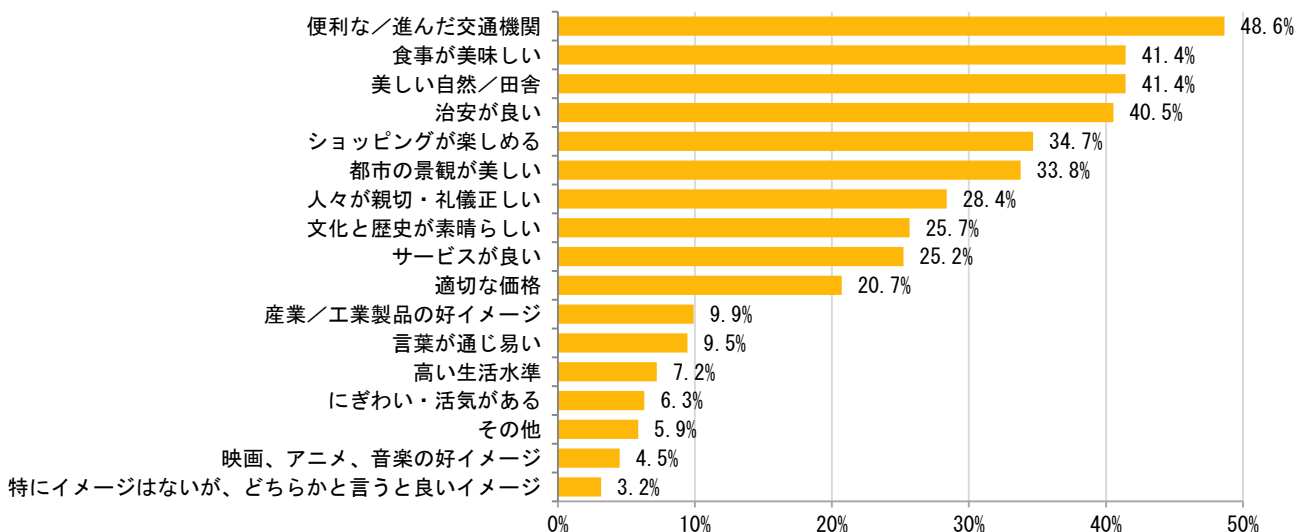
<年間旅行回数（自国外）>



<今後行ってみたい国外の訪問地>



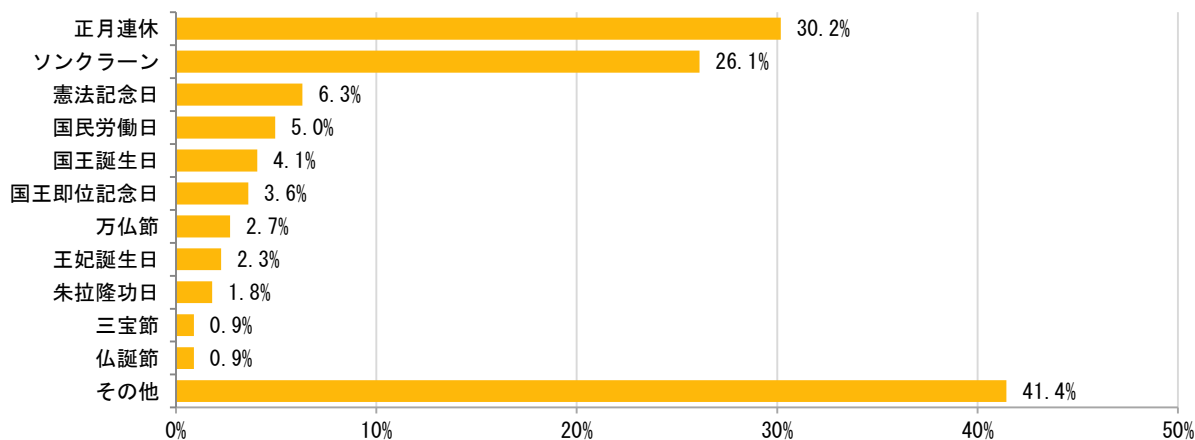
<今後行ってみたい国外での訪問地の理由（複数回答可）>



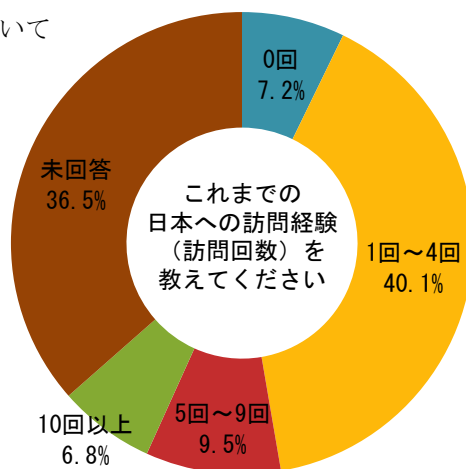
(3) タイの調査結果

■ 旅行をする時期について

<あなたが主に旅行をする時期を教えてください（複数回答可）>

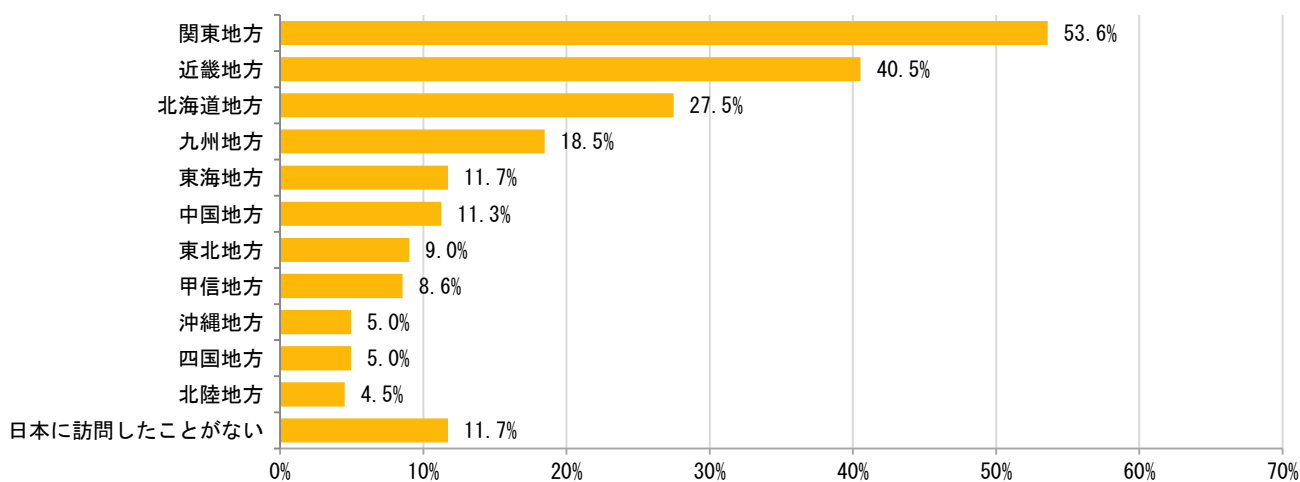


■ 日本への訪問経験について



■ 日本への訪問経験について

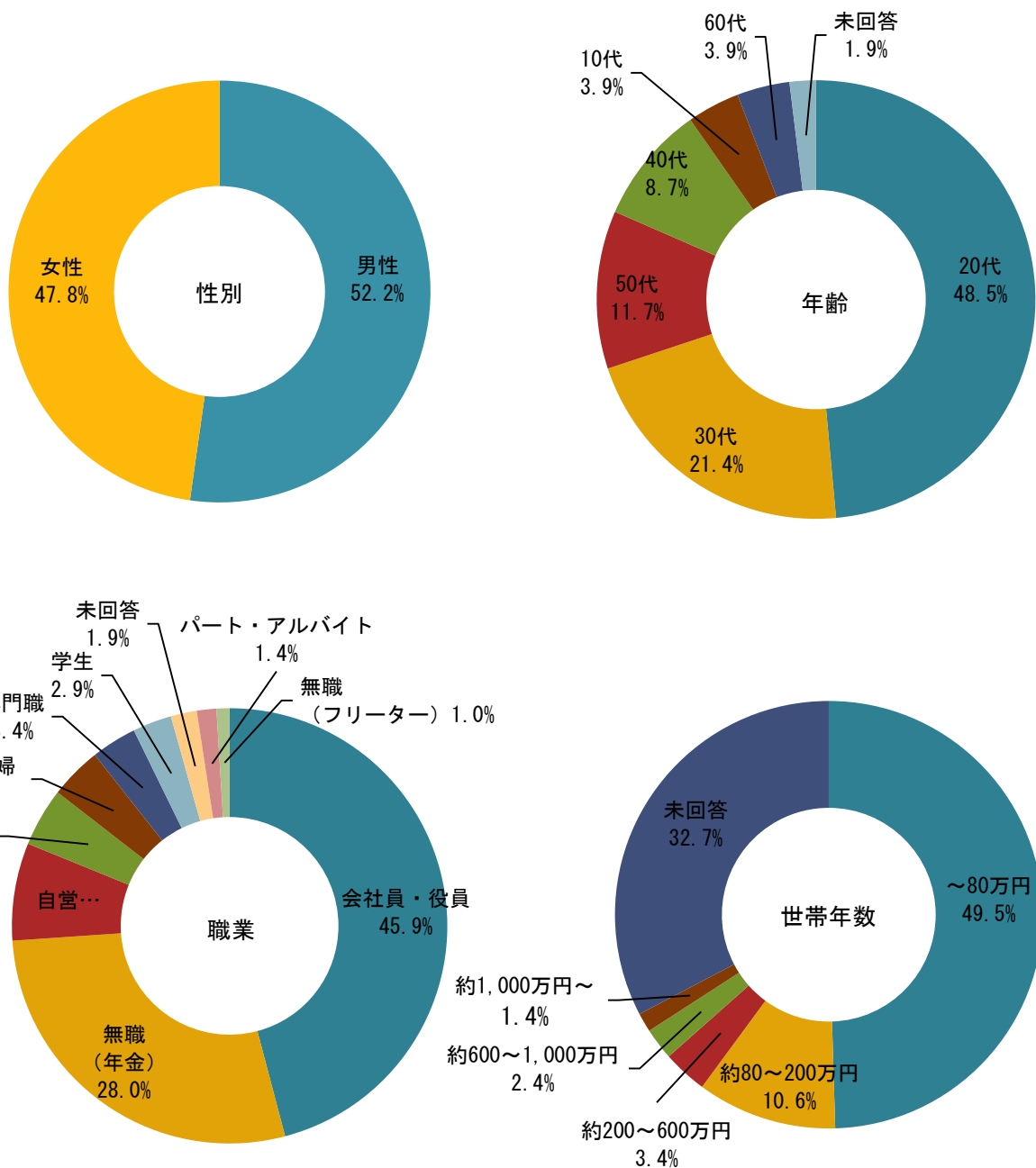
<これまでの日本への訪問経験（訪問地）を教えてください（複数回答可）>



(4) シンガポールの調査結果

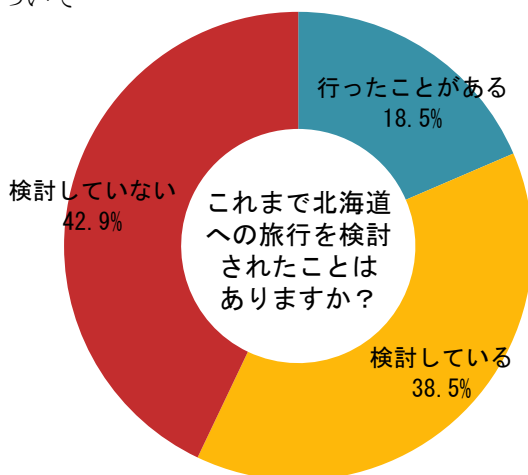
シンガポールの現地カスタマー向けアンケート調査の結果は、以下の通りである。

■ 回答者の属性



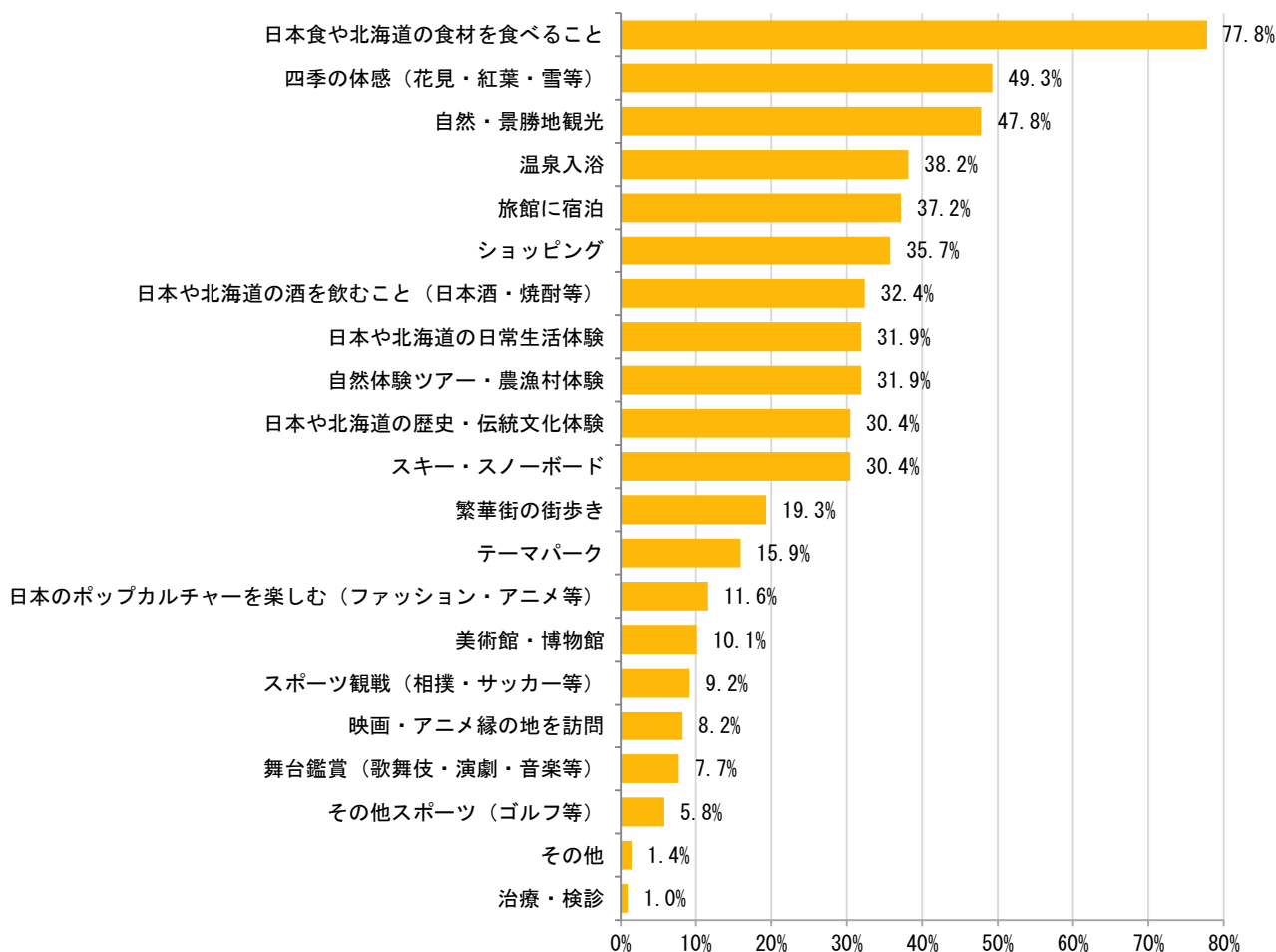
(4) シンガポールの調査結果

■北海道旅行の検討について



■北海道旅行での関心やしたいことについて

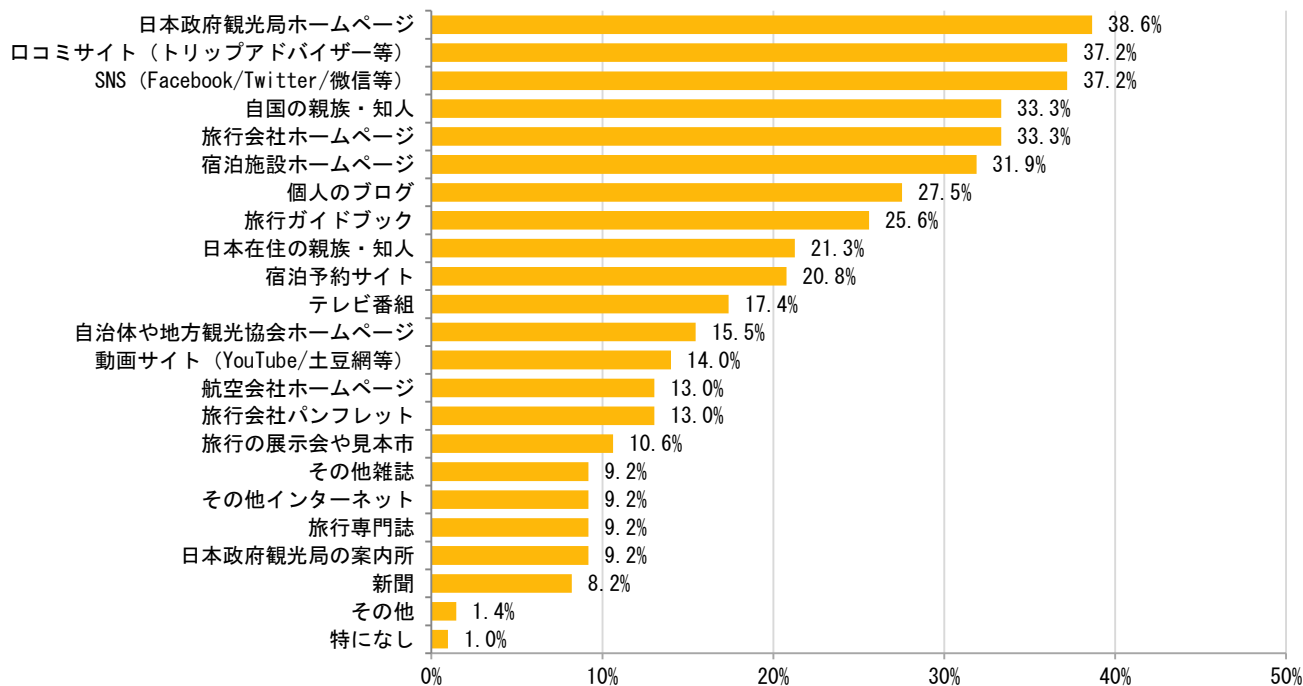
<北海道での旅行であなたの関心のあることやしたい（した）ことはなんですか？（複数回答可）>



(4) シンガポールの調査結果

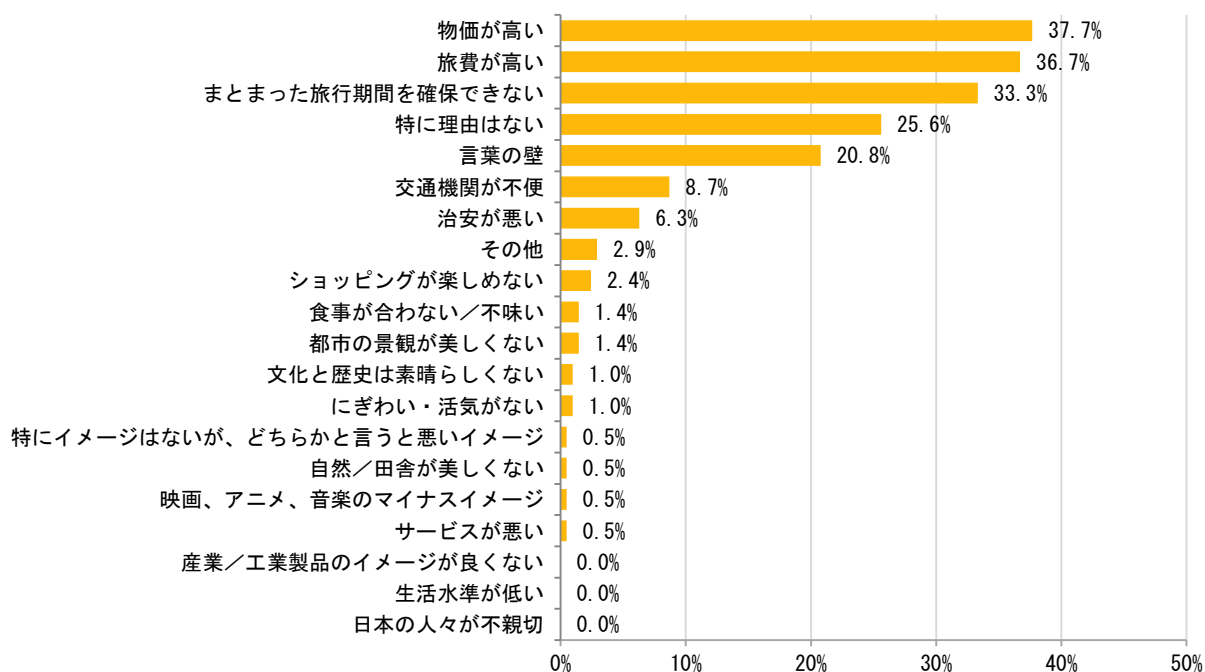
■北海道旅行に関する情報の入手先について

<北海道での旅行を検討する際、旅行先の情報はどのように入手されますか？（複数回答可）>



■北海道旅行の障害要因（実現しない理由）について

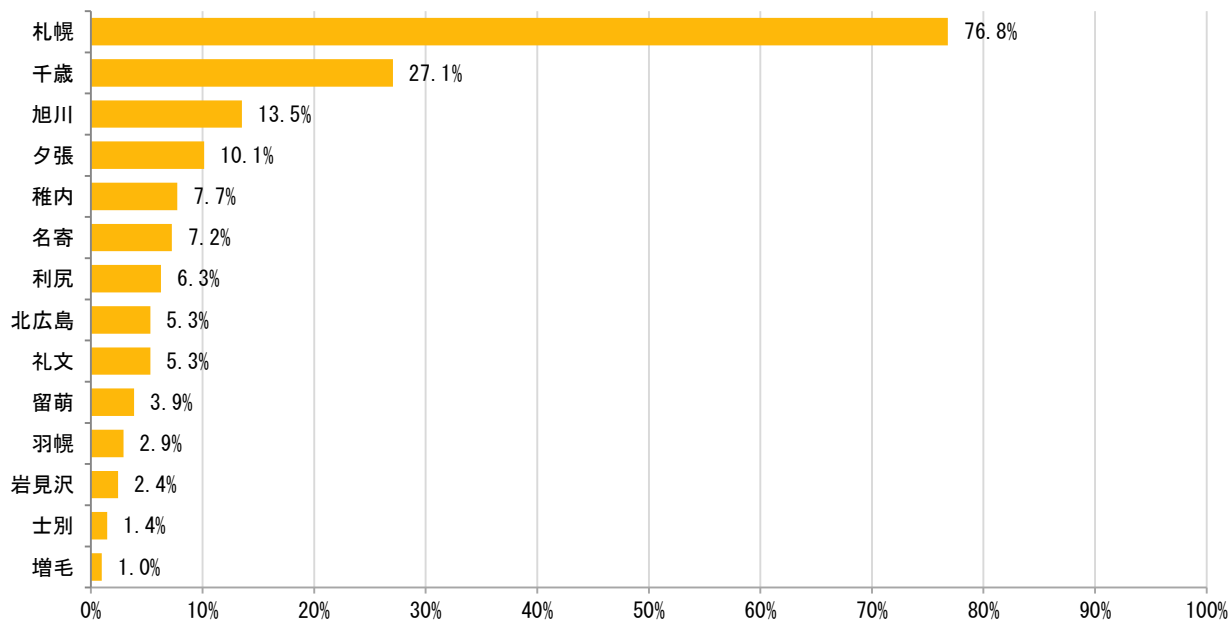
<北海道での旅行が実現しない理由を教えてください（複数回答可）>



(4) シンガポールの調査結果

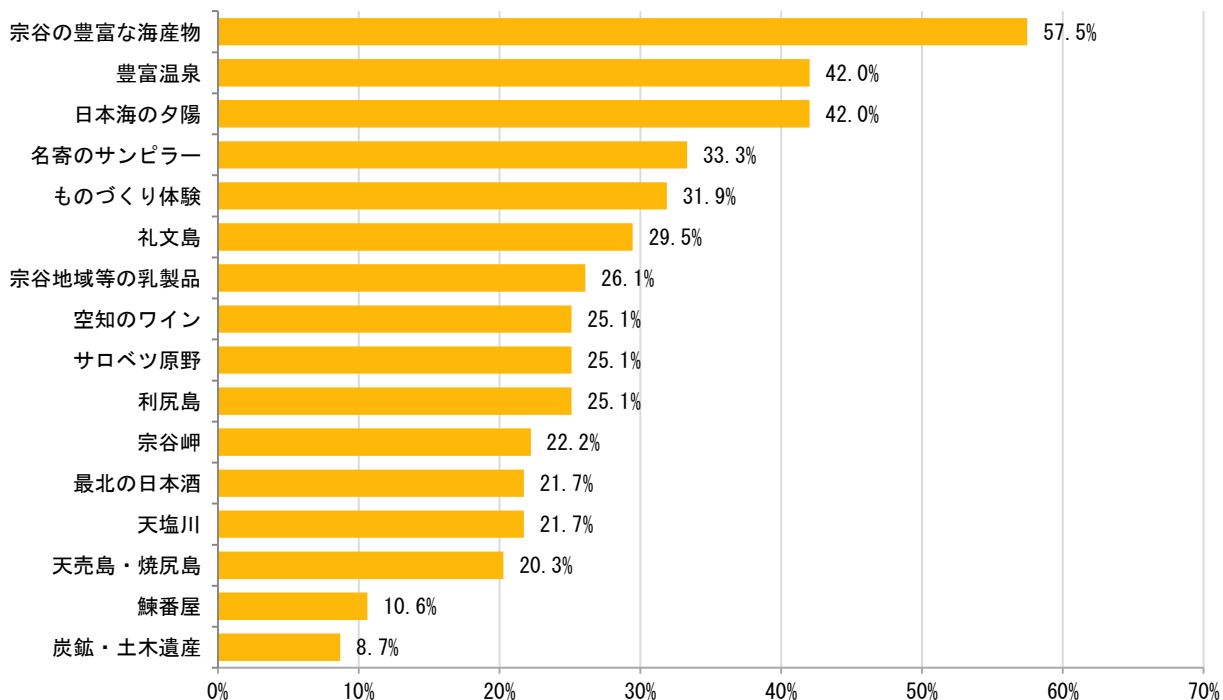
■きた北海道エリアの認知度について

<きた北海道で知っている場所・地名はありますか？（複数回答可）>



■きた北海道エリアで行きたい場所・したいことについて

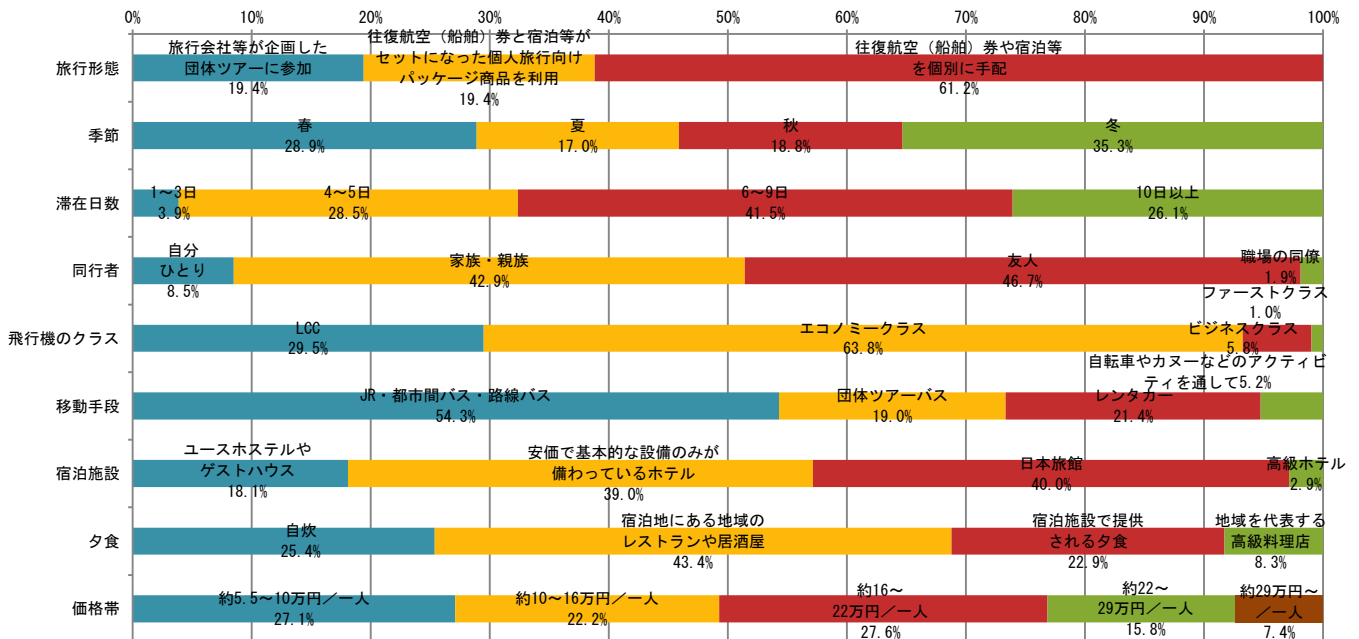
<地図を見て、きた北海道で行ってみたい場所や体験してみたいこと（複数回答可）>



(4) シンガポールの調査結果

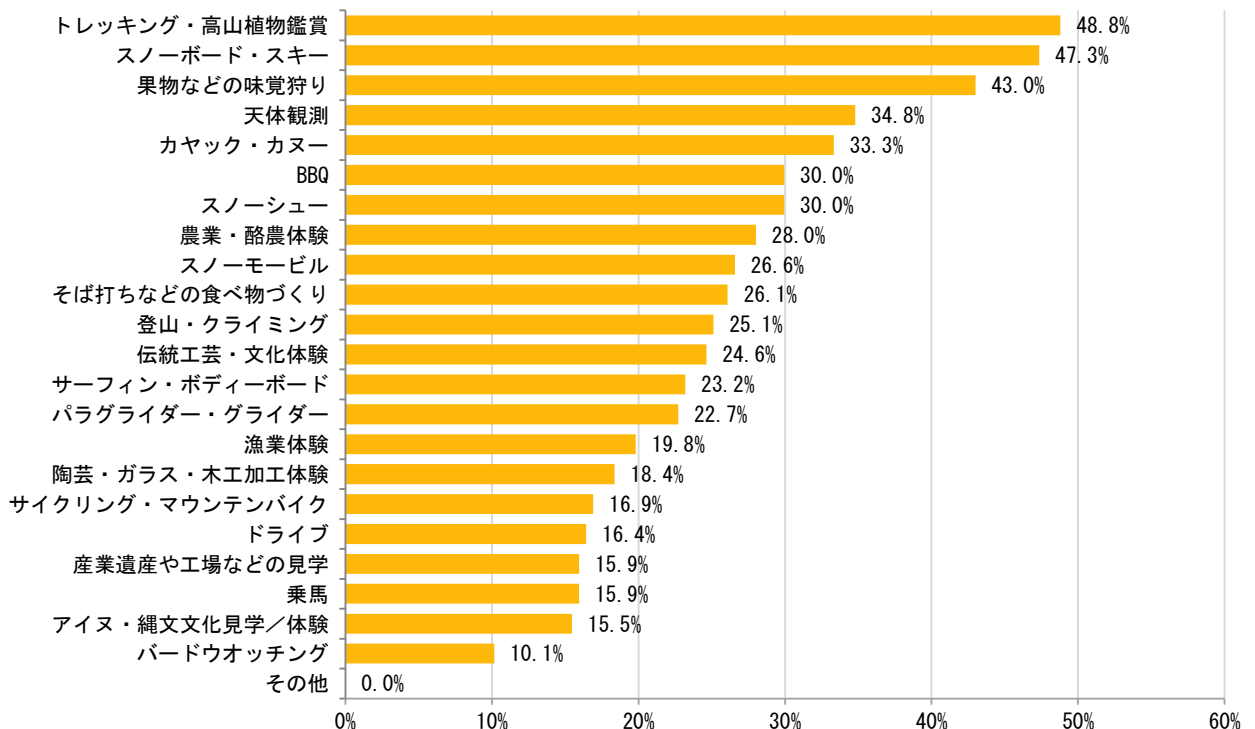
■きた北海道における旅行プランのニーズについて

<どのような旅行プランで、きた北海道を旅行したいですか？>



■きた北海道で体験したいことについて

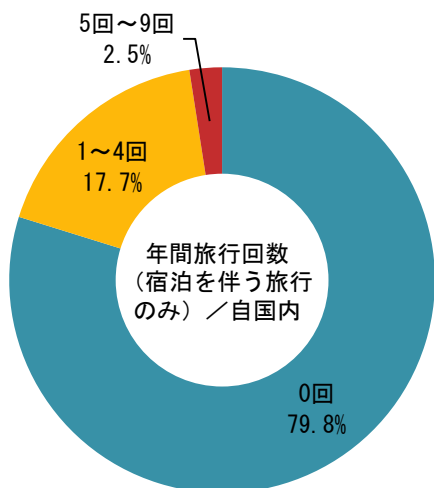
<きた北海道であなたが体験したいと思うもの（最大3つ）>



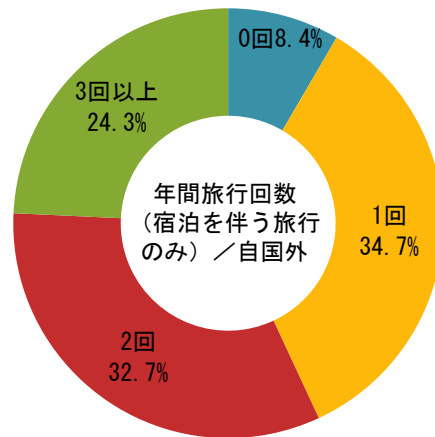
(4) シンガポールの調査結果

■回答者の旅行経験などについて

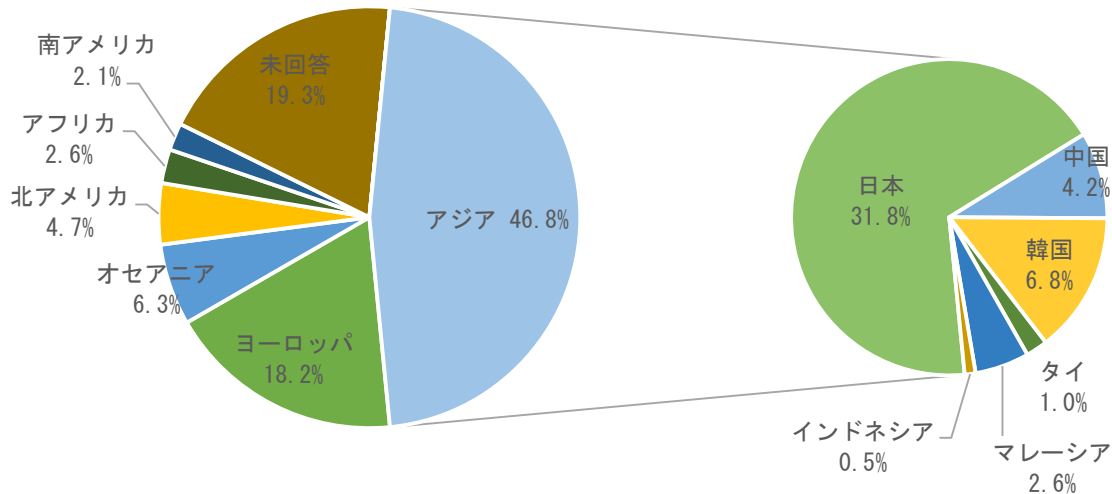
<年間旅行回数（自国内）>



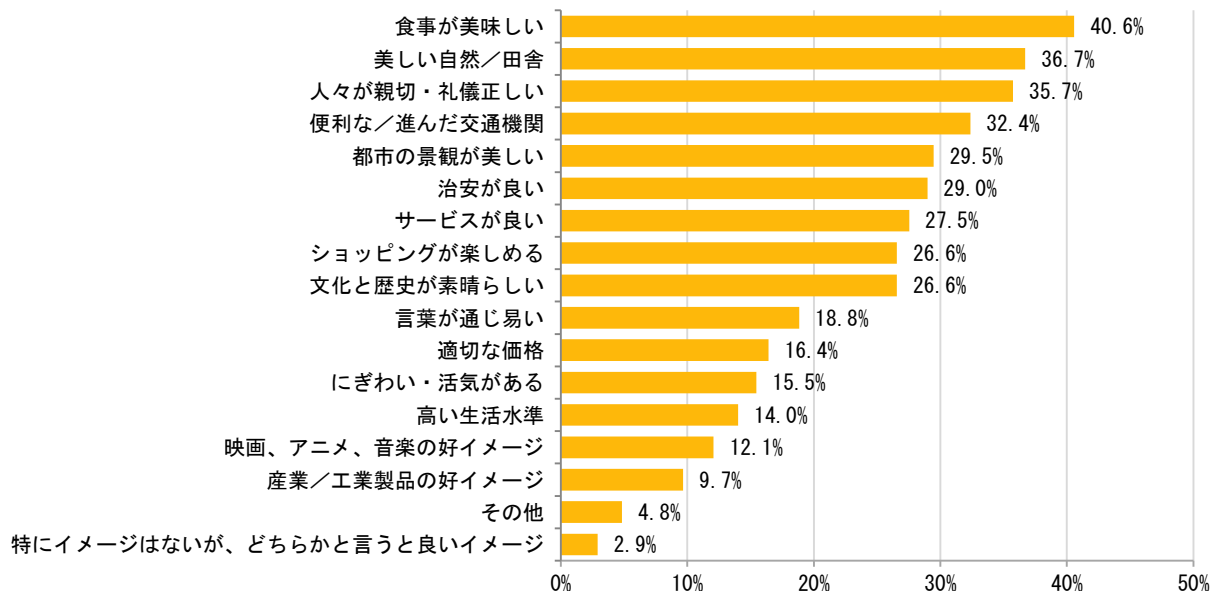
<年間旅行回数（自国外）>



<今後行ってみたい国外の訪問地>



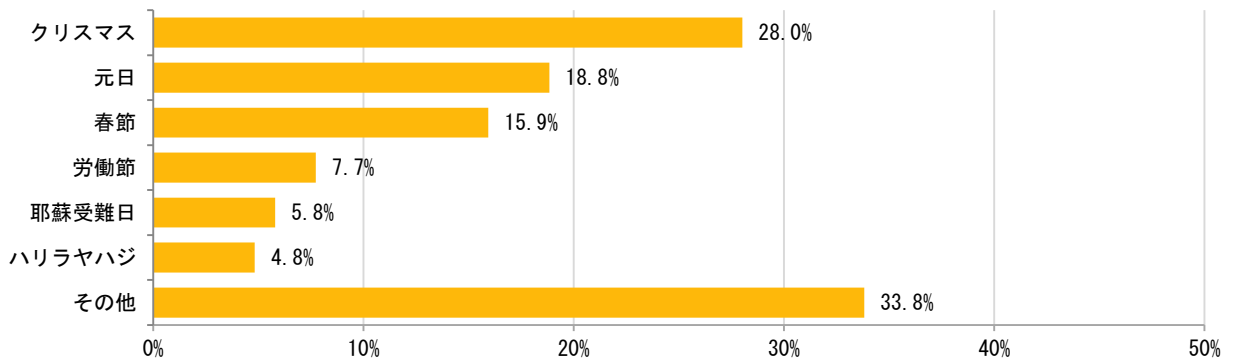
<今後行ってみたい国外での訪問地の理由（複数回答可）>



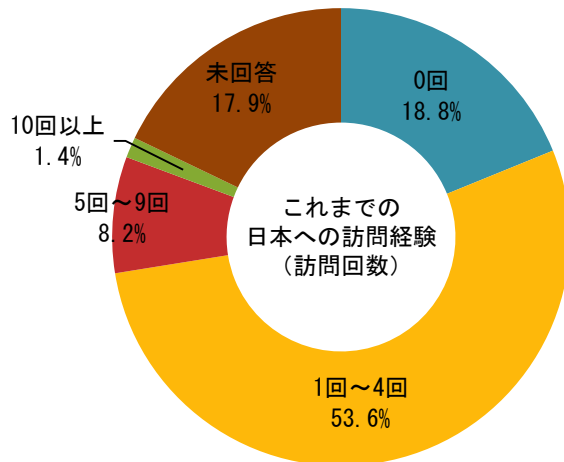
(4) シンガポールの調査結果

■ 旅行をする時期について

<あなたが主に旅行をする時期を教えてください（複数回答可）>

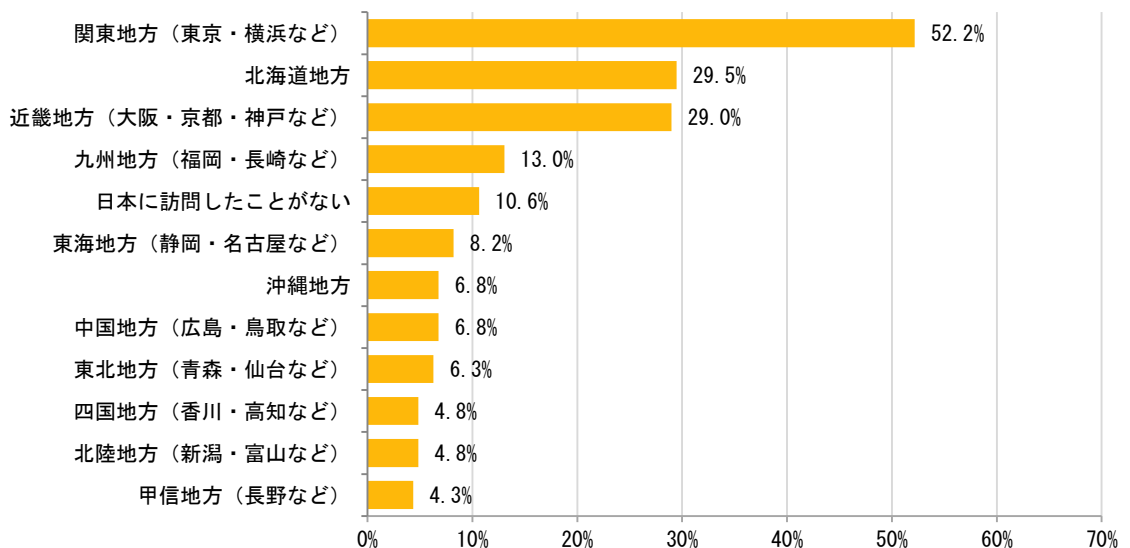


■ 日本への訪問経験について



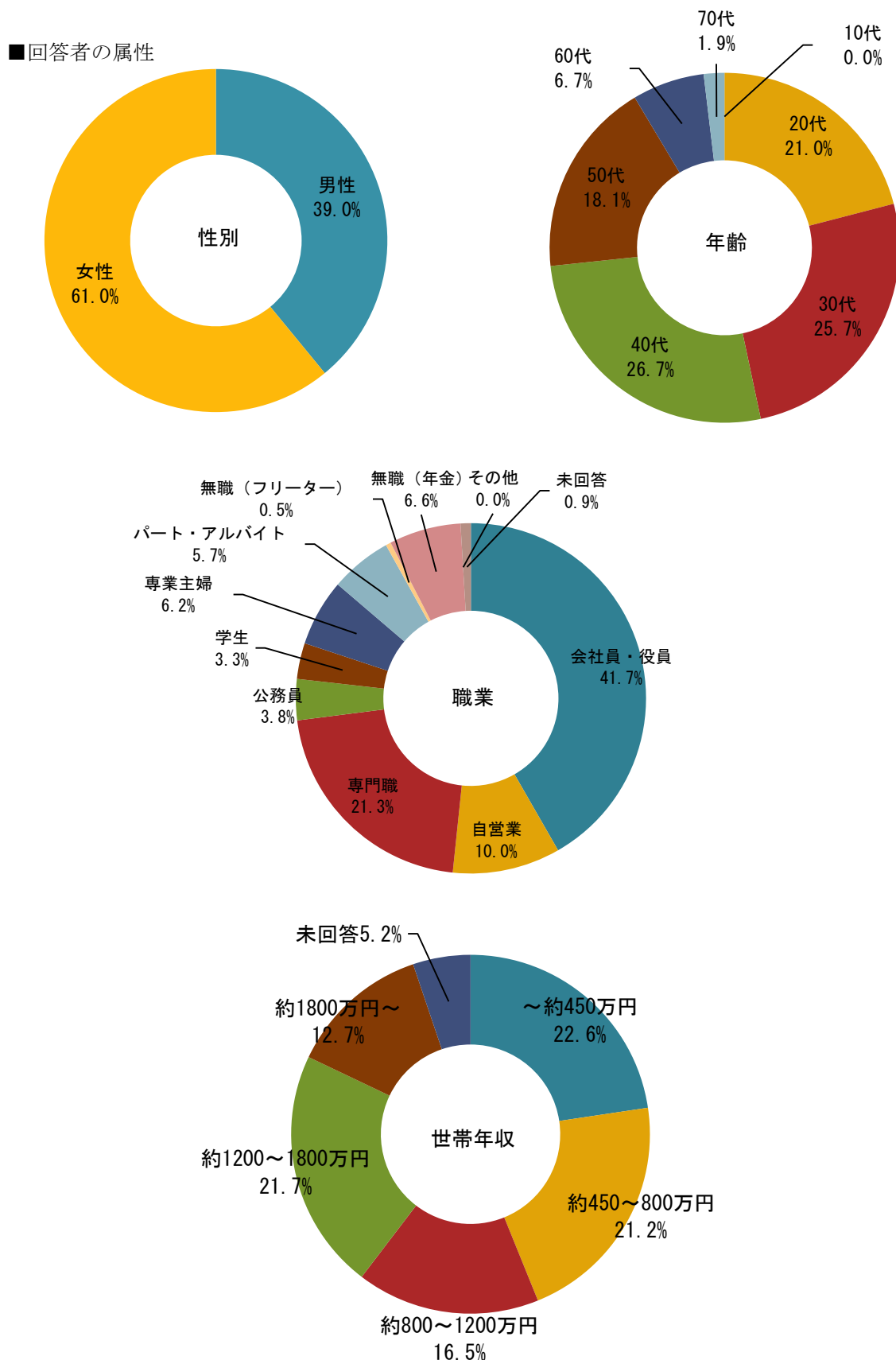
■ 日本への訪問経験について

<これまでの日本への訪問経験（訪問地）を教えてください（複数回答可）>



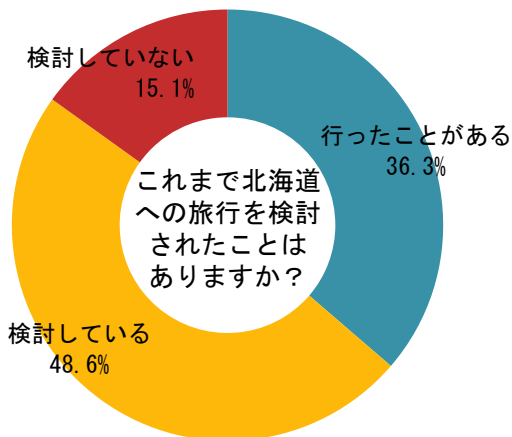
(5) 米国（アメリカ）の調査結果

米国（アメリカ）の現地カスタマー向けアンケート調査の結果は、以下の通りである。



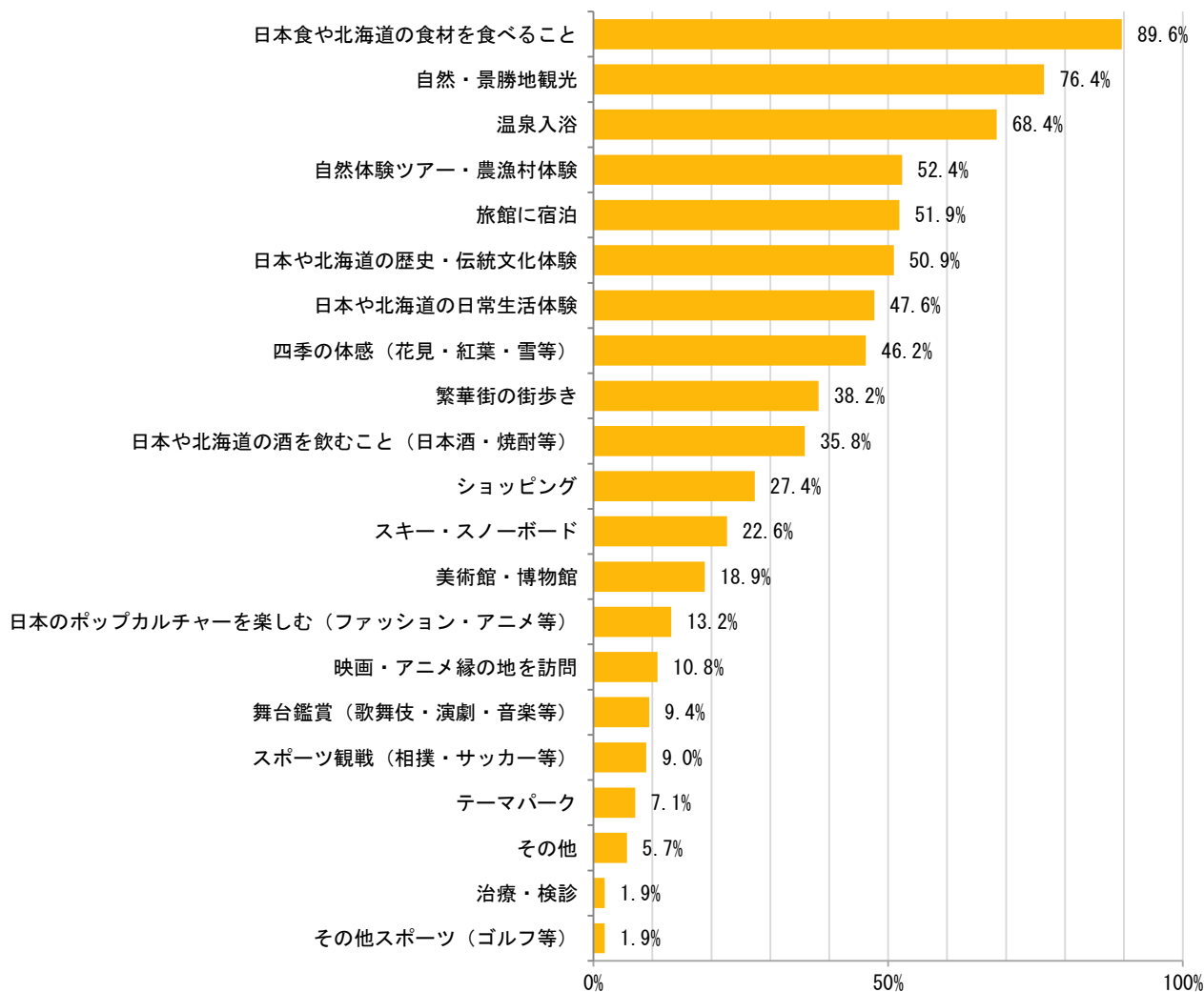
(5) 米国（アメリカ）の調査結果

■北海道旅行の検討について



■北海道旅行での関心やしたいことについて

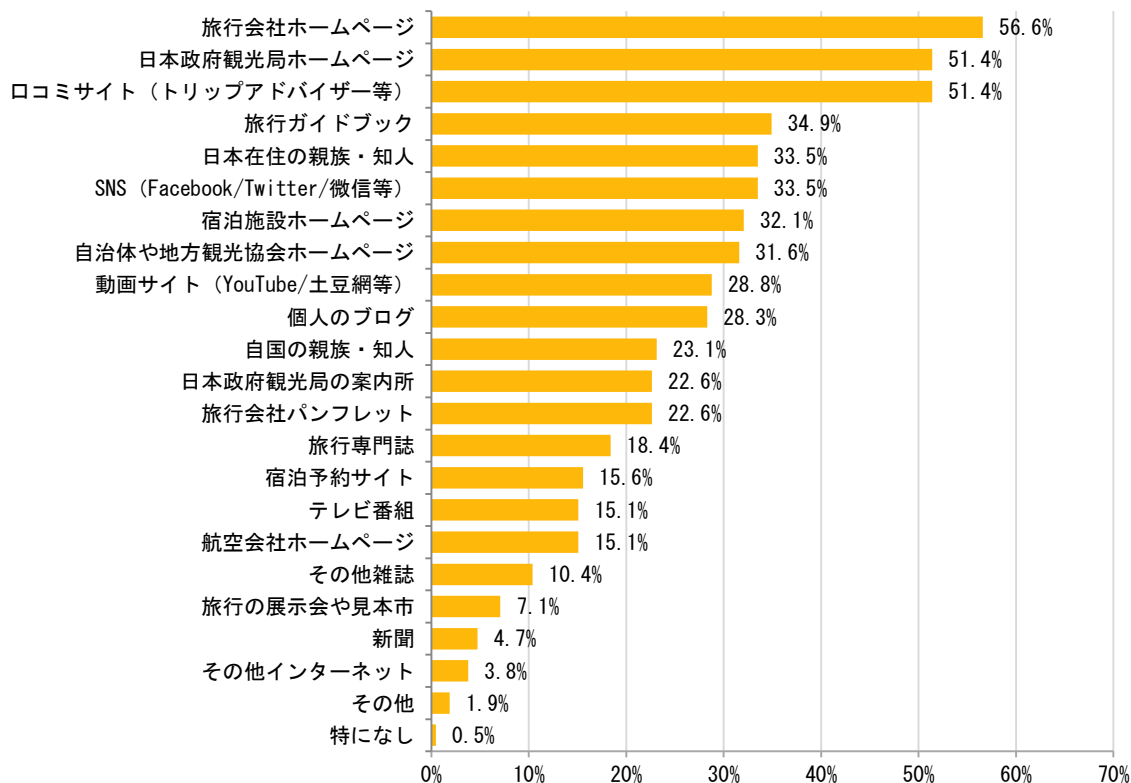
<北海道での旅行であなたの関心のあることやしたい（した）ことはなんですか？（複数回答可）>



(5) 米国（アメリカ）の調査結果

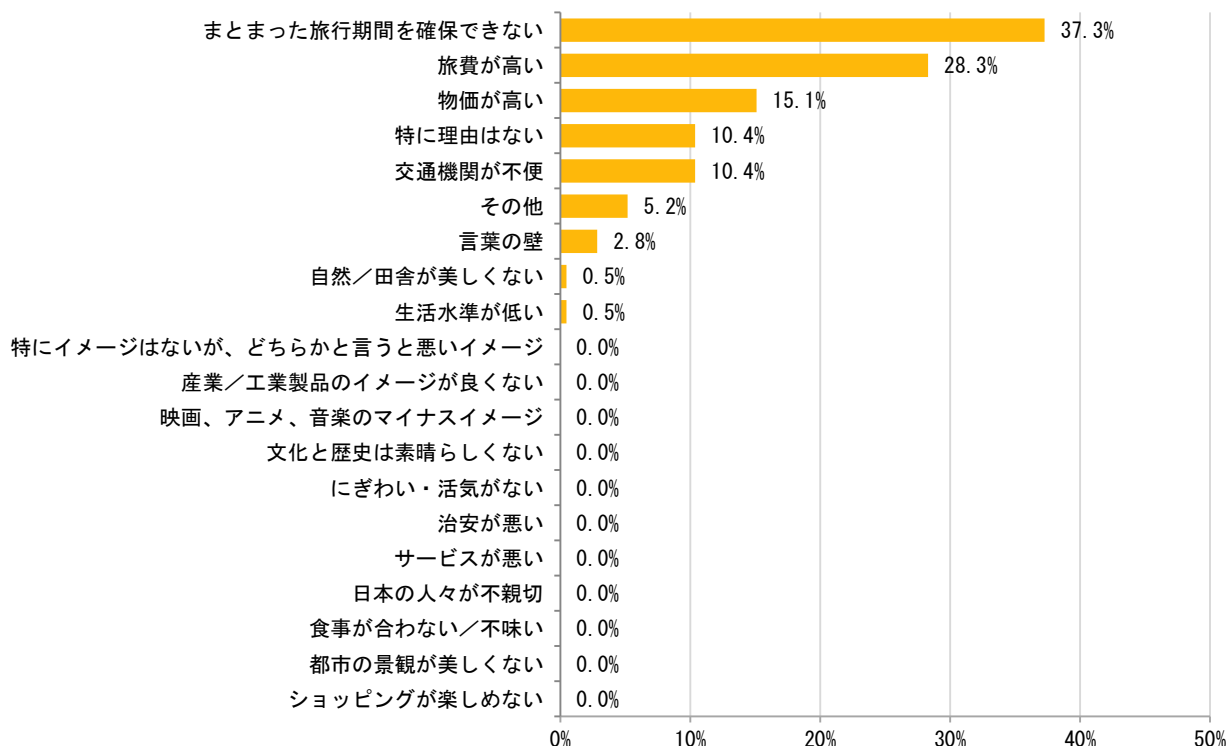
■北海道旅行に関する情報の入手先について

<北海道での旅行を検討する際、旅行先の情報はどのように入手されますか？（複数回答可）>



■北海道旅行の障害要因（実現しない理由）について

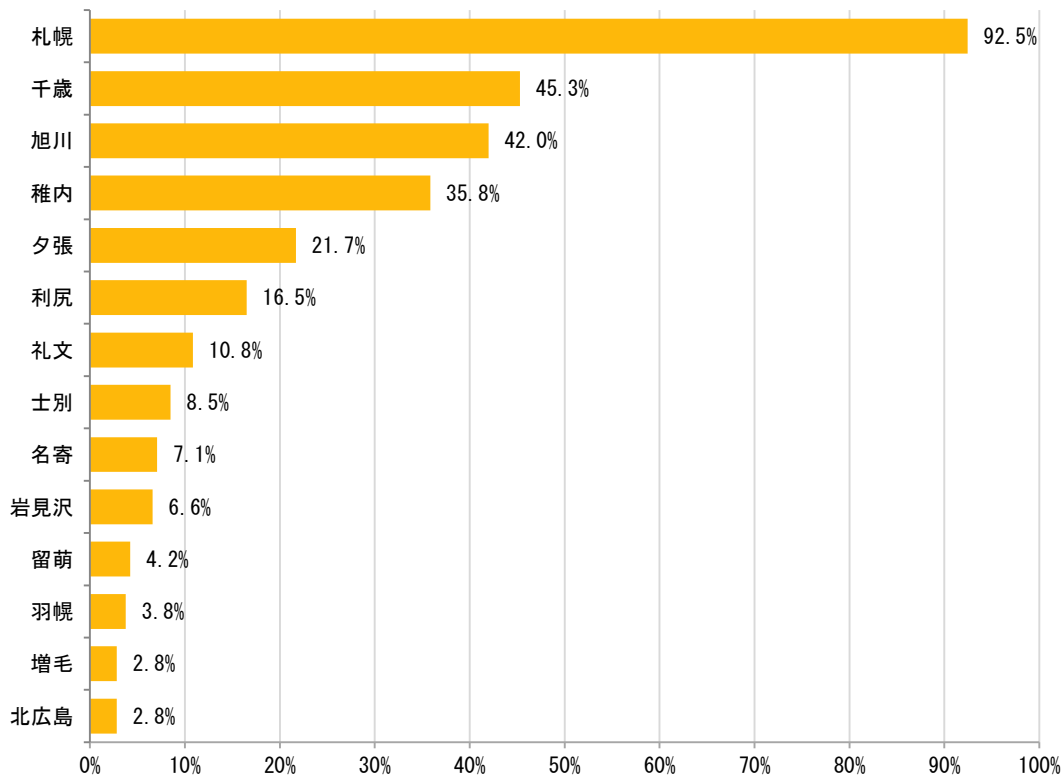
<北海道での旅行が実現しない理由を教えてください（複数回答可）>



(5) 米国（アメリカ）の調査結果

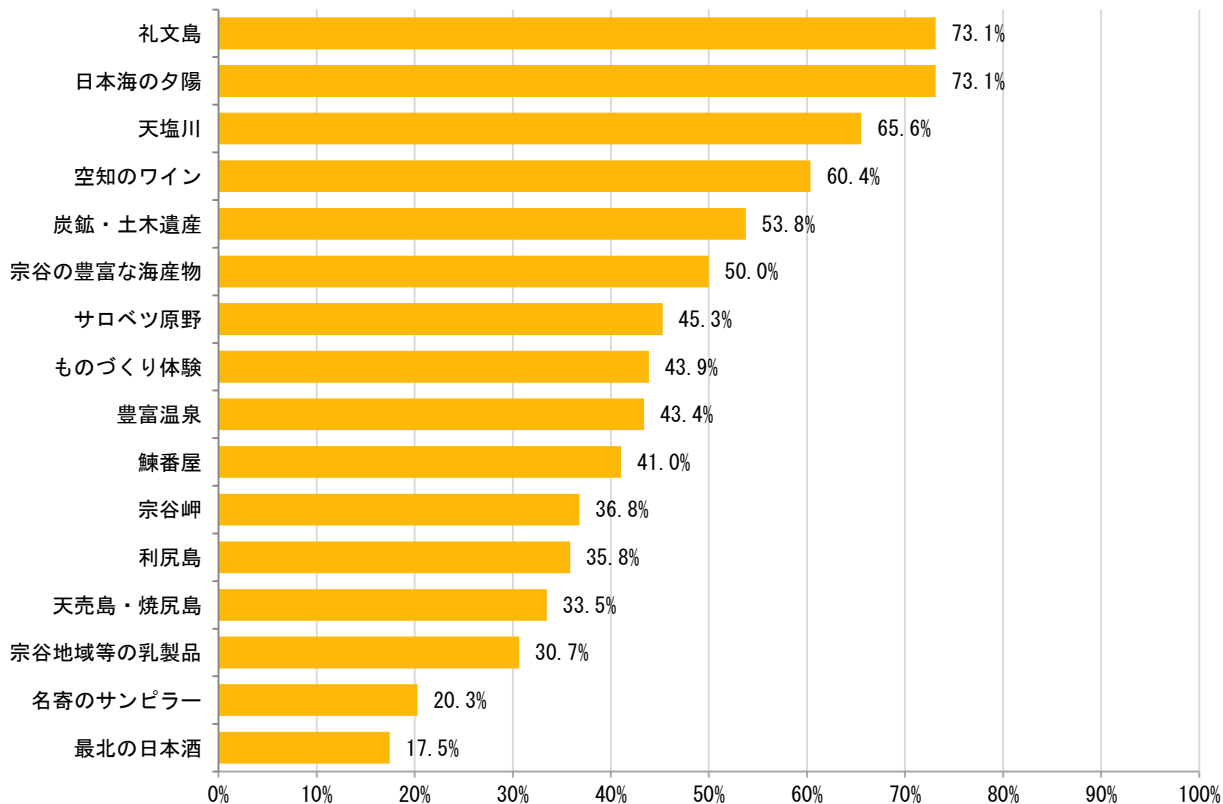
■きた北海道エリアの認知度について

<きた北海道で知っている場所・地名はありますか？（複数回答可）>



■きた北海道エリアで行きたい場所・したいことについて

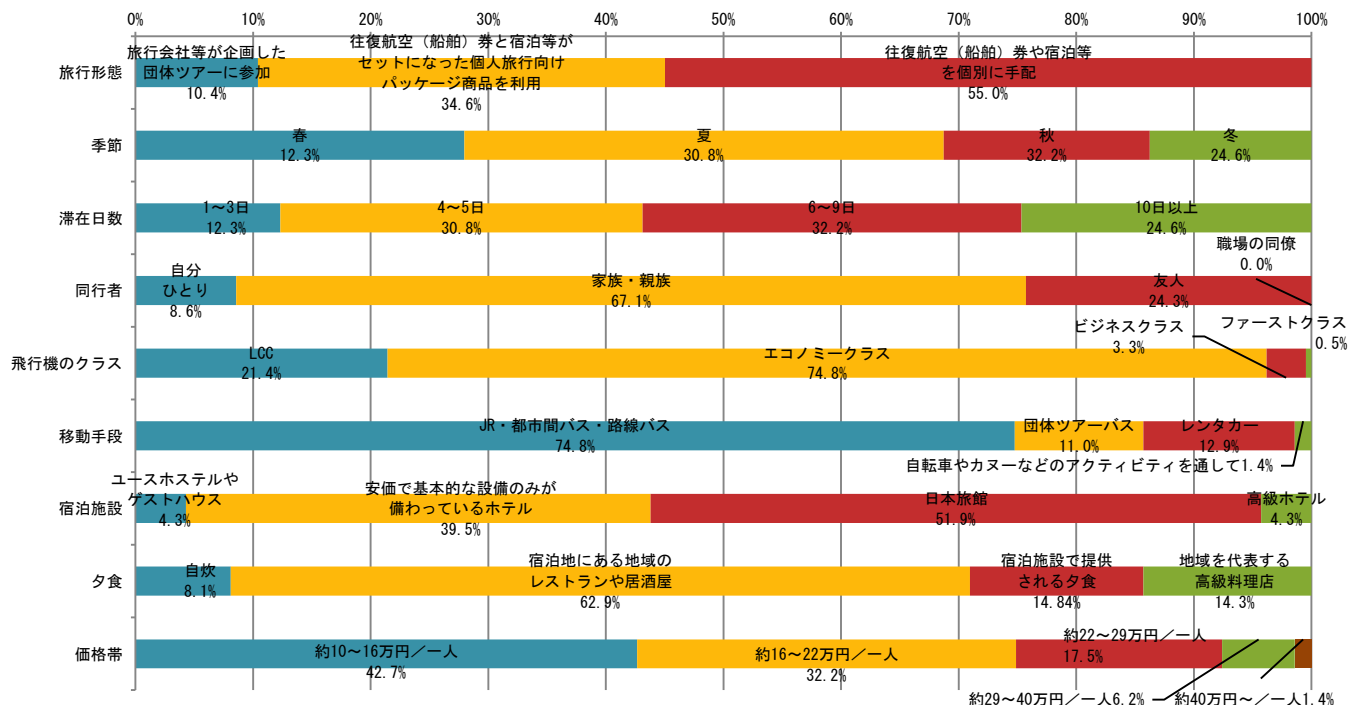
<地図を見て、きた北海道で行ってみたい場所や体験してみたいこと（複数回答可）>



(5) 米国（アメリカ）の調査結果

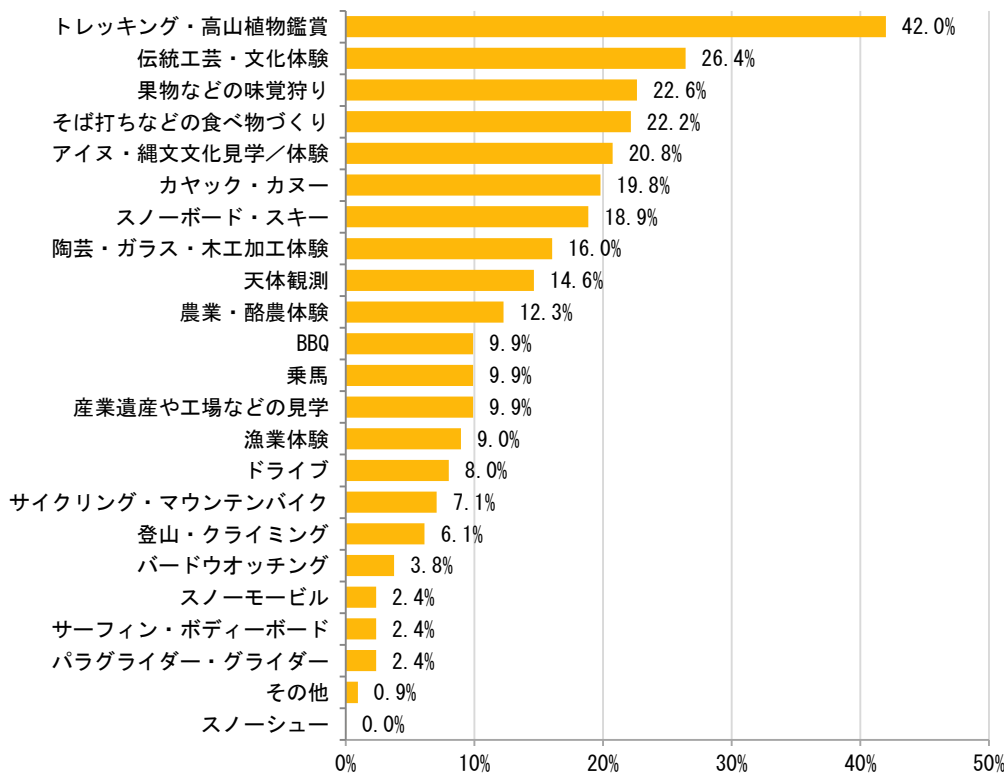
■きた北海道における旅行プランのニーズについて

<どのような旅行プランで、きた北海道を旅行したいですか？>



■きた北海道で体験したいことについて

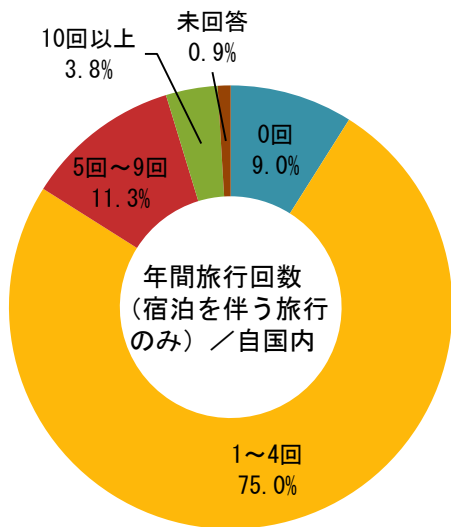
<きた北海道であなたが体験したいと思うもの（最大3つ）>



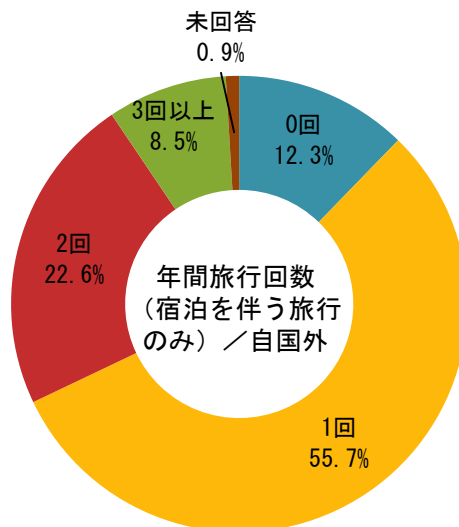
(5) 米国（アメリカ）の調査結果

■ 回答者の旅行経験などについて

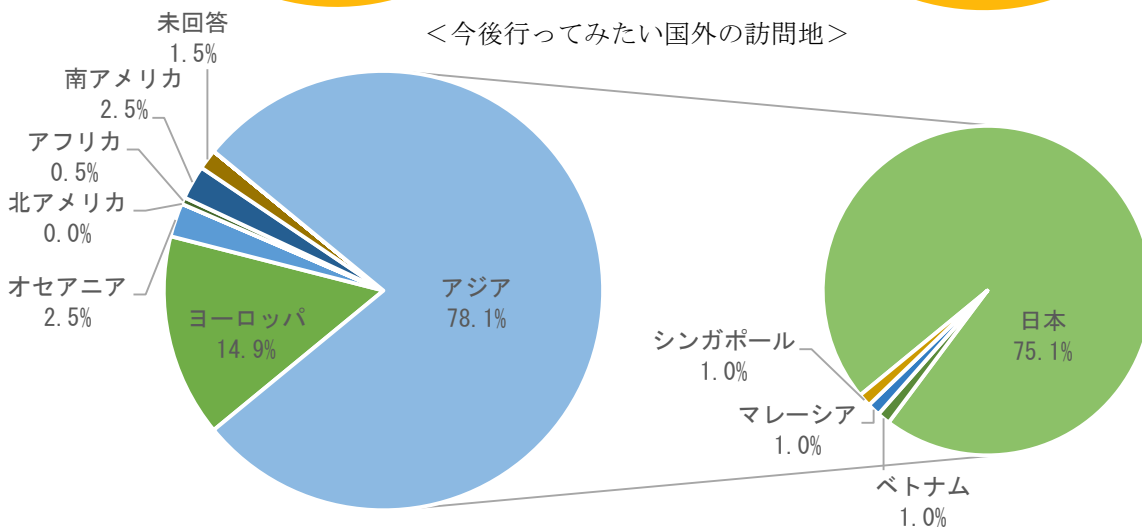
<年間旅行回数（自国内）>



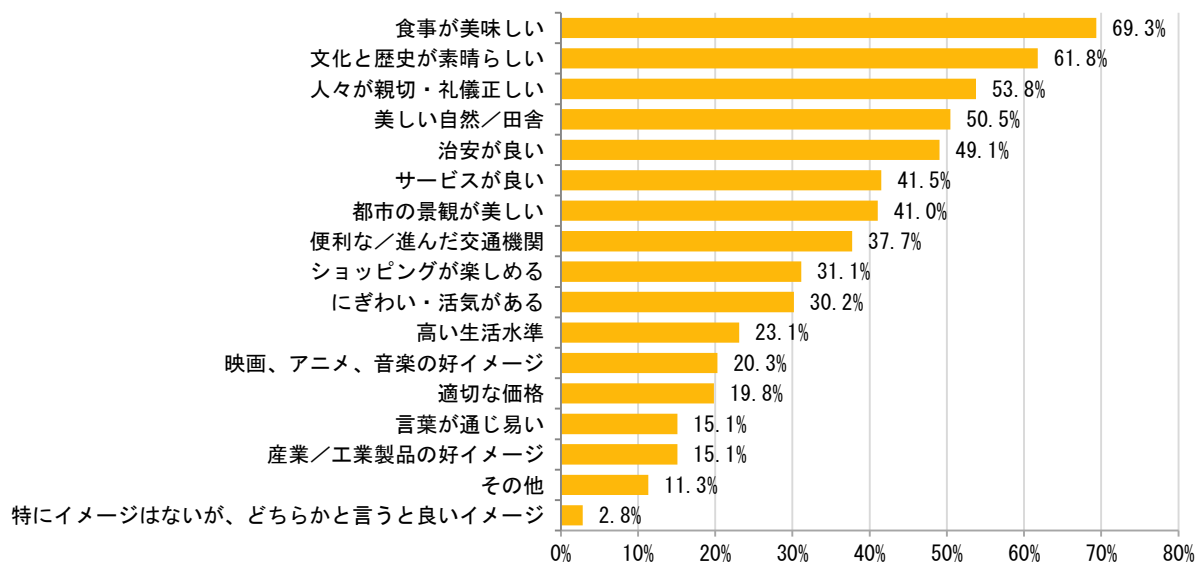
<年間旅行回数（自国外）>



<今後行ってみたい国外の訪問地>



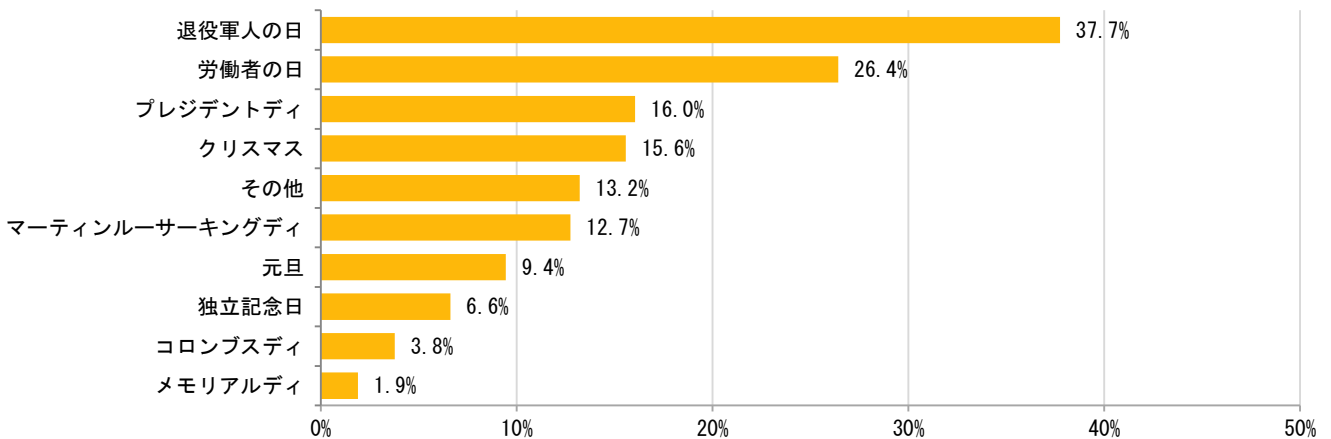
<今後行ってみたい国外での訪問地の理由（複数回答可）>



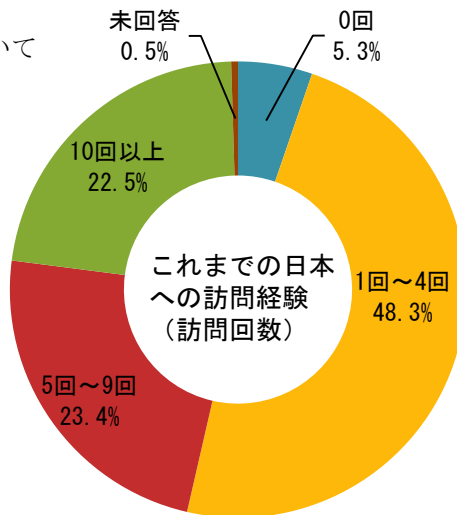
(5) 米国（アメリカ）の調査結果

■ 旅行をする時期について

<あなたが主に旅行をする時期を教えてください（複数回答可）>

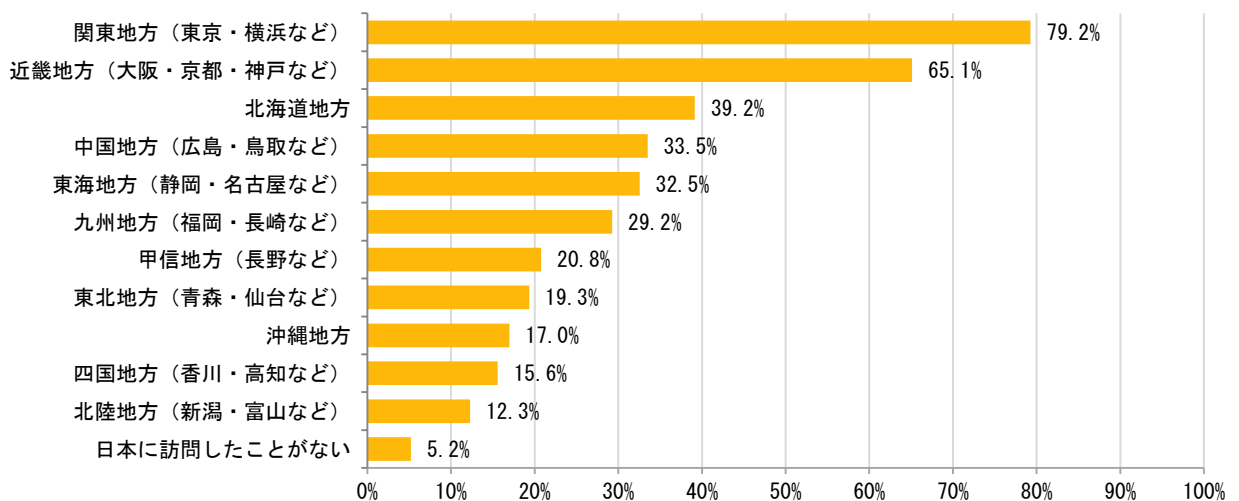


■ 日本への訪問経験について



■ 日本への訪問経験について






<これまでの日本への訪問経験（訪問地）を教えてください（複数回答可）>



(6) 各国の比較分析






各国の嗜好性等を比較すると以下のように整理できる。

<北海道での旅行を検討する際、旅行先の情報はどのように入手されますか？（複数回答可）>

選択肢	最重点市場	重点市場			その他市場	
	台湾 	香港 	タイ 	シンガポール 	アメリカ 	
日本政府観光局ホームページ	36.1%	48.3%	35.6%	38.6%	51.4%	
旅行会社ホームページ	73.2%	33.0%	28.8%	33.3%	56.6%	
宿泊施ホームページ	12.9%	18.2%	16.2%	31.9%	32.1%	
航空会社ホームページ	8.7%	10.3%	10.4%	13.0%	15.1%	
自治体や地方観光協会ホームページ	6.8%	5.9%	22.1%	15.5%	31.6%	
宿泊予約サイト	3.9%	8.9%	9.0%	20.8%	15.6%	
口コミサイト （トリップアドバイザー等）	7.4%	24.6%	27.0%	37.2%	51.4%	
SNS（Facebook/Twitter/微信等）	28.7%	19.7%	16.2%	37.2%	33.5%	
個人のブログ	38.7%	44.3%	25.2%	27.5%	28.3%	
動画サイト （YouTube/土豆網等）	5.8%	9.4%	14.9%	14.0%	28.8%	
その他インターネット	0.3%	4.4%	14.0%	9.2%	3.8%	
日本政府観光局の案内所	11.3%	15.3%	8.1%	9.2%	22.6%	
旅行会社パンフレット	16.8%	14.3%	14.0%	13.0%	22.6%	
旅行ガイドブック	28.1%	40.4%	20.7%	25.6%	34.9%	
自国の親族・知人	25.2%	19.7%	7.7%	33.3%	23.1%	
日本在住の親族・知人	5.8%	12.8%	8.6%	21.3%	33.5%	
旅行の展示会や見本市	15.8%	4.4%	14.9%	10.6%	7.1%	
テレビ番組	26.8%	16.3%	13.5%	17.4%	15.1%	
新聞	8.4%	6.9%	1.4%	8.2%	4.7%	
旅行専門誌	25.2%	26.1%	14.9%	9.2%	18.4%	
その他雑誌	2.3%	5.4%	2.7%	9.2%	10.4%	
その他	1.0%	3.4%	0.9%	1.4%	1.9%	
特になし	0.6%	0.5%	2.3%	1.0%	0.5%	






(6) 各国の比較分析

<北海道での旅行が実現しない理由を教えてください（複数回答可）>

選択肢	最重点市場	重点市場			その他市場	
	台湾 	香港 	タイ 	シンガポール 	アメリカ 	
特に理由はない	11.0%	12.3%	18.5%	25.6%	10.4%	
物価が高い	5.8%	13.8%	9.0%	37.7%	15.1%	
旅費が高い	24.5%	24.6%	14.4%	36.7%	28.3%	
言葉の壁	5.2%	7.4%	5.4%	20.8%	2.8%	
まとまった旅行期間を確保できない	17.7%	21.7%	11.3%	33.3%	37.3%	
ショッピングが楽しめない	0.6%	4.9%	1.4%	2.4%	0.0%	
交通機関が不便	5.5%	2.0%	2.3%	8.7%	10.4%	
都市の景観が美しくない	0.0%	1.0%	0.0%	1.4%	0.0%	
食事が合わない／不味い	0.3%	0.5%	0.5%	1.4%	0.0%	
日本の人々が不親切	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	
生活水準が低い	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%	0.5%	
サービスが悪い	0.0%	1.5%	0.0%	0.5%	0.0%	
治安が悪い	0.0%	1.5%	0.0%	6.3%	0.0%	
にぎわい・活気がない	0.0%	4.4%	0.9%	1.0%	0.0%	
文化と歴史は素晴らしくない	0.0%	0.5%	0.0%	1.0%	0.0%	
映画、アニメ、音楽のマイナスイメージ	0.0%	2.0%	0.0%	0.5%	0.0%	
産業／工業製品のイメージが良くない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
自然／田舎が美しくない	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	0.5%	
特にイメージはないが、どちらかと言うと悪いイメージ	0.0%	0.5%	0.5%	0.5%	0.0%	
その他	5.5%	3.0%	7.2%	2.9%	5.2%	






(6) 各国の比較分析

<北海道での旅行であなたの関心のあることやしたい（した）ことはなんですか？（複数回答可）>






選択肢	最重点市場	重点市場			その他市場	
	台湾 	香港 	タイ 	シンガポール 	アメリカ 	
日本食や北海道の食材を食べること	86.1%	75.9%	72.5%	77.8%	89.6%	
日本や北海道の酒を飲むこと （日本酒・焼酎等）	19.4%	28.6%	16.7%	32.4%	35.8%	
旅館に宿泊	14.2%	18.7%	31.1%	37.2%	51.9%	
温泉入浴	71.6%	64.5%	62.6%	38.2%	68.4%	
自然・景勝地観光	68.7%	44.3%	69.4%	47.8%	76.4%	
繁華街の街歩き	23.5%	15.8%	31.5%	19.3%	38.2%	
ショッピング	33.9%	34.0%	34.2%	35.7%	27.4%	
美術館・博物館	10.6%	16.7%	15.3%	10.1%	18.9%	
テーマパーク	7.1%	11.8%	16.7%	15.9%	7.1%	
スキー・スノーボード	33.9%	46.3%	45.5%	30.4%	22.6%	
その他スポーツ（ゴルフ等）	0.3%	3.4%	0.9%	5.8%	1.9%	
舞台鑑賞（歌舞伎・演劇・音楽等）	6.5%	13.8%	2.3%	7.7%	9.4%	
スポーツ観戦（相撲・サッカー等）	2.3%	4.4%	4.1%	9.2%	9.0%	
自然体験ツアー・農漁村体験	19.0%	17.7%	7.7%	31.9%	52.4%	
四季の体感（花見・紅葉・雪等）	61.6%	48.3%	38.3%	49.3%	46.2%	
映画・アニメ縁の地を訪問	4.2%	8.9%	8.1%	8.2%	10.8%	
日本や北海道の歴史・伝統文化体験	36.1%	24.6%	15.8%	30.4%	50.9%	
日本や北海道の日常生活体験	32.3%	24.1%	18.0%	31.9%	47.6%	
日本のポップカルチャーを楽しむ（ファッション・アニメ等）	6.8%	7.9%	5.9%	11.6%	13.2%	
治療・検診	0.0%	3.0%	0.9%	1.0%	1.9%	
その他	1.0%	1.0%	0.0%	1.4%	5.7%	

(6) 各国の比較分析

くきた北海道で知っている場所・地名はありますか？（複数回答可）>






選択肢	最重点市場	重点市場			その他市場	
	台湾 	香港 	タイ 	シンガポール 	アメリカ 	
稚内	32.3%	20.7%	14.0%	7.7%	35.8%	
利尻	18.4%	11.3%	7.7%	6.3%	16.5%	
礼文	9.0%	6.9%	6.3%	5.3%	10.8%	
羽幌	7.1%	15.8%	6.8%	2.9%	3.8%	
留萌	5.2%	2.5%	4.1%	3.9%	4.2%	
名寄	7.7%	6.9%	4.5%	7.2%	7.1%	
士別	2.6%	3.0%	13.5%	1.4%	8.5%	
増毛	3.5%	3.0%	3.2%	1.0%	2.8%	
旭川	75.8%	44.3%	20.7%	13.5%	42.0%	
岩見沢	5.2%	10.3%	5.0%	2.4%	6.6%	
夕張	53.5%	31.0%	12.6%	10.1%	21.7%	
札幌	93.9%	86.7%	77.5%	76.8%	92.5%	
北広島	9.4%	12.8%	9.5%	5.3%	2.8%	
千歳	83.5%	57.1%	23.4%	27.1%	45.3%	

くきた北海道で行ってみたい場所や体験してみたいこと（複数回答可）>

選択肢	最重点市場	重点市場			その他市場	
	台湾 	香港 	タイ 	シンガポール 	アメリカ 	
礼文島	23.9%	20.2%	25.2%	29.5%	73.1%	
利尻島	39.7%	32.5%	24.3%	25.1%	35.8%	
宗谷岬	29.7%	21.2%	16.7%	22.2%	36.8%	
宗谷地域等の乳製品	42.9%	24.1%	25.2%	26.1%	30.7%	
宗谷の豊富な海産物	68.4%	51.2%	57.7%	57.5%	50.0%	
サロベツ原野	37.4%	29.1%	23.0%	25.1%	45.3%	
豊富温泉	71.0%	60.6%	39.2%	42.0%	43.4%	
天売島・焼尻島	22.9%	24.6%	20.7%	20.3%	33.5%	
日本海の夕陽	55.5%	39.9%	38.3%	42.0%	73.1%	
鯨番屋	18.7%	16.3%	9.5%	10.6%	41.0%	
最北の日本酒	33.9%	33.0%	9.0%	21.7%	17.5%	
天塩川	29.7%	25.6%	18.5%	21.7%	65.6%	
名寄のサンピラー	33.9%	34.0%	25.7%	33.3%	20.3%	
炭鉱・土木遺産	20.0%	16.3%	6.3%	8.7%	53.8%	
空知のワイン	32.9%	31.0%	15.3%	25.1%	60.4%	
ものづくり体験	36.1%	37.4%	14.0%	31.9%	43.9%	






(6) 各国の比較分析

くきた北海道で、あなたが体験したいと思うもの（最大3つ）>

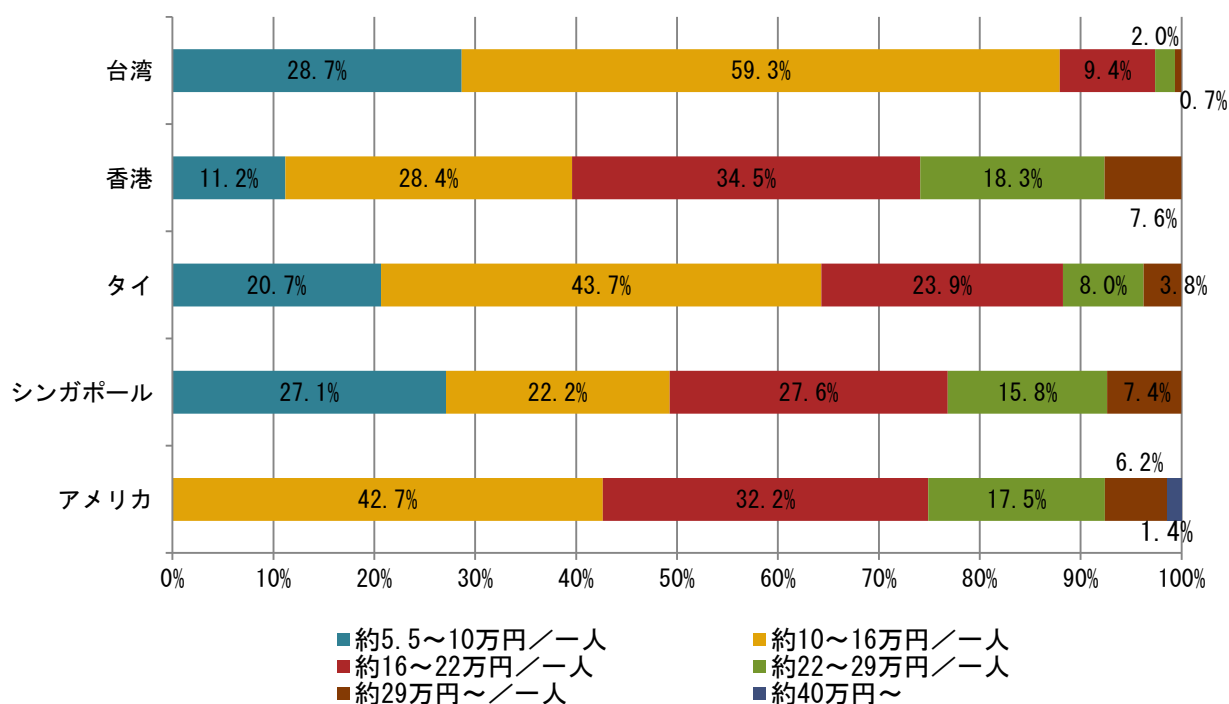
選択肢	最重点市場	重点市場			その他市場	
	台湾 	香港 	タイ 	シンガポール 	アメリカ 	
サーフィン・ボディボード	4.2%	16.3%	19.4%	23.2%	2.4%	
カヤック・カヌー	21.6%	16.3%	20.3%	33.3%	19.8%	
バードウォッチング	4.8%	17.7%	14.9%	10.1%	3.8%	
漁業体験	9.7%	25.6%	11.7%	19.8%	9.0%	
BBQ	16.1%	20.2%	24.8%	30.0%	9.9%	
トレッキング・高山植物鑑賞	10.6%	16.7%	34.7%	48.8%	42.0%	
登山・クライミング	1.0%	7.9%	18.9%	25.1%	6.1%	
乗馬	4.8%	14.3%	9.5%	15.9%	9.9%	
サイクリング・マウンテンバイク	16.1%	9.4%	14.4%	16.9%	7.1%	
パラグライダー・グライダー	12.9%	26.6%	8.1%	22.7%	2.4%	
ドライブ	8.7%	15.3%	6.3%	16.4%	8.0%	
農業・酪農体験	18.1%	15.3%	17.1%	28.0%	12.3%	
スノーシュー	5.8%	15.3%	13.5%	30.0%	0.0%	
スノーボード・スキー	39.0%	58.1%	49.5%	47.3%	18.9%	
スノーモービル	16.8%	22.2%	14.4%	26.6%	2.4%	
果物などの味覚狩り	21.0%	31.5%	51.4%	43.0%	22.6%	
伝統工芸・文化体験	26.8%	28.6%	14.4%	24.6%	26.4%	
そば打ちなどの食べ物づくり	11.6%	11.8%	18.9%	26.1%	22.2%	
陶芸・ガラス・木工加工体験	6.8%	22.7%	6.3%	18.4%	16.0%	
アイヌ・縄文文化見学／体験	5.8%	9.4%	7.7%	15.5%	20.8%	
天体観測	4.5%	30.5%	23.9%	34.8%	14.6%	
産業遺産や工場などの見学	9.7%	35.0%	9.9%	15.9%	9.9%	
その他	0.6%	1.5%	1.4%	0.0%	0.9%	

(6) 各国の比較分析

<これまでの日本への訪問先（複数回答可）>

選択肢	最重点市場	重点市場		その他市場	
	台湾 	香港 	タイ 	シンガポール 	アメリカ 
北海道地方	47.1%	40.9%	27.5%	29.5%	39.2%
東北地方（青森・仙台など）	11.0%	9.4%	9.0%	6.3%	19.3%
北陸地方（新潟・富山など）	16.1%	14.8%	4.5%	4.8%	12.3%
関東地方（東京・横浜など）	59.0%	65.0%	53.6%	52.2%	79.2%
東海地方（静岡・名古屋など）	21.6%	21.2%	11.7%	8.2%	32.5%
甲信地方（長野など）	7.1%	8.4%	8.6%	4.3%	20.8%
近畿地方（大阪・京都・神戸など）	65.5%	59.6%	40.5%	29.0%	65.1%
中国地方（広島・鳥取など）	10.0%	6.9%	11.3%	6.8%	33.5%
四国地方（香川・高知など）	6.5%	7.9%	5.0%	4.8%	15.6%
九州地方（福岡・長崎など）	30.0%	21.7%	18.5%	13.0%	29.2%
沖縄地方	29.4%	24.6%	5.0%	6.8%	17.0%
日本に訪問したことがない	11.0%	4.4%	11.7%	10.6%	5.2%

<きた北海道旅行で想定する価格帯について>



2. 現地旅行会社向けアンケート調査

2-1 調査概要

最重点市場・重点市場の5カ国・地域の旅行会社における商品化の可能性等を把握するために、旅行会社の商品造成担当・仕入れ担当へメールによるアンケート調査を行った。

(1) 調査対象の選定

きた北海道へのインバウンドの可能性を把握し、適切な旅行会社のニーズを把握するために、訪日旅行の実績を有する各国の主要な旅行会社を抽出し、商品造成・仕入れ担当者にメールにてアンケートを依頼した。

(2) 調査項目及び調査票

項目	設問内容
基本情報	・会社名 / ・担当部署名 / ・担当者名 / ・電話、メール
会社概要	・従業員数とその形態 / ・営業年数 / ・昨年の売上 ・顧客数 / ・海外旅行で人気の高い国 / ・日本旅行の販売実績 ・北海道旅行の販売実績 / ・主な販売方法 / ・顧客層
これまでの北海道旅行の商品	・きた北海道の旅行商品検討の有無 ・きた北海道の旅行商品が販売できなかった理由 ・主な北海道旅行の商品、内容
きた北海道の認知度と立寄り希望先	・知っている場所、地名 ・行ってみたい場所や体験したいこと
希望する旅行の形態	・きた北海道を観光すると考えた際の訪れたい季節、滞在したい日数、一緒に訪れたい同行者、利用したい飛行機のクラス、希望する移動手段、希望する宿泊施設、夕食の形態、販売形式 ・きた北海道で企画旅行で採用できそうな体験 ・販売金額

きた北海道の観光についてのアンケート調査（現地旅行会社向け）

本アンケートは、北海道が外国人旅行者にとってより魅力的なものとなることを目的に、北海道への観光旅行を企画する旅行会社を対象として、「きた北海道」がより魅力ある旅行先となるよう、検討するためのものです。調査の結果は統計的に処理し、個人を特定することはありません。調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。
なお、「きた北海道」（下図）とは、北海道の札幌市から日本最北の稚内市までをまたがるエリアを指します。

■調査実施主体：国土交通省 北海道運輸局
■調査実施機関：株式会社近畿日本ツーリスト北海道

質問1 こちらからお問い合わせが必要な場合に必要とする情報

貴社名	
担当部署名	
担当者氏名	
電話番号	
E-mail	

質問2 貴社のことについてお聞かせします。

従業員の就業形態と その人数	全（ ）人程度 ※うち、日本及び北海道旅行に精通した従業員（ ）人 ※その他非従業員で、日本及び北海道旅行に精通したエージェンツ（ ）人
営業年数	創業（ ）年

質問3 引き続き、貴社のことについてお聞かせします。

貴社の昨年の売上規模	(右づめ) 通算 ()
貴社の顧客数	(右づめ) 人
貴社における海外旅行の中で人気の高い国	年間 () 本程度 上記、全旅行の中で送客数の多い上位3位の日本の都市を教えてください。 1位 () 2位 () 3位 ()
貴社における日本旅行の販売実績	年間 () 本程度 上記、全旅行の中で送客数の多い上位3位の日本の都市を教えてください。 1位 () 2位 () 3位 ()
貴社における北海道旅行の販売実績	年間 () 本程度 上記、全旅行の中で送客数の多い上位3位の北海道の地域を教えてください。 1位 () 2位 () 3位 ()
貴社の旅行商品の主な販売方法	1 顧客へのダイレクトメール 2 店頭パンフレット 3 新聞・雑誌広告への記事掲載・折込チラシ 4 自社のWEBサイト 5 その他 ()
性別	男性 約 () 割 女性 約 () 割
年齢層 (上位3つ)	1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代 6 60代 7 70代～
貴社の顧客層 顧客から人気の高いツアー内容 (上位3つ)	1 温泉旅行 2 自然・景勝地観光 3 グルメ 4 高原リゾート 5 歴史・文化観光 6 テーマパーク 7 海浜リゾート 8 町並み散策 9 和風旅館 10 リゾートホテル 11 世界遺産めぐり 12 自然現象鑑賞 13 都市観光 14 自然体験ツアー・農漁村体験 15 ショッピング 16 治療・検診 17 日本や北海道の日常生活体験 18 スキー・スノーボード 19 その他スポーツ 20 サイクリングやカヌー 21 スポーツ観戦 22 その他 ()

質問4 これまで貴社で企画された北海道の旅行についてお聞きします。

きた北海道での企画旅行を検討されたことがありますか？	1 企画したことがある(具体的な商品名:) 2 検討したことがあるが販売には至らなかった 3 ない		
きた北海道での企画旅行の販売に至らなかった(至らない)理由を教えてください。(複数回答可)	1 特に理由は無い 2 物価が高い 3 旅費が高い 4 きた北海道に関する情報が少ない/手許にない 5 現地に伝手がない 6 宿泊施設が少ない 7 冬季の移動に危険が伴う 8 言語障害 9 まとまった旅行期間を提供できない 10 観光施設が少ない 11 観光施設に見どころがない/質が悪い 12 ショッピングが楽しめない 13 交通機関が不便 14 景観が美しい 15 食事が合わない/不味い 16 サービスが悪い 17 にぎわい・活気がない 18 文化と歴史が素晴らしい 19 特にイメージはないが、どちらかと言うと悪いイメージ 20 その他()		
主な北海道の旅行商品・企画の内容	旅行形態	訪問先の地名または代表的な施設名	ひとりあたりの旅行料金
	1 パッケージ商品 2 カスタムメイド商品 3 Fly & Easy (チケット手配)		() 円/一人 (飛行機代含む/含まない)
	2 1 パッケージ商品 2 カスタムメイド商品 3 Fly & Easy (チケット手配)		() 円/一人 (飛行機代含む/含まない)
	3 1 パッケージ商品 2 カスタムメイド商品 3 Fly & Easy (チケット手配)		() 円/一人 (飛行機代含む/含まない)
	4 1 パッケージ商品 2 カスタムメイド商品 3 Fly & Easy (チケット手配)		() 円/一人 (飛行機代含む/含まない)
5 1 パッケージ商品 2 カスタムメイド商品 3 Fly & Easy (チケット手配)		() 円/一人 (飛行機代含む/含まない)	

◆前頁の北海道内マップを参考にお答えください。
◆特に、「きた北海道」エリアでの企画旅行については出来る限り詳細にお答えください。
◆これまでの企画パンフレットなどをPDFでご送付いただければ幸いです。
◆4件以上ある場合は、先に行きのよかつた企画上り企画を上げてください。

「日本のてっぺん。きた北海道ルート」
～恵まれた大自然から享受する大祭な食や景観。
日本のてっぺんをめざし、北の大地、海、島をかけるぼる。～

「きた北海道」は、外国人観光客の入り口となる札幌・旭川と最北の都市稚内を結ぶ南北350kmにも渡る広大なエリアを指します。

以下で知っている場所・地名はありますか？知っている場所・地名に○を入れて下さい。

<input type="checkbox"/> 稚内 日本最北のまち	<input type="checkbox"/> 利尻 利尻山がそびえる島	<input type="checkbox"/> 礼文 高山植物が咲き乱れる島	<input type="checkbox"/> 羽幌 天売・焼尻島を抱えるまち	<input type="checkbox"/> 留萌 日本海側の漁業のまち	<input type="checkbox"/> 名寄 ひまわりや天文台を有する	<input type="checkbox"/> 士別 羊肉が特産のまち
<input type="checkbox"/> 増毛 ニシン漁で栄えた北の古都	<input type="checkbox"/> 旭川 道北の中心都市	<input type="checkbox"/> 岩見沢 ワイナリーが立ち並ぶ	<input type="checkbox"/> 夕張 メロンが特産のまち	<input type="checkbox"/> 札幌 札幌から近いベッドタウン	<input type="checkbox"/> 北広島 札幌を抱えるまち	<input type="checkbox"/> 千歳 空港を抱えるまち

以下の地図を見て、ツアー達成に採用できそうな地域資源や体験に○を入れて下さい

<input type="checkbox"/> 礼文島 貴重な高山植物の島 カニクラフティング	<input type="checkbox"/> 宗谷岬 日本最北の地からカニクラフティング	<input type="checkbox"/> 宗谷の豊富な海産物 カニ・ホタテ・エビ・ウニなど新鮮な海産物を堪能	<input type="checkbox"/> 宗谷地域等の乳製品 冷涼な気候で育った新鮮な牛乳
<input type="checkbox"/> 利尻島 夏は登山、冬はバックカントリースキー	<input type="checkbox"/> サロベツ原野 最北の大草原で自然を満喫	<input type="checkbox"/> 天塩川 カヌーや釣りの楽園、名産の大河	<input type="checkbox"/> 豊富温泉 アビーに染めた名湯
<input type="checkbox"/> 天売島・焼尻島 海産の大宴、絶品羊肉が生産される島	<input type="checkbox"/> ものづくり体験 北の職人、各産品のガラス・織物体験	<input type="checkbox"/> 名寄のサンペーパー 名寄が生み出す太陽紙	<input type="checkbox"/> 空知のワイン 緑やんワイナリーが個性あふれるワインをつくる
<input type="checkbox"/> 練習屋 実業を極めたニシン漁を学ぶ	<input type="checkbox"/> 日本海の夕陽 地景絵巻を赤く染める夕陽	<input type="checkbox"/> 炭鉱・土木遺産 北海道近代史を支えた遺産	<input type="checkbox"/> 最北の日本酒 古酒造りや最北の酒蔵

質問5 「きた北海道」エリアを周遊観光するモデルルートの計画を検討しています。仮にあなたが、前頁でご説明する「きた北海道」エリアを観光するご仮定して、以下のご質問にお答え下さい。

4-1 仮に貴社が「きた北海道」で企画旅行を販売する場合、どのような旅行商品が売れそうだと思いますか。下表の旅行の各内容から貴社が企画に採用するものをひとつずつ選んで、○をつけてください。各行からはひとつずつしか選べません。

対象とする旅行者の属性 (3つのうちひとつ)	低所得者層 (4つのうちひとつ)	中所得者層	富裕層	-	-
対象とするターゲット (4つのうちひとつ)	ひとりの旅行	家族・親族での旅行	友人との旅行	職場の同僚との旅行	-
採用する旅行商品を教えてください。 (3つのうちひとつ)	全体の行程がパッケージとなった旅行商品	お客様ご自身の要望に応じて、行程を組み立てる商品	予約などの手配のみ	-	-
採用する季節を教えてください。 (4つのうちひとつ)	春	夏	秋	冬	-
採用する滞在日数を教えてください。 (4つのうちひとつ)	1~3日	4~5日	6~9日	10日以上	-
採用する飛行機 (4つのうちひとつ)	LOCC	エコノミークラス	ビジネスクラス	ファーストクラス	-
採用する交通手段 (4つのうちひとつ)	JR・都市間バス・路線バス	団体ツアーバス	レンタカー	歩きたり自転車やカヌーなど、自分の力で移動	-
採用する施設 (4つのうちひとつ)	キャンプ	ユースホステルやゲストハウス	ホテル	高級ホテル	-
採用する一日あたりの食事の回数 (4つのうちひとつ)	自炊	朝食のみ	朝夕食付き	朝夕食付き	-
採用する販売方法 (4つのうちひとつ)	顧客へのダイレクトメール	店頭	新聞・雑誌広告への記事掲載・折込チラシ	自社のWEBサイト	-

4-2 「きた北海道」で、企画旅行に採用できそうな体験機会を、最大3つ選んで、○をつけてください。

湖・川・湖での体験		
1 サーフフィン・ボディーボード	2 カヤック・カヌー	3 パードクオッチング
4 漁業体験	5 わかさぎ釣り	5 BBQ
陸・山・空での体験		
6 トレッキング・高山植物鑑賞	7 登山・クライミング	8 乗馬
9 サイクリング・マウンテンバイク	10 パラグライダー・グライダー	11 ドライブ
12 農業・酪農体験		
冬での体験		
13 スノーシュー	14 スノーボード・スキー	15 スノーモービル
文化・ものづくり体験		
16 果物などの味覚狩り	17 伝統工芸・文化体験	18 そば打ちなどの食・物づくり
19 陶芸・ガラス・木工加工体験	20 アイス・縄文文化見学/体験	
その他		
21 天体観測	22 産業遺産や工場などの見学	
23 その他()		

4-3 4-1と4-2で選んだ旅行内容で、きた北海道を企画旅行する場合、貴社はいくらの旅行料金でなら提供できそうですか。ひとつ選んで、○をつけてください。

150~100千円/1人	2100~150千円/1人	3150~200千円/1人	4200~250千円/1人
--------------	---------------	---------------	---------------

※各国の通貨に合わせて、設問を変更

ご協力、誠にありがとうございました。

2-2 調査結果

調査結果は、以下の通りである。

	国・地域名	合計
最重点市場	台湾	6社
重点市場	香港	5社
	タイ	5社
その他市場	シンガポール	5社
	アメリカ	5社

■回答旅行会社一覧

国名	貴社名	担当部署名	担当者氏名
台湾	駿樺旅行社	Operation	陳 静和
	百威旅行社	日本線線控	王文婷
	台湾近畿国際旅行社	商品開発部	
	張心国際旅行社		黄湊音
	飛鳥国際旅行社	日本部	CHIN KUO LAI
	銘傳旅行社		莊瑞得
香港	知心旅遊有限公司		翟 韻玲
	迦比旅行社有限公司	Reservations	Kyle Yuen
	KNT HK LTD		tsukasa Kusakabe
	POLOAIR TRAVEL	ACCOUNT DEPT	CARRIE NG
	康泰旅行社	日本部	Cheng Chan
タイ	ABACUS TRAVEL SERVICE	Managing Director	ANURUCK KETKLAO
	World Surprise Travel Co.,Ltd	商品開発部	Malinee PICHITCHAIKUN
	M. D. Tour&Travel		Torpong Chanpen
	J-Plan Holiday		Patana Nitipatanapanya
	Go Holifay	Japan Operation	Kedsara
シンガポール	Uniq Luxe pte Ltd	Management	Anglia Anthon
	H. I. S. INTERNATIONAL TRAVEL PTE LTD		Kenji Kobayashi
	First Choice Holiday Pte Ltd	Senior Manager	James Liauw
	MISA TRAVEL PTE LTD		Fay Yeat Koh
	NAM HO TRAVEL SERVICE (S) PTE LTD	PRODUCT/OPERATIONS	SHIN BEE LING
アメリカ	IACE TRAVEL	新規事業企画部	長谷川大介
	KINTETSU INTERNATIONAL TRAVEL CONSULTANTS	TCC	大西めぐみ
	POLARIS TOUR		LANCE KENJI IMAMURA
	Supernet Tours & Travel		Roy Liao
	TRAVEL DESIGN USA INC.		CRAIG HSU

■回答旅行会社の概要

国・地域名	社名	従業員の就業形態とその人数	うち、日本及び北海道旅行に精通した従業員	非従業員で、日本及び北海道旅行に精通したエージェント	営業年数
台湾	駿樺旅行社	32	7	0	15
	百威旅行社	320	10	310	18
	台湾近畿国際旅行社	14			4
	張心国際旅行社	3	2		0.6
	飛鳥国際旅行社	60	15		17
	銘傳旅行社	12		8	4
香港	迦比旅行社有限公司	5	2		2
	KNT HK LTD	7			7
	POLOAIR TRAVEL	70	9	40	32
	康泰旅行社				50
	知心旅遊有限公司	20	3		22
タイ	ABACUS TRAVEL SERVICE	8	2		25
	World Surprise Travel Co.,Ltd	60	4		12
	M. D. Tour&Travel	30	5		43
	J-Plan Holiday	12	3		13
	Go Holiday	800	30		42
シンガポール	Uniq Luxe pte Ltd	5	3		3
	H. I. S. INTERNATIONAL TRAVEL PTE LTD	55	8		23
	Uniq Luxe pte Ltd	5	3		3
	First Choice Holiday Pte Ltd	3			6
	MISA TRAVEL PTE LTD	200	10		27
	NAM HO TRAVEL SERVICE (S) PTE LTD	120	5		23
アメリカ	IACE TRAVEL	150	120		47
	KINTETSU INTERNATIONAL TRAVEL CONSULTANTS	14	5	1	38
	POLARIS TOUR	1	1	1	8
	Supernet Tours & Travel	80	30		9
	TRAVEL DESIGN USA INC.	20	3		31

第4章 各国の北海道旅行に求める嗜好性

■回答旅行会社の旅客取扱いの内容（台湾の旅行会社）

旅行会社名		駿樺旅行社	百威旅行社	台湾近畿国際	張心国際旅行社	飛鳥国際旅行社	銘傳旅行社
昨年の売上規模／顧客数	昨年の売上規模	約49億	約2.8億	—	約1億	約1.8億円	—
	顧客数	1,635	100,000	2,000	100	11,000	—
貴社における海外旅行の中で人気の高い国	年間旅行企画数	356	3,000	10	30	35,000	—
	1位	中国	中国	ニューヨーク	日本	タイ	中国
	2位	タイ	日本	イギリス	—	中国	日本
	3位	日本	ロシア	ドイツ	—	日本	ヨーロッパ
貴社における日本旅行の販売実績	年間旅行企画数	50	500	20	—	10,000	—
	1位	東京	大阪	東京	—	沖縄	立山
	2位	大阪・京都	北海道	大阪	—	北海道	大阪
	3位	高山	東京	京都	—	東京	沖縄
貴社における北海道旅行の販売実績	年間旅行企画数	9	125	4	—	3,000	—
	1位	札幌	札幌	札幌	札幌	札幌	函館
	2位	洞爺	函館	旭川	洞爺	函館	—
	3位	函館	小樽	千歳	函館	富良野	流水

■回答旅行会社の旅客取扱いの内容（香港の旅行会社）

旅行会社名		迦比旅行社有限公司	KNT HK	POLOAIR TRAVEL	康泰旅行社	知心旅遊有限公司
昨年の売上規模／顧客数	昨年の売上規模	約5.7千万円	—	約28億円	—	—
	顧客数	1,000	—	30,000	—	5,000
貴社における海外旅行の中で人気の高い国	年間旅行企画数	—	—	1,200	—	2,000
	1位	日本	—	日本	—	中国
	2位	台湾	—	韓国	—	フィリピン
	3位	—	—	タイ	—	日本
貴社における日本旅行の販売実績	年間旅行企画数	—	—	—	—	500
	1位	北海道	—	北海道	—	東京
	2位	—	—	大阪	—	京都
	3位	—	—	九州	—	九州
貴社における北海道旅行の販売実績	年間旅行企画数	—	—	—	—	50
	1位	札幌	—	札幌	—	札幌
	2位	—	—	小樽	—	富良野
	3位	—	—	函館	—	小樽

■回答旅行会社の旅客取扱いの内容（タイの旅行会社）

旅行会社名		ABACUS TRAVEL SERVICE	World Surprise Travel Co., Ltd	M. D. Tour&Travel	J-Plan Holiday	Go Holiday
昨年の売上規模／顧客数	昨年の売上規模	約9.6万円	—	約1.9億円	—	—
	顧客数	1,000	—	8,000	—	—
貴社における海外旅行の中で人気の高い国	年間旅行企画数	2,500	8,000	2,000	7,000	100,000
	1位	中国	中国	アメリカ	日本	中国
	2位	韓国	シンガポール	フランス	シンガポール	韓国
	3位	日本	韓国	イギリス	中国	日本
貴社における日本旅行の販売実績	年間旅行企画数	600	1,000	300	4,000	10,000
	1位	東京	東京	東京	東京	東京
	2位	大阪	高山	北海道	大阪	北海道
	3位	沖縄	九州	京都	北海道	大阪
貴社における北海道旅行の販売実績	年間旅行企画数	20	170	100	300	3,000
	1位	札幌	札幌	札幌	小樽	札幌
	2位	洞爺	富良野	洞爺	函館	洞爺
	3位	富良野	洞爺	函館	トナム	小樽

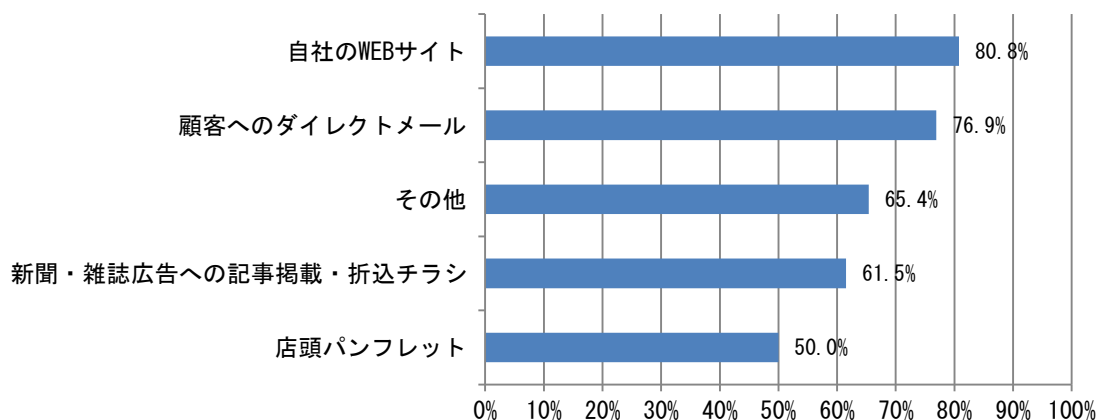
■回答旅行会社の旅客取扱いの内容（シンガポールの旅行会社）

旅行会社名		Uniq Luxe pte Ltd	H. I. S. INTERNATIONAL TRAVEL PTE LTD	First Choice Holiday Pte Ltd	MISA TRAVEL PTE LTD	NAM HO TRAVEL SERVICE (S) PTE LTD
昨年の売上規模／顧客数	昨年の売上規模	約1.3億円	約6.3億円	—	約74億円	約39億円
	顧客数	200	7,000	5,000	8,000	6,000
貴社における海外旅行の中で人気の高い国	年間旅行企画数	80	2,000	2,000	2,000	2,200
	1位	ヨーロッパ	日本	日本	タイ	中国
	2位	モルディブ	中国	中国	中国	韓国
	3位	日本	タイ	韓国	日本	日本
貴社における日本旅行の販売実績	年間旅行企画数	10	1,000	1,200	400	500
	1位	東京	東京	東京	東京	黄金ルート
	2位	京都	京都	北海道	大阪	東京
	3位	—	アルペンルート	沖縄	沖縄	関西
貴社における北海道旅行の販売実績	年間旅行企画数	2	100	400	60	100
	1位	札幌	札幌	札幌	富良野	札幌
	2位	登別/函館	富良野	十勝	—	—
	3位	富良野	函館	ニセコ	洞爺	小樽

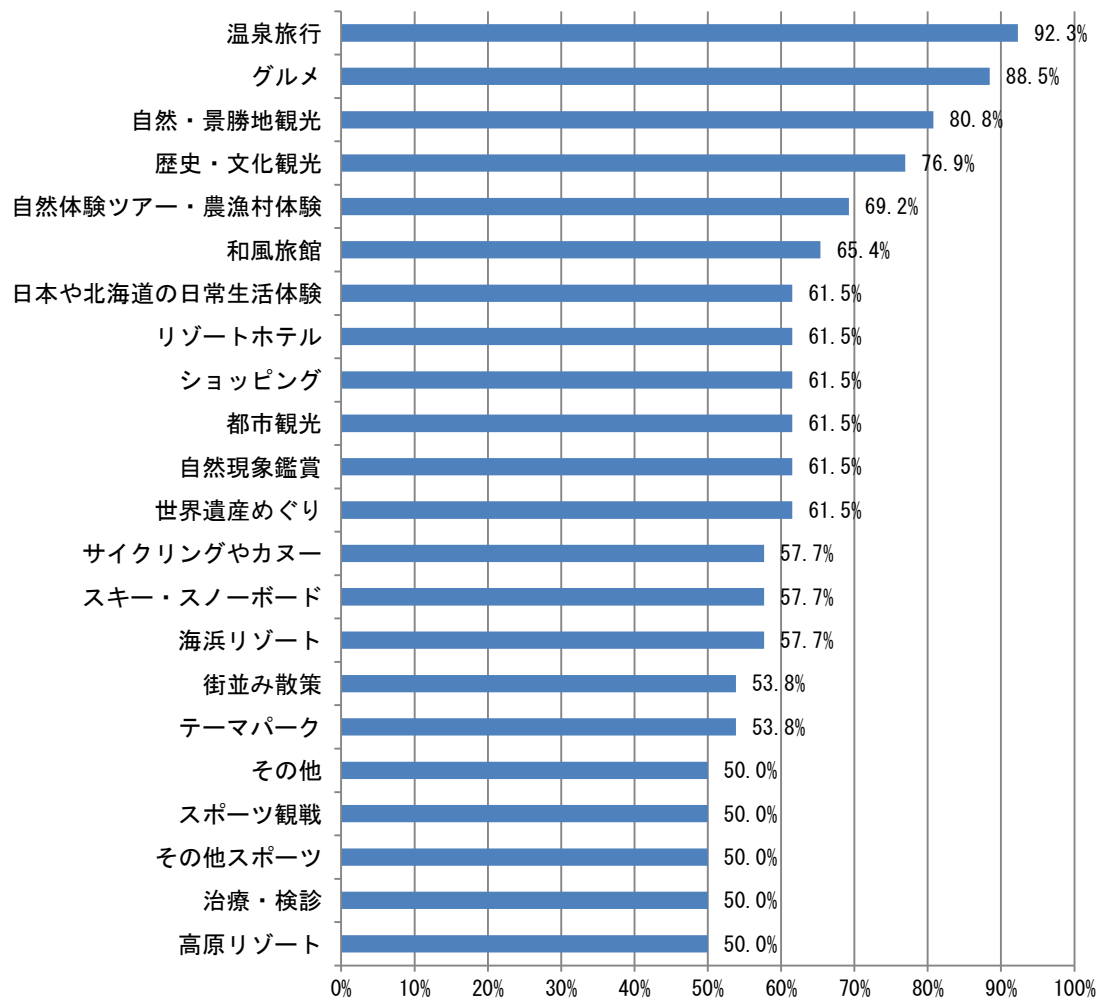
■ 回答旅行会社の旅客取扱いの内容（アメリカの旅行会社）

旅行会社名		IACE TRAVEL	KINTETSU INTERNATIONAL TRAVEL CONSULTANTS COMPANY	POLARIS TOUR	Supernet Tours & Travel	TRAVEL DESIGN USA INC.
昨年の売上規模／顧客数	昨年の売上規模	約116億円	約1.1千万円	—	約85億円	約116億円
	顧客数	6,300	200	9,000	12,000	6,300
貴社における海外旅行の中で人気の高い国	年間旅行企画数	300	25	1,100	3,500	300
	1位	日本	日本	日本	日本	日本
	2位	台湾	韓国	中国	中国	台湾
	3位	—	イギリス	台湾	韓国	—
貴社における日本旅行の販売実績	年間旅行企画数	240	20	450	600	240
	1位	東京	東京	東京	東京	東京
	2位	京都	京都	京都	京都	京都
	3位	大阪	広島	大阪	大阪	大阪
貴社における北海道旅行の販売実績	年間旅行企画数	3	1	30	50	3
	1位	札幌	札幌	札幌	札幌	札幌
	2位	ニセコ	函館	釧路	洞爺	ニセコ
	3位	富良野	登別	—	—	富良野

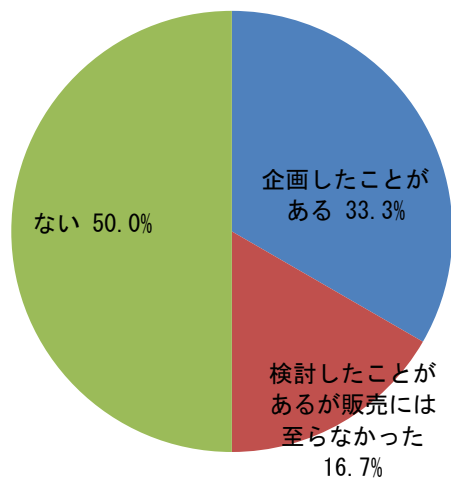
■旅行商品の主な販売方法について



■顧客から人気の高いツアー内容について（上位3つ）



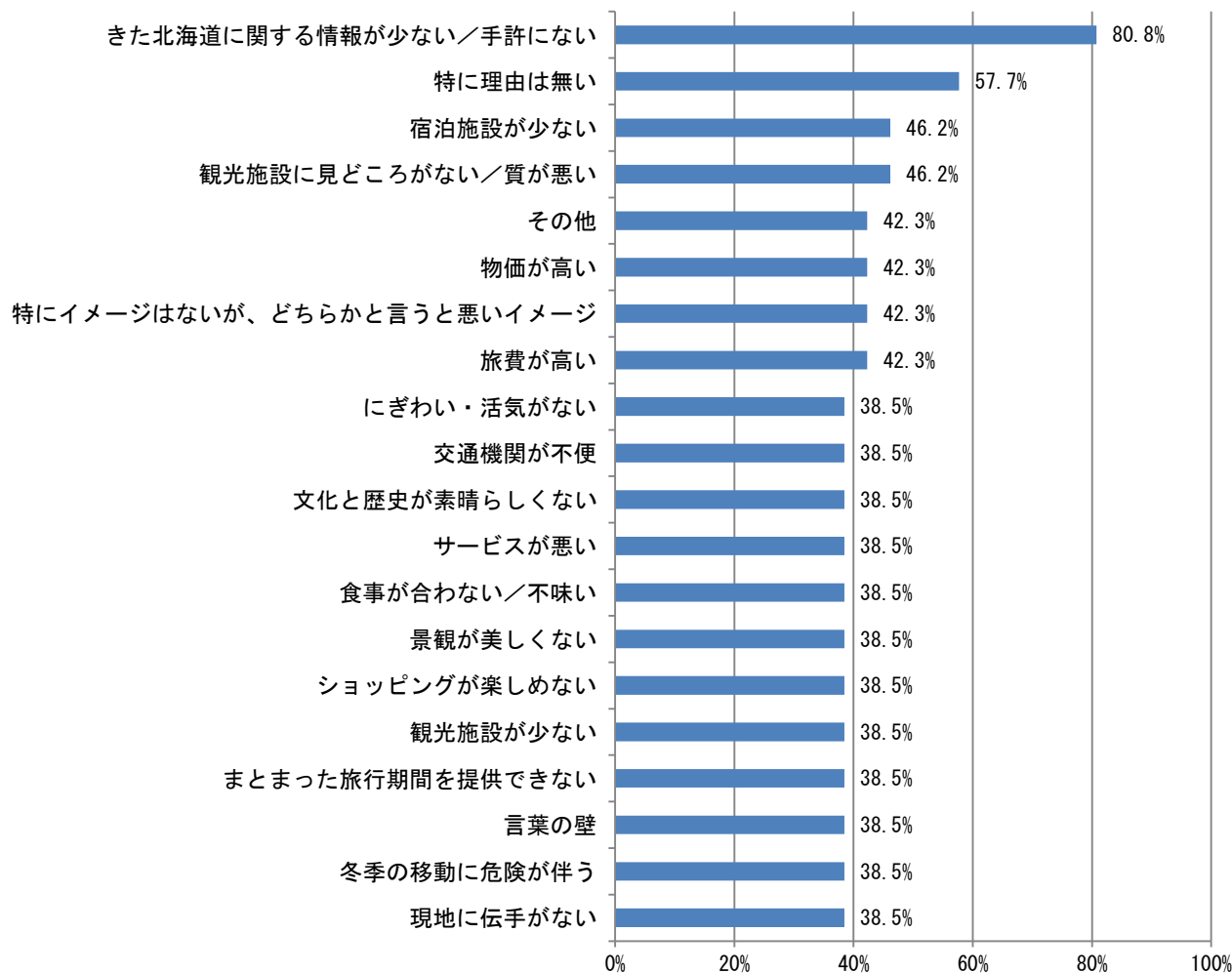
■きた北海道での企画旅行の検討の有無について



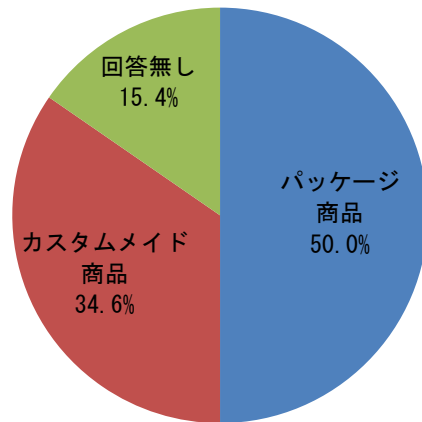
【企画したことがある商品名】

- 道北5日
- 道北7日
- 北海道マラソン
- 道東めぐり
- Bikkuri Tour
- Hokkaido & Tohoku
- Island of Hokkaido

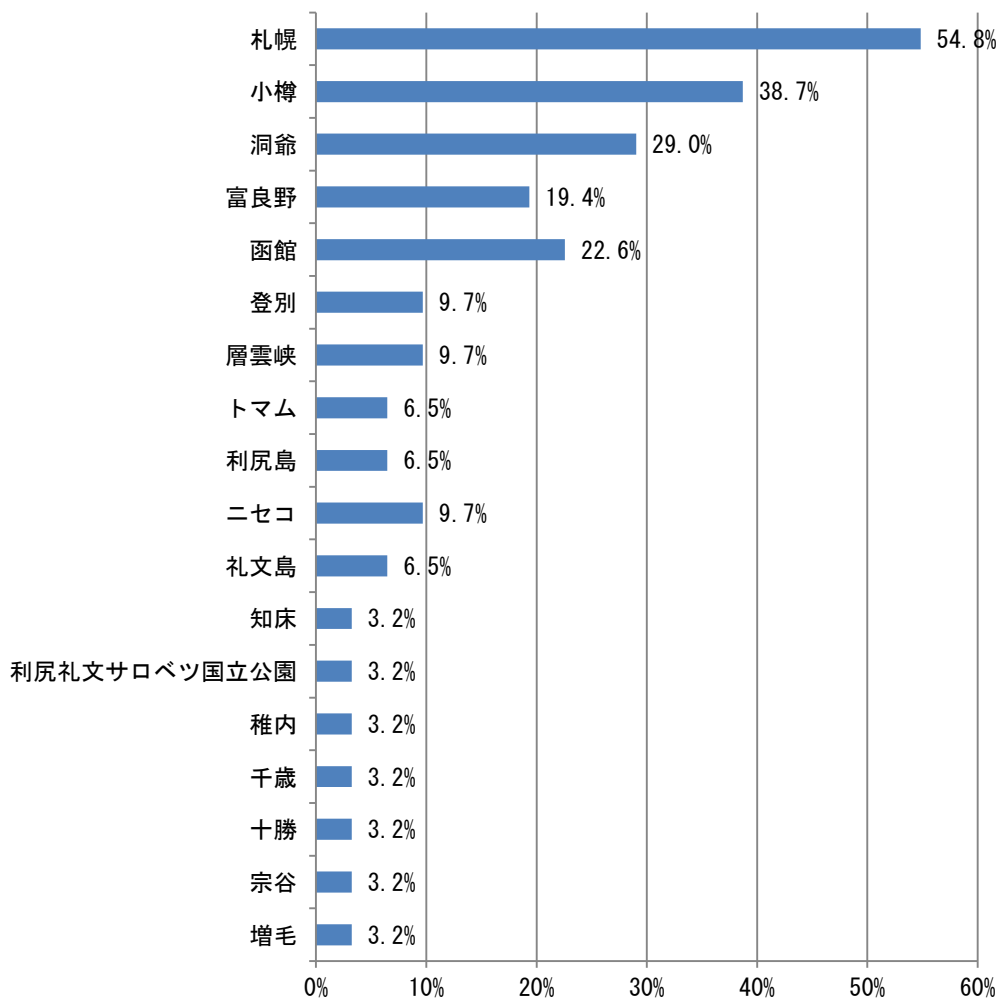
■きた北海道での企画旅行の販売に至らなかった（至らない）理由について（複数回答可）



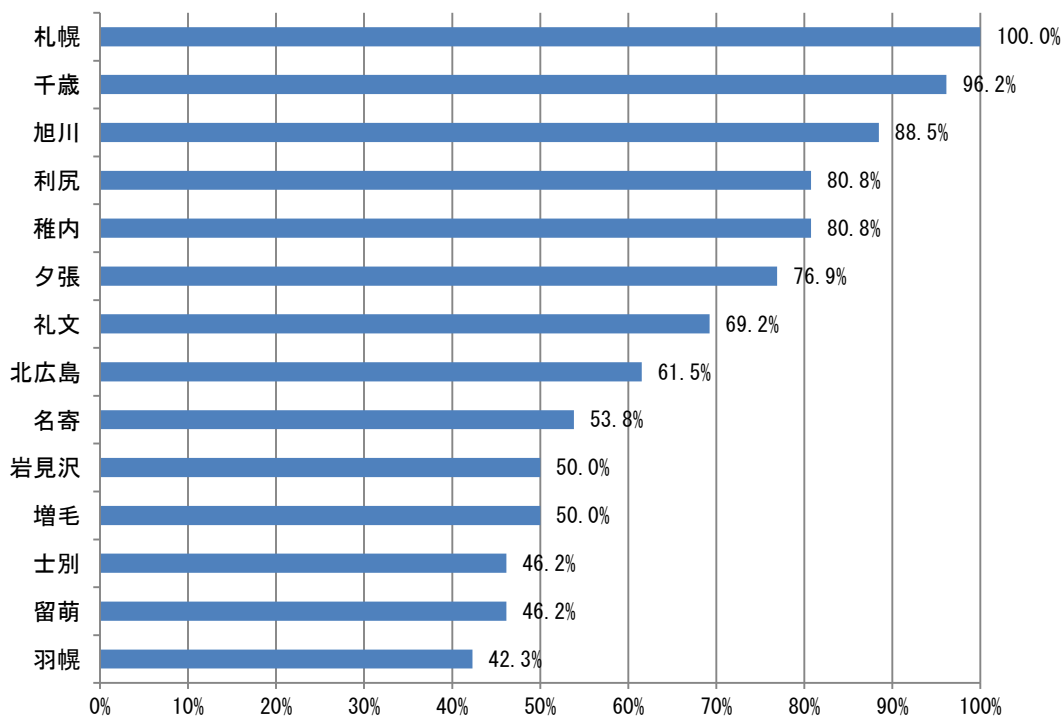
■主な北海道商品の企画内容／旅行形態



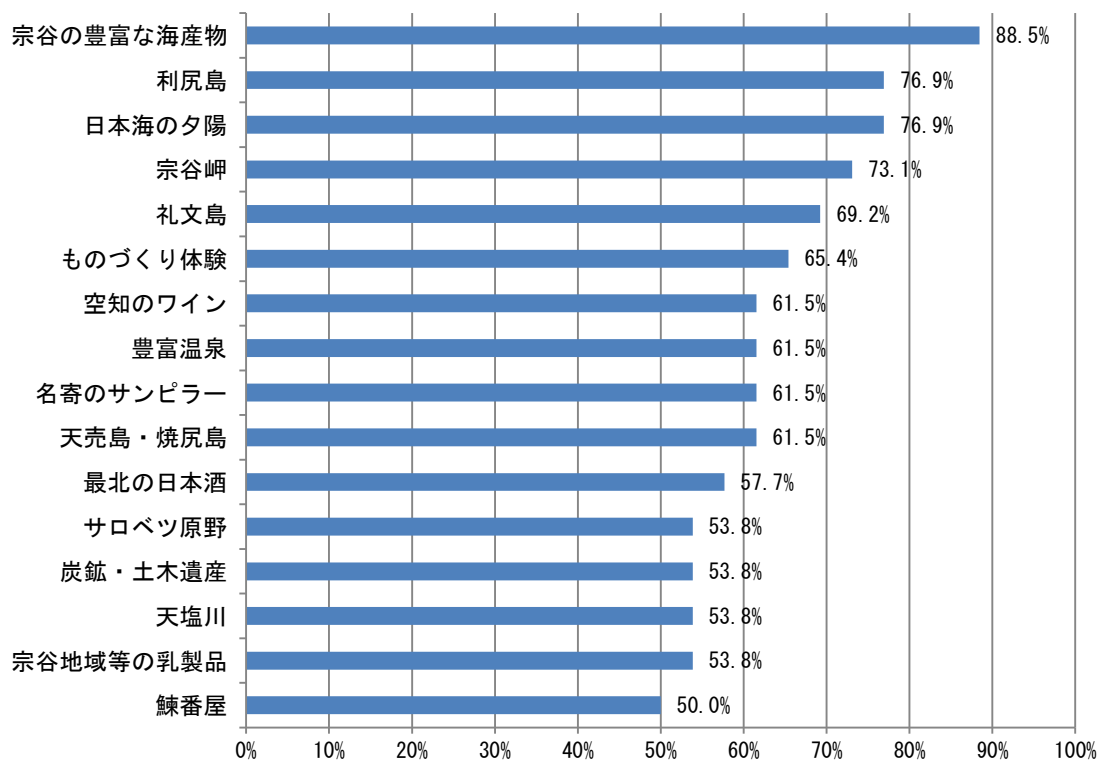
■主な北海道商品の企画内容／訪問先の地名、施設名



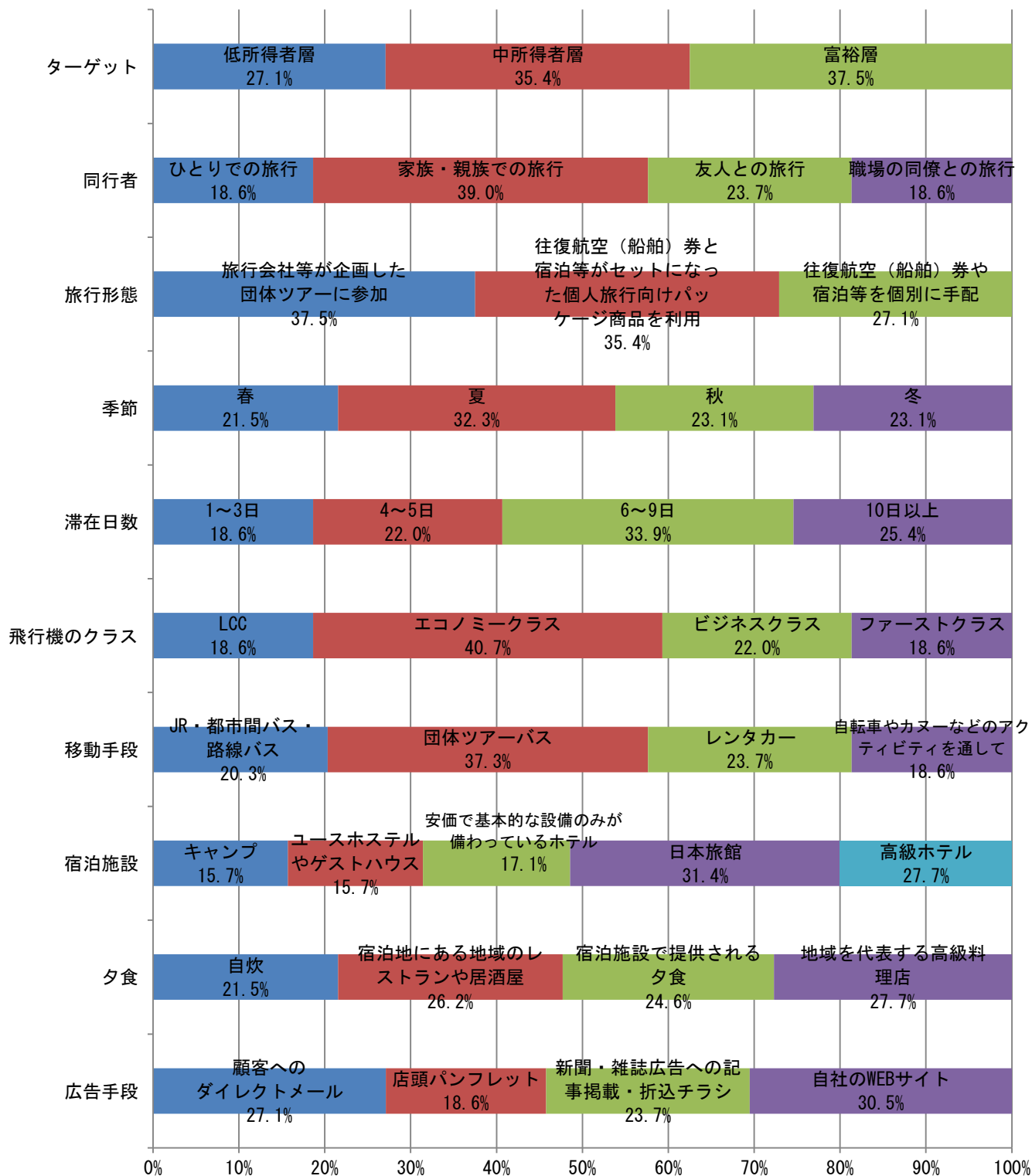
■きた北海道で知っている場所・地名について（エリアマップ参照の上での回答）



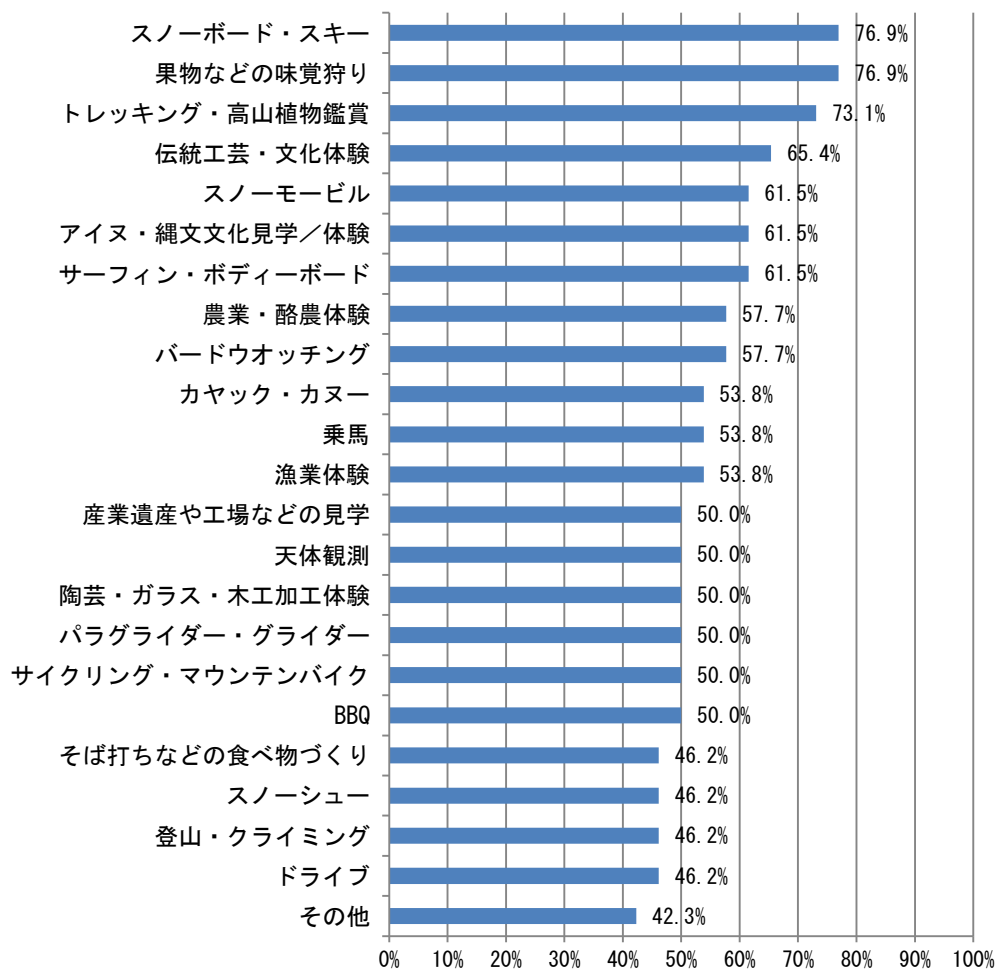
■ツアー造成に採用できそうな、きた北海道の地域資源や体験について



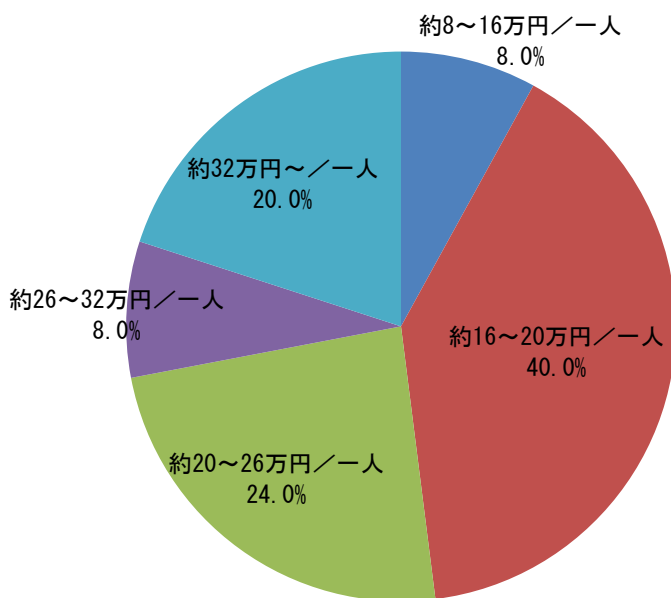
■きた北海道の企画旅行について、売れそうな旅行商品とターゲットなどについて



■ きた北海道で企画旅行に採用できそうな体験メニューについて（最大3つ）



■ きた北海道の企画旅行における想定する料金設定について



第5章

きた北海道エリアの特性分析

1-1 各エリアの特性整理

既存調査や既存データを活用し、広域観光拠点地区各エリアにおける特性を整理する。以下の特性について、整理を行った。

整理する特性

項目	整理方法
気象	気象庁のデータを活用し、広域観光拠点地区の観測点における平均気温等を整理
交通	ウェブサイト等を活用し、主要な道路やフェリー航路、都市間バス、レンタカー営業所等を整理
宿泊施設	政府登録国際観光ホテル・旅館や自治体や観光協会のHP等の既存データを活用し、宿泊施設を整理
案内拠点等	自治体や観光協会のHP等の既存データを活用し、広域観光拠点地区各エリアの観光案内所や道の駅を整理

(1) 気象特性

気象庁が発表している過年度のデータを活用し、広域観光拠点地区の観測点のデータを整理した。なお、広域観光拠点地区の観測点として、以下の箇所を選定した。

観測地点一覧

広域観光拠点地区	観測地点名	備考
旭川	旭川	
士別	士別	
名寄	名寄	
稚内	稚内	
利尻	杓形	利尻島の代表地点として選定
礼文	礼文	
羽幌	羽幌	
羽幌	焼尻	焼尻島も参考として選定
留萌	留萌	
岩見沢	岩見沢	
夕張	夕張	
札幌	札幌	
北広島	恵庭島松	北広島が地点として無いため、近隣の恵庭島松を代表地点として選定
千歳	千歳	

広域観光拠点地区における平均気温（平年値【℃】）

月	観測地													
	旭川	士別	名寄	稚内	杓形	礼文	羽幌	留萌	焼尻	岩見沢	夕張	札幌	恵庭島松	千歳
1月	-7.5	-9	-9.4	-4.7	-4.3		-4.7	-4.4	-3.5	-5.5	-6.9	-3.6	-6.6	-5.7
2月	-6.5	-8.4	-9	-4.7	-4.1		-4.5	-4.1	-3.4	-5	-6.3	-3.1	-5.9	-5.4
3月	-1.8	-3.3	-3.6	-1	-0.7		-0.6	-0.4	-0.1	-0.9	-2.3	0.6	-1.3	-0.7
4月	5.6	4.1	3.8	4.4	4.6		5.5	5.5	5.1	6	4.5	7.1	5.3	5.1
5月	11.8	10.7	10.4	8.8	9.1		10.6	10.6	9.6	11.6	10.4	12.4	10.6	10.6
6月	16.5	15.4	15.4	12.7	13.4		15.2	15	14.1	16	14.6	16.7	14.8	15.2
7月	20.2	19.2	19.2	16.8	17.6		19.2	19.2	18.3	19.7	18.3	20.5	18.6	18.1
8月	21.1	20.2	20.1	19.6	19.8		20.9	20.9	20.5	21.3	19.7	22.3	20.5	20.8
9月	15.9	15	14.8	16.8	16.8		16.9	16.8	17.6	16.9	15.1	18.1	16.4	17
10月	9.2	8.5	8.1	11.1	11.2		11	10.9	12	10.6	8.7	11.8	9.9	10.5
11月	1.9	1.5	1.2	3.6	3.9	3.8	4.2	4.3	4.7	3.7	1.8	4.9	3.3	4
12月	-4.3	-5.2	-5.4	-2	-1.7	-2.2	-1.6	-1.5	-1	-2.5	-4.2	-0.9	-3.4	-2.7

春から秋にかけて平均気温が高い地域は、札幌・岩見沢であり、冬の平均気温が低い地域は、名寄・士別・旭川となっている。

広域観光拠点地区における平均風速（平年値【m/s】）

月	観測地													
	旭川	士別	名寄	稚内	杓形	礼文	羽幌	留萌	焼尻	岩見沢	夕張	札幌	恵庭島松	千歳
1月	2.6	1.4	1.7	5.1	4.7		4.3	6.1	6.7	3.2	2.5	3.5	1.9	3.7
2月	3	1.5	1.7	4.6	4.4		4.6	5.5	6.2	3.3	2.5	3.4	2.1	3.9
3月	3.4	1.9	2.2	4.7	4.3		4.5	5.3	6.1	3.5	2.6	3.8	2.6	4.6
4月	3.4	2	2.4	4.7	3.8		4.1	4.7	5.2	3.8	2.6	4.5	3.2	5.1
5月	4	2	2.6	4.6	3.4		3.6	4.2	4.5	3.8	2.4	4.6	3	5.4
6月	2.9	1.6	2	4	2.9		3	3.5	3.5	3.3	1.8	3.9	2.5	4.7
7月	2.9	1.3	1.8	3.7	2.6		2.6	3.5	3.3	3.3	1.6	3.8	2.3	4.5
8月	2.6	1.3	1.7	3.9	2.8		3	3.8	3.7	3.2	1.7	3.8	2.1	4.2
9月	2.5	1.3	1.7	4.2	3.4		3.8	4.5	4.7	3.2	2.1	3.3	1.8	4
10月	2.9	1.5	2.1	4.7	4.5		4.5	5.6	6.3	3.3	2.4	3.4	1.9	3.9
11月	3.5	1.7	2.3	5	5	3.5	5.4	6.5	7.3	3.6	2.5	3.6	2.1	3.8
12月	3	1.6	2	5	5	3.5	5.7	6.5	7.2	3.3	2.5	3.3	1.8	3.6

稚内は11月・12月以外、ほぼ1年通して風が強く、留萌・焼尻は秋から春にかけて風が強い状況にある。また、札幌・千歳については夏に風が強い。

広域観光拠点地区における平均降水量（平年値【mm】）

月	観測地													
	旭川	士別	名寄	稚内	杓形	礼文	羽幌	留萌	焼尻	岩見沢	夕張	札幌	恵庭島松	千歳
1月	69.6	73.3	54.6	84.3	60.4		114.4	100	44.1	112.3	125.6	113.6	56.9	33.6
2月	51.3	50.7	41.2	60.7	43.9		80	70.2	35.8	83	93.2	94	54.1	43.1
3月	54	57.8	45.3	50.3	37.7		61.6	52.9	27.6	57	82.8	77.8	52.1	48
4月	47.6	50.5	45.7	49	43.4		55.1	43.3	34.8	53.9	79.8	56.8	62.2	62.8
5月	64.8	61.2	57.5	67.6	67.8		69.2	58.8	51.6	77.1	102.1	53.1	78.6	101.6
6月	63.6	61.7	58.6	53	49.4		60.7	50.8	48.1	55.3	71.2	46.8	64.1	83.6
7月	108.7	115.3	112.9	90.6	86.9		113	97.1	90	102.5	123.3	81	101.3	132.1
8月	133.5	123.6	121.9	116	108.2		131.7	121.3	117.8	149.7	179.6	123.8	167.3	147.7
9月	130.9	138	131.6	123.5	111.7		141.6	139.6	125.2	129	147.5	135.2	150.6	119.1
10月	104.3	123.6	117	134.1	127.9		155.1	131.3	120.9	108.5	119.8	108.7	105.3	80.9
11月	117.2	135	112.1	120.9	109.6	83.5	163.3	144.4	98.3	111	136.4	104.1	85.3	81.9
12月	96.6	105.5	79.6	112.8	72.8		136.6	117.5	57.7	123.3	128.9	111.7	66.7	56.2

一年を通して夕張の降水量が多い。春から夏にかけては、恵庭島松・千歳の降水量が多く、冬には羽幌・留萌の降水量が多い。

広域観光拠点地区における平均降雪量（平年値【cm】）

月	観測地													
	旭川	士別	名寄	稚内	沓形	礼文	羽幌	留萌	焼尻	岩見沢	夕張	札幌	恵庭 島松	千歳
1月	174	/	208	173	/	/	198	197	/	207	238	173	168	/
2月	131	/	162	143	/	/	150	156	/	160	183	147	159	/
3月	111	/	140	102	/	/	94	109	/	89	141	98	102	/
4月	23	/	36	21	/	/	13	17	/	14	42	11	11	/
5月	0	/	0	0	/	/	0	0	/	0	0	0	0	/
6月	0	/	0	0	/	/	0	0	/	0	0	0	0	/
7月	0	/	0	0	/	/	0	0	/	0	0	0	0	/
8月	0	/	0	0	/	/	0	0	/	0	0	0	0	/
9月	0	/	0	0	/	/	0	0	/	0	0	0	0	/
10月	3	/	3	1	/	/	1	1	/	1	3	2	1	/
11月	107	/	112	53	/	/	58	47	/	77	82	32	12	/
12月	189	/	229	160	/	/	172	170	/	200	221	132	124	/

平均降雪量については、名寄と夕張がシーズン通して多く、岩見沢は12月～2月に多く、旭川は10月～11月・3月～4月に多い。

広域観光拠点地区における平均最深積雪（平年値【cm】）

月	観測地													
	旭川	士別	名寄	稚内	沓形	礼文	羽幌	留萌	焼尻	岩見沢	夕張	札幌	恵庭 島松	千歳
1月	79	/	90	63	/	/	85	72	/	101	116	77	60	/
2月	90	/	104	75	/	/	101	84	/	119	131	97	82	/
3月	85	/	102	68	/	/	91	72	/	102	120	81	67	/
4月	36	/	57	25	/	/	31	21	/	36	70	22	16	/
5月	0	/	0	0	/	/	0	0	/	0	1	0	0	/
6月	0	/	0	0	/	/	0	0	/	0	0	0	0	/
7月	0	/	0	0	/	/	0	0	/	0	0	0	0	/
8月	0	/	0	0	/	/	0	0	/	0	0	0	0	/
9月	0	/	0	0	/	/	0	0	/	0	0	0	0	/
10月	2	/	2	0	/	/	0	1	/	1	2	1	1	/
11月	30	/	35	15	/	/	18	15	/	28	33	12	7	/
12月	56	/	67	43	/	/	54	44	/	70	72	46	37	/

平均最深積雪は、平均降雪量とほぼ相関関係にあり、名寄と夕張がシーズンを通して多い。また、岩見沢も多く、旭川は10月・11月、4月に多い。

(2) 交通特性

道路や鉄道路線、フェリー航路、都市間バス、レンタカー営業所などについて整理を行った。主な高速道路と国道については、以下の通りである。

主な国道と高速道路等

種別	路線名	経路	延長
高速道路	道央自動車道	函館～千歳～札幌～旭川～釧路	413.6km
高速道路	道東自動車道	千歳恵庭JCT～阿寒IC	240.9km
高規格道路	旭川紋別自動車道	比布JCT～遠軽瀬戸瀬IC	91.7km
高規格道路	深川留萌自動車道	深川JCT～留萌大和田IC	44.9km
高規格道路	豊富バイパス	豊富サロベツIC～豊富北IC	16.0km
高規格道路	幌富バイパス	幌延IC～豊富サロベツIC	10.9km
高規格道路	名寄美深道路	名寄IC～美深北IC	22.8km
一般国道	国道12号	札幌～岩見沢～深川～旭川	280.5km
一般国道	国道36号	札幌～千歳～苫小牧～室蘭	133.0km
一般国道	国道38号	滝川～芦別～清水～釧路	298.4km
一般国道	国道39号	旭川～上川～北見～網走	213.6km
一般国道	国道40号	旭川～士別～名寄～稚内	249.8km
一般国道	国道231号	札幌～石狩～浜益～留萌	129.3km
一般国道	国道232号	稚内～羽幌～留萌	185.3km
一般国道	国道233号	旭川～深川～留萌	78.3km
一般国道	国道234号	岩見沢～栗山～由仁～苫小牧	66.8km
一般国道	国道238号	網走～紋別～浜頓別～稚内	327.3km
一般国道	国道239号	網走～名寄～士別～留萌	347.0km
一般国道	国道274号	札幌～夕張～清水～阿寒～標茶	371.8km
一般国道	国道275号	札幌～新十津川～深川～美深～浜頓別	315.8km
一般国道	国道276号	江差～岩内～倶知安～支笏湖～苫小牧	315.3km
一般国道	国道337号	千歳～長沼～当別～小樽	102.0km
一般国道	国道450号	旭川～【不通】～紋別	19.8km
一般国道	国道451号	留萌～浜益～新十津川～滝川	116.5km
一般国道	国道452号	夕張～芦別～美瑛～旭川	124.5km
一般国道	国道453号	札幌～千歳～壮瞥～伊達	123.5km

特急・快速一覧

名称	経路	運行便数
快速エアポート	札幌～北広島～千歳～新千歳空港	116便
特急ライラック	札幌～岩見沢～旭川	28便
特急カムイ	札幌～岩見沢～旭川	20便
特急オホーツク	札幌～岩見沢～旭川～網走	4便
特急宗谷	札幌～岩見沢～旭川～名寄～稚内	2便
特急サロベツ	旭川～名寄～稚内	4便

フェリー航路

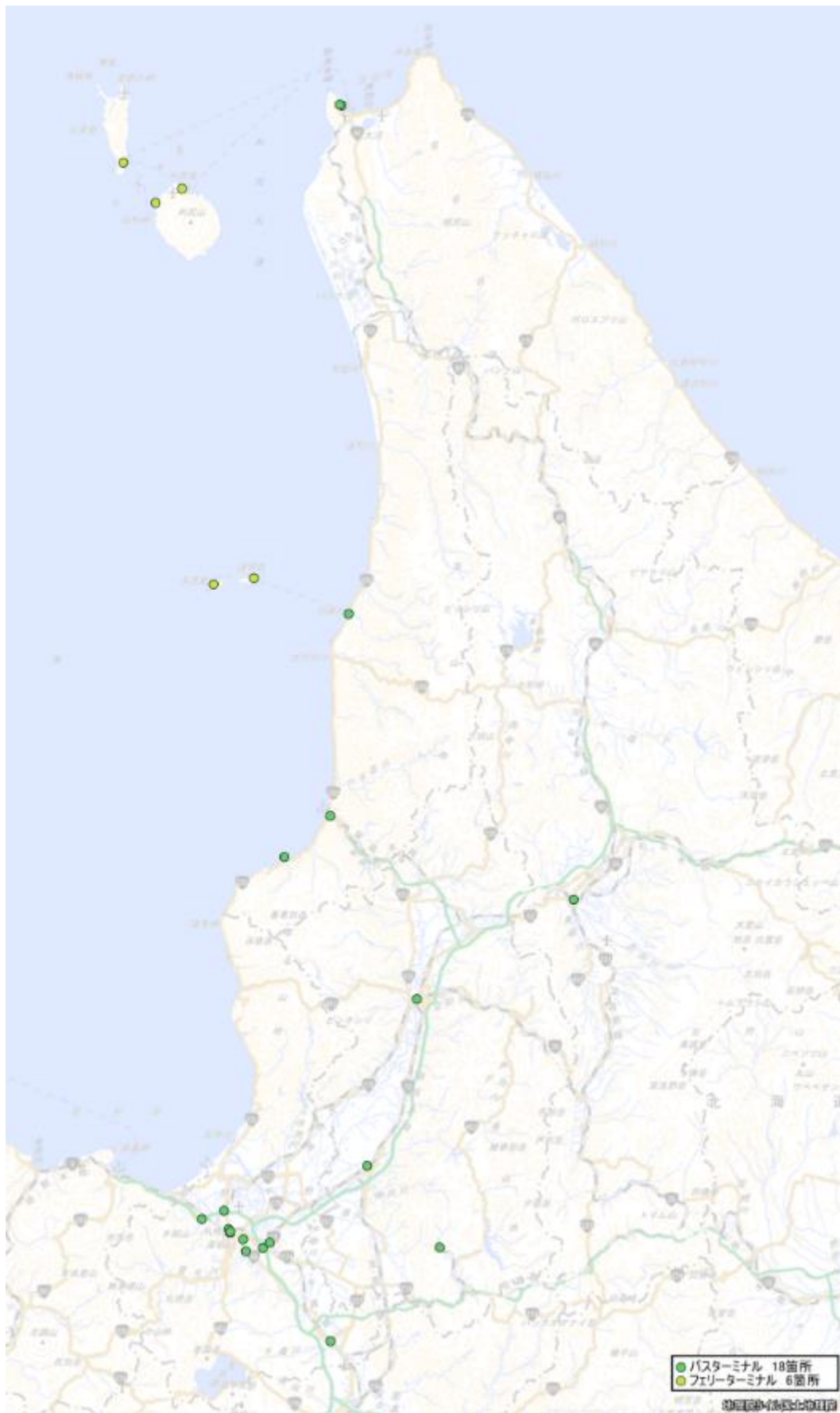
経路	運行便数	運行事業者
稚内～利尻島（鷺泊）	11/1～4/20 4便 4/21～5/31 8便 6/1～9/30 6便 10/1～10/31 8便	ハートランドフェリー(株)
稚内～礼文島（香深）	11/1～4/20 4便 4/21～10/31 8便	
利尻島（鷺泊）～礼文島（香深）	11/1～4/20 2便 4/21～6/30 4便 7/1～8/31 6便 9/1～10/31 4便	
礼文島（杓形）～礼文島（香深）	6/1～9/30 2便	
羽幌～焼尻～天売	10月～4月 2便 5月・9月 4便 ゴールデンウエーク 8便 お盆休み 12便	羽幌沿海フェリー(株)

千歳空港以外のきた北海道にある空港からの就航地

空港名	就航している空港
丘珠空港	<ul style="list-style-type: none"> 利尻空港 釧路空港 函館空港 三沢飛行場 静岡空港（2017年3月26日より就航）
旭川空港	<ul style="list-style-type: none"> 東京国際空港 中部国際空港、関西国際空港（6～9月のみ運航） 大阪国際空港（8月のみ運航） 上海浦東国際空港 北京首都国際空港（季節限定運航） 台湾桃園国際空港（季節限定運航） 仁川国際空港（季節限定運航）
稚内空港	<ul style="list-style-type: none"> 新千歳空港 東京国際空港
利尻空港	<ul style="list-style-type: none"> 丘珠空港 新千歳空港（夏季のみの季節運航）

都市間バス運行状況

発着地		種別	運行事業者	運行便数	所要時間	備考
札幌	旭川	都市間バス	北海道中央バス(株) ジェイ・アール北海道バス(株) 道北バス(株)	74便	2:05	
	夕張	路線バス	北海道中央バス(株) 夕鉄バス(株)	6便	1:42	
	岩見沢	都市間バス	北海道中央バス(株)	56便	1:00	
	留萌	都市間バス	北海道中央バス(株) 沿岸バス(株)	18便	2:38 (直行便)	
	稚内	都市間バス	宗谷バス(株) 北都交通(株)	12便	5:50	深夜便を含む
	士別	都市間バス	北海道中央バス(株) 道北バス(株)	10便	3:10	
	名寄	都市間バス	北海道中央バス(株) 道北バス(株)	10便	3:45	
	千歳	路線バス	北海道中央バス(株)	34便	1:35	
	北広島	路線バス	ジェイ・アール北海道バス(株)	2便	1:19	
	北広島	路線バス	北海道中央バス(株)	平日8便 土日祝12便	1:20	
	羽幌	都市間バス	沿岸バス(株)	12便	1:09	
旭川	岩見沢	都市間バス	北海道中央バス(株)	60便	1:40	
	留萌	路線バス	沿岸バス(株) 道北バス(株)	20便	2:10	
	士別	路線バス	道北バス(株)	10便	1:37	
	名寄	路線バス	道北バス(株)	10便	2:16	
夕張	岩見沢	路線バス	北海道中央バス(株)	2便	1:20	
	千歳	路線バス	北海道中央バス(株)	8便	1 ; 20	
岩見沢	留萌	都市間バス	北海道中央バス(株)	8便	1:18	
留萌	羽幌	路線バス	沿岸バス(株)	10便	1:30	
士別	名寄	路線バス	士別軌道(株)	8便	0:40	
千歳	北広島	路線バス	北海道中央バス(株)	42便	0:55	



フェリー・都市間バス

レンタカーの営業所について、以下のように整理した。

レンタカー営業所 一覧

NO	市町村	会社名	NO	市町村	会社名	NO	市町村	会社名
1	稚内市	オリックスレンタカー	41	札幌市	オリックスレンタカー	81	札幌市	ニッポンレンタカー
2	稚内市	ジェイ・アール北海道レンタリース	42	札幌市	オリックスレンタカー	82	札幌市	ニッポンレンタカー
3	稚内市	トヨタレンタリース	43	札幌市	ジェイ・アール北海道レンタリース	83	札幌市	ニッポンレンタカー
4	稚内市	トヨタレンタリース	44	札幌市	トヨタレンタリース	84	札幌市	ニッポンレンタカー
5	稚内市	ニッポンレンタカー	45	札幌市	トヨタレンタリース	85	札幌市	ニッポンレンタカー
6	稚内市	ニッポンレンタカー	46	札幌市	トヨタレンタリース	86	札幌市	ニッポンレンタカー
7	利尻富士町	トヨタレンタリース	47	札幌市	トヨタレンタリース	87	札幌市	ニッポンレンタカー
8	利尻富士町	ニッポンレンタカー	48	札幌市	トヨタレンタリース	88	札幌市	ニッポンレンタカー
9	礼文町	トヨタレンタリース	49	札幌市	トヨタレンタリース	89	札幌市	ニッポンレンタカー
10	礼文町	ニッポンレンタカー	50	札幌市	トヨタレンタリース	90	札幌市	ニッポンレンタカー
11	礼文町	日産レンタカー	51	札幌市	トヨタレンタリース	91	札幌市	ホンダレンタカー
12	留萌市	トヨタレンタリース	52	札幌市	トヨタレンタリース	92	札幌市	ホンダレンタカー
13	岩見沢市	トヨタレンタリース	53	札幌市	トヨタレンタリース	93	札幌市	タイムズカーレンタル
14	岩見沢市	トヨタレンタリース	54	札幌市	トヨタレンタリース	94	札幌市	タイムズカーレンタル
15	岩見沢市	日産レンタカー	55	札幌市	トヨタレンタリース	95	札幌市	タイムズカーレンタル
16	岩見沢市	タイムズカーレンタル	56	札幌市	トヨタレンタリース	96	札幌市	タイムズカーレンタル
17	士別市	トヨタレンタリース	57	札幌市	トヨタレンタリース	97	札幌市	タイムズカーレンタル
18	名寄市	トヨタレンタリース	58	札幌市	トヨタレンタリース	98	札幌市	タイムズカーレンタル
19	旭川市	スカイレンタカー	59	札幌市	トヨタレンタリース	99	札幌市	タイムズカーレンタル
20	旭川市	オリックスレンタカー	60	札幌市	トヨタレンタリース	100	札幌市	日免オートシステム
21	旭川市	オリックスレンタカー	61	札幌市	トヨタレンタリース	101	札幌市	ワールドネットレンタカー
22	旭川市	ジェイ・アール北海道レンタリース	62	札幌市	トヨタレンタリース	102	札幌市	北海道ブレンタカー
23	旭川市	ジェイ・アール北海道レンタリース	63	札幌市	トヨタレンタリース	103	札幌市	北海道ブレンタカー
24	旭川市	トヨタレンタリース	64	札幌市	トヨタレンタリース	104	札幌市	バジェットレンタカー
25	旭川市	トヨタレンタリース	65	札幌市	トヨタレンタリース	105	千歳市	スカイレンタカー
26	旭川市	トヨタレンタリース	66	札幌市	トヨタレンタリース	106	千歳市	オリックスレンタカー
27	旭川市	トヨタレンタリース	67	札幌市	トヨタレンタリース	107	千歳市	ジェイ・アール北海道レンタリース
28	旭川市	トヨタレンタリース	68	札幌市	トヨタレンタリース	108	千歳市	トヨタレンタリース
29	旭川市	日産レンタカー	69	札幌市	トヨタレンタリース	109	千歳市	日産レンタカー
30	旭川市	日産レンタカー	70	札幌市	トヨタレンタリース	110	千歳市	ニッポンレンタカー
31	旭川市	ニッポンレンタカー	71	札幌市	トヨタレンタリース	111	千歳市	ホンダレンタカー
32	旭川市	ニッポンレンタカー	72	札幌市	トヨタレンタリース	112	千歳市	タイムズカーレンタル
33	旭川市	ホンダレンタリース旭川	73	札幌市	トヨタレンタリース	113	千歳市	ワールドネットレンタカー
34	旭川市	ホンダレンタリース旭川	74	札幌市	日産レンタカー	114	千歳市	OTSレンタカー
35	旭川市	ホンダレンタリース旭川	75	札幌市	日産レンタカー	115	千歳市	北海道ブレンタカー
36	旭川市	タイムズカーレンタル	76	札幌市	日産レンタカー	116	千歳市	バジェットレンタカー
37	旭川市	タイムズカーレンタル	77	札幌市	日産レンタカー			
38	北広島市	トヨタレンタリース	78	札幌市	日産レンタカー			
39	札幌市	オリックスレンタカー	79	札幌市	日産レンタカー			
40	札幌市	オリックスレンタカー	80	札幌市	日産レンタカー			

(3) 宿泊施設

きた北海道における宿泊施設の状況を整理する。政府登録国際観光ホテル・旅館は、以下の通りである。

政府登録国際ホテル 一覧

NO	登録番号	区域	市町村	施設名
1	H0885	宗谷	稚内市	稚内サンホテル
2	H1203	宗谷	稚内市	ANAクラウンプラザホテル稚内
3	H0656	宗谷	利尻富士町	北国グランドホテル
4	H1398	宗谷	利尻富士町	ホテルあや瀬
5	H1416	宗谷	利尻富士町	利尻マリンホテル
6	H0693	上川中部	旭川市	アートホテル旭川
7	H0835	上川中部	旭川市	藤田観光ワシントンホテル旭川
8	H0875	上川中部	旭川市	旭川パークホテル
9	H1106	上川中部	旭川市	ホテルクレッセント旭川
10	H1371	上川中部	東川町	旭岳万世閣ホテルベアモンテ
11	H1432	上川中部	東川町	旭岳万世閣ホテルディアバレー
12	H0347	空知	滝川市	ホテルスエヒロ
13	H0632	空知	滝川市	滝川ホテル三浦華園
14	H0044	石狩	札幌市	札幌グランドホテル
15	H0161	石狩	札幌市	札幌パークホテル
16	H0312	石狩	札幌市	センチュリーロイヤルホテル
17	H0365	石狩	札幌市	札幌全日空ホテル
18	H0481	石狩	札幌市	ホテルオークラ札幌
19	H0482	石狩	札幌市	ススキノグリーンホテル1
20	H0535	石狩	札幌市	京王プラザホテル札幌
21	H0538	石狩	札幌市	ニューオータニイン札幌
22	H0671	石狩	札幌市	ホテルサンルートニュー札幌
23	H0730	石狩	札幌市	東京ドームホテル札幌
24	H1241	石狩	札幌市	アートホテルズ札幌
25	H1264	石狩	札幌市	プレミアムホテル中島公園札幌
26	H0798	石狩	札幌市	プレミアムホテル-TSUBAKI-札幌
27	H0588	石狩	札幌市	札幌ホテルヤマチ
28	H0494	石狩	千歳市	ホテル日航千歳

政府登録国際旅館 一覧

NO	登録番号	区域	市町村	施設名
1	R1292	上川中部	東川町	天人閣
2	R2001	上川中部	美瑛町	大雪山白金観光ホテル
3	R0032	石狩	札幌市	章月グランドホテル
4	R0198	石狩	札幌市	定山溪グランドホテル
5	R0545	石狩	札幌市	定山溪ホテル
6	R0662	石狩	札幌市	ホテル鹿の湯
7	R0665	石狩	札幌市	定山溪第一寶亭留・翠山亭
8	R1298	石狩	札幌市	佳松御苑・吉兆
9	R1666	石狩	札幌市	ぬくもりの宿ふる川
10	R1981	石狩	札幌市	定山溪ビューホテル
11	R2599	石狩	札幌市	定山溪万世閣ホテルミリオーネ
12	R2607	石狩	千歳市	丸駒温泉旅館
13	R2625	石狩	千歳市	支笏湖観光ホテル

宿泊施設が集中している札幌市・旭川市以外のきた北海道エリアにおける宿泊施設の整理として、自治体や観光協会のHPに掲載されているホテル・旅館について整理した。

その他ホテル（札幌・旭川を除く）一覧

NO	区域	市町村	施設名	NO	区域	市町村	施設名
1	宗谷	礼文町	ホテル礼文荘	66	宗谷	猿払村	ホテルさるふつ ふるさとの家
2	宗谷	礼文町	礼文島プチホテル コリンシアン	67	宗谷	猿払村	民宿旅館 さるふつマリン
3	宗谷	礼文町	旅館うきしま	68	宗谷	猿払村	笠井旅館
4	宗谷	礼文町	旅館桜井	69	宗谷	浜頓別町	はまとんべつ温泉ウイング
5	宗谷	礼文町	旅館かもめ荘	70	宗谷	浜頓別町	浜頓ホテル
6	宗谷	礼文町	ホテル礼文	71	宗谷	浜頓別町	熊本屋旅館
7	宗谷	礼文町	三井観光ホテル	72	宗谷	中頓別町	ピンネシリ温泉 ホテル望岳荘
8	宗谷	礼文町	花れぶん	73	宗谷	中頓別町	旅館石川
9	宗谷	利尻富士町	北国グランドホテル	74	宗谷	枝幸町	うたのぼりグリーンパークホテル
10	宗谷	利尻富士町	利尻マリンホテル	75	宗谷	枝幸町	ホテルニュー幸林
11	宗谷	利尻富士町	利尻富士観光ホテル	76	宗谷	枝幸町	大崎旅館
12	宗谷	利尻富士町	ホテルあや瀬	77	宗谷	枝幸町	ホテル大川
13	宗谷	利尻富士町	ホテル雲丹御殿	78	留萌	留萌市	福広館
14	宗谷	利尻富士町	田中家ひなげし館	79	留萌	留萌市	大東旅館
15	宗谷	利尻富士町	旅館 雪国	80	留萌	留萌市	ビジネスホテル・旅館 光陽館
16	宗谷	利尻富士町	夕陽館	81	留萌	留萌市	日栄会館
17	宗谷	利尻富士町	旅館 なり田	82	留萌	留萌市	川村旅館
18	宗谷	利尻富士町	旅館 大関	83	留萌	留萌市	広見屋旅館
19	宗谷	利尻富士町	旅館 夢海	84	留萌	留萌市	ホテル神居岩
20	宗谷	利尻富士町	利尻山荘 花りしり	85	留萌	留萌市	HOTEL NORTH. i
21	宗谷	利尻富士町	北国グランドホテル 花コテージ北国	86	留萌	留萌市	ビジネスホテル R-inn
22	宗谷	利尻富士町	プチホテル 川一	87	留萌	留萌市	ホテルニューホワイトハウス
23	宗谷	利尻富士町	旅館 富士	88	留萌	増毛町	オーベルジュましけ
24	宗谷	利尻町	ホテル利尻	89	留萌	増毛町	丹保旅館
25	宗谷	利尻町	アイランドインリシリ	90	留萌	増毛町	山形屋旅館
26	宗谷	利尻町	正部川旅館	91	留萌	増毛町	岩尾温泉宿 夕陽荘
27	宗谷	利尻町	中原旅館	92	留萌	小平町	ゆったりかん
28	宗谷	稚内市	小さなホテル 燈	93	留萌	小平町	音尾旅館
29	宗谷	稚内市	旅館 以木以	94	留萌	苫前町	とままえ温泉「ふわっと」
30	宗谷	稚内市	ホテルサハリン	95	留萌	苫前町	ななかまどの館
31	宗谷	稚内市	ホテルおかべ汐彩亭	96	留萌	苫前町	梅屋旅館
32	宗谷	稚内市	国民宿舎 氷雪荘	97	留萌	苫前町	高島旅館
33	宗谷	稚内市	ドーミーイン稚内	98	留萌	羽幌町	はぼろ温泉 サンセットプラザ
34	宗谷	稚内市	ホテル美雪	99	留萌	羽幌町	丸美旅館
35	宗谷	稚内市	稚内サンホテル	100	留萌	羽幌町	山崎旅館
36	宗谷	稚内市	旅の宿 うぶかた	101	留萌	羽幌町	料理旅亭 富士屋
37	宗谷	稚内市	ANAクラウンプラザホテル稚内	102	留萌	羽幌町	佐渡屋旅館
38	宗谷	稚内市	旅館 山一	103	留萌	羽幌町	セールス会館
39	宗谷	稚内市	ホテル喜登	104	留萌	羽幌町	熊谷旅館
40	宗谷	稚内市	ホテル滝川	105	留萌	羽幌町	登喜和旅館
41	宗谷	稚内市	旅館まつむら	106	留萌	羽幌町	旅館離島会館
42	宗谷	稚内市	稚内さかえホテル	107	留萌	羽幌町	羽幌遊歩ユースホステル
43	宗谷	稚内市	旅館 いわ木	108	留萌	羽幌町	旅館のがみ
44	宗谷	稚内市	ホテルニューチョコウ	109	留萌	羽幌町	島の宿大一
45	宗谷	稚内市	ホテル大將	110	留萌	羽幌町	旅館オロロン荘
46	宗谷	稚内市	稚内海員会館	111	留萌	羽幌町	萬谷旅館
47	宗谷	稚内市	ホテル宗谷	112	留萌	羽幌町	旅館青い鳥
48	宗谷	稚内市	ホテル御園	113	留萌	羽幌町	磯乃屋
49	宗谷	稚内市	稚内グランドホテル	114	留萌	羽幌町	布目旅館
50	宗谷	稚内市	ホテル奥田屋	115	留萌	初山別村	しよさんべつ温泉 ホテル岬の湯
51	宗谷	稚内市	第一旅館	116	留萌	初山別村	岩手屋旅館
52	宗谷	稚内市	旅館 希宮	117	留萌	遠別町	旭温泉
53	宗谷	稚内市	民宿旅館 やまちゃん	118	留萌	遠別町	福井館
54	宗谷	稚内市	旅館東方館	119	留萌	遠別町	ふじや旅館
55	宗谷	稚内市	旅館 望郷	120	留萌	遠別町	栄館
56	宗谷	稚内市	ホテルめぐま	121	留萌	遠別町	いながき旅館
57	宗谷	豊富町	ホテル豊富	122	留萌	遠別町	ホテル ノーザンライト
58	宗谷	豊富町	川島旅館	123	留萌	天塩町	てしお温泉 夕映
59	宗谷	豊富町	ニュー温泉閣ホテル	124	留萌	天塩町	サンホテル
60	宗谷	豊富町	ホテルウイン	125	留萌	天塩町	ホテル いち花
61	宗谷	豊富町	松屋旅館	126	留萌	天塩町	高橋旅館
62	宗谷	豊富町	トヨーホテル	127	留萌	天塩町	西澤旅館
63	宗谷	幌延町	ビジネスホテル 北斗荘	128	留萌	天塩町	日の丸旅館
64	宗谷	幌延町	ビジネス旅館 光栄荘	129	上川北部	士別市	ホテル美し乃湯温泉
65	宗谷	幌延町	民宿旅館 サロベツ	130	上川北部	士別市	士別イン翠月

第5章 きた北海道エリアの特性分析

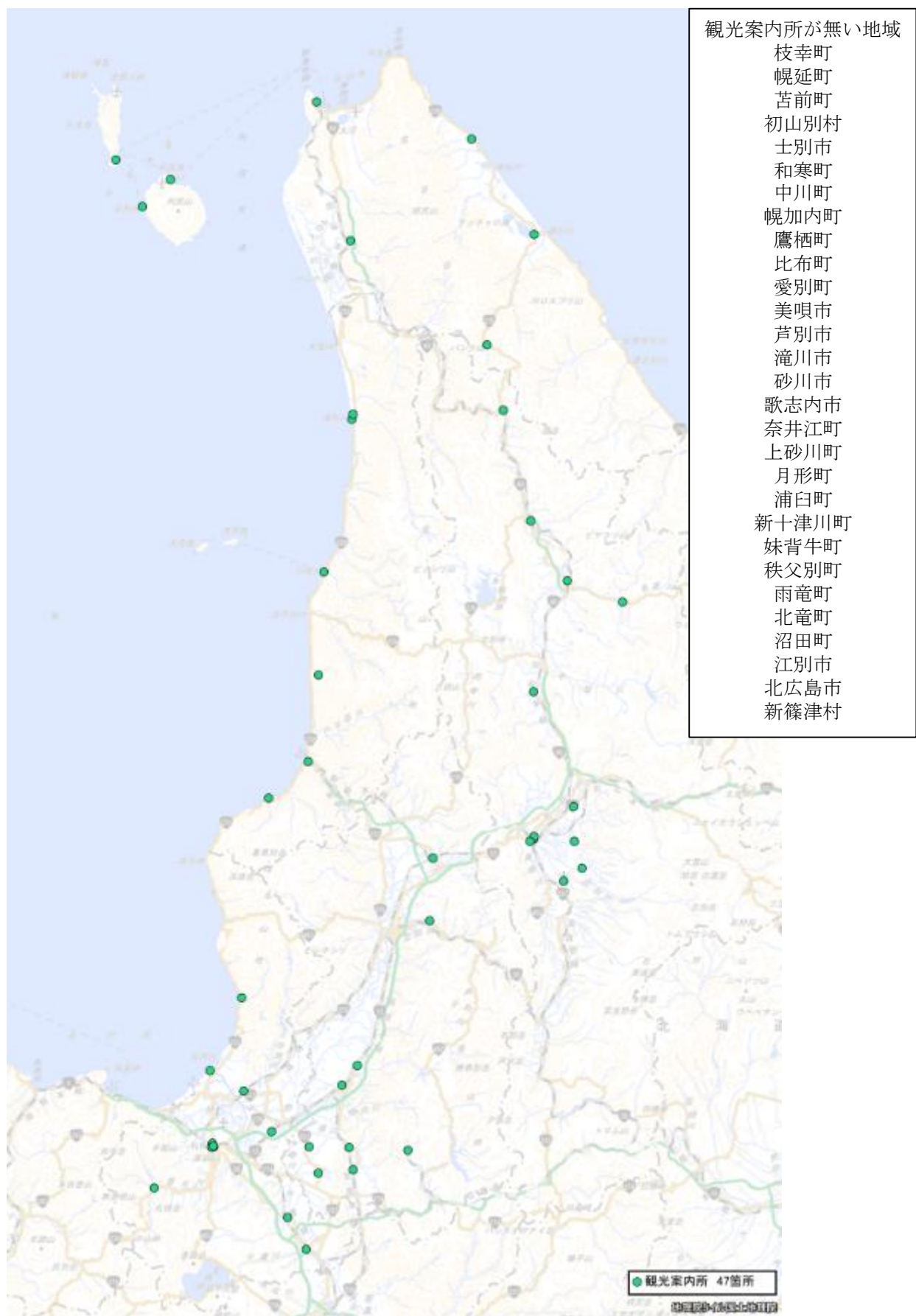
NO	区域	市町村	施設名	NO	区域	市町村	施設名
131	上川北部	士別市	士別グランドホテル	201	空知	砂川市	山下旅館
132	上川北部	士別市	旅館 甲洲屋	202	空知	砂川市	山一旅館
133	上川北部	士別市	六美旅館	203	空知	砂川市	金松ホテル
134	上川北部	士別市	旭旅館	204	空知	砂川市	おさだ旅館
135	上川北部	士別市	旅館 まるいし	205	空知	奈井江町	松島屋旅館
136	上川北部	士別市	池田屋旅館	206	空知	上砂川町	上砂川岳温泉パンケの湯
137	上川北部	士別市	はとや旅館	207	空知	由仁町	ユンニの湯
138	上川北部	士別市	中新旅館	208	空知	長沼町	マオイゴルフリゾートホテル
139	上川北部	士別市	末次旅館	209	空知	長沼町	ながめま温泉
140	上川北部	士別市	金子旅館	210	空知	長沼町	馬追温泉
141	上川北部	名寄市	グランドホテル藤花	211	空知	栗山町	克蘭ベリーハウス
142	上川北部	名寄市	ニュー富士屋ホテル	212	空知	栗山町	ホテルパラダイスヒルズ
143	上川北部	名寄市	ホテル海晃 本館	213	空知	栗山町	シャトレーゼ ゴルフ&スパリゾートホテル栗山
144	上川北部	名寄市	ホテル海晃 新館R-40	214	空知	栗山町	くりやま旅館
145	上川北部	名寄市	ホテルカイコー アネックス名寄	215	空知	月形町	月形温泉ホテル
146	上川北部	名寄市	B&Bホテルバードイン	216	空知	浦臼町	浦臼町自然休養村センター
147	上川北部	名寄市	ビジネスホテルはやし	217	空知	新十津川町	グリーンパークしんとつかわ
148	上川北部	名寄市	ホテルサンフラワー	218	空知	新十津川町	サンヒルズ・サライ
149	上川北部	名寄市	かめや旅館	219	空知	妹背牛町	もせうし旅館
150	上川北部	名寄市	千石屋旅館	220	空知	秩父別町	秩父別温泉 ちっぶ・ゆう&ゆ
151	上川北部	名寄市	名寄温泉サンピラー	221	空知	雨竜町	(有)第一観光日の出ドライブイン
152	上川北部	剣淵町	レックサイド桜岡	222	空知	雨竜町	安田旅館
153	上川北部	剣淵町	駅前旅館	223	空知	北竜町	サンフラワーパークホテル
154	上川北部	下川町	五味温泉	224	石狩	江別市	ビジネスホテル野幌
155	上川北部	美深町	びふか温泉	225	石狩	江別市	富士屋旅館
156	上川北部	美深町	旭壮	226	石狩	江別市	龍門旅館
157	上川北部	美深町	旅館しらかば荘	227	石狩	千歳市	クイーンズホテル千歳
158	上川北部	音威子府村	音威子府村住民保養センター 天塩川温泉	228	石狩	千歳市	カオサン千歳ファミリーホステル
159	上川北部	中川町	ボンビリアクアリズイング	229	石狩	千歳市	ANAクラウンプラザホテル千歳
160	上川北部	中川町	栄屋旅館	230	石狩	千歳市	千歳ステーションホテル
161	上川北部	中川町	藤田旅館	231	石狩	千歳市	エアターミナルホテル
162	上川北部	幌加内町	吉野家旅館	232	石狩	千歳市	ホテルかめや
163	上川中部	東神楽町	森のゆ花神楽	233	石狩	千歳市	ホテルリブマックス千歳
164	上川中部	当麻町	いちいの宿	234	石狩	千歳市	千歳エアポートホテル
165	上川中部	当麻町	まさ屋旅館	235	石狩	千歳市	千歳第一ホテル
166	上川中部	比布町	良佳プラザ 遊湯びっぶ	236	石狩	千歳市	ホテルルートイン千歳駅前
167	上川中部	比布町	マウントシティ	237	石狩	千歳市	ホテルエリアワン千歳
168	上川中部	愛別町	協和温泉	238	石狩	千歳市	ホテルウィングインターナショナル千歳
169	上川中部	東神楽町	御やど しきしま荘	239	石狩	千歳市	ホテルリッチモンド
170	上川中部	東神楽町	トロン温泉 キトウシ高原温泉ホテル	240	石狩	千歳市	ビジネスホテルホーリン
171	上川中部	東神楽町	旭岳温泉グランドホテル大雪	241	石狩	千歳市	松原温泉旅館
172	上川中部	東神楽町	ラビスタ大雪山	242	石狩	千歳市	丸駒温泉旅館
173	上川中部	東神楽町	アートビレッジ「杜季」	243	石狩	千歳市	しこつ湖鶴雅リゾートスパ水の譚
174	上川中部	東神楽町	天人閣	244	石狩	千歳市	支笏湖第一寶亭留 翠山亭
175	上川中部	東神楽町	大雪山白樺荘	245	石狩	千歳市	支笏湖翠山亭倶楽部
176	上川中部	東神楽町	旭岳万世閣ホテルディアバレー	246	石狩	千歳市	ホテルグランテラス千歳
177	上川中部	東神楽町	旭岳万世閣ホテル ベアモンテ	247	石狩	恵庭市	えにわステーションホテル
178	上川中部	東神楽町	湯元 湧駒荘	248	石狩	恵庭市	恵庭R Bパークセンタービル
179	空知	夕張市	ゆうばりホテルシュエパロ	249	石狩	恵庭市	えにわビジネスホテルSG
180	空知	夕張市	ホテルマウントレースイ	250	石狩	恵庭市	中村旅館
181	空知	夕張市	ビジネスホテルYUUBARI	251	石狩	北広島市	札幌北広島クラッセホテル
182	空知	夕張市	夕張フォレストユースホステル	252	石狩	北広島市	竹山高原ホテル
183	空知	岩見沢市	岩見沢ホテル5条	253	石狩	石狩市	石狩天然温泉 番屋の湯
184	空知	岩見沢市	北海道グリーンランドホテルサンブラザ	254	石狩	石狩市	ザ・吉岡
185	空知	岩見沢市	岩見沢ホテル4条	255	石狩	石狩市	大和旅館
186	空知	岩見沢市	ホテルニュー川忠	256	石狩	石狩市	戸田旅館
187	空知	岩見沢市	スパ・インメープルロッジ	257	石狩	石狩市	旅館浜益荘
188	空知	岩見沢市	いわみざわ北村温泉施設	258	石狩	当別町	北海屋旅館
189	空知	美唄市	ピパの湯 ゆーりん館	259	石狩	当別町	ふとみ銘泉万葉の湯
190	空知	美唄市	ホテル スエヒロ	260	石狩	当別町	ビジネスホテルANDO
191	空知	美唄市	的場旅館	261	石狩	当別町	富士屋旅館
192	空知	美唄市	だるま屋旅館	262	石狩	当別町	みくにや旅館
193	空知	芦別市	芦別温泉スターライトホテル	263	石狩	当別町	中小屋温泉
194	空知	芦別市	国民宿舍あしべつ	264	石狩	新篠津村	たっぶの湯
195	空知	芦別市	秋田屋旅館	260	石狩	当別町	ビジネスホテルANDO
196	空知	芦別市	ホテルアシントン	261	石狩	当別町	富士屋旅館
197	空知	三笠市	湯の元温泉旅館	262	石狩	当別町	みくにや旅館
198	空知	三笠市	三笠天然温泉 太古の湯	263	石狩	当別町	中小屋温泉
199	空知	砂川市	砂川パークホテル	264	石狩	新篠津村	たっぶの湯
200	空知	砂川市	田中旅館				

(4) 案内拠点等

案内拠点等として、観光案内所及び道の駅について整理を行った。

観光案内所一覧

NO	区域	市町村	名称
1	宗谷	稚内市	稚内市観光案内所
2	宗谷	猿払村	道の駅さるふつ公園管理棟
3	宗谷	浜頓別町	浜頓別町役場 産業振興課
4	宗谷	中頓別町	道の駅ピンネシリ (中頓別町観光協会)
5	宗谷	豊富町	豊富町観光情報センター
6	宗谷	礼文町	礼文島観光案内所
7	宗谷	利尻町	利尻町観光案内所
8	宗谷	利尻富士町	利尻富士町観光案内所
9	留萌	留萌市	お勝手屋 萌 (留萌観光案内所)
10	留萌	増毛町	観光案内所 風待食堂
11	留萌	小平町	小平町観光交流センター (道の駅おびら内)
12	留萌	羽幌町	羽幌町観光協会観光案内所 (天売、焼尻)
13	留萌	遠別町	道の駅富士見
14	留萌	天塩町	天塩町情報交流センター「道の駅てしお」
15	上川北部	名寄市	なよろ観光まちづくり協会 駅前交流プラザよろーな
16	上川北部	剣淵町	剣淵町観光交流センター まちの駅 (剣淵商工会館)
17	上川北部	下川町	まちおこしセンター コモレビ
18	上川北部	美深町	美深町観光協会
19	上川北部	音威子府村	音威子府村観光協会
20	上川中部	旭川市	旭川観光物産情報センター
21	上川中部	旭川市	道の駅あさひかわ観光案内所
22	上川中部	旭川市	旭川総合観光情報センター (あさテラス)
23	上川中部	旭川市	旭山動物園観光情報センター
24	上川中部	旭川市	旭川空港総合案内
25	上川中部	東神楽町	旭川空港観光案内所
26	上川中部	当麻町	道の駅「とうま」当麻町物産館でんすけさんの家 当麻町観光協会
27	上川中部	東川町	道の駅ひがしかわ「道草館」
28	空知	夕張市	夕張市観光案内センター
29	空知	岩見沢市	岩見沢市観光物産拠点センター I W A F O (イワホ)
30	空知	赤平市	情報発信基地AKABLRAベース
31	空知	三笠市	道の駅三笠 (観光協会)
32	空知	深川市	深川駅構内深川観光案内所
33	空知	南幌町	南幌町観光協会 案内所特産物販売所
34	空知	由仁町	由仁町観光協会「ポッポ館」
35	空知	長沼町	道の駅マオイの丘公園
36	空知	栗山町	まちの駅栗夢プラザ
37	石狩	札幌市	北海道さっぽろ観光案内所
38	石狩	札幌市	大通情報ステーション
39	石狩	札幌市	大通公園観光案内所
40	石狩	札幌市	大通公園インフォメーション&オフィシャルショップ
41	石狩	札幌市	札幌国際プラザ
42	石狩	札幌市	定山溪観光案内所
43	石狩	千歳市	千歳駅観光案内所・千歳観光物産サテライト「ミル」
44	石狩	恵庭市	道と川の駅花ロードえにわ
45	石狩	石狩市	あいロード夕日の丘観光案内所
46	石狩	石狩市	石狩観光センター「ゆめぼーと」
4	石狩	当別町	FIKAフィーカ当別観光情報プラザ

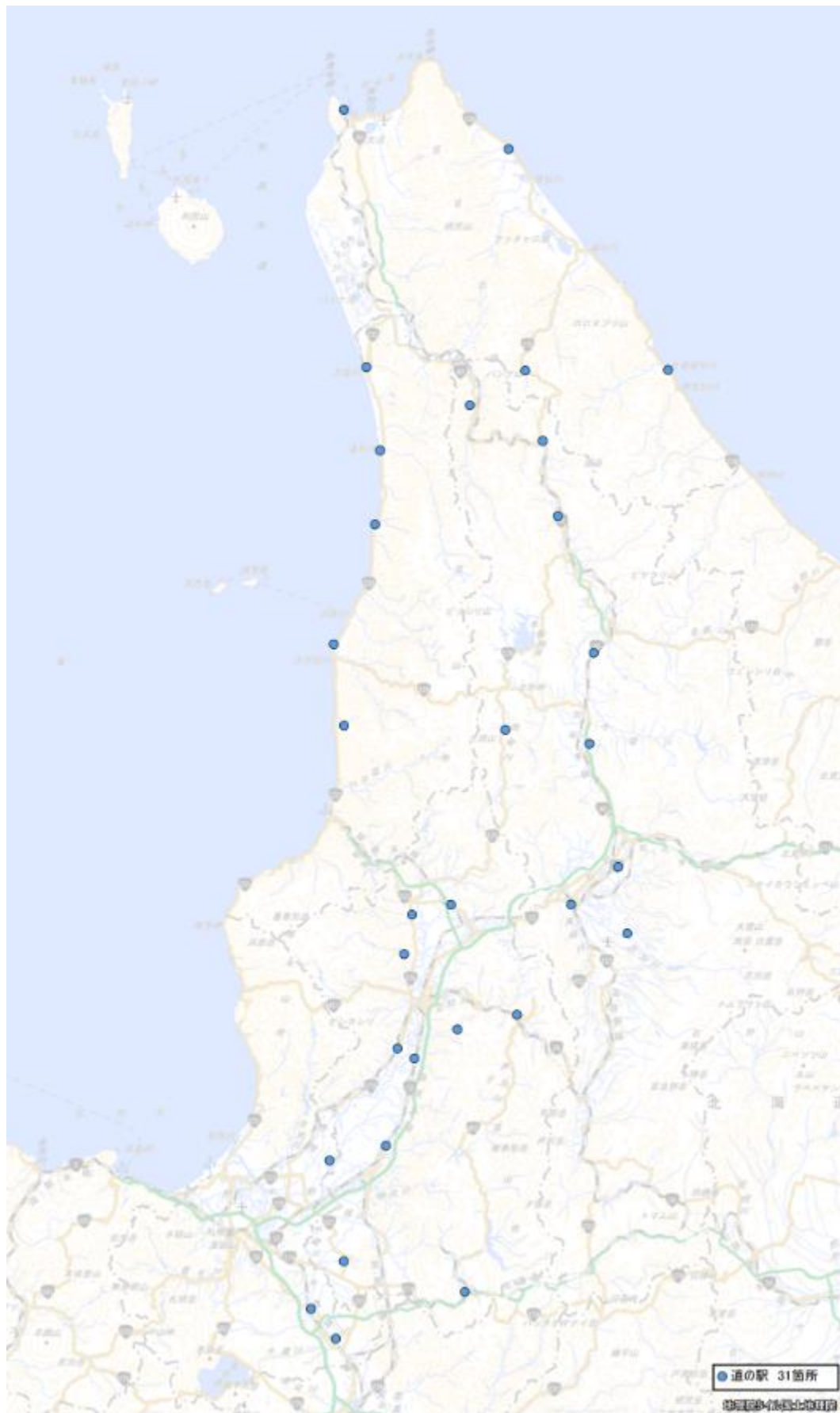


観光案内所

ドライブ観光の拠点となる道の駅についても整理した。

道の駅一覧

N0	区域	市町村	名称
1	宗谷	稚内市	道の駅 わっかない
2	宗谷	猿払村	道の駅 さるふつ公園
3	宗谷	枝幸町	道の駅 マリーンアイランド岡島
4	宗谷	中頓別町	道の駅 ピンネシリ
5	留萌	小平町	道の駅 おびら鯨番屋
6	留萌	苫前町	道の駅 風Wとままえ
7	留萌	初山別村	道の駅 ☆ロマン街道しょさんべつ
8	留萌	遠別町	道の駅 富士見
9	留萌	天塩町	道の駅 てしお
10	上川北部	名寄市	道の駅 もち米の里☆なよろ
11	上川北部	剣淵町	道の駅 絵本の里けんぶち
12	上川北部	美深町	道の駅 びふか
13	上川北部	音威子府村	道の駅 おといねっぶ
14	上川北部	中川町	道の駅 なかがわ
15	上川北部	幌加内町	道の駅 森と湖の里ほろかない
16	上川中部	旭川市	道の駅 あさひかわ
17	上川中部	当麻町	道の駅 とうま でんすけさんの家
18	上川中部	東神楽町	道の駅 ひがしかわ 道草館
19	空知	夕張市	道の駅 夕張メロード
20	空知	芦別市	道の駅 スタープラザ芦別
21	空知	三笠市	道の駅 三笠
22	空知	歌志内市	道の駅 うたしないチロルの湯
23	空知	奈井江町	道の駅 ハウスヤルビ奈井江
24	空知	長沼町	道の駅 マオイの丘公園
25	空知	浦臼町	道の駅 つるぬま
26	空知	秩父別町	道の駅 鐘のなるまち・ちっふべつ
27	空知	雨竜町	道の駅 田園の里うりゅう
28	空知	北竜町	道の駅 サンフラワー北竜
29	石狩	千歳市	道の駅 サーモンパーク千歳
30	石狩	恵庭市	道の駅 花ロードえにわ
31	石狩	新篠津村	道の駅 しんしのつ



道の駅

1-2 シーニックバイウェイへのヒアリング

広域観光促進地域各エリアの特性を把握するために、道北で活動を行うシーニックバイウェイ関係者へのヒアリングを実施した。

ヒアリングの整理

		宗谷 シーニックバイウェイ	萌える天北 オロロンルート	天塩川流域ミュージアム パークウェイ
活動地域		稚内市・猿払村・利尻富士町・豊富町・利尻町・礼文町・浜頓別町	幌延町・天塩町・遠別町・初山別村・羽幌町・苫前町・小平町・留萌市・増毛町	和寒町・剣淵町・士別市・幌加内町・名寄市・下川町・美深町・音威子府村・中川町
主な活動		観光に関わる若手を集めたワークショップや各地の情報発信、エコモビリティ事業を実施。	地域の特産品を具とした萌天焼やひらめオーナー、萌天の森づくりなどを実施	きた北海道エコ・モビリティやルート内連携による情報発信などを実施
外国人のおすすめの食資源		<ul style="list-style-type: none"> ・カニ：通年 ・ウニ：6～9月 ・イクラ：通年／旬は秋 ・ホッケ：通年／旬は5～7月 	<ul style="list-style-type: none"> ・サクランボ：7月頃 ・甘エビ：通年 ・日本酒：通年 	<ul style="list-style-type: none"> ・そば：7月 ・かぼちゃ：10月 ・もち米：10月 ・ワイン：秋
花や紅葉のスポットと時期		台湾は花畑が人気であるが、宗谷のような自然に咲いている花の美しさはわからない。広大な牧草地も人気。特に紅葉は無い。	<ul style="list-style-type: none"> ・礼受牧場（菜の花）5～6月頃 ・はぼろバラ園（バラ）6～10月頃 	<ul style="list-style-type: none"> ・一目千本桜（和寒町）：5月 ・そばの花（幌加内町）：7～8月中旬 ・ひまわり畑（名寄市）：8月 ・天塩川の紅葉：9月～10月 ・天塩川の結氷/解氷（音威子府村～中川町）：2～3月
今後、磨き上げたい地域資源		ひがし北海道との差別化として、「移動」の観光化。また、温泉などの効能を含めたヘルスツーリズムも考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・天売・焼尻島への離島観光 ・鯨番屋等の歴史的建造物の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・天塩川（更に遊べる大河としてカヌー整備等） ・冬、雪（最高の雪質を活かした冬季観光）
既存のお勧め資源	景観	<ul style="list-style-type: none"> ・広大な牧草地 ・利尻島、礼文 ・真直ぐな道 	<ul style="list-style-type: none"> ・オロロンラインからのドライブ景観 ・上平グリーンヒルウインドファームの風車景観 	<ul style="list-style-type: none"> ・農村風景（南部） ・ひまわり畑（名寄）
	食	<ul style="list-style-type: none"> ・健康という切り口から昆布などの食をおすすめしたい。 ・台湾の方には、チャーメンが好評であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エビ、タコ等の魚介類 ・イチゴ、サクランボ等の果樹 ・米等の農作物 	<ul style="list-style-type: none"> ・そば（幌加内） ・ジンギスカン（各地域）
	体験	<ul style="list-style-type: none"> ・礼文のトレッキング ・利尻のバックカントリースキー 	<ul style="list-style-type: none"> ・一日陶芸体験：小平町 ・ウトウ・ナイトウォッチング：羽幌町・天売 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車 ・カヌー ・キャンプ
	イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・犬ぞりジャパンカップ ※今後、活用の検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらめオーナーin遠別：6月 ・はぼろ甘エビまつり：6月 	<ul style="list-style-type: none"> ・そば祭り（幌加内） ・なよろ雪質日本一フェスティバル（名寄市） ・アイスキャンドルミュージアム（下川町）
外国人旅行者受入に関する課題		言葉の壁が大きい。また、情報発信が不足している。宗谷は、インパクトがあるものが無いように感じる。	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設の不足 ・多言語表記の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語対応（英語だけでも対応できる人材の確保） ・外国人向けポータルサイト等（交通案内、宿泊案内等）

2. 観光資源の取りまとめ及び特性・要因調査

既存データ等を整理し、きた北海道における各種施設等について整理するとともに、広域観光周遊ルート推進協議会構成員へのアンケートや、きた北海道で体験観光やガイドを行う事業者へヒアリング調査を実施し、観光資源のとりまとめ及び特性・調査を行った。

2-1 観光資源等のとりまとめ

自治体や観光協会のホームページや既存データ等を整理し、きた北海道における観光資源について整理を行った。

(1) 国指定重要文化財等

文化庁の国指定文化財等データベースに掲載されている施設について整理した。

国指定重要文化財 一覧

区域	市町村	名称	文化財種類
宗谷	稚内市	旧瀬戸家住宅主屋	登録有形文化財(建造物)
宗谷	礼文町	北海道船泊遺跡出土品	国宝・重要文化財(美術工芸品)
宗谷	中頓別町	旧丹波屋旅館洋館／旧丹波屋旅館和館	登録有形文化財(建造物)
留萌	留萌市	旧留萌佐賀家漁場	史跡名勝記念物
留萌	留萌市	留萌のニシン漁撈(旧佐賀家漁場)用具	重要有形民俗文化財
留萌	小平町	旧花田家番屋(北海道留萌郡小平町)	国宝・重要文化財(建造物)
留萌	増毛町	旧本間家住宅(呉服蔵・店舗・醸造蔵・附属屋・主屋)	国宝・重要文化財(建造物)
留萌	羽幌町	焼尻の自然林	史跡名勝記念物
留萌	羽幌町	天売島海鳥繁殖地	史跡名勝記念物
上川北部	名寄市	名寄高師小僧	史跡名勝記念物
上川北部	名寄市	名寄鈴石	史跡名勝記念物
上川中部	旭川市	旧旭川偕行社	国宝・重要文化財(建造物)
上川中部	東川町 美瑛町他	大雪山	史跡名勝記念物
上川中部	旭川市	あさでん春光整備工場(旧陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場)	登録有形文化財(建造物)
上川中部	旭川市	旭川市市民活動交流センターホール棟(旧国鉄旭川車両センター第二木機職場)	登録有形文化財(建造物)
上川中部	旭川市	旭川市市民活動交流センター市民活動支援棟(旧国鉄旭川車両センター木機乾燥場)	登録有形文化財(建造物)
上川中部	旭川市	旧岡田家住宅主屋／旧岡田家住宅蔵	登録有形文化財(建造物)
上川中部	旭川市	山崎家住宅主屋	登録有形文化財(建造物)
上川中部	旭川市	松岡家住宅	登録有形文化財(建造物)
上川中部	旭川市	上川倉庫一号倉庫	登録有形文化財(建造物)
上川中部	旭川市	上川倉庫三号倉庫(チェアーズギャラリー)	登録有形文化財(建造物)
上川中部	旭川市	上川倉庫事務所	登録有形文化財(建造物)
上川中部	旭川市	上川倉庫十一号倉庫(大雪地ビール館)	登録有形文化財(建造物)
上川中部	旭川市	上川倉庫十号倉庫(デザインギャラリー)	登録有形文化財(建造物)
上川中部	旭川市	上川倉庫二号倉庫(リハーサルホール)	登録有形文化財(建造物)
上川中部	旭川市	上川倉庫八号倉庫	登録有形文化財(建造物)
上川中部	旭川市	北海道護国神社平成館(旧陸軍第七師団北鎮兵事記念館)	登録有形文化財(建造物)
空知	三笠市	エゾミカサリュウ化石	史跡名勝記念物
空知	深川市	音江環状列石	史跡名勝記念物
空知	北広島市	野幌原始林	史跡名勝記念物
空知	芦別市	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁	登録有形文化財(建造物)
空知	夕張市	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線スキップ隧道	登録有形文化財(建造物)
空知	夕張市	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線ベルト隧道西坑門	登録有形文化財(建造物)
空知	夕張市	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線拱橋	登録有形文化財(建造物)
空知	夕張市	旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋	登録有形文化財(建造物)
空知	夕張市	旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口	登録有形文化財(建造物)
空知	夕張市	旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口	登録有形文化財(建造物)
空知	夕張市	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道	登録有形文化財(建造物)
空知	江別市	旧北陸銀行江別支店	登録有形文化財(建造物)
空知	南幌町	旧幌向駅通所	登録有形文化財(建造物)
空知	芦別市	星槎大学(旧頼城小学校)校舎／体育館	登録有形文化財(建造物)
空知	江別市	北海道林木育種場旧庁舎	登録有形文化財(建造物)
空知	栗山町	小林家住宅主屋	登録有形文化財(建造物)
空知	栗山町	小林酒造一番蔵	登録有形文化財(建造物)
空知	栗山町	小林酒造旧ビール庫・缶詰資材庫(大正・昭和の暮らし館)	登録有形文化財(建造物)

国指定重要文化財 一覧

区域	市町村	名称	文化財種類
空知	栗山町	小林酒造旧資材庫（昔の酒道具展示館）	登録有形文化財（建造物）
空知	栗山町	小林酒造旧事務所（蔵元北の錦記念館）	登録有形文化財（建造物）
空知	栗山町	小林酒造旧精米場（酒の郷なつかしホール）	登録有形文化財（建造物）
空知	栗山町	小林酒造五番蔵	登録有形文化財（建造物）
空知	栗山町	小林酒造三番蔵	登録有形文化財（建造物）
空知	栗山町	小林酒造四番蔵	登録有形文化財（建造物）
空知	栗山町	小林酒造蒸米場	登録有形文化財（建造物）
空知	栗山町	小林酒造製麹室	登録有形文化財（建造物）
空知	栗山町	小林酒造二番蔵	登録有形文化財（建造物）
空知	栗山町	小林酒造六番蔵	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	旧開拓使工業局庁舎	国宝・重要文化財（建造物）
石狩	札幌市	八窓庵（旧舎那院忘筌）	国宝・重要文化財（建造物）
石狩	札幌市	豊平館	国宝・重要文化財（建造物）
石狩	札幌市	北海道大学農学部（旧東北帝国大学農科大学）第二農場（事務所・製乳所・種牛舎・牧牛舎・釜場・秤量場・産室・追込所及び耕馬舎・収穫室及び脱穀室・穀物庫）	国宝・重要文化財（建造物）
石狩	札幌市	北海道庁旧本庁舎	国宝・重要文化財（建造物）
石狩	札幌市	開拓使文書	国宝・重要文化財（美術工芸品）
石狩	札幌市	箱館奉行所文書	国宝・重要文化財（美術工芸品）
石狩	札幌市	開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	史跡名勝記念物
石狩	札幌市	旧島松駅通所	史跡名勝記念物
石狩	札幌市	琴似屯田兵村兵屋跡	史跡名勝記念物
石狩	札幌市	円山原始林	史跡名勝記念物
石狩	札幌市	藻岩原始林	史跡名勝記念物
石狩	札幌市	アイヌのまるきぶね（河沼用）	重要有形民俗文化財
石狩	札幌市	エドウィン・ダン記念館（旧北海道庁真駒内種畜場事務所）	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	遠藤家住宅主屋／蔵／南石蔵／表門／塀／北石蔵	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	旧西岡水源池取水塔	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	黒田家住宅主屋／石塀／蔵／表門	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	最創山光岸寺本堂	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	札幌市資料館（旧札幌控訴院）	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	沼田家住宅旧第二りんご倉庫	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	杉野目家住宅	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	日本キリスト教団札幌教会（旧札幌美以教会堂）	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室／図書館書庫／図書館読書室	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	北海道大学古河記念講堂（旧東北帝国大学農科大学林学科教室）	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	北海道大学農学部博物館パチェラー記念館	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	北海道大学附属植物園庁舎（旧札幌農学校動植物学教室）	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	北海道知事公館（旧三井クラブ）	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	北星学園創立百周年記念館（旧北星女学校宣教師館）	登録有形文化財（建造物）
石狩	札幌市	柳田家住宅旧りんご蔵	登録有形文化財（建造物）
石狩	江別市	土面／北海道千歳市真々地町ママチ遺跡第三一〇号土壙墓出土	国宝・重要文化財（美術工芸品）
石狩	江別市	北海道元江別1遺跡土墳墓出土品	国宝・重要文化財（美術工芸品）
石狩	江別市	北海道江別太遺跡出土品	国宝・重要文化財（美術工芸品）
石狩	江別市	北海道美々8遺跡出土品	国宝・重要文化財（美術工芸品）
石狩	江別市	江別古墳群	史跡名勝記念物
石狩	千歳市	動物形土製品／北海道千歳市美々第四遺跡出土	国宝・重要文化財（美術工芸品）
石狩	千歳市	キウス周堤墓群	史跡名勝記念物
石狩	千歳市	ウサクマイ遺跡群	史跡名勝記念物
石狩	恵庭市	北海道カリンバ遺跡墓坑出土品	国宝・重要文化財（美術工芸品）
石狩	恵庭市	カリンバ遺跡	史跡名勝記念物
石狩	浜益村	庄内藩ハママシケ陣屋跡	史跡名勝記念物
石狩	夕張市	夕張鹿鳴館（旧北炭鹿ノ谷倶楽部）	登録有形文化財（建造物）
広域	名寄市、石狩市、浜頓別	ピリカノカ 九度山（クトゥンヌプリ） 黄金山（ピンネタイオルシベ） 神威岬（カムイエトウ） 襟裳岬（オンネエンルム） 瞰望岩（インカルシ） カムイチャシ 絵鞆半島外海岸 十勝幌尻岳（ポロシリ） 幌尻岳（ポロシリ） オキクルミのチャシ及びムイノカ	史跡名勝記念物

(4) その他の観光及び文化施設

文化庁のその他の観光施設及び文化施設データベースに登録されている施設について整理した。

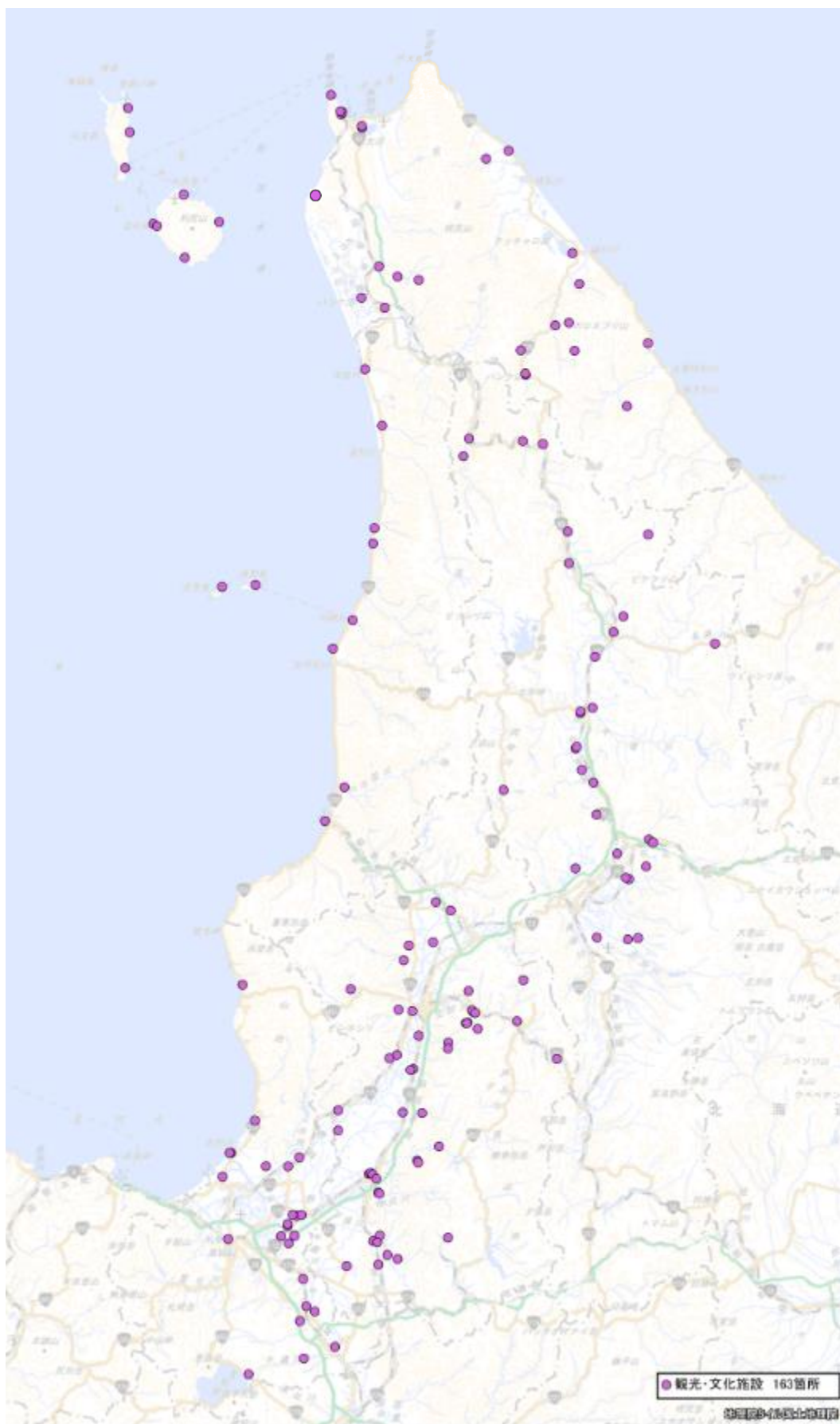
その他の観光及び文化施設 一覧

区域	市町村	施設名
宗谷	稚内市	大沼野鳥観察館
宗谷	稚内市	動物ふれあいランド
宗谷	稚内市	ゲストハウストナカイ
宗谷	稚内市	稚内市ポートサービスセンター
宗谷	稚内市	開基百年記念塔・北方記念館
宗谷	稚内市	港ギャラリー
宗谷	稚内市	ノシヤップ寒流水族館
宗谷	稚内市	青少年科学館
宗谷	稚内市	浜勇知展望休憩施設
宗谷	利尻富士町	カルチャーセンター&りっぷ館
宗谷	利尻富士町	高山植物展示園
宗谷	利尻富士町	利尻島郷土資料館
宗谷	利尻町	交流足巻施設どんと
宗谷	利尻町	沓形岬ミニビジターセンター
宗谷	利尻町	利尻町立博物館
宗谷	利尻 島の駅	島の駅
宗谷	礼文町	高山植物園
宗谷	礼文町	うこむき体験センター
宗谷	礼文町	礼文島郷土資料館
宗谷	幌延町	幌延築地層研究センター ゆめ地層館
宗谷	幌延町	トナカイ観光牧場
宗谷	幌延町	幌延ビジターセンター
宗谷	幌延町	金田心象書道美術館
宗谷	幌延町	幌延町郷土資料館
宗谷	猿払村	牛乳と肉の館
宗谷	猿払村	鉄道記念館
宗谷	浜頓別町	ゴールドハウス
宗谷	浜頓別町	水鳥観察館
宗谷	中頓別町	ふるさと生活体験館
宗谷	中頓別町	中頓別町郷土資料館
宗谷	中頓別町	ピンネシリ交流プラザ
宗谷	中頓別町	中頓別産乳洞管理棟『ぬくもり館』
宗谷	中頓別町	そうや自然学校
宗谷	中頓別町	食彩工房もうもう
宗谷	中頓別町	体験農園オガル
宗谷	中頓別町	ペーチャン川砂金掘体験場
宗谷	枝幸町	オホーツクミュージアムえさし
宗谷	枝幸町	歌登森林館
宗谷	豊富町	兜沼郷土資料室
宗谷	豊富町	豊富町自然観察館
留萌	留萌市	海のふるさと館
留萌	小平町	小平町文化交流センター
留萌	苦前町	苦前町郷土資料館
留萌	羽幌町	北海道海鳥センター
留萌	羽幌町	海の宇宙館
留萌	羽幌町	天売ふる里館
留萌	羽幌町	焼尻郷土館 (旧小納家)
留萌	初山別村	しょさんべつ天文台
留萌	初山別村	初山別村自然交流センター
留萌	初山別村	初山別村簡易郷土資料館
留萌	遠別町	遠別町郷土資料館
留萌	天塩町	天塩川歴史資料館
上川北部	士別市	士別市立博物館
上川北部	士別市	世界のめん羊館
上川北部	士別市	川の遊学館 めぐみ
上川北部	名寄市	なよろ市立天文台きたすげる
上川北部	名寄市	名寄市北国博物館
上川北部	名寄市	名寄市風連歴史民俗資料館

区域	市町村	施設名
上川北部	和寒町	塩狩神話記念館 (三浦綾子旧宅)
上川北部	和寒町	北京交流展示館
上川北部	和寒町	郷土資料館
上川北部	剣淵町	剣淵町絵本の館
上川北部	剣淵町	剣淵町郷土資料館
上川北部	下川町	下川町郷土資料展示保存施設 札天山収蔵館
上川北部	美深町	伝承遊学館
上川北部	美深町	チョウザメ館
上川北部	美深町	ウール工房 ひつじ小屋
上川北部	音威子府村	エコミュージアムおさしまセンター
上川北部	音威子府村	高柳昭五郎 周刻の館
上川北部	中川町	中川町エコミュージアムセンター エコールな かかわ
上川北部	中川町	佐久ふるさと伝承館
上川北部	幌加内町	JR深名線資料館
上川中部	鷹栖町	鷹栖町郷土資料館
上川中部	東神楽町	開拓風景ミニチュア資料館
上川中部	当麻町	昆虫館パビヨンシャトー
上川中部	当麻町	当麻町公民館「まとまーる」
上川中部	当麻町	朝倉力男記念美術館
上川中部	当麻町	当麻町郷土資料館
上川中部	比布町	比布町 郷土資料館
上川中部	愛別町	蔵RARAら
上川中部	愛別町	愛別町郷土芸能伝承館
上川中部	東神楽町	東川町文化ギャラリー
上川中部	東神楽町	郷土館
上川中部	東神楽町	写真の丘・ラトヴィア館
空知	夕張市	夕張市石炭博物館
空知	岩見沢市	岩見沢複合駅舎
空知	岩見沢市	そらち炭鉱(ヤマ)の記憶マネジメントセンター
空知	岩見沢市	岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館
空知	岩見沢市	郷土科学館
空知	岩見沢市	野外音楽堂キタオン
空知	岩見沢市	市立図書館
空知	美唄市	アルテピアッツァ美唄
空知	美唄市	美唄市郷土史料館
空知	芦別市	芦別市芸術文化交流館
空知	芦別市	滝里ダム防災施設 (旧滝里ダム資料館)
空知	芦別市	星の降る里百年記念館
空知	赤平市	元気の丘ギャラリー&アイヌ木彫り館
空知	赤平市	旧住友赤平炭鉱立坑
空知	赤平市	坑口浴場
空知	赤平市	北炭赤間炭鉱原炭ポケット
空知	赤平市	自走榨工場
空知	赤平市	炭鉱歴史資料館
空知	三笠市	ミカサ・モダンアートミュージアム
空知	三笠市	三笠市立博物館
空知	三笠市	三笠鉄道記念館
空知	砂川市	砂川市郷土資料室
空知	歌志内市	郷土館
空知	歌志内市	こもれびの杜記念館
空知	歌志内市	悲別ロマン座
空知	歌志内市	大正館
空知	奈井江町	奈井江町役場 奈井江町文化ホール
空知	奈井江町	社会教育センター (公民館・図書館・郷土館)
空知	上砂川町	旧上砂川駅 (悲別駅)
空知	上砂川町	かみすながわ炭鉱館
空知	由仁町	ゆめつく館

その他の観光及び文化施設 一覧

区域	市町村	施設名
空知	長沼町	長沼町図書館
空知	栗山町	坂本九思い出館記念館
空知	栗山町	開拓記念館
空知	栗山町	北の錦記念館
空知	栗山町	泉記念館
空知	栗山町	栗の樹ファーム
空知	栗山町	栗山町図書館
空知	月形町	月形藩戸博物館
空知	月形町	月形町図書館
空知	浦臼町	郷土史料館
空知	浦臼町	田園空間博物館
空知	新十津川町	新十津川物語記念館
空知	新十津川町	開拓記念館
空知	新十津川町	開拓記念館収蔵庫
空知	新十津川町	農業記念館
空知	新十津川町	かぜのび
空知	新十津川町	文化伝習館
空知	妹背牛町	妹背牛町民会館
空知	妹背牛町	妹背牛郷土館
空知	秩父別町	郷土館
空知	秩父別町	秩父別町図書館
空知	雨竜町	雨竜町農業資料室
空知	雨竜町	雨竜町農業資料保存館
石狩	江別市	道立図書館
石狩	江別市	江別市情報図書館
石狩	江別市	江別市郷土資料館
石狩	江別市	江別市屯田資料館
石狩	江別市	道立埋蔵文化財センター
石狩	江別市	江別市セラミックアートセンター
石狩	江別市	江別河川防災ステーション
石狩	江別市	旧町村農場
石狩	江別市	野幌森林公園 自然ふれあい交流館
石狩	千歳市	サケのふるさと千歳水族館
石狩	千歳市	支笏湖ビジターセンター
石狩	千歳市	千歳さけますの森 さけます情報館
石狩	恵庭市	恵庭市郷土資料館
石狩	恵庭市	夢創館
石狩	恵庭市	紫雲台孝子堂宝物館
石狩	北広島市	北広島市図書館
石狩	石狩市	はまなす郷土資料館
石狩	石狩市	川の博物館
石狩	石狩市	いしかり砂丘の風資料館
石狩	石狩市	尚古社
石狩	石狩市	夕日の美術館
石狩	石狩市	石狩浜海兵植物保護センター
石狩	当別町	伊達記念館・伊達陣跡館
石狩	当別町	スウェーデン交流センター
石狩	当別町	北海道医療大学薬学部付属薬用植物園



その他の観光及び文化施設

2-2 ガイドや協議会構成員へのアンケート調査

自治体や観光協会のホームページや既存データ等を整理し、きた北海道における観光資源について整理を行った。

(1) ガイド及び体験観光事業者へのアンケート調査

北海道観光商談会に参加しているガイド及び体験観光事業者に対して、対面式のアンケート調査を実施した。

調査概要

項目	概要
調査時期	11月29日 13:00～16:30
調査箇所	北海道観光商談会<札幌プリンスホテル>
調査手法	きた北海道をフィールドとして、ガイドや体験観光を行っている事業者に、対面式のアンケート調査を行った。
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・主な商品やプログラム・メニュー等 ・最近人気の商品やプログラム・メニュー等 ・主な販売方法 ・年間利用者数や利用者の属性等（利用者数・利用者属性） ・きた北海道の状況（商品の有無、状況） ・外国人旅行者への対応状況及び今後の予定（対応状況・今後の予定） ・外国人旅行者に人気又は人気が出そうな商品やプログラム・メニュー等 ・今後取組みたいこと ・きた北海道の外国人旅行者受入に期待されること

アンケート調査対象者 一覧

	会社名	事業地	体験内容
1	株式会社アトリエ陶	江別市	陶芸・ファームレストラン
2	オーシャンデイズ	支笏湖	カヤック・ゲストハウスなど
3	こぶ志窯	岩見沢市	陶芸
5	株式会社スポーツピア・ゆうぱり自然体験塾	夕張市	スキーレンタル・サイクリング・炭鉱遺産ガイド
6	スカイスports振興協会	滝川市	グライダー
7	(株) ネイチャーライヴ	天売島	写真撮影指導・野鳥観察
8	株式会社ビバカンパニー・ビバアルパカ牧場	剣淵町	アルパカ飼育体験・山菜採り・エアポート・スノーモービル
9	士別市経済部商工労働観光課（羊と雲の丘）	士別市	シープドッグショー・毛刈り体験 綿羊工芸体験



対面式アンケート調査の様子

調査結果

<p>外国人旅行者に人気又は人気が出そうな商品やプログラム・メニュー等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○株式会社アトリエ陶 農業法人風の村 (株)ファームレストラン食祭【江別市】 <ul style="list-style-type: none"> ・陶芸が人気、日本人より海外の方の方が、真剣に取り組む姿勢が見える。 ○こぶ志窯【岩見沢】 <ul style="list-style-type: none"> ・ちょっと学びがあり、お土産として持ち帰れる陶芸体験。本格的な陶芸の仕事を見せること、「本物」であることの説明が重要。言語の壁がある。 ○(株)スポーツピア・ゆうばり自然体験塾【夕張】 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度よりイグルー体験やサイクリングを行っている。 ○士別市経済部商工労働観光課(羊と雲の丘)【士別】 <ul style="list-style-type: none"> ・観光と合宿受け入れを推進している。台湾ウエイトリフティング協会の合宿も受入れた。 ○(株)ネイチャーライヴ【天売島】 <ul style="list-style-type: none"> ・ウトウ、ケイマフリ(5~8月が見頃)が一番見えやすい所が天売島。売りになる。 				
<p>インバウンド</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">対応状況</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○(株)アトリエ陶 農業法人風の村 (株)ファームレストラン食祭【江別市】 <ul style="list-style-type: none"> ・陶芸でつくったものは、海外に発送している。 ○オーシャンデイズ【支笏湖】 <ul style="list-style-type: none"> ・チラシの英語版や海外の商談会にも参加している。 ○こぶ志窯【岩見沢】 <ul style="list-style-type: none"> ・英語が出来なくても対応できている。経験値が大切。 ○(株)ビバカンパニー・ビバアルパカ牧場【剣淵】 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には海外のエージェントとやりとりしている。しかし、海外のエージェントは連絡が遅く、さらに事前連絡と人数等が違うことが多く、困ることがある。 ○士別市経済部商工労働観光課(羊と雲の丘)【士別】 <ul style="list-style-type: none"> ・アジア系の個人旅行者も増えつつある。基本的に個人旅行が多いが、団体も入り始めた。 </td> </tr> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">今後の予定</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○スカイスports振興協会【滝川】 <ul style="list-style-type: none"> ・当麻や新篠津、滝川でライダーを飛ばし、体験できるようにしたい。 ○(株)ネイチャーライヴ【天売島】 <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドはある程度の英語で通じるが、今後はガイドのスキルアップが求められる。 ・漁船クルーズなど、天売島の自然体験を造成したい。 ○士別市経済部商工労働観光課(羊と雲の丘)【士別】 <ul style="list-style-type: none"> ・外国人のファムトリップを実施したいが、通訳がないため検討している。 </td> </tr> </table>	対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ○(株)アトリエ陶 農業法人風の村 (株)ファームレストラン食祭【江別市】 <ul style="list-style-type: none"> ・陶芸でつくったものは、海外に発送している。 ○オーシャンデイズ【支笏湖】 <ul style="list-style-type: none"> ・チラシの英語版や海外の商談会にも参加している。 ○こぶ志窯【岩見沢】 <ul style="list-style-type: none"> ・英語が出来なくても対応できている。経験値が大切。 ○(株)ビバカンパニー・ビバアルパカ牧場【剣淵】 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には海外のエージェントとやりとりしている。しかし、海外のエージェントは連絡が遅く、さらに事前連絡と人数等が違うことが多く、困ることがある。 ○士別市経済部商工労働観光課(羊と雲の丘)【士別】 <ul style="list-style-type: none"> ・アジア系の個人旅行者も増えつつある。基本的に個人旅行が多いが、団体も入り始めた。 	今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ○スカイスports振興協会【滝川】 <ul style="list-style-type: none"> ・当麻や新篠津、滝川でライダーを飛ばし、体験できるようにしたい。 ○(株)ネイチャーライヴ【天売島】 <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドはある程度の英語で通じるが、今後はガイドのスキルアップが求められる。 ・漁船クルーズなど、天売島の自然体験を造成したい。 ○士別市経済部商工労働観光課(羊と雲の丘)【士別】 <ul style="list-style-type: none"> ・外国人のファムトリップを実施したいが、通訳がないため検討している。
対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ○(株)アトリエ陶 農業法人風の村 (株)ファームレストラン食祭【江別市】 <ul style="list-style-type: none"> ・陶芸でつくったものは、海外に発送している。 ○オーシャンデイズ【支笏湖】 <ul style="list-style-type: none"> ・チラシの英語版や海外の商談会にも参加している。 ○こぶ志窯【岩見沢】 <ul style="list-style-type: none"> ・英語が出来なくても対応できている。経験値が大切。 ○(株)ビバカンパニー・ビバアルパカ牧場【剣淵】 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には海外のエージェントとやりとりしている。しかし、海外のエージェントは連絡が遅く、さらに事前連絡と人数等が違うことが多く、困ることがある。 ○士別市経済部商工労働観光課(羊と雲の丘)【士別】 <ul style="list-style-type: none"> ・アジア系の個人旅行者も増えつつある。基本的に個人旅行が多いが、団体も入り始めた。 				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ○スカイスports振興協会【滝川】 <ul style="list-style-type: none"> ・当麻や新篠津、滝川でライダーを飛ばし、体験できるようにしたい。 ○(株)ネイチャーライヴ【天売島】 <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドはある程度の英語で通じるが、今後はガイドのスキルアップが求められる。 ・漁船クルーズなど、天売島の自然体験を造成したい。 ○士別市経済部商工労働観光課(羊と雲の丘)【士別】 <ul style="list-style-type: none"> ・外国人のファムトリップを実施したいが、通訳がないため検討している。 				
<p>今後取り組みたいこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○(株)アトリエ陶 農業法人風の村 (株)ファームレストラン食祭【江別市】 <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊や農業体験を外国人にも提供したい。周辺の体験観光事業者同士のお互いの顔が見える関係をつくり、お互いに紹介できるようにしたい。 ○オーシャンデイズ【支笏湖】 <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄の体験観光で取組んでいることを事例に、北海道も実施した方が良い。 ○こぶ志窯【岩見沢】 <ul style="list-style-type: none"> ・目的別やテーマ別のパンフレット作成やツアー造成がしたい。 ○(株)スポーツピア・ゆうばり自然体験塾【夕張】 <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングを進めたい。 ○スカイスports振興協会【滝川】 <ul style="list-style-type: none"> ・予約申し込み受付などの外国人対応をしたい。ライダー運転は言葉が通じない場合もなんとかできるが、予約時はコミュニケーションが必要。また、情報発信ツールを作成したい。 ・美唄には農道空港があるため、滝川市とスカイスportsでつながりたい。 ○(株)ビバカンパニー・ビバアルパカ牧場【剣淵】 <ul style="list-style-type: none"> ・冬の結婚式(フォトウエディング)を展開したい。また、町を挙げておもてなしイベントができるようにしたい。 ○士別市経済部商工労働観光課(羊と雲の丘)【士別】 <ul style="list-style-type: none"> ・ひとつひとつのプログラムは30分ほどと短いので、いろいろとプログラムを組合わせて楽しんでもらえるようにしたい。 				

調査結果

<p>きた北海道の外国人旅行者受入に期待されること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○(株)アトリエ陶 農業法人風の村 (株)ファームレストラン食祭【江別市】 <ul style="list-style-type: none"> ・海外への情報発信を協力頂きたい。英語パンフレットの作成をお願いしたい。 ○こぶ志窯【岩見沢】 <ul style="list-style-type: none"> ・どのような内容で対外的に情報発信したら良いか分からないが、情報発信を行って欲しい。 ○(株)スポーツピア・ゆうばり自然体験塾【夕張】 <ul style="list-style-type: none"> ・体験内容の充実を図っていくので、二次交通などの整備をお願いしたい。 ○スカイスports振興協会【滝川】 <ul style="list-style-type: none"> ・海外のスカイスportsの愛好家等を受けられるように、規制緩和も含め検討して欲しい。 ○(株)ネイチャーライブ【天売島】 <ul style="list-style-type: none"> ・船の移動が一番課題である。揺れにくい船を造船してほしい。また、利尻島、礼文島、天売島、焼尻島を巡る新たな航路ができれば面白い。 ○士別市経済部商工労働観光課（羊と雲の丘）【士別】 <ul style="list-style-type: none"> ・施設自体が未整備（通訳、多言語表記）であり、全体として通訳を含め、インバウンド対応出来る人材の派遣やサポートをお願い出来れば良い。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○(株)アトリエ陶 農業法人風の村 (株)ファームレストラン食祭【江別市】 <ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアは日本と同じ左通行のため、レンタカーが利用しやすいのではないかな。 ○オーシャンデイズ【支笏湖】 <ul style="list-style-type: none"> ・外国人がたくさん来ることはいいことであるが、現場のガイドが育っていない、ガイドスタッフの確保が追い付かないと、受け入れが出来なくなる。 ○こぶ志窯【岩見沢】 <ul style="list-style-type: none"> ・広域で観光客を受け入れる体制づくりが必要である。 ○スカイスports振興協会【滝川】 <ul style="list-style-type: none"> ・海外でグライダー免許（パイロットライセンス）を持っていても、日本では書き換えられない。規制緩和できれば、スカイスportsを楽しむ人も増えるのではないかな。 ○(株)ネイチャーライブ【天売島】 <ul style="list-style-type: none"> ・羽幌町では宿泊施設の表記について多言語化を検討している。 ○(株)ビバカンパニー・ビバアルパカ牧場【剣淵】 <ul style="list-style-type: none"> ・アジア圏の人はスキーはできる人が少ないため、エアボード等のアクティビティが受け入れられやすい。 ○士別市経済部商工労働観光課（羊と雲の丘）【士別】 <ul style="list-style-type: none"> ・士別、剣淵、名寄の広域連携事業外国人対応（広域インバウンド受入センター）のできる人材の確保が課題となっている。

(2) 協議会構成員へのアンケート

協議会構成員に対して、ウェブアンケートを実施し、きた北海道に関する資源や人材等について、地域の意見を把握した。

調査概要

項目	概要
対象者	きた北海道広域観光推進協議会 構成員
調査手法	ウェブ上で回答できるアンケートを作成し、協議会構成員に対してメールにてアンケートの依頼を行った。
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 基本事項（機関・組織名／代表者名／回答者名／住所、連絡先） 現状で外国人観光客にオススメできる観光資源 今後磨き上げたい地域資源 地域の人材（語り部・ガイド等） 自由意見

きた北海道 観光資源アンケートのお願い

日本のてっぺん。きた北海道ルートが広域観光ルートに認定され、今年度、今後5年間のマーケティング基本戦略を検討することとなっております。そこで、日本のてっぺん。きた北海道ルートエリア内の観光資源を把握するアンケートを実施します。ご協力のほど、よろしくお願いたします。

実施主体：北海道運輸局 調査機関：近畿日本ツーリスト北海道

質問1 基本事項

機関・組織名			
代表者名	アンケート回答者名		
住所			
連絡先	電話	FAX	
メールアドレス			

質問2 現状で外国人観光客にオススメできる観光資源について

外国人観光客にオススメの観光資源について、名称・場所・内容・時期・分類をお書き下さい。

名称	場所	内容	時期	分類

以下の数字から番号を選び分類に数字をご記入下さい！

①自然資源 ②風景 ③観光スポット ④温泉 ⑤博物館・美術館 ⑥体験
⑦食・お土産 ⑧その他

質問3 今後、磨き上げたい地域資源について

磨き上げれば地域の観光資源となる潜在的な資源についてお書き下さい。

名称	場所（住所）	概要	観光資源としての詳細や磨き上げの内容

質問4 地域の人材（語り部・ガイド等）について

地域で語り部やガイドとして活躍している方や活躍できそうな方がいましたらお教え下さい。

名前	分野	概要	備考

質問5 自由意見

ありがとうございます

調査票（紙ベース）

アンケートの回答者は、以下の通りである。

アンケート回答機関一覧

地域	属性	機関・団体名
宗谷	自治体	利尻富士町
宗谷	自治体	礼文町
宗谷	交通事業者	ハートランドフェリー株式会社
留萌	観光協会・連盟	NPO法人留萌観光協会
留萌	交通事業者	羽幌沿海フェリー株式会社
上川中部	自治体	旭川市
空知	観光協会・連盟	岩見沢市観光協会
空知	自治体	夕張市
空知	行政	北海道空知総合振興局
石狩	自治体	千歳市観光スポーツ部観光企画課
石狩	観光協会・連盟	一般社団法人千歳観光連盟

アンケートの結果を以下に示す。

現状で外国人観光客にオススメできる観光資源①

地域名	自治体名	名称	概要	時期等
宗谷	利尻	サイクリング	自転車専用道路（サイクリングロード）と道道を組み合わせた約60.2kmを自転車で周遊。	6月中旬～9月上旬
	利尻	利尻山（鴛泊コース）登山	国内外で年間約7千人が利用する登山中級者向けコースの登山。	6月中旬～9月末 （最盛期は7月中旬）
	利尻	ハイキング	鴛泊登山コース入口～ポン山～姫沼へのハイキングコースが整備されており、名水百選「甘露泉水」や標高444mの「ポン山」を経由し、島内でも有数の景勝地である湖沼地「姫沼」までのロングトレイルハイキング。	6月中旬～9月末 （現在は倒木のためルート閉鎖中）
	礼文	利尻島のオタトマリ沼	白い恋人のパッケージにもなっている逆さ富士が綺麗。	5月～10月
	礼文	フラワートレッキング	貴重な高山植物を観察しながら雄大な景色を眺める島内7つのトレッキングコース。	6月～9月
	礼文	利尻島礼文島でのウニ剥き体験	新鮮なウニを自分で割ってその場で食べる。	5月～9月
	礼文	礼文温泉うすゆきの湯	島内唯一の温泉施設で源泉掛け流しで浴場から利尻富士も眺望できる。	通年
	礼文	ホッケのちゃんちゃん焼き	新鮮なホッケの開きに味付味噌を乗せて炭火で焼き、身をほぐしながら食べる。	通年
	留萌	留萌	黄金岬公園	柱を積重ねたような荒々しい奇岩が幾つも並ぶ独特な景観を持つ海岸で、沖に沈む夕陽は、全てのものを染めつくし、その眺めは「日本一の落陽」と訪れる人々を感動させている。
留萌		磯ガニ釣り	黄金岬近くの岩場で磯ガニ釣りが楽しめる。	6～8月
留萌		留萌市海のふるさと館	留萌の歴史・文化に触れられる歴史資料館。	4月下旬～10月下旬
留萌		るもい浜焼き	前浜の魚介類と肉と一緒に炭火で焼いて食べるバーベキュー。	6～8月
留萌		海鳥	8種類100万羽の海鳥繁殖地でケイマフリとウトウなどの海鳥を見ることができる。	5月～8月
上川中部	旭川	旭山動物園	今年は開園50周年、記念イベントの実施ほか、さる山がリニューアル。	夏季4～11月 冬季11月～4月
	旭川	あさひかわラーメン村	旭川の味自慢のラーメン店8店舗が集まった施設。	年中、休業日は各店舗による
	旭川	上野ファーム	英国の庭を参考に北国の気候、風土に合わせて北海道の植物の魅力を取り入れた「北海道ガーデン」。	4月～10月
	旭川	男山酒造資料館	国内外の酒類コンクールで金賞を受賞する酒蔵「男山」の歴史と日本酒文化を学べる資料館。	年中、年末年始を除く
	旭川	雪の美術館	建物から展示まで全て大雪山系に降る日本で最も美しい「雪」をイメージして造られた美術館。	年中、年末年始を除く
空知	岩見沢	スパ・インメープルロッジ	丸太をふんだんに使ったぬくもりのあるログホテル、温泉施設もある。	年中無休
	岩見沢	宝水ワイナリー	そらちワインの代表的なワイナリー。映画の舞台としても使われ、ぶどう畑の景色が素晴らしい。	見頃は、5/中旬～10/下旬

現状で外国人観光客にオススメできる観光資源②

地域名	自治体名	名称	概要	時期等
空知	岩見沢	玉泉館跡地公園	温泉旅館・玉泉館の跡地を改修・整備して作られた、優雅で厳かな雰囲気のある日本庭園。桜、紅葉の名所。公園中央に本格的な茶室もあり、事前予約でどなたでも利用できる。	通年
	岩見沢	こぶ志陶苑「こぶ志窯」	岩見沢の伝統的な窯元。陶器ギャラリーもあり、陶芸制作体験もできる。	定休日：水曜日、年末年始
	夕張	マウントレースイスキー場	新千歳空港から一番近いスキーリゾート。初心者から上級者まで楽しめるパウダースノー。ホテル直結。丸ごとレンタル可能。	12月～3月
	夕張	夕張メロン	昨年の初セリで2玉300万円の値が付く世界に誇るブランドメロン。果汁を使用したお土産品等多数。	6月下旬～8月上旬
	夕張	滝の上公園	道内でも有数の紅葉の名所。滝と奇岩からなる光景は圧巻。	10月～11月
	空知全域	サイクリング	車の少ない道を中心にゆったりとしたサイクリングが楽しめる農地・平野部。レース感覚の本格的なツーリングが楽しめる山岳部。花どころや産業遺産など見どころも満載。変化に富んだ楽しい走りを！また、北海道グルメフェスティバルなどイベントも開催。	冬期以外（北海道グルメフェスティバルは8月ごろ）
	夕張や岩見沢等	炭鉱の記憶	最盛期には大小100余りもの炭鉱が稼働。古びた立坑櫓や人の気配が消えて久しい施設跡など様々なスポットがある。	1年中（冬期は近づけない施設有り）
	空知全域	食	道内随一の米産地であるとともに、小麦、野菜、果実の生産も盛ん。また、産地ならではのこだわりのファームレストランも点在。	1年中
		お酒	5か所のワイナリーと3か所のヴィンヤードが集中。ワイン産地として大きく飛躍している。また、日本酒は2か所の酒蔵があり、米どころで育まれる本物の地酒。	1年中（定休日は各施設に要確認）
		花	滝川「菜の花畑」 北竜「ひまわり畑」 由仁ガーデン ローズガーデン秩父別 岩見沢バラ園などの花	5月中旬～下旬 7月下旬～8月上旬 4月下旬～10月下旬 6月中旬～10月上旬 6/中旬～10/中旬
石狩	千歳	国立公園支笏湖	9年連続水質日本一、各種アクティビティやキャンプ、温泉もあり	通年／夏が特におすすめ
	千歳	工業見学	当市には見学できる大規模な食品工場が多く立地（キリンビール、岩塚製菓、キッコーマンなど）	通年
	千歳	パレットの丘	四季折々の景色が楽しめる丘陵地。	通年／秋に咲くひまわりがおすすめ
	千歳	千歳支笏湖氷濤まつり	支笏湖畔で1月末から2月にかけて開催される氷のイベント。昼と夜とでは違った顔を見せる氷のオブジェが見もの。	1月下旬～2月上旬
	千歳	さけのふるさと千歳水族館とさけの遡上、インディアン水車	日本最大規模の淡水魚水族館。裏にあるインディアン水車によるサケの捕獲風景は秋の風物詩。春にはサケの稚魚放流が楽しめる。	遡上の季節の秋が特におすすめ
	千歳	冬のアクティビティ	北海道箱根牧場やノーススノーランドにおける冬のアクティビティ。	冬季

今後、磨き上げたい地域資源

地域名	自治体名	名称	場所	磨き上げの方向性等
石狩	千歳	千歳神社	千歳市真々地	いわゆる日本の伝統を象徴する施設として認知度を向上。
	千歳	長都沼	千歳市中央2779番地	多くの鳥が観察できる。観光地化されていないので、パンフレットや看板などの案内機能の充実が必要。
宗谷	利尻	利尻山のバックカントリースキー	利尻山（各種ルート有）	現状でも国内外より多くの利用者が増えている（特に欧米系の外国人）が、地元での受入ガイドの不足が課題のため、大々的なPRができないのが現状。元々素材のポテンシャルは高いため、今後は地元での人材育成プログラム等の検討が必要。
	礼文	バードウォッチング	島内各所	観察できる鳥の種類と季節のリストアップ及びマップの整備と情報発信が必要。
	礼文	スノートレッキング	島内各所	トレッキングコースの設定と体験メニューの充実。
	利尻・礼文	シーカヤック	島内沿岸各所	ツアーとしての商品化と受入態勢の整備。利尻ではシーカヤックに乗ってブリ等の釣りができる等（体験型）の情報発信。
	礼文その他	久種湖、大備海岸、星空、礼文空港、フィッシング、トド島、桜公園（大沢地区）		
空知	岩見沢	冬遊びプログラム	メープルロッジ敷地内	2016年より実証実験を重ね、2017年冬に本格的始動予定
		百餅まつり	岩見沢市内	世界一の杵と臼。総勢200人で餅つきをする迫力満点のお祭り。
	岩見沢	わかさぎ釣り	岩見沢市北村地区	2016年度に実証実験実施。2017年より本格販売開始予定。わかさぎ釣り&温泉入浴のプログラムを予定。
	夕張	シューパロ湖	夕張市南部・鹿島	カヌー体験など、湖面活用。
	夕張	石炭博物館等の炭鉱関連遺跡	夕張市高松ほか	外国語表記などのインバウンド対応。
	夕張	道の駅夕張メロード	夕張市紅葉山	トイレの整備。大型バス対応駐車場の整備。道の駅スペースの拡充。
	美唄～月形	樺戸道路	美唄市峰延一月形町	外国語表記など。
	雨竜	雨竜沼湿原	雨竜町	受入体制の整備など。
	美唄	宮島沼	美唄市	受入体制の整備など。
	中空知・北空知	北海道スイーツランド in北&中そらち	北空知、中空知	受入体制の整備など。
	空知その他	ポンネ湯：硫黄泉の冷泉（アトピー等の皮膚病に効果が期待） エディブルフラワー（食べられるお花） 炭鉱の記憶（炭鉱歴史、鉄道の歴史）		

地域の人材(語り部・ガイド等)

地域名	自治体名	所属・名前	分野	概要
宗谷	利尻	利尻自然ガイドサービス 代表 渡邊敏哉	登山ガイド(夏山・冬山)、その他アクティビティガイド	夏山の登山ガイドのほか、トレッキングガイド、冬山のバックカントリースキー、スノーシュートレッキングガイドの第一人者。その他シーカヤックのガイドメニューなどもある。
	礼文	宮本誠一郎	レブンクル自然館	フリー自然カメラマン。
	礼文	鹿川明美	礼文島自然ガイド	自然ガイド(通年)。
	礼文	二田智亮	礼文島ツアーズ	シーカヤックツアーのインストラクター。
留萌	留萌	留萌市レクリエーションボランティア協会会長 渡邊正美	留萌の歴史など	—
	天売	天売観光バス 斉藤暢	島内観光	天売島内で定期的に観光バスを運行し、観光客の皆様に島内観光案内をしている。
空知	岩見沢	岩見沢観光ボランティア	観光全般	岩見沢の歴史や観光地のガイドを実施。
	夕張	夕張市地域おこし協力隊 林茂夫	夕張観光全般	旅行会社勤務の経歴を持つ。
	夕張	一般社団法人清水沢プロジェクト 佐藤真奈美	清水沢地区を中心とする炭鉱遺産	炭鉱住宅を改装した短期滞在型交流施設「清水沢コミュニティゲート」を拠点に活動。
		松宮文恵	夕張観光全般	昨年まで夕張観光案内センターで観光案内業務に従事。現在も、ボランティアガイドなどの活動を行っている。
	月形	前月形町長 櫻庭誠二	町のガイド	バスに同乗し、町のガイドを務める。
	浦臼	浦臼町長 斉藤純雄	町のガイド	バスに同乗し、町のガイドを務める。
	新十津川	新十津川町長 熊田義信	町のガイド	バスに同乗し、町のガイドを務める。
	北竜	北竜町長 佐野豊	町のガイド	バスに同乗し、町のガイドを務める。

2-3 既存観光パンフレット等の整理

海外におけるきた北海道の観光情報の発信状況について把握するために、最重点国・重点国に係る観光ガイドブック及びウェブサイトについて、調査を行った。

(1) 観光ガイドブックの掲載状況

最重点国・重点国で発行されている以下のガイドブックについて、きた北海道の観光情報の有無について確認を行った。

調査したガイドブックの概要

台湾
【MOOK 攻略完全制覇シリーズ】



東京、京阪神、北海道など日本の地域別のガイドブック。人気観光スポットの情報が豊富。地図もある。

香港
【WOW 達人天書】



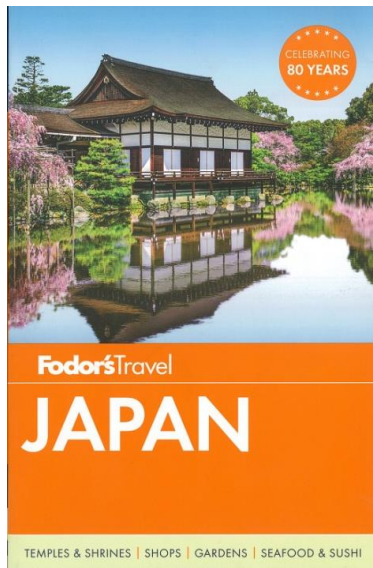
香港を代表する個人旅行者向けの旅行ガイドブック。個人旅行の多い香港人向けに細かい情報が掲載されている。

タイ
【DPlus Guide】



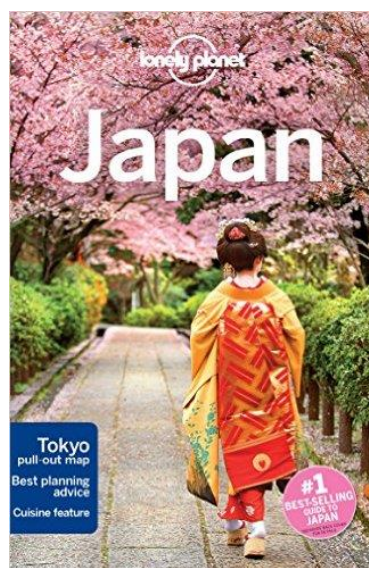
北海道・日本全体の他、国別で全8ヶ国を出版。足を運び取材しており、詳しい情報が掲載されている。

シンガポール
【Fodor's Travel JAPAN】



世界最大手の出版社が発行。チップなどの実践的な情報や文化についても掲載している。

米国
【lonely planet】



全世界で650タイトルを数え、英語による旅行ガイドブックのシェアは25%と世界一。

観光ガイドブックの掲載状況

地域名	種別	きた北海道の掲載 ○掲載 ×掲載無し				
		台湾	香港	タイ	シンガポール	アメリカ
		MOOK攻略完全制覇シリーズ	WOW達人天書	Dplus Guide	Fodor's Travel JAPAN	Lonely planet
宗谷	観光資源	○	○	○	○	○
	体験	○	○	×	×	○
	食	○	○	×	×	○
	自然・景観	○	○	○	○	○
	宿泊施設	○	○	×	○	○
	お祭り・イベント	○	○	×	×	○
	アクセス	○	○	○	○	○
上川北部 (音威子府、 中川、美深、 幌加内、名 寄、下川、 士別、剣淵、 和寒)	観光資源	×	×	×	×	×
	体験	×	×	×	×	×
	食	×	×	×	×	×
	自然・景観	×	×	×	×	×
	宿泊施設	×	×	×	×	×
	お祭り・イベント	×	×	×	×	×
	アクセス	×	×	×	×	×
留萌	観光資源	×	×	×	×	×
	体験	×	×	×	×	×
	食	×	×	×	×	×
	自然・景観	×	×	×	×	×
	宿泊施設	×	×	×	×	×
	お祭り・イベント	×	×	×	×	×
	アクセス	×	×	×	×	×
上川中部 (旭川、鷹 栖、比布、 当麻。愛別、 上川)	観光資源	○	○	○	○	○
	体験	×	×	○	○	×
	食	○	○	○	○	○
	自然・景観	○	○	○	○	○
	宿泊施設	○	○	○	○	○
	お祭り・イベント	○	○	○	×	○
	アクセス	○	○	○	○	○
空知	観光資源	×	×	×	×	×
	体験	×	×	○	×	×
	食	×	×	×	×	×
	自然・景観	×	×	×	×	×
	宿泊施設	×	×	×	×	×
	お祭り・イベント	×	×	×	×	×
	アクセス	×	×	×	×	×
石狩	観光資源	○	○	○	○	○
	体験	×	○	○	○	×
	食	○	○	○	○	○
	自然・景観	○	○	○	×	×
	宿泊施設	○	○	○	○	○
	お祭り・イベント	○	○	○	○	○
	アクセス	○	○	○	○	○

(2) ウェブサイトの掲載状況

以下のウェブサイトについて、きた北海道の観光情の有無について確認を行った。

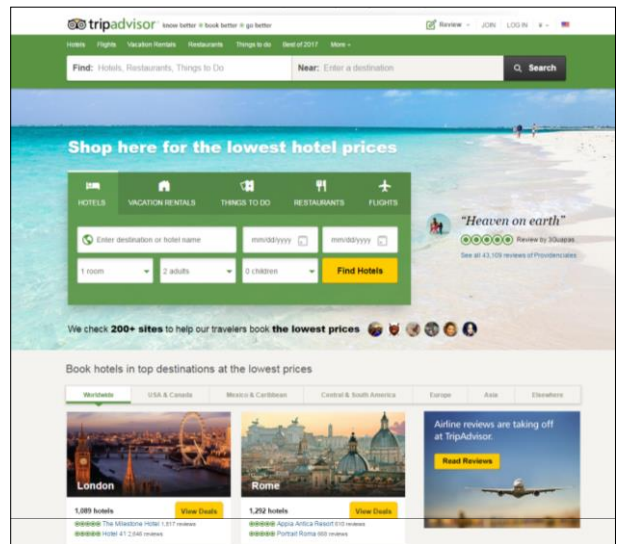
調査したウェブサイトの概要



JNTOの旅行情報サイト
 英語：http://www.jnto.go.jp/eng/
 繁体字：http://www.welcome2japan.tw/



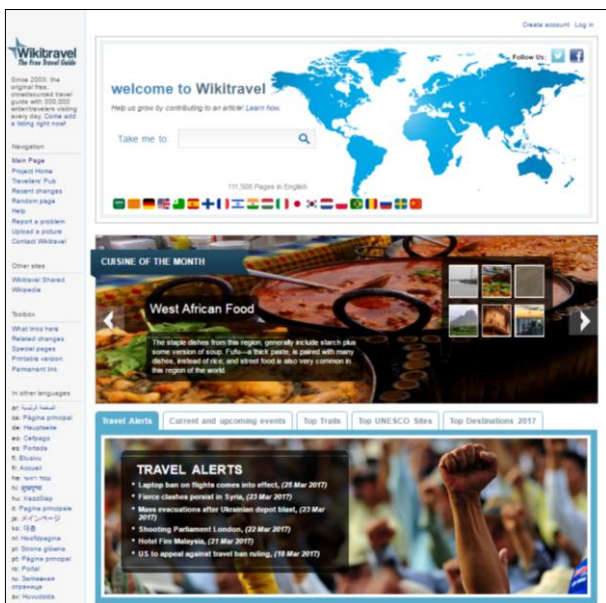
トリップアドバイザー
 英語：https://www.tripadvisor.com/
 繁体字：https://www.tripadvisor.com.tw



ウィキトラベル
 英語：http://wikitravel.org/en/Main_Page
 繁体字：
 http://wikitravel.org/zh/%E9%A6%96%E9%A0%81



レッツゴー！日本
 http://tokyo.letsgojp.com/



ウェブサイトの掲載状況

		きた北海道の掲載 ○掲載 ×掲載無し						
地域名	サイト名	JNTO 旅行情報サイト		トリップアドバイザー		ウィキトラベル		レッツ ゴー日本
		英語	繁体字	英語	繁体字	英語	繁体字	繁体字
宗谷	観光資源	○	○	○	○	○	×	○
	体験	×	×	○	○	○	×	○
	食	×	×	○	○	○	×	○
	自然・景観	○	○	○	○	○	×	○
	宿泊施設	×	×	○	○	○	×	×
	お祭り・イベント	×	×	×	×	○	×	○
	アクセス	○	○	○	○	○	×	○
上川北部 (音威子府、中川、美深、幌加内、名寄、下川、士別、剣淵、和寒)	観光資源	×	×	○	○	×	×	×
	体験	○	×	×	×	×	×	×
	食	×	×	○	○	×	×	×
	自然・景観	○	×	○	○	×	×	×
	宿泊施設	×	×	○	○	×	×	×
	お祭り・イベント	×	○	×	×	×	×	×
	アクセス	○	×	○	○	×	×	×
上川中部 (旭川、鷹栖、比布、当麻、愛別、上川)	観光資源	○	○	○	○	○	×	○
	体験	×	○	○	○	○	×	○
	食	○	○	○	○	○	×	○
	自然・景観	○	○	○	○	○	×	○
	宿泊施設	○	○	○	○	○	×	×
	お祭り・イベント	×	○	○	○	○	×	○
	アクセス	○	○	○	○	○	×	○
留萌	観光資源	×	×	○	○	×	×	×
	体験	×	×	×	×	×	×	×
	食	×	×	○	○	×	×	×
	自然・景観	×	×	○	○	×	×	×
	宿泊施設	×	×	○	○	×	×	×
	お祭り・イベント	○	×	×	×	×	×	×
	アクセス	×	×	○	○	×	×	×
空知	観光資源	×	×	○	○	×	×	×
	体験	×	×	○	○	×	×	×
	食	×	×	○	○	×	×	×
	自然・景観	×	×	○	○	×	×	×
	宿泊施設	×	×	○	○	×	×	×
	お祭り・イベント	×	×	×	×	×	×	×
	アクセス	×	×	○	○	×	×	×
石狩	観光資源	○	○	○	○	○	×	○
	体験	×	×	○	○	○	×	○
	食	×	○	○	○	○	×	○
	自然・景観	○	○	○	○	○	×	○
	宿泊施設	○	×	○	○	○	×	○
	お祭り・イベント	○	○	○	○	○	×	○
	アクセス	○	○	○	○	○	×	○

各種調査を踏まえ、旭川以北のガイドや体験観光に関係する人材を以下のように整理した。

名寄以北でガイドや体験観光等に関係する人材①

地域	エリア	所属	氏名	概要
宗谷	稚内	英語接客コンサルタント・通訳案内士	馬上 千恵	森林インストラクターの資格を有し、知床でもガイドを行っていた通訳案内士。H28年度はアドベンチャートラベルサミットにも参加。
宗谷	稚内	利尻礼文サロベツ国立公園パークボランティア	疋田 英子	20年以上前から国立公園のパークボランティアとして活動し、宗谷地域の野鳥や自然の専門的な知識を有する。
宗谷	稚内	稚内市民観光ボランティアガイド	中澤 和一	稚内の水産に関しては特に造詣が深く、フットパスの案内もできる。日本観光振興協会の講師にも登録。
宗谷	礼文	礼文自然ガイド	鹿川 明美	礼文町の高山植物や花を楽しむトレッキングやスノーシューなどのガイドを通年でやっている。
宗谷	礼文	NPO法人 礼文島自然情報センター	宮本 誠一郎 村上 賢治	外来種対策や自然歩道の保全、環境教育などを取り組むNPO法人。トレッキングやスノーシューなどのガイドを通年でやっている。
宗谷	礼文	礼文島ツアーズ	二田 智亮	礼文島のシーカヤックツアーのインストラクター。
宗谷	利尻	利尻自然ガイドサービス	渡邊 俊哉	夏は登山・サイクリング・シーカヤック、冬はバックカントリースキーなど利尻島をベースにアウトドアガイドサービスを実施。外国人旅行者も多く利用している。
宗谷	利尻	利尻島ガイドセンター	西島 徹	ゲストハウスを運営しながら、利尻島の町あるきガイドやプライベートツアーなどのガイドサービスを実施。
宗谷	豊富	NPO法人 サロベツ・エコ・ネットワーク	嶋崎 暁啓	サロベツ湿原センターを管理・運営を行いながら、サロベツ原野の保全、ガイド等を行っている。
宗谷	猿払	猿払イトウの会	小山内 浩一	イトウ釣りが楽しめる環境を保全するため、ワールドサーモンセンターと連携した研究等を行っている。イトウに関する専門的な知識を有する。
宗谷	猿払	笠井旅館	笠井 幹哉	釣り好きの中では有名な旅館「笠井旅館」のオーナー。イトウを含む釣りの情報を、宿泊者等に提供している。
宗谷	浜頓別	クッチャロ湖水鳥観察館職員	小西 敢	町職員で水鳥観察館に勤務する水鳥に関する専門家。定期的に地元の子供向けにガイドツアーなどを行っている。
宗谷	中頓別	そうや自然学校	—	カヌーや化石発掘体験、砂金掘り体験、スノーシューなど、季節ごとに様々な体験を行っている。
宗谷	幌延	ワラベンチャー問寒クラブ	遠藤 幸治	地元の親子・子供向けにカヌー教室や自然体験教室などを行う。学校、PTA、地域が一体となって活動。
上川北部	中川	中川町エコミュージアムセンター	疋田 吉識	学芸員。化石の研究者。エコミュージアムに展示されている中川町で採掘される化石やアンモナイトなどの紹介（ガイド）や、次世代の子ども達へ向けた化石採掘学習（教育研修）などを行っている。
上川北部	美深	リバー・トリップ・キャメル	辻 亮多	美深を拠点に活躍するカヌーガイド（&釣りも）。北海道内の川はほぼ案内できるため、夏は休みなくガイドの予約がいっぱいになるほどの人気。冬は雪板やスノーシューの裏山ガイド等もやっている。
上川北部	美深	NATURE WORKS	長野 修平	ネイチャーワークス代表。地元木材でのクラフト体験の他、自身でも作品を作るネイチャークラフト作家。地域のイベントやツアーなどにも精力的に協力。
上川北部	美深	恩根内アートビレッジ	工藤 貢	廃校跡を活用した、カフェとクラフト体験施設を運営。地元木材を活用したククサ作りなどが体験できるほか、教室をアーティストの制作場として貸出も行っている。

名寄以北でガイドや体験観光等に関係する人材②

地域	エリア	所属	氏名	概要
上川北部	美深	美深町観光協会	小栗 卓	アウトドア全般のガイドをこなせる観光協会職員。ターゲットを絞り、“地元”に拘ったイベント企画や体験メニューを考案し、現在の地域のキーマンとも言える。
上川北部	名寄	NPO法人なよろ観光まちづくり協会	藤原 雄司	生粋のサイクリストであり、観光協会職員。イベント時などは地元ガイドとして活躍。次年度以降、名寄で予定している自転車観光の推進に向けた事業（イベントやレンタルサイクル）などの中心となりうる人物。
上川北部	下川	NPO法人森の生活	麻生 翼	森の生活代表。主に下川の森を中心に、森林ガイドや体験学習などを実施。下川の森の保全（美桑ヶ丘・体験の森：指定管理）も行っている。
上川北部	幌加内	幌加内町観光協会	古屋 大輔	フィッシングや山のガイドもこなせる観光協会職員。地域全体をコーディネートしながら広域的な視点で情報発信を行い、プロモーションなどに力を入れている。
上川北部	幌加内	NPO法人シュマリナイ湖ワールドセンター	中野 信之	ワールドセンター代表。朱鞠内湖を中心にフィッシングなどのガイドを行っている。現在は、個人客をターゲットにしたプライベートガイドツアーに力を入れている。宿泊施設の運営や地域特産品の開発も行っている。
留萌	天塩	天塩川を清流にする会	鹿児島 剛	北の清流、天塩川の環境保全と社会活動を実施。野鳥観察や植樹等の活動を展開。
留萌	初山別	(一社) マッチワークス	佐古 大	地域起こし協力隊を経て現在の団体を昨年立上げる。現在は、コミュニティカフェと自学塾の運営を実施。そのほか、観光協会の事務局業務を行う。地元の生活体験や人とのつながりを通して、交流人口の拡大を目指している。(将来的には、インバウンドも視野に入れている)
留萌	羽幌	(一社) 天売島おらが島活性化会議 天売観光バス	斉藤 暢	天売島で、体験観光に取り組む。シーカヤックや星空観察、ウニ獲り体験も実施。天売観光バスでは、ウトウナイトウォッチングツアーを実施。留萌観光協会とともに、ふくしまキッズの天売プログラム等も実施。
留萌	苫前	苫前町商工会	原野 友助	子供同士の体験交流（とままえげんキッズとふくしまげんキッズ）の実施などに取り組む。料理人であり、地元食材を活用したかすべのベーコンなども開発している。
留萌	苫前	苫前町まちづくり企画	小笠原 宏一	漁師の傍ら、苫前町のまちづくりに従事。とままえげんキッズ等にも携わり、漁業という母体を活用し活動。
留萌	苫前	NPO法人ふれあいとままえ	青木 和雄	無料ライダーハウスを立上げ。カウチサーフィン（無料宿泊施設の提供）を通して、様々な国の方と交流（現在、カウチサーフィン自体は休止）。無料の宿泊場所を提供し、来訪者に地域活動（農家体験、漁師体験等）をしてもらうことなどを検討。
留萌	留萌	FMもえる	米倉 礼子	留萌観光連盟事務局として、管内のさまざまな体験観光に関する知識・人脈を持つ。WEBるもい体験ナビにて紹介。
留萌	留萌	NPO法人留萌観光協会	海東 剛哲	ふくしまキッズなどを通して、子供たちを対象とした長期宿泊型の体験プログラムを実施。冬期はイグルー体験、ドラム缶風呂等もあり。留萌市内のみではなく、留萌管内の体験観光に取り組む方と繋がりながら、多様なプログラムを展開（小平、苫前、羽幌、初山別等と連携）。
留萌	留萌	留萌市レクリエーションボランティア協会	渡邊正美	留萌の歴史などを案内するボランティア協会。
留萌	増毛	NPO法人増毛山道の会	小杉 忠利	江戸時代に開墾された増毛と浜益を結ぶ「増毛山道」の復元に取り組む。会では、ガイド付きのトレッキングも実施している。

第6章

マーケティング基本戦略

1. 各市場における訪日（全国）観光の特徴

	【プロフィール】	【観光動向と支出】
最重点市場  台湾	<ul style="list-style-type: none"> ・30代女性の比率が高い ・初訪日（観光）は22% ・4～6日程度の滞在が77% ・団体ツアーが45%（個人客増加の傾向） ・家族、親族中心 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日旅行でしたことで「食」「自然」が多い ・滞在中の支出総額は13.9万 宿泊3.9万、飲食1.8万、交通1.2万、娯楽0.8万
重点市場  香港	<ul style="list-style-type: none"> ・20代の比率が高い ・初訪日（観光）は20% ・4～6日程度の滞在が64%、7～13日の滞在も32%と多い ・個人客が過半数（83%） ・家族、親族中心 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日旅行でしたことで「食」「自然」が多い ・滞在中の支出総額は17.2万 宿泊5.1万、飲食2.9万、交通1.5万、娯楽0.9万と飲食の支出が多い
重点市場  タイ	<ul style="list-style-type: none"> ・20～30代女性の比率が高い ・初訪日（観光）は39% ・4～6日程度の滞在が52%、7～13日の滞在も40%と多い ・個人客が73% ・家族、親族や友人との同行 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日旅行でしたことで「食」「自然」が多い ・滞在中の支出総額は15.2万 宿泊5.1万、飲食3.0万、交通0.2万、娯楽1.8万と飲食の支出が多く、交通が少ない
その他市場  シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> ・20代男女の比率が高い ・初訪日（観光）は35% ・7～13日の滞在が63%と最も多い ・個人客が89% ・家族親族、友人同士、夫婦など多彩な形態 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日旅行でしたことで「食」「自然」が多い ・滞在中の支出総額は21.3万 宿泊7.3万、飲食3.6万、交通2.2万、娯楽1.1万と全般的に支出が多い（買物も7.8万）
その他市場  アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> ・20～30代男性の比率が高い ・初訪日（観光）は63% ・7～13日の滞在が50%と最も多く、14～20日の長期滞在も19% ・個人客が91% ・自分ひとり、夫婦パートナーが中心 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日旅行でしたことで「日本の酒を飲む」が63%と高く、その他「日本の伝統文化」「日本の日常生活体験」など和体験が多い ・滞在中の支出総額は19.8万 宿泊8.9万、飲食4.1万、交通3.0万、娯楽1.7万と全般的に支出が多いが、買物は3.6万と少なめ

出典：JNTO訪日旅行データハンドブック2015より

2. 各市場における訪日（北海道）観光の特徴
（現地カスタマー向けアンケート調査結果より）

2-1 最重点市場

台湾



<p>北海道旅行の経験</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北海道旅行の経験者が約4割、検討層が約4割、検討していないが約2割 リピート層も、検討層も多く、北海道の知識も豊富であることから、 従来メインの観光地である道央圏だけでなく、きた北海道への波及の可能性 が大きいと考えられる。
<p>北海道旅行への ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 目的、関心は、「日本・北海道の食」「温泉」「自然・景勝」「四季の体 験」が多くなっており、従来からの北海道らしさに関するニーズが高い。 一方、「スキー・スノーボード」「日本や北海道の日常生活体験」なども 3割程度と人気が高く、きた北海道における体験コンテンツ開発の参考になる。 （きた北海道で日本一寒い冬の1日を体験する等）
<p>北海道旅行に 関する 情報入手</p>	<ul style="list-style-type: none"> 旅行会社のホームページが7割で圧倒的。 次いで、個人のBLOGや日本政府観光局ホームページが4割弱。 SNSは3割程度で、情動的にも旅行会社の影響力が大きい様子が伺える。
<p>きた北海道の認知</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北海道観光の経験が多いことから、きた北海道についても認知は高い傾向。 「稚内」で3割、「利尻」2割、「礼文」1割程度の認知度

2-2 重点市場

香港



北海道旅行の経験	<ul style="list-style-type: none"> 北海道旅行の経験者が約3割、検討層が約3割、検討していないが約4割。リピート層が3割あるものの、未検討層も4割と高く、更なる認知拡大や需要創造が重要となる。
北海道旅行へのニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 目的、関心は、「日本・北海道の食」「温泉」「四季の体験」が多くなっており、従来からの北海道らしさに関するニーズが高い。 体験では「スキー・スノーボード」が5割弱、「日本や北海道の歴史・文化体験」「日本や北海道の日常生活体験」なども2割強と多くなっている。
北海道旅行に関する情報入手	<ul style="list-style-type: none"> 日本政府観光局ホームページが5割。 次いで、個人のBLOGや旅行ガイドブックが続く。 SNSは2割弱で、近年の情報環境を鑑みると影響力が低い傾向。
きた北海道の認知	<ul style="list-style-type: none"> 北海道観光の経験が少ない分、台湾と比較して認知は低い傾向 「稚内」で2割、「羽幌」「利尻」が1割程度の認知度

タイ



北海道旅行の経験	<ul style="list-style-type: none"> 北海道旅行の経験者が約3割弱、検討層が約3割、検討していないが約4割。今後更なる需要の拡大が期待できる。
北海道旅行へのニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 目的、関心は、「日本・北海道の食」「自然・景勝」「温泉」。また「旅館に宿泊」が4割弱と高く、宿泊そのものが旅館体験と捉えられている様子。 体験では「スキー・スノーボード」が4割強、「日本や北海道の歴史・文化体験」「日本や北海道の日常生活体験」なども2割弱となっている。
北海道旅行に関する情報入手	<ul style="list-style-type: none"> 日本政府観光局ホームページが3割強、以降、旅行会社のホームページ、口コミサイト、SNSなどが続く。 個人BLOG、自治体や地方観光協会のホームページが2割程度。 WEBとSNSがメインである様子が伺える。
きた北海道の認知	<ul style="list-style-type: none"> 北海道観光の経験が少ない分、認知は低い傾向 「稚内」「士別」が1割強、以下「利尻」などは1割以下

2-3 その他市場

シンガポール



北海道旅行の経験	<ul style="list-style-type: none"> 北海道旅行の経験者が約2割、検討層が約4割、検討していないが約4割。リピート層が2割と少ないものの、検討層が4割と高く、今後更なる需要の拡大が期待できる。
北海道旅行へのニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 目的、関心は、「日本・北海道の食」「四季の体験」「自然・景勝」「温泉」と続き、他国と概ね同様の傾向であるが、「温泉」の順位が低め。また「旅館に宿泊」が4割弱と高く、宿泊そのものが旅館体験と捉えられている様子。 体験では「スキー・スノーボード」が3割、「日本や北海道の歴史・文化体験」「日本や北海道の日常生活体験」なども3割程度となっている。
北海道旅行に関する情報入手	<ul style="list-style-type: none"> 日本政府観光局ホームページ、ロコミサイト、SNSなどが約4割。 自国の親族・知人、旅行会社のホームページ、宿泊施設のホームページが3割程度。 WEBとSNSがメインである様子が伺える。
きた北海道の認知	<ul style="list-style-type: none"> 北海道観光の経験が少ない分、認知は低い傾向 「稚内」「名寄」「利尻」など、総じて1割以下

アメリカ



北海道旅行の経験	<ul style="list-style-type: none"> 北海道旅行の経験者が約4割弱、検討層が約5割、検討していないが約1割強。今後更なる需要の拡大が期待できる。
北海道旅行へのニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 目的、関心は、「日本・北海道の食」「自然・景勝」「温泉」。 体験では、「自然体験ツアー」「旅館に宿泊」「日本や北海道の歴史・文化伝統体験」が5割と高い。
北海道旅行に関する情報入手	<ul style="list-style-type: none"> 旅行会社のホームページ、日本政府観光局ホームページ、ロコミサイトが5割強。以降、旅行ガイドブック、日本在住の友人・知人などが続く。 WEBとSNSがメインである様子が伺える。
きた北海道の認知	<ul style="list-style-type: none"> 北海道旅行経験者が多いため認知も高く、「稚内」4割弱、「利尻」「礼文」が1割強などとなっている。

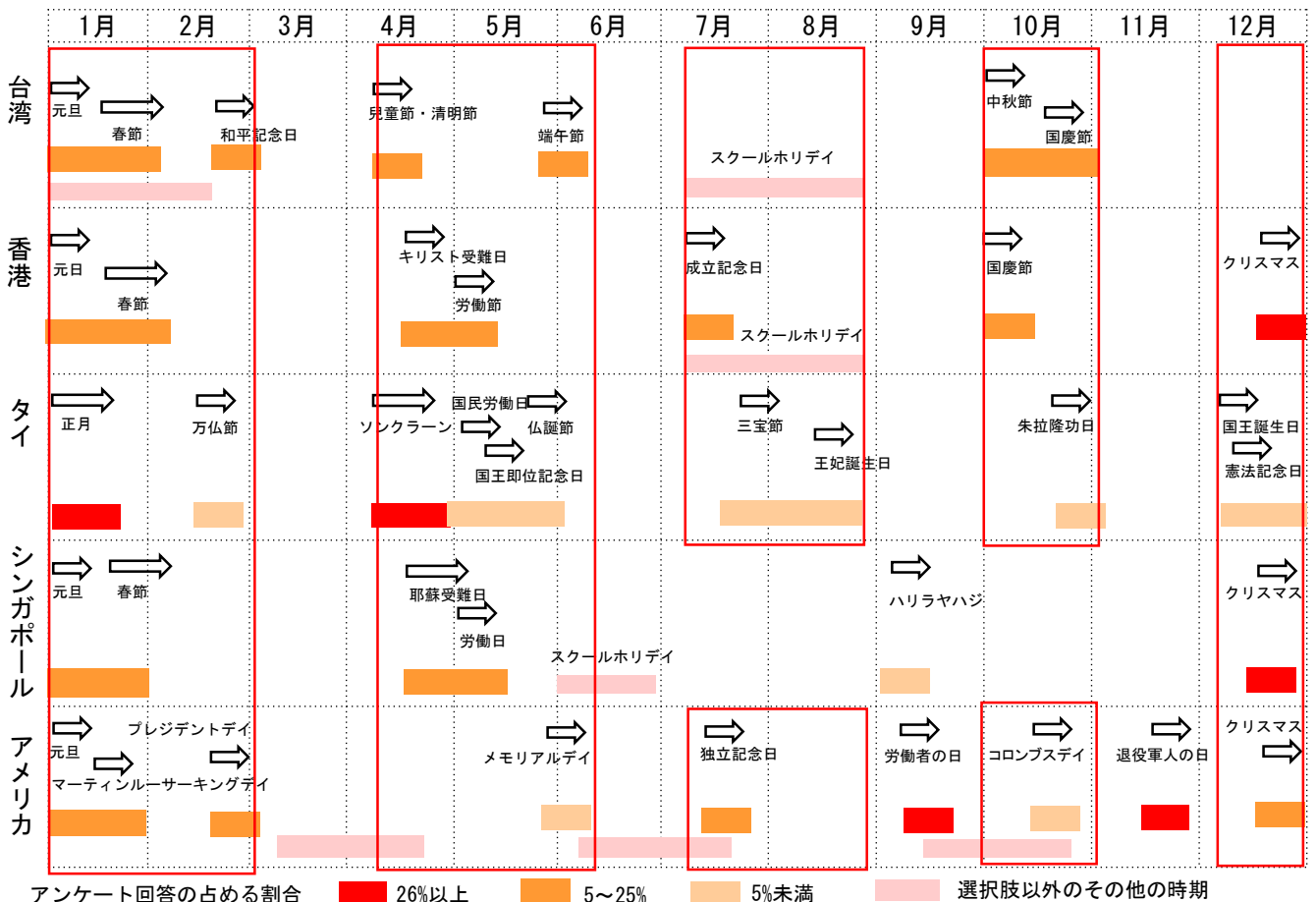
3. 各市場における旅行の人気シーズン

	【訪日の人気シーズン】	【主に旅行をする時期】
最重点市場 台湾 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて訪日が多く、7、10月が比較的多く、9月、12月がやや少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み、冬休みといった家族で旅行ができる期間が多い（スクールホリデー） 祝日以外、休みが取れたらといった気軽感も少数ではあるが見受けられる
重点市場 香港 	<ul style="list-style-type: none"> 7、12月が比較的多く、11月が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 祝日以外、旅費が安い期間を希望する傾向 少数意見では、夏休み6～8月のベストシーズンを希望する回答もある
	タイ 	<ul style="list-style-type: none"> 3～5月、10～12月の2つのピークが見られる
その他市場 シンガポール 	<ul style="list-style-type: none"> 8月以降訪日が増加し、12月がピーク 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み、学校の休みの時期、オフ時期が多い 少数意見では、「休みが取ればいつでも」
	アメリカ 	<ul style="list-style-type: none"> 2月および8月が比較的少ない他は安定的に来訪





JNTO訪日旅行データハンドブック2015より

現地カスタマー向けアンケート調査結果より

主に旅行をする時期（現地カスタマー向け調査結果まとめ）



4. 各市場における「きた北海道」での観光体験ニーズ
(現地カスタマー向けアンケート調査結果より)

<p>最重点市場</p>  <p>台湾</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい場所や体験内容については、「豊富温泉」「宗谷の豊富な海産物」などが7割でツートップ。「夕日」「乳製品」などと続き、温泉・食・景勝などの人気が高い。 ・体験コンテンツでは「スノーボード・スキー」が約4割でトップ。「伝統工芸」「カヤック・カヌー」「味覚狩り」「農業・酪農体験」などが多くなっている。
<p>重点市場</p>  <p>香港</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい場所や体験内容については、「豊富温泉」「宗谷の豊富な海産物」などが5割でツートップ。温泉・食・景勝などの人気が高い。 ・体験コンテンツでは「スノーボード・スキー」が約6割でトップ。「産業遺産や工場などの見学」「味覚狩り」「天体観測」などが多く、体験は学術的な内容を含むものを好む志向が伺える。
<p>重点市場</p>  <p>タイ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい場所や体験内容については、「宗谷の豊富な海産物」が約6割でトップ。次いで「豊富温泉」、「日本海の夕陽」が4割。やはり、食・温泉・景勝などの人気が高い。 ・体験コンテンツでは「味覚狩り」「スキー・スノーボード」が5割前後。「トレッキング」が3割強。「天体観測」「BBQ」も比較的高い。
<p>その他市場</p>  <p>シンガポール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい場所や体験内容については、「宗谷の豊富な海産物」が約6割でトップ。次いで「豊富温泉」、「日本海の夕陽」が4割。「名寄のサンピラー」も比較的高い。食・温泉・景勝などの人気が高い。 ・体験コンテンツでは「トレッキング」「スキー・スノーボード」「味覚狩り」が5割弱。「天体観測」「カヤック・カヌー」が3割強で続く。
<p>その他市場</p>  <p>アメリカ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい場所や体験内容については、「礼文島」と「日本海の夕陽」が約7割強でトップ。次いで「天塩川」「空知のワイン」「炭坑・土木遺産」と続き、温泉・食がメインのアジア諸国とは異なる傾向 ・体験コンテンツでは「トレッキング」4割。以降「伝統工芸・文化体験」「味覚狩り」「蕎麦打ちなどの食べ物づくり」「アイヌ・縄文文化見学・体験」「カヤック・カヌー」が2割で続く。

5. 各市場が希望する「きた北海道」の旅行プラン
(現地カスタマー向けアンケート調査結果より)

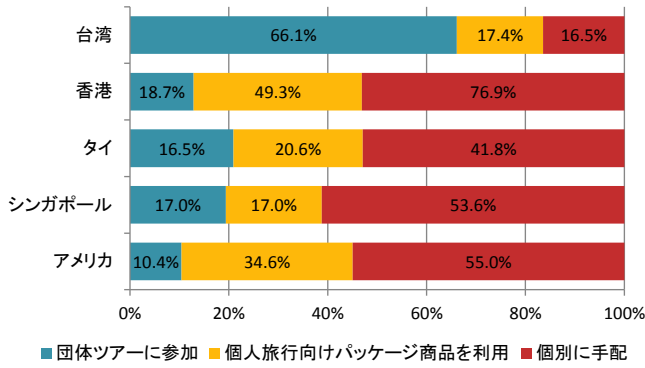
<p>最重点市場</p>  <p>台湾</p>	<p>●団体旅行のニーズが高いが、今後のFITの増加も見込まれる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「団体ツアー」の希望が多い(66%)※ ・季節は四季どの時期にもニーズがみられる。 ・日数は「4～5日」が6割、次いで「6～9日」が35%。 ・同行者は72%が「家族・親族」。「友人」が25%。 ・飛行機は86%は「エコノミー」。「LCC」は9%。 ・移動手段は「ツアーバス」が58%。「公共交通」31%、「レンタカー」は11%。 ・宿泊施設は65%が「日本旅館」。「高級ホテル」も14%みられる。 ・夕食は「レストラン居酒屋」が56%、「宿の食事」が31%。
<p>重点市場</p>  <p>香港</p>	<p>●個別手配による6～9日程度のプラン、レンタカー移動のニーズが高い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別手配」が53%、個人パッケージが34%。 ・「冬」のニーズが44%と高い。少ないのは「春」で14%。 ・日数は「6～9日」が53%、次いで「4～5日」が36%。 ・同行者は54%が「家族・親族」。「友人」が40%。 ・飛行機は88%が「エコノミー」。「LCC」は5%と少ない。「ビジネスクラス」も6%みられる。 ・移動手段は「公共交通」が45%、「レンタカー」も42%と高い。 ・宿泊施設は、70%が「日本旅館」。 ・夕食は「レストラン居酒屋」が65%、「宿の食事」が19%、「地域の高級料理店」が15%。
<p>重点市場</p>  <p>タイ</p>	<p>●個別手配による6～9日程度のプラン、冬から春の時期のニーズが高い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別手配」が52%、個人パッケージが26%。団体ツアーも21%みられる。 ・「冬」のニーズが41%と高い。「春」も31%と高く、少ないのは「夏」で12%。 ・日数は「6～9日」が44%、次いで「4～5日」が38%。 ・同行者は47%が「家族・親族」。「友人」が42%。「自分ひとり」が10%みられる。 ・飛行機は77%が「エコノミー」。「LCC」は17%。 ・移動手段は「公共交通」が64%、「レンタカー」は19%。 ・宿泊施設は「ビジネスホテル」が47%、「日本旅館」が33%。「YH/GH」が17%みられる。 ・夕食は「レストラン居酒屋」が65%、「宿の食事」が15%、「地域の高級料理店」が13%。
<p>その他市場</p>  <p>シンガポール</p>	<p>●「10日以上滞在」「LCC」「ユースホステル泊」「自炊」などの層も存在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別手配」が61%。団体ツアーは19% ・タイと同様に「冬」のニーズが35%と高く、「春」も29%と高い。少ないのは「夏」で17%。 ・日数は「6～9日」が42%、「4～5日」が29%。「10日以上」が26%と長期希望も多い。 ・同行者は47%が「友人」、43%が「家族・親族」。「自分ひとり」も9%みられる。 ・飛行機は64%が「エコノミー」。「LCC」が30%と多くみられる。 ・移動手段は「公共交通」が54%、「レンタカー」は21%。 ・宿泊施設は「日本旅館」が40%、「ビジネスホテル」が39%。「YH/GH」が18%みられる。 ・夕食は「レストラン居酒屋」が43%、「宿の食事」が23%、「自炊」が25%と多い。
<p>その他市場</p>  <p>アメリカ</p>	<p>●「冬より夏」の希望が多く、「長期から短期まで」幅広い滞在が期待される</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別手配」が55%。団体ツアーは10%。 ・夏のニーズが41%と高く、少ないのは冬で14%。 ・日数は「10日以上」が25%、一方「1～3日」が12%と、長期と短期の希望層もみられる ・同行者は67%が「家族・親族」、24%が「友人」。「自分ひとり」も9%みられる。 ・飛行機は75%がエコノミー。LCCが21%と比較的多い。 ・移動手段は「公共交通」が75%、レンタカーは13%。 ・宿泊施設は「日本旅館」が52%、「ビジネスホテル」が40%。 ・夕食は「レストラン居酒屋」が63%、「宿の食事」が15%、「地域の高級料理店」が14%。

※「台湾：団体ツアーに参加」66%に関して

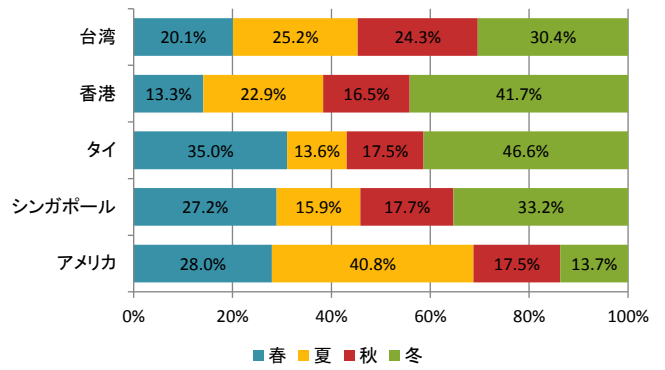
台湾大手旅行会社5社、台湾から北海道へ乗り入れの航空会社へのヒアリング結果では、北海道への団体ツアーの入込数は減っているものの依然として5～6割のシェアを占める。

一方で、観光庁「訪日外国人消費動向調査」では団体ツアーのシェアが4割を下回っているが、北海道での回答数が少ない結果であると考えられる。

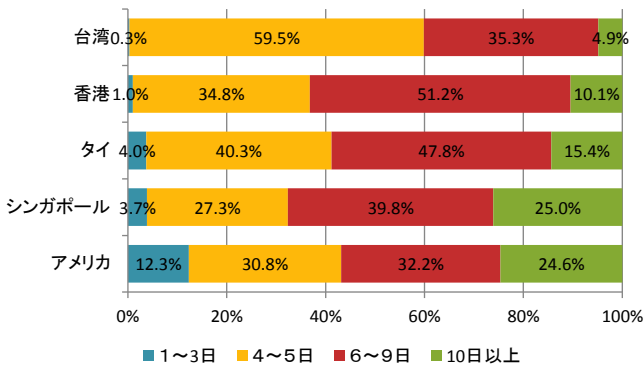
旅行形態



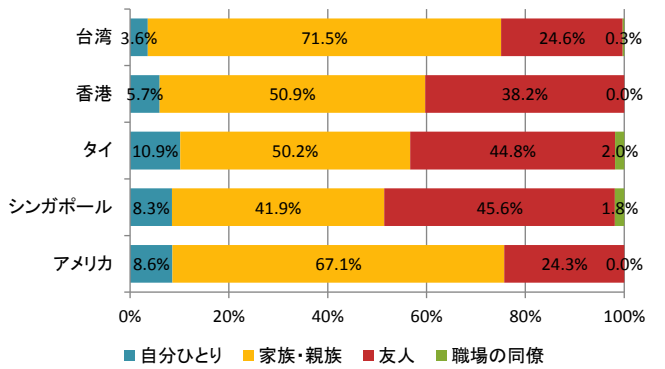
季節



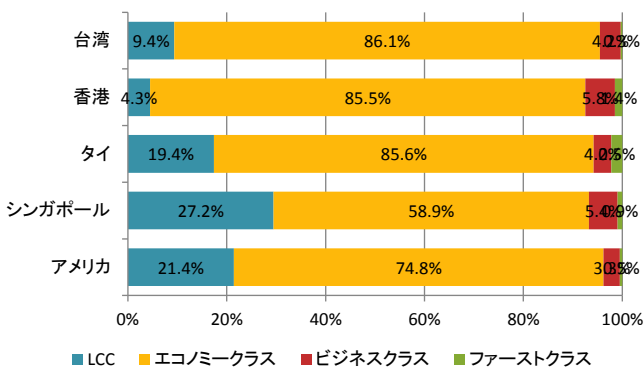
日数



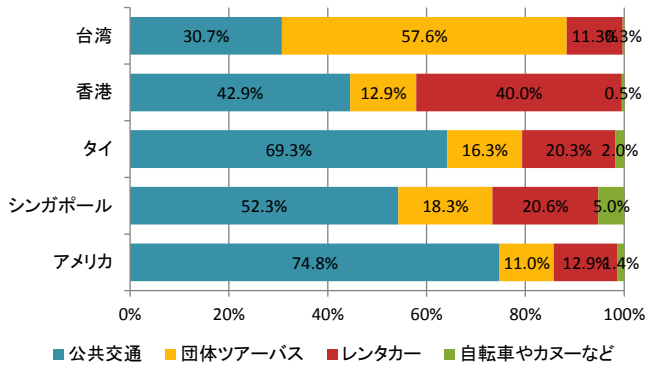
同行者



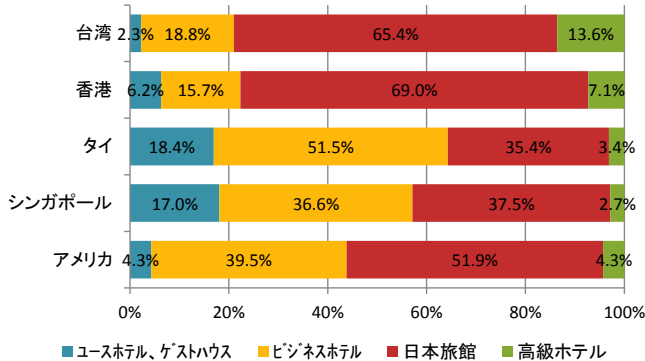
利用したい飛行機のクラス



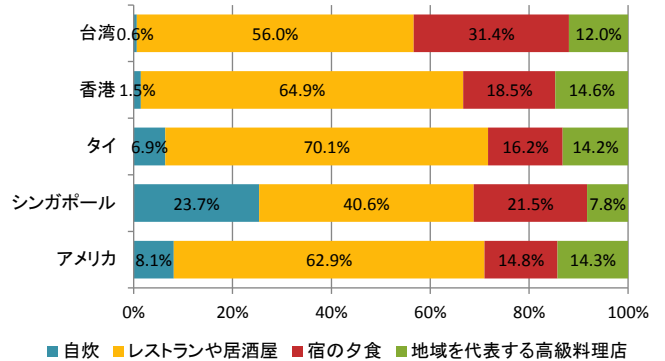
移動手段



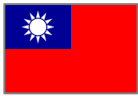




宿泊施設



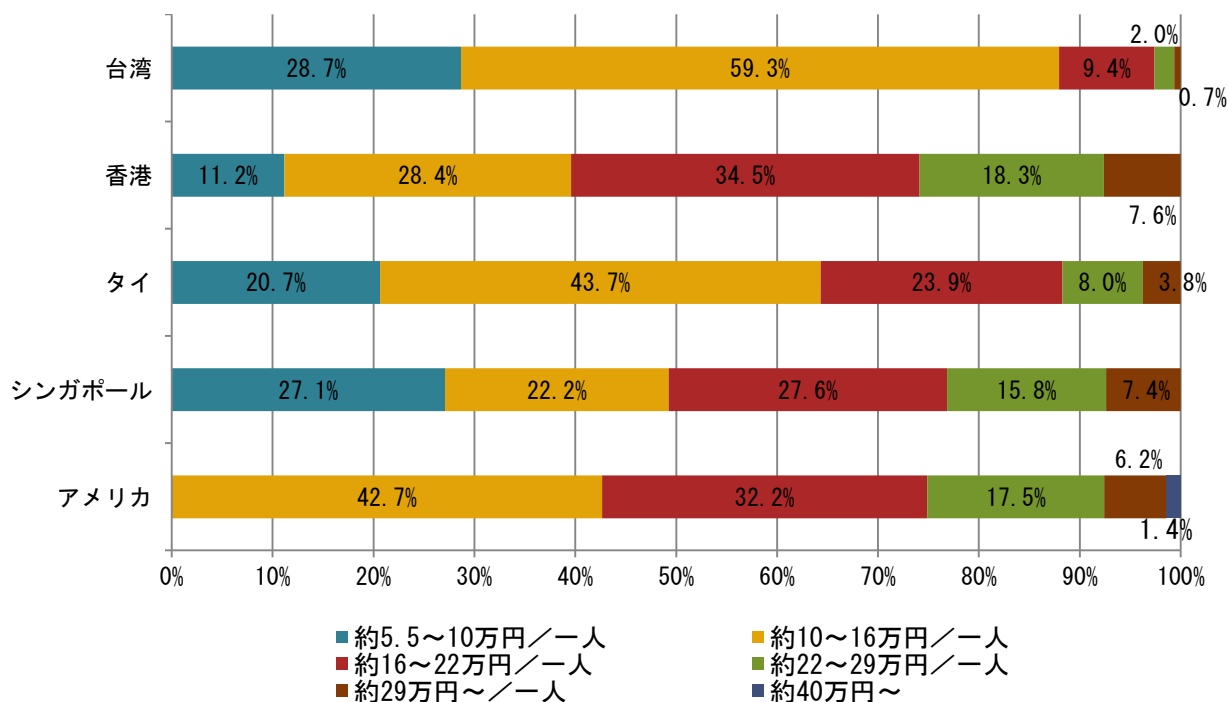
夕食








6. 各市場が希望する「きた北海道」の旅行価格

最重点市場	 台湾	<ul style="list-style-type: none"> ・10～16万円が6割近くみられる。それ以上の高価格帯のニーズは少ない。 ・希望する旅行プランも「団体ツアー」「4～5日」「エコノミークラス」「日本旅館」「夕食はレストラン居酒屋」といったパターンに収まっている傾向にある。
重点市場	 香港	<ul style="list-style-type: none"> ・ボリュームゾーンは16～22万円（35%）だが、22～29万（18%）、29万以上（8%）などのより高い旅行価格への受容性もみられている。 ・個別手配、レンタカー移動など、個のレベルでの旅行を楽しみつつ、「地域を代表する高級料理店で夕食」「高級ホテルに宿泊」など、ラグジュアリーなニーズもあるため、高価格帯の旅行も期待される。
	 タイ	<ul style="list-style-type: none"> ・10～16万円が44%、16～22万が24%。 ・「ビジネスホテル泊」「レストラン居酒屋夕食」というコストを抑えたニーズが高い一方、比較的長期での滞在日数を希望しているため、金額の幅がみられていると思われる。
その他市場	 シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> ・10万円未満が27%と多い一方、22万以上、29万以上の価格帯にもニーズがみられる。 ・シンガポールも短期から比較的長い期間の旅行を望んでおり、「LCC」「ユース泊」「自炊」といったスタイルを求めている、多様な旅行のあり方が期待される。
	 アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> ・ボリュームゾーンは10～16万円（43%）だが22万円以上も25%あり、高価格帯へのニーズもみられる。 ・季節も冬ではなく夏を希望し、10日以上ロングステイを望む一方、3日以内のわずかな期間での滞在希望もみられている。

希望する「きた北海道」の一人当たりの旅行価格（現地カスタマー向けアンケート調査結果）

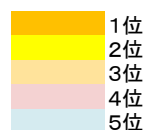


7. 北海道旅行検討時の情報入手方法

重点市場	 台湾	<ul style="list-style-type: none"> ・「旅行会社ホームページ」が73%と圧倒的に多い。 ・次いで「個人のブログ」が39%。 ・「日本政府観光局ホームページ」も36%と多い。
	 香港	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本政府観光局ホームページ」48%、「個人のブログ」44.3%、「旅行会社ガイドブック」40%が入手先の上位。 ・4番目が「旅行会社ホームページ」で33%。
	 タイ	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本政府観光局ホームページ」36%、「旅行会社ホームページ」29%、「口コミサイト」27%、「個人のブログ」25%が入手先の上位。 （情報入手先の数値自体が他地域に比べて低い）
その他市場	 シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本政府観光局ホームページ」39%、「口コミサイト」と「SNS」37%、「旅行会社ホームページ」と「自国の親戚・知人」が33%。 （比較的、パーソナルな情報を入手している傾向が強い）
	 アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> ・「旅行会社ホームページ」が57%、次いで「日本政府観光局ホームページ」と「口コミサイト」が51%。

北海道旅行を検討する際の旅行先の情報入手方法（現地カスタマー向けアンケート調査結果）

	台湾	香港	タイ	シンガポール	アメリカ
旅行会社ホームページ	73.2	33.0	28.8	33.3	56.6
日本政府観光局ホームページ	36.1	48.3	35.6	38.6	51.4
個人のブログ	38.7	44.3	25.2	27.5	28.3
旅行ガイドブック	28.1	40.4	20.7	25.6	34.9
口コミサイト(トリップアドバイザー等)	7.4	24.6	27.0	37.2	51.4
SNS(Facebook/Twitter/微信等)	28.7	19.7	16.2	37.2	33.5
宿泊施設ホームページ	12.9	18.2	16.2	31.9	32.1
自国の親戚・知人	25.2	19.7	7.7	33.3	23.1
旅行専門誌	25.2	26.1	14.9	9.2	18.4
テレビ番組	26.8	16.3	13.5	17.4	15.1
日本在住の親戚・知人	5.8	12.8	8.6	21.3	33.5
自治体や地方観光協会ホームページ	6.8	5.9	22.1	15.5	31.6
旅行会社パンフレット	16.8	14.3	14.0	13.0	22.6
動画サイト(YouTube/土豆網等)	5.8	9.4	14.9	14.0	28.8
日本政府観光局の案内所	11.3	15.3	8.1	9.2	22.6
宿泊予約サイト	3.9	8.9	9.0	20.8	15.6
航空会社ホームページ	8.7	10.3	10.4	13.0	15.1
旅行の展示会や見本市	15.8	4.4	14.9	10.6	7.1
その他インターネット	0.3	4.4	14.0	9.2	3.8
その他雑誌	2.3	5.4	2.7	9.2	10.4
新聞	8.4	6.9	1.4	8.2	4.7
その他	1.0	3.4	0.9	1.4	1.9
特になし	0.6	0.5	2.3	1.0	0.5



8. 各市場へのアプローチの課題とポイント
(現地カスタマー向けアンケート調査結果より)

<p>最重点市場</p>  <p>台湾</p>	<ul style="list-style-type: none"> リピーターが多い台湾においては、きた北海道ならではの体験観光をいかに造成するかが命題となると考える。 「旅行会社」の影響力が高いため、旅行会社との連携や、積極的な商品造成のスキームづくりも重要なポイント。 北海道内への入込では依然団体ツアーの多い台湾については、団体ツアーは当面の受入整備や観光資源開発のローンチにおいては有効と考えられ、団体旅行などの反応を見据え、FIT向けコンテンツ開発につなげて行くなどの施策も考えられる。
<p>重点市場</p>  <p>香港</p>	<ul style="list-style-type: none"> きた北海道旅行検討層の拡大、更なる需要創造に向けたプロモーションが重要。 高価格帯のニーズも高いため、FIT向けの体験コンテンツのバリエーションと、費用に対する満足度の向上が北海道人気をつくる上で重要。 産業遺産や工場、天体観測などへの関心も高く、学術的な背景を持つコンテンツ開発や発掘、これらを支える背景の整理なども観光造成のポイントの1つとなる。
 <p>タイ</p>	<ul style="list-style-type: none"> きた北海道旅行検討層が3割あるが、全体的に認知不足が大きな課題。積極的な認知拡大のためのプロモーションなどが重要となる。
<p>その他市場</p>  <p>シンガポール</p>	<ul style="list-style-type: none"> きた北海道旅行検討層が4割とこれからの更なる伸長が期待できる市場。来道体験者の満足度を高め、リピーターやロコミ波及につなげることが重要。 比較的安価な旅行費用のニーズが高いため、キャンプやコテージ、ユースホステルなどを活用した交流型の体験旅行開発の方向も考えられる。 マレー系の方々を対象としたムスリム対応。
 <p>アメリカ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今回の調査対象では、来道経験者・検討層とも他の国より比率が高く、今後も更なる拡大が期待できる。 観光へのニーズも、アジア圏からの観光客とは異なる傾向で、温泉や食より、より明確に、観光スポットや体験を目的志向で選択する傾向。よって、コンセプトやポイントを明確にした観光開発、ターゲットを絞り込んだプロモーションが有効と考える。 きた北海道全体として、インバウンドの受入経験が浅いため、サービスや言語など、きめ細かな対応や、案内サインやWi-Fiなどのインフラ整備も重要となる。

9. きた北海道エリア観光に関するSWOT分析

9-1 SWOT分析

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p>強み (Strength)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●インバウンドにはまだあまり知られていない穴場的存在 ・ 現状インバウンドは少なく異日常が楽しめる ・ インバウンドには知られていない地域・観光資源が多い ●移動時間が長いと旅情感を強く感じる ●北海道本来の魅力が体験できる場所 ・ 手つかずの自然や美しい景観 ・ 漁港、河川、森林、牧草地、離島等の変化に富んだ環境 ・ カヌー、(バックカントリー) スキー、トレッキング、バードウォッチングなど四季の自然体験コンテンツが充実 ・ きた北海道ならではの植生や動物 ・ ケイマフリ、オロロン鳥などのきた北海道ならではの野鳥 ●道内でも有数の「食」の宝庫 ・ 作付面積や漁獲量などで日本一の食材が多数 ・ 地域性のある特徴的な地元食材 ・ 日本酒、ワイン、地ビールなどの地元のお酒 ●交通量が少なく道路もわかりやすいエリア ・ 交通量や信号が少ないことから、サイクルツーリズムには最適 ・ レンタカーの運転もしやすい(冬期は除く) ●自然豊かな離島がある ・ 離島ならではの独自の体験が味わえる ●日本の最北端という地勢的な優位性 ・ 最北端を目指す、という旅行動機の作りやすさ ●日本文学のゆかり地などが人気 ・ 村上春樹、三浦綾子、井上靖など海外でも人気の作家 	<p>弱み (Weakness)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●観光地域としての知名度の低さ ・ 他の地域に比べても知名度が低い ・ 初訪問客として、重要観光地になりにくい ・ 情報発信が不足している ●超広域かつ自然環境の厳しいエリア ・ 超広域のため全体の合意形成が難しく、選択と集中が困難 ・ 自然観光資源が多く、季節や天候に左右される ●インバウンド受入れ体制の未整備 ・ インバウンドへの接遇や対応(多言語化)が十分に整っていない ・ ガイドなどの観光サービスが未整備 ●二次交通、宿泊施設の問題 ・ 二次交通が脆弱かつ、移動時間が長い ・ 高級感のある宿やサービスが少ない ・ 観光繁忙期等においては、宿泊容量が足りない ●冬期間の受入れの課題 ・ 冬の気候が厳しく、車の運転(レンタカー)は厳しい環境 ・ 冬期の受入環境が未整備(冬期・端境期のコンテンツ不足、ホテルの休館・フェリー等の減便等)
外部環境	<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道インバウンドの好調 ・ 新たな魅力を求める北海道インバウンドのリピーター増加 ・ SNSによるインバウンド間での情報拡散が期待できる 	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 季節変動の高い観光動態(夏多・冬少) ・ 道内競合地域の存在(道南・道東地域) ・ 国内競合地域の存在(本州地域) ・ 海外の競合地域(豪州、NZ等)の存在

9-2 SWOT分析を踏まえた考察

きた北海道エリアは「●インバウンド受入れ体制の未整備」や「●二次交通、宿泊施設の問題」から、大量な団体旅行の入込みについては、現状では難しい状況であり、FIT層を中心としたアプローチが有効と考えます。

一方で「●北海道本来の魅力が体験できる場所」であり、多くのきた北海道ならではの体験観光素材や景観を有します。また「●道内でも有数の「食」の宝庫」として豊かな食材も魅力的なエリアです。

また、きた北海道を訪れる個人旅行の外国人観光客は、旅行に「自国とは異なる環境での新たな体験」「スケールの大きな自然」「ドキドキするような興奮」を強く求める傾向がみられます。

きた北海道来訪外国人個人旅行観光客の観光動機



(訪日外国人旅行者アンケート調査結果)

<マーケティング戦略検討の方向性>

独自の自然体験や食資源などのコンテンツを活かした
きた北海道型体験観光が有効

北海道へのリピーターも増え、より自由度が高く、特別な体験を求めるFIT層に対し、きた北海道独自の自然体験や食資源を活かした旅行商品を開発。道内の体験観光先進エリアとしての成長を狙う。

10. 各市場の体験観光における嗜好性ときた北海道の観光資源

	【各市場の体験観光における嗜好性】	【きた北海道観光資源】
最重要市場  台湾	<ul style="list-style-type: none"> 北海道で体験したい 日本食（道産）、温泉、自然景勝地、四季体感（花、紅葉、雪） きた北海道で行きたい 豊富温泉、宗谷の海産物、日本海の夕陽、宗谷の乳製品 きた北海道で体験したい スキースノボ、伝統工芸文化体験 	<p>【温泉】</p> <ul style="list-style-type: none"> 天塩温泉／とままえ温泉／はぼろ温泉／稚内温泉／はまとんべつ温泉／礼文島温泉／利尻富士温泉／豊富温泉 <p>（道内他エリアの温泉と比べると、優位性を打ち出しにくい）</p> <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> サロベツ原生花園／宗谷岬（最北端・てっぺん）黄金岬（夕陽）／海鳥（オロロン鳥など）／島（利尻島・礼文島・天売島・焼尻島）／天塩川 <p>（日本の最北端という特徴や、特有の生態系・景観を有する）</p> <p>【アクティビティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> サイクリング（サロベツ原野）／カヌー（天塩川）／フィッシング（河川、海、湖）／星空観察／ハイキング（利尻、礼文）／ドライブ／バードウォッチング <p>（自然を活かしたアクティビティが楽しめる）</p> <p>【食】</p> <ul style="list-style-type: none"> タコしゃぶ／甘エビ／ホタテ／毛ガニ サフォーク（焼尻・士別）／宗谷黒牛／空知ワイン／国稀（日本酒）／羊乳ミルクソフトクリーム イチゴ、サクラambo（果物狩り） <p>（多品目の海産物や地域特有の希少肉、地酒を味わえる）</p>
重点市場  香港	<ul style="list-style-type: none"> 北海道で体験したい 日本食（道産）、温泉、四季体感（花、紅葉、雪）、スキースノボ、自然景勝地 きた北海道で行きたい 豊富温泉、宗谷の海産物、日本海の夕陽、ものづくり体験 きた北海道で体験したい スキースノボ、産業遺産工場見学 	
重点市場  タイ	<ul style="list-style-type: none"> 北海道で体験したい 日本食（道産）、自然景勝地、温泉、スキースノボ きた北海道で行きたい 宗谷の海産物、豊富温泉、日本海の夕陽 きた北海道で体験したい 果物狩り、スキースノボ、トレッキング・高山植物観賞 	
その他市場  シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> 北海道で体験したい 日本食（道産）、四季体感（花、紅葉、雪）、自然景勝地 きた北海道で行きたい 宗谷の海産物、豊富温泉、日本海の夕陽 きた北海道で体験したい トレッキング・高山植物観賞、スキースノボ、果物狩り 	
その他市場  アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> 北海道で体験したい 日本食（道産）、温泉、四季体感（花、紅葉、雪）、スキースノボ、自然景勝地 きた北海道で行きたい 豊富温泉、宗谷の海産物 きた北海道で体験したい スキースノボ、産業遺産工場見学、果物狩り、天体観測 	

（現地カスタマー向けアンケート調査結果）

11. マーケティング戦略骨子

地域ならではの体験・食・自然を活かした
「きた北海道型体験周遊観光」の確立

優位性の高い「食」「自然」に、きた北海道ならではの「体験コンテンツ」を組み合わせた周遊観光に適したきた北海道型の体験観光モデルを確立。

食コンテンツ

- ・作付、漁獲日本一の食材を使った料理
- ・地域性のある特徴的な地元食材
- ・日本酒、ワイン、地ビールなどの地元のお酒 等

自然コンテンツ

- ・離島（高山植物、鳥 等）
- ・宗谷丘陵
- ・日本海の夕日とオホーツク海の朝日
- ・名寄、初山別の星空
- ・サンピラー 等

体験コンテンツ

- ・サイクリング ・トレッキング、高山植物鑑賞
- ・カヌー、カヤック
- ・スキー&スノーボード
- ・バードウォッチング
- ・天体観測・味覚狩り
- ・ものづくり体験・歴史文化（アイヌ文化、産業遺構）等

レンタカーを活用した周遊／エコモビリティの活用

<<戦略ターゲット>>

- 最重点国・重点国の北海道旅行リピーター → さらに個性的な北海道の旅を望んでいる方
- 各体験コンテンツの嗜好性の高い富裕層、若年層 → 特定の目的をもって旅行をする方

<<3つの視点による主な戦略課題>>

①受入環境整備・交通アクセスの円滑化

- 脆弱な二次交通
- 質、量ともに不足している宿泊施設（特に冬期間には営業していない宿泊施設も多く見られる）

②滞在コンテンツの充実

- アウトドア体験などを推進していく上での外国語対応ガイドの不足
- きた北海道ならではの豊富な食材を、単に食材ではなく料理として魅力的に提供していくための工夫。
- 各エリアにおける体験観光メニューの開発と、満足度向上のための磨き上げ。
- 周遊観光として確立するための各地の体験観光メニューの連携、窓口の整備。

③情報発信・プロモーション

- きた北海道の地名や観光素材などの知名度の低さ。
- きた北海道エリア内で、情報発信における地域格差が大きい（海外メディアでの扱われる頻度など）。周遊観光を定着させていく上では課題。
- ターゲットを絞りこんだ効率的なプロモーション設計。

<<重点検討テーマ>>

- ① バイウェイ・ドライブ観光の推進
- ② エコ・モビリティ観光の推進
- ③ ネイチャーアドベンチャー観光の磨き上げ
- ④ 体験型フードツーリズムの磨き上げ
- ⑤ 冬期・端境期観光の活性化

12. プロモーションに関する考察

ポイント① ターゲットへの到達効率を重視したターゲットセグメント型のプロモーション

きた北海道の戦略ターゲットは、「最重点市場・重点市場の北海道旅行リピーター」「各体験コンテンツの嗜好性の高い富裕層、若年層」などのFIT層。そのため、団体旅行ターゲット向けのようなマス型のプロモーションでは到達効率が低い。そのため、よりターゲットへの到達効率を意識したセグメント型のプロモーションが有効と考える。

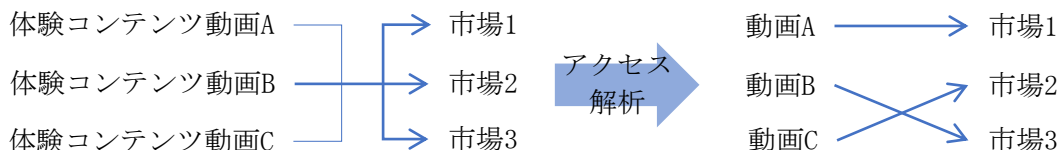
ポイント② ブランディング、セールスプロモーションの両立

きた北海道の最大の課題は「知名度の低さ」。しかし一方で固定的なイメージがまだついていないという利点もある。同エリアのターゲットは、なんらかの明確な目的をもって来訪する旅行者を想定している。そのため、そのエリアが単に知られているだけではなく、各体験コンテンツの愛好者や北海道旅行を何度も経験しているリピーターに対してのブランディングが重要。旅行商品の販促プロモーションに終始せず、地域ブランディングの意識を持ちプロモーションをすることが大きなポイントと考える。

対策の方向性① デジタルマーケティングの有効活用

きた北海道の広域エリアの情報を、5つの対象市場のFIT層へプロモーションをしていくことが命題の本事業においては、いかにターゲットへ到達効率を高めていくかという点と、幅広いきた北海道の観光素材の中から、いかにそれぞれのターゲットの嗜好性にあった適切なコンテンツを届けるか、という2点が重要。その双方を満たしていくにはデジタルマーケティングの有効活用がポイントとなると考える。検索サイトやSNSを活用し、属性によりそのターゲットを選定し、そのターゲットに適したコンテンツを配信すること、その反応を踏まえてターゲット×コンテンツの最適化を図るPDCAを実践していくことにより、プロモーション効率を高めるだけではなく、それらを通じたマーケティングデータの蓄積も可能とし、事業全体への幅広い活用も期待できる。

例) コンテンツのスプリットランによる最適化



内容の異なる体験観光コンテンツの動画を各市場（またはターゲット）に対し平行して配信。その再生状況や属性分析、遷移動向などのアクセス分析を行い、市場の嗜好性を把握。コンテンツと市場の組み合わせの最適化を図っていく。

対策の方向性② 旅行者目線のプロモーションコンテンツ制作

WEBやSNSが旅行検討者の情報源として大きなポジションを占める中、ブランディングの上で重要なことは、その情報が自分にとって有効であるかということ。方向性①で示した接触ターゲットの最適化をする一方でコンテンツについてもそのターゲットにとって魅力的である必要がある。膨大な情報が流通するWEBにおいては、閲覧者が自分に関係のない情報については瞬時に判断を下すため、従来の観光コンテンツ以上に旅行者目線（閲覧者目線）でのコンテンツの制作が求められる。具体的には「そこに何かあるか、ではなくそこで何かできるか」という視点が重要。風景や施設情報が中心ではなく、実際にそこにいくとどんな楽しいことが体験できるのか、という点を重視したコンテンツ制作が求められる。さらに、ブランディング視点においては、その情報を誰が発信しているかということも合わせて重要である。特にカヌー、サイクリング、スキーなどの特定の愛好者が多いジャンルについては、そのジャンルにおいて発信力のある著名人（競技者、著名なガイドなど）を起用して情報発信することで、アーリーアダプター（コアファン層）を中心にバイラル効果を発揮し、さらに著名人が推薦することでエリアのプレゼンス向上にもつながる。

13. 各重点テーマにおける施策案

重点テーマ① バイウェイ・ドライブ観光の推進

二次交通・宿泊施設が脆弱なきた北海道においては、団体ツアーでのインバウンドの受入れは難しく、夏期における周遊にはレンタカー・レンタルバイクが適しています。バイウェイに点在する「体験」「食」「自然」コンテンツを繋ぎ、きた北海道周遊型ドライブ観光の確立をめざします。

● 3つの事業視点における検討課題と対策例

①受入環境整備・交通アクセスの円滑化

- インバウンドドライブ観光の市場把握
 - 道の駅やレンタカーカウンターなどの拠点でのアンケート調査
- バイクやキャンピングカー等の新たなドライブ観光の市場把握
- ドライブ観光拠点の検討・整備
 - 道の駅や観光案内所などの既存施設から選定し、ドライブ観光受入れのための機能について検討。

②滞在コンテンツの充実

- モデルコースの検討と磨き上げ
 - ・旅行会社等の招請
 - 海外の旅行会社等の担当者を招聘し、地域と検討したモデルコースを試走・体験してもらい課題や商品化の可能性について検証。コンテンツの磨き上げを図る。
 - ・オートキャンプモニターツアーの実施
 - 対象国からレンタルキャンピングカーによるオートキャンプツアーモニターを募集。課題や商品化の可能性について検証。

③情報発信・プロモーション

- ・プロモーションツール（動画、WEBコンテンツ）の作成
 - グリーンシーズンのバイウェイ・ドライブの魅力を集めた動画を作成。WEBプロモーションに活用していく他、旅行博などのイベントでも上映。公開モデルコースやドライブの注意点などを掲載したWEBコンテンツおよびパンフレットなどを作成し、パンフレットは旅行会社やレンタカー会社を通して配布。また、本ツールはBtoC向けのみならず、モデルコースの旅行商品化へ向けて旅行会社に配布するなど、BtoB向けセールスツールとしても積極的に活用する。

● 5カ年ロードマップ

重点テーマ	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
① バイウェイ・ドライブ観光の推進		<p>①受入環境整備・交通アクセスの円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インバウンドドライブ観光の市場把握 ○バイクやキャンピングカー等の新たなドライブ観光の市場把握 				
		○ドライブ観光拠点の検討・整備	→			
		②滞在コンテンツの充実				
		○モデルコースの検討と磨き上げ	→			
		③情報発信・プロモーション				
		○BtoC/BtoB向けプロモーションツールの作成	○WEBプロモーション、各種メディア、イベントプロモーション等の実践			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 各国向けプロモーションプランの精査 </div>				

重点テーマ② エコ・モビリティ観光の推進

ハイキング、サイクリング、マウンテンバイク、カヌーなどのスポーツアクティビティと公共交通機関を自由に組み合わせて楽しむ、きた北海道型エコ・モビリティ観光の確立。2次交通の弱さを補完し、移動そのものを観光資源化。

● 3つの事業視点における検討課題と対策例

①受入環境整備・交通アクセスの円滑化

- 自転車・カヌー等の広域利用システムに関する調査
 - 各自治体単位などで実施している自転車やカヌーのレンタル事業について、同一箇所への返却ではなく、乗り捨てできるように広域での利用システムについて検討。
- 域内手ぶら観光の社会実験
 - 宅配事業者、バス事業者、JRなどと連携し、手荷物の即日配達や駅留め移送などの社会実験を実施。

②滞在コンテンツの充実

- モデルコースの検討と磨き上げ
 - ・モニターツアーの実施
 - 対象国からモニターを募集してモデルツアーを実施。課題や商品化の可能性について検証。

③情報発信・プロモーション

- コンテンツプロモーション
 - ・プロモーションツール（ガイドブック）の作成
 - モデルコースや各地でのレンタル事情などを記載したガイドブックを作成。本ツールはBtoC向けのみならず、モデルコースの旅行商品化へ向けて旅行会社に配布するなど、BtoB向けセールスツールとしても積極的に活用する。
 - ・海外アウトドアショーでのプロモーション
 - 「台湾アウトドアショー」「アドベンチャーツアーワールドサミット」等のアウトドアやサイクリングのイベントへの出展プロモーション。
- コンテンツのブランド化プロモーション
 - ・愛好者向けバイラルムービーの作成・発信
 - サイクリング、カヌー等の特定の分野における世界的な著名人（競技者や著名ガイド等）を招致したバイラルムービーの作成。本人のSNSなどを通し、愛好者に向け発信。

● 5カ年ロードマップ

重点テーマ	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
② エコ・モビリティ観光の推進		①受入環境整備・交通アクセスの円滑化				
		○自転車・カヌー等の広域利用システムに関する調査	社会実験・整備	サービスイン		
		○域内手ぶら観光の社会実験	整備	サービスイン		
		②滞在コンテンツの充実				
		○モデルコースの検討と磨き上げ				
		③情報発信・プロモーション				
		○BtoC/BtoB向けプロモーションツールの作成	○WEBプロモーション、各種メディアイベントプロモーション等の実践			
			各国向けプロモーションプランの精査			
		○コンテンツのブランド化プロモーション				

重点テーマ③ ネイチャーアドベンチャー観光の磨き上げ

トレッキング、カヌー、バードウォッチング、フィッシング、キャンプなどのきた北海道ならではの豊富な自然観光素材を、体験観光の目玉コンテンツとして打ち出すための磨き上げ。

● 3つの事業視点における検討課題と対策例

①受入環境整備・交通アクセスの円滑化

- 対象各国のアドベンチャー観光マーケットの把握
- アドベンチャー観光拠点の検討
 - 道の駅や観光案内所などの既存施設から選定し、アドベンチャー観光受入れのための窓口機能について検討。

②滞在コンテンツの充実

- 外国人対応可能なガイド育成
 - ・各地ガイドの外国語対応状況の把握
 - ・ガイドの外国語受入れへ向けた人材育成、ネットワーク化
- コンテンツの掘り起し・磨き上げ
 - ・モニターツアーの実施
 - 各地のアドベンチャーコンテンツの掘り起し
 - 対象国からモニターを募集してモデルツアーを実施。課題や商品化の可能性について検証。

③情報発信・プロモーション

- コンテンツのブランド化プロモーション
 - ・愛好者向けバイラルムービーの作成・発信
 - フィッシング、カヌー等の特定の分野における世界的な著名人（競技者や著名ガイド等）を招致したバイラルムービーの作成。本人のSNSなどを通し、愛好者に向け発信。
 - ・世界的アウトドアメーカー等とのタイアッププロモーション
- コンテンツプロモーション
 - ・プロモーションツール（WEBサイト、ガイドブック）の作成
 - 各コンテンツの概要、参加条件、ガイド情報などをまとめたWEBサイトガイドブックを作成。本ツールはBtoC向けのみならず、モデルコースの旅行商品化へ向けて旅行会社に配布するなど、BtoB向けセールスツールとしても積極的に活用する。
 - ・海外アウトドアショーでのプロモーション
 - 「台湾アウトドアショー」「アドベンチャーツアーワールドサミット」等のアウトドアイベントへの出展。

● 5カ年ロードマップ

重点テーマ	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
③ ネイチャーアドベンチャー観光の磨き上げ		①受入環境整備・交通アクセスの円滑化			
		○アドベンチャー観光マーケットの把握			
		○アドベンチャー観光拠点の検討	整備		
		○外国人対応可能なガイド育成			
		②滞在コンテンツの充実			
		○コンテンツの掘り起し	○コンテンツの磨き上げ		
		③情報発信・プロモーション			
			○BtoC/BtoB向けプロモーションツールの作成	○各種メディア、WEBプロモーション、イベントプロモーション等の実践	
			各国向けプロモーションプランの精査		
			○コンテンツのブランド化プロモーション		

重点テーマ④ 体験型フードツーリズムの磨き上げ

作付や漁獲量などで数多くの日本一食材を有するきた北海道。料理を楽しむだけでなく、その生産や調理・加工などの「食材」に関するプラス体験を加えた“生産地”ならではの「体験型フードツーリズム」の確立へ向けた磨き上げ。

● 3つの事業視点における検討課題と対策例

①受入環境整備・交通アクセスの円滑化

- 飲食店・市場などの受入れ状況の把握と外国語対応
 - ・飲食店メニューの外語対応
 - ・市場、生産地、生産者（農協・漁協）の観光客受け入れ環境の把握

②滞在コンテンツの充実

- コンテンツの掘り起し
 - 各地の食体験コンテンツの掘り起し
- モデルコースの検討
- モデルコースの磨き上げ
 - ・旅行会社等の招請
 - 海外の旅行会社等の担当者を招聘し、地域と検討したモデルコースを試走・体験してもらい課題や商品化の可能性について検証。コンテンツの磨き上げを図る。

③情報発信・プロモーション

- ・プロモーションツール（動画、パンフレット）の作成
 - 食体験に特化した動画を作成し、WEBプロモーション活用。旅行博などのイベントでの上映やWEB上で公開。モデルコースや各エリアでの食体験をまとめたパンフレットを作成し、旅行会社やレンタカー会社を通して配布。また、本ツールはBtoC向けのみならず、モデルコースの旅行商品化へ向けて旅行会社に配布する等、BtoB向けセールスツールとしても積極的に活用する。

● 5カ年ロードマップ

重点テーマ	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
④ 体験型フードツーリズムの磨き上げ		①受入環境整備・交通アクセスの円滑化 ○飲食店・市場・生産者などの受入れ状況の把握と外国語対応化			
		②滞在コンテンツの充実 ○コンテンツの掘り起し			
		○モデルコースの検討	○コンテンツの磨き上げ		
		③情報発信・プロモーション		○BtoC/BtoB向けプロモーションツールの作成	○各種メディア、WEBプロモーション、イベントプロモーション等の実践
				各国向けプロモーションプランの精査	

重点テーマ⑤ 冬期・端境期観光の活性化

きた北海道の観光は夏期に集中しており、冬期・端境期は飛行機やフェリーなども減便となり、休業となるホテル・旅館も見られる状況。観光の通年化は、きた北海道の大きな課題。スキー・スノーボード、スノートレッキング、カーリング、わかさぎ釣り、スノートイなど冬期ならではのネイチャーアドベンチャーコンテンツを中心に掘り起し、整理、磨き上げを実施。

● 3つの事業視点における検討課題と対策例

①受入環境整備・交通アクセスの円滑化

- 冬期・端境期観光ニーズの把握
- 冬期・端境期の各地域の受入れ状況の把握

②滞在コンテンツの充実

- 外国人対応可能なガイド育成
 - ・各地ガイドの外国語対応状況の把握
 - ・ガイドの外国語対応へ向けた人材育成
- コンテンツの掘り起し
 - 冬期・端境期の滞在コンテンツとなりうる地域資源について掘り起し、整理
- 冬期・端境期向けモデルコースの検討
- モデルコースの磨き上げ
 - ・旅行会社等の招請
 - 海外の旅行会社等の担当者を招聘し、地域と検討したモデルコースを試走・体験してもらい課題や商品化の可能性について検証。コンテンツの磨き上げを図る。

③情報発信・プロモーション

- コンテンツのブランド化プロモーション
 - ・愛好者向けバイラルムービーの作成・発信
 - スキー&スノーボードの世界的な著名人（競技者や著名ガイド等）を招致したバイラルムービーの作成。本人のSNSなどを通し、愛好者に向け発信。
 - ・世界的マテリアルメーカー等とのタイアッププロモーション
- コンテンツプロモーション
 - ・プロモーションツール（WEBサイト、ガイドブック）の作成
 - モデルコースや各コンテンツの概要、参加条件、ガイド情報などをまとめたWEBサイト、ガイドブックを作成。本ツールはBtoC向けのみならず、モデルコースの旅行商品化へ向けて旅行会社に配布するなど、BtoB向けセールスツールとしても積極的に活用する。
 - ・海外アウトドアショーでのプロモーション

● 5カ年ロードマップ

重点テーマ	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
⑤ 冬期・端境期観光の活性化		①受入環境整備・交通アクセスの円滑化 ○冬期・端境期観光ニーズの把握 ○各地域の受入れ状況の把握 ○外国人対応可能なガイド育成			
		②滞在コンテンツの充実 ○コンテンツの掘り起し ○モデルコースの検討 ○コンテンツの磨き上げ			
		③情報発信・プロモーション ○BtoC/BtoB向けプロモーションツールの作成 ○各種メディア、WEBプロモーション、イベントプロモーション等の実践 各国向けプロモーションプランの精査 ○コンテンツのブランド化プロモーション			

第7章

モデルコースの提案

1. モデルコースの設定

1-1 概要

道北における主要拠点地区を意識したうえで、外国人観光客が集中する道央圏からいかに道北に向かわせるかを意識して設定している。

世界に誇れる北海道の食や、離島をはじめとする豊かな自然やその中で得られる各種体験など、道北には旅の目的に応じ、まだ知られていない様々な観光資源が存在する。

夏期と冬期の楽しみ方が全く異なる「きた北海道」。夏と冬の魅力に加え、「きた北海道」でしか出来ない離島観光。この3つのテーマによりモデルコースを設定し、旅行者が目的に応じ自ら様々な選択が行えるよう、コースを設定した。

1-2 モデルの名称

- The Top of Japan - 夏
- The Top of Japan - 冬
- The Top of Japan - 離島めぐり

1-3 モデルコースの設定

モデルコースについては、最重点市場、重点市場、その他市場からの入込状況や旅行形態を把握し、外国人旅行者がきた北海道で利用すると見込まれる交通機関（鉄道、レンタカー等）を想定した内容とし、食などの当該地域で特徴のある観光資源を組み込み、策定した。

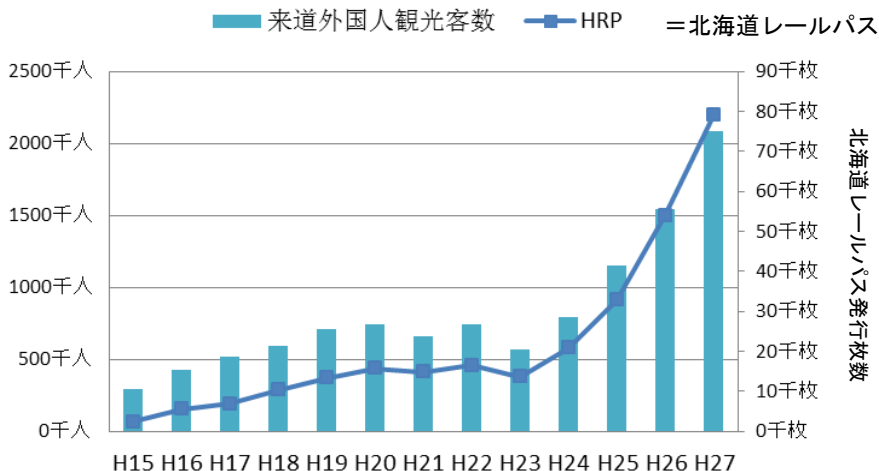
また、策定にあたっては、旅行会社関係者、JNTO、外国人（道内及び最重点市場、重点市場、その他市場に在住）、観光庁の専門家派遣事業の有識者からの様々な意見を参考にした。

尚、想定する交通機関における訪日外国人旅行者の利用状況は次のとおりとなっている。

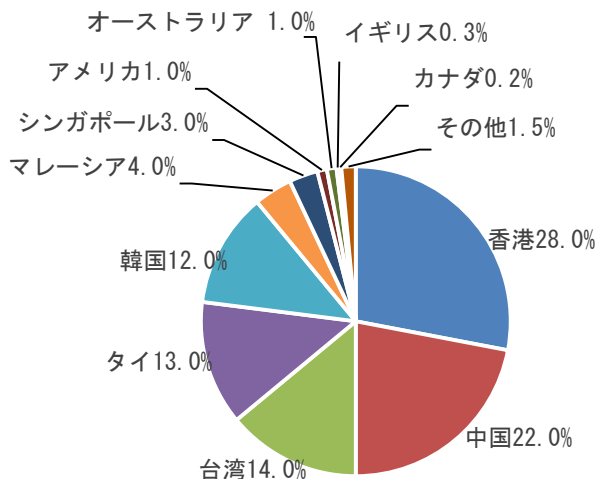
(1) JR北海道における「北海道レールパス」の販売実績

平成27年度販売実績は過去最高の7万9千枚、対前年度比147%。香港からの旅行者が平成26年度は第2位23%のシェアだったが、平成27年度は増加し28%で最も多いシェアとなった。

成15年度から27年度までの北海道レールパス販売実績の推移



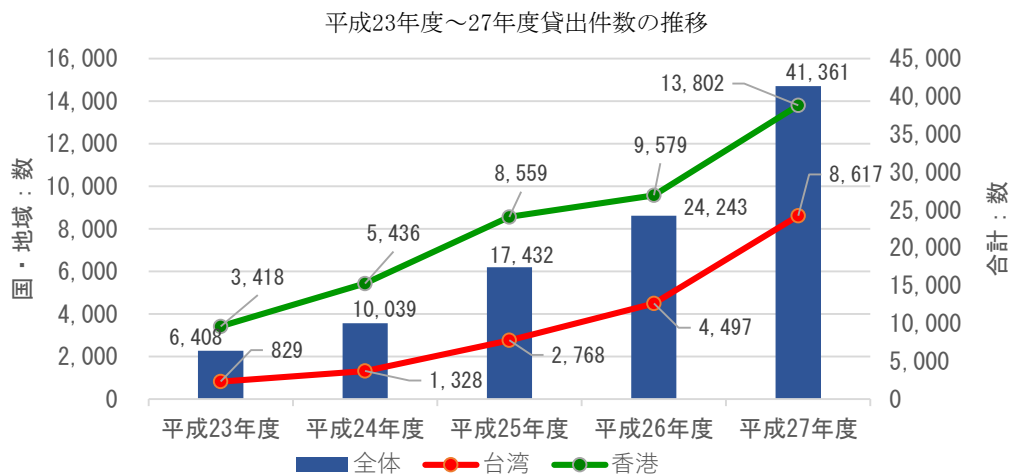
平成27年度北海道レールパス販売実績 国・地域別シェア



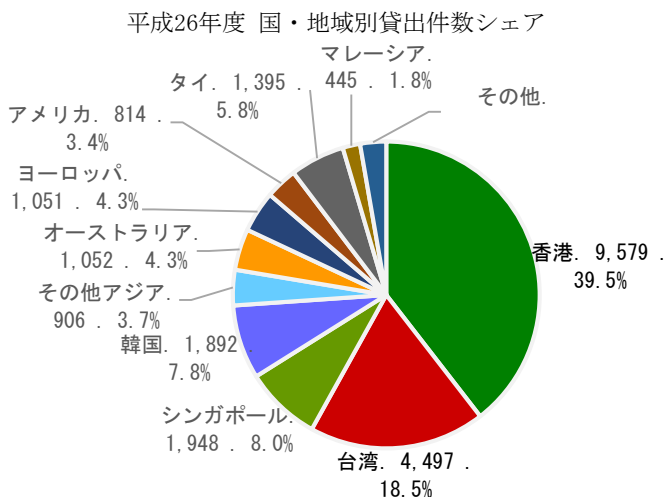
出典：北海道旅客鉄道株式会社調べ

(2) 北海道における外国人旅行者へのレンタカー貸出件数

二次交通の脆弱なきた北海道で主要な交通手段となるレンタカーは、道内における外国人旅行者の平成27年度の利用状況が平成23年度の6倍に急増しているため、レンタカーを利用するモデルコースは重要と考える。



出典：北海道地区レンタカー協会連合会のデータより



出典：北海道地区レンタカー協会連合会のデータより

(3) 地元で堪能できるきた北海道の日本一の食、生産量や水揚げ量などが日本一の食材

日本一の漁獲量を誇る日本海の海鮮食材、乳製品など道北は食の宝庫である。また、南空知は、地元農家はその土地の気候風土を活かしてつくるワインの産地として注目を浴びており、その魅力に触れることができる。

<道北に存在する日本一の食材をまるごと贅沢に堪能>

- ・士別市 日本一羊の種類が多い施設「世界のめん羊館」(サフォーク種生産地)
- ・名寄市 もち米作付面積日本一
- ・和寒町 かぼちゃ生産量日本一
- ・羽幌町 甘エビ漁獲量日本一
- ・留萌市 かずのご加工品生産量日本一
- ・増毛町 ボタンエビ漁獲量日本一
- ・稚内市 みずだこ水揚げ量日本一
- ・枝幸町 毛ガニ漁獲量日本一
- ・猿払村 天然ホタテ漁獲量日本一
- ・幌加内町 そば畑面積日本一

(生産量、漁獲量、水揚げ量は市町村ごとに取りまとめ集計したもの)

ボタンエビの寿司(増毛町)



漁獲量日本一のブランド食材

ホタテの浜焼き(猿払町)



水揚げ量日本一の天然ホタテを浜焼きで

毛ガニの浜ゆで(枝幸町)



水揚げ量日本一の絶品毛ガニの浜ゆで

ソフト大福(名寄市)



作付面積日本一のもち米で作った大福

甘エビ丼(羽幌町)



日本一の水揚げ量を誇る甘エビをのせた丼

タコしゃぶ(稚内市)



水揚げ量日本一のみずだこを使ったタコしゃぶ

1日目

札幌

◆大通公園・道庁赤レンガ庁舎・時計台/2.0h ◆羊ヶ丘展望台(札幌駅からレンタカーで30min)/1.0h

2日目

増毛

◆フルーツ狩り体験/1.0h ◆歴史建造物群まち歩き(国稀酒造 他)/2.0h ◆留萌まち歩き(黄金岬、お勝手屋跡、田中青果留萌本店【漬物の名店】など)/2.0h

3日目

留萌

◆オトノルイ風車群/30min ◆旧花田家番屋/30min ◆旧花田家番屋/30min ◆オトノルイ風車群/車窓 ◆豊富 ◆サロベツ原生花園/1.0h ◆豊富温泉

稚内

◆稚内公園/30min ◆シヤップ岬(寒流水族館、青少年科学館)/40min ◆旧瀬戸亭/30min

◎オプション：絶景を楽しむサイクリングプラン

稚内 30km 宗谷岬 (1.5h) ◆宗谷岬 (30min) ◆宗谷丘陵/40min ◆北海道命名の地・砂澤ビッキ記念館/1.0h ◆美深

◎オプション：カヌーとサイクリングのエコモビリティプラン

名寄 10km 智恵文沼 (40min) ◆智恵文沼 ◆道の駅ひふか/カヌーポート ◆天塩川カヌー/3.0h ◆旭川

名寄 10km 智恵文沼 (40min) ◆道の駅ひふか/カヌーポート ◆天塩川カヌー/3.0h ◆旭川

4日目

稚内

◆宗谷岬/40min ◆宗谷丘陵/40min ◆北海道命名の地・砂澤ビッキ記念館/1.0h ◆美深

音威子府

◆音威子府 ◆オホーツクミュージアムえさし/30min ◆松山温泉/1.0h

◎オプション：カヌーとサイクリングのエコモビリティプラン

名寄 10km 智恵文沼 (40min) ◆智恵文沼 ◆道の駅ひふか/カヌーポート ◆天塩川カヌー/3.0h ◆旭川

5日目

名寄

◆ひまわり畑/1.0h ◆道の駅ちち米の里☆なよろ(シフト大福)/30min ◆朱鞘内湖フィッシング(名寄駅より1.0h)/3.0h ◆羊と雲の丘/1.0h

和寒

◆かまぼちの王国(かまぼちスイーツ)/30min ◆塩狩峠記念館/40min ◆土別 ◆和寒 ◆旭川

◎オプション：空知ワイナリーめぐり(タクシブラン)50km/4.0h

名寄 10km 智恵文沼 (40min) ◆智恵文沼 ◆道の駅ひふか/カヌーポート ◆天塩川カヌー/3.0h ◆旭川

6日目

旭川

◆旭山動物園(旭川駅より30min)/2.0h ◆上野ファーム(旭川駅より30min)/1.5h ◆菜の花(見頃5月中旬～下旬)/2.0h ◆グライダー体験/1.0h ◆カヌー体験/1.0h ◆観光サイクリング/1.0h ◆砂川スイートロード

滝川

◆滝川 ◆砂川 ◆岩見沢

◎オプション：空知ワイナリーめぐり(タクシブラン)50km/4.0h

名寄 10km 智恵文沼 (40min) ◆智恵文沼 ◆道の駅ひふか/カヌーポート ◆天塩川カヌー/3.0h ◆旭川

7日目

岩見沢

◆三井アウトレットパーク札幌北広島(ショッピング)/2.0h ◆くるとの杜(農業体験)/2.0h ◆千歳 ◆千歳 ◆新千歳空港

北広島

◆くるとの杜(農業体験)/2.0h ◆千歳 ◆千歳 ◆新千歳空港

国稀酒造(増毛町)

最北の造り酒屋

砂澤ビッキ記念館(音威子府村)

アイヌの面を引K 現代彫刻家【砂澤ビッキ】

サイクリング

雄大な自然の中で楽しめるサイクリング

名寄

5、6月は旬のアスパラ料理がオススメ

天塩川カヌー

名寄市から河口までの最長 大抵160kmを楽しめる

空知ワイナリー(滝川町)

国内有数のぶどう畑を有する空知(中央)の気候や風土を生かした個性豊かなワイナリーが数棟

飛行機 レンタカー タクシー

サイクリング

宿泊地

港町ならではの新鮮な鮭を、増毛の地酒「国稀」とともにお楽しみ下さい

名物タココシャぶきをお楽しみ下さい

港町ならではの新鮮な鮭を、増毛の地酒「国稀」とともにお楽しみ下さい

名物タココシャぶきをお楽しみ下さい

港町ならではの新鮮な鮭を、増毛の地酒「国稀」とともにお楽しみ下さい

名物タココシャぶきをお楽しみ下さい

港町ならではの新鮮な鮭を、増毛の地酒「国稀」とともにお楽しみ下さい

名物タココシャぶきをお楽しみ下さい

港町ならではの新鮮な鮭を、増毛の地酒「国稀」とともにお楽しみ下さい

名物タココシャぶきをお楽しみ下さい

港町ならではの新鮮な鮭を、増毛の地酒「国稀」とともにお楽しみ下さい

名物タココシャぶきをお楽しみ下さい

-198-

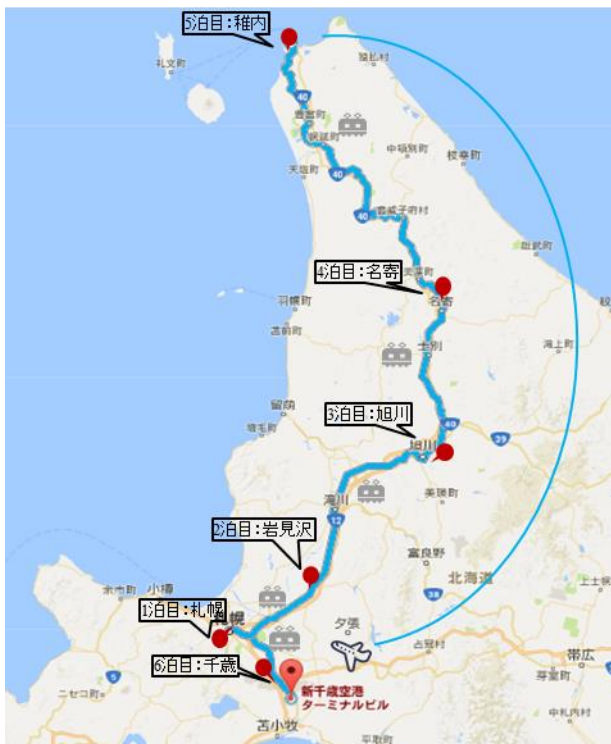
(2) The Top of Japan - 冬

【コンセプト】

きた北海道の冬。スノーアクティビティと日本一の食を巡る列車の旅。

「インバウンド受入れ体制の未整備」や「二次交通、宿泊施設の問題」から、大量な団体旅行の入込みは難しいため、FIT層を中心としたアプローチが有効。（公社）北海道観光振興機構の調査によると、インバウンドの北海道の食に対する期待度は高い。きた北海道ならではの雪遊び体験等の冬のアクティビティ・日本一の食材を堪能できる食を活かした「きた北海道型FIT周遊観光モデル」の確立をめざす。冬季はレンタカーでの長距離移動が困難なため、列車などでの移動を推奨。

旅程ルート



スキー・スノーボード
(夕張市)



世界でも有数の
パウダースノーを堪能

サンピラー観賞
(名寄市)



厳冬期の
ダイヤモンドダストに
太陽光が当たった自然現象

旭山動物園
ペンギンパレード
(旭川市)



人気の高い
のアトラクション

カーリング体験
(名寄市)



初心者でも気軽に体験可能

(3) The Top of Japan — 離島めぐり

【コンセプト】

きた北海道の離島めぐり。花と野鳥の楽園、絶景の島々をめぐる旅。

「インバウンド受入れ体制の未整備」や「二次交通、宿泊施設の問題」から、大量な団体旅行の入込みは難しいため、FIT層を中心としたアプローチが有効。最北の百名山・利尻山がシンボルの利尻島、美しい花の浮島として知られる礼文島、オロロン鳥やウトウの繁殖地として有名な天売島、サフォーク羊がのんびりと放牧されている焼尻島。独自の植生や野鳥が見られるきた北海道の4島をめぐる旅。フェリーとレンタカーでの周遊を推奨。

旅程ルート



利尻島
(利尻町、利尻富町)



秀峰「利尻山」を有する
絶景の島

礼文島
(礼文町)



多くの高山植物が
生息する花の浮島

天売島
(羽幌町)



ウトウの世界一の
繁殖地

焼尻島
(羽幌町)



高級ラム肉
サフォーク種の産地

ひめまほたんらんどう
姫沼探勝路
(利尻富士町)



秀峰「利尻山」を望む
トレッキング

利尻

レブニアツモリソウ



利尻島の固有種
れびん

オオワシ



天然記念物

エゾカンゾウ



本州では、「ニッコウキスゲ」と呼ばれる

ケイマフリ



和名は「赤い足」を意味する
アイヌ語



1日目

利尻島

- ◆ 姫沼・オタダマリ沼・仙法志御崎公園(定期観光バスあり)/2.5h
- ◆ 姫沼探勝路トレッキング/3.0h ◆ 利尻山登山/8.0h ◆ 釣り、シーカヤックなどアウトドア体験 など



2日目

利尻島

- ◆ 赤岩・海鳥観察舎・観音岬展望台/3.0h
- ◆ 桃台・旭台・澄海岬・スコトン岬・北のカナリアパーク(定期観光バスあり)/3.0h
- ◆ レブニアツモリソウ群生地(開花時期5月下旬~6月上旬・香深港(かすみ)よりレンタカーで30min)/30min
- ◆ ウニむぎ体験センター(香深港よりレンタカーで15min)/30min ◆ トイレイルコース・桃岩~知床コース/3.0h



3日目

稚内

- ◆ 宗谷岬(稚内駅よりレンタカーで40min)/40min ◆ 稚内公園/30min ◆ ノジヤップ岬/30min
- ◆ 宗谷丘陵フットバス(稚内駅よりレンタカーで40min)/2.0h~4.0h



4日目

天売島

- ◆ 赤岩・海鳥観察舎・観音岬展望台/3.0h
- (島内観光バスツアーあり、レンタサイクル、レンタカー、レンタルバイク など)



5日目

焼尻島

- ◆ プレサレ焼尻 サフォークラム肉・オンコの荘・ウグイス谷・鷹の集園地/3.0h
- (島内観光ハイヤー、レンタサイクル など)



6日目

留萌

飛行機 フェリー
レンタカー 宿泊地
路線バス

1-5 有識者の意見

(1) ルート共通の意見

氏名 / 所属	意見
KNT-CTホールディングス(株) 地域事業部 部長 富澤 美津男	ルート上には多くの観光資源があり、それを多くの外国人に提供するために、受入れの整備や知ってもらうための情報発信が重要。
外国人(札幌在住/台湾国籍/男性) 上達国際株式会社 代表取締役 黄 奎達	レンタカーやJRを使ったモデルコースは、個人旅行の外国人が増えているので、今後もっと増やしたらよいと思う。雪に憧れる外国人向けの素材が少ない感じがする。
外国人(香港在住/女性) 迦比旅行社 Kyle Yuen	北海道の北部はどんな地域か全く知識がないので、詳しくはコメントできないが、香港の旅行者はリピーターが多いので、内容によってはこれから多く訪れる可能性がある。
外国人(シンガポール在住/女性) Uniq Luxe PTE LTD Anglia Anthon	日本の最北へ行くシンガポール旅行者がいる。但し、現在はラグジュアリー層ではなくバックパッカー的な層だと思う。魅力的な素材があれば、これから注目されるかもしれない。
外国人(タイ在住/男性) Abacus Travel Service Anuruck Ketklao	タイからの旅行者はFITが増え、旅行会社がこれから売れる新しい目的地を求めている。情報発信をしてほしい。
外国人(米国在住/男性) Polaris Tours Lance Kenji Imamura	アメリカから日本への旅行は殆んど東京、大阪、京都、広島で、北海道は知られていない。但し、日系アメリカ人でスキーや上質な食事を求めて北海道へ行く方がいる。
JNTOインバウンド戦略部 シニア・アシスタント・マネージャー 加藤 禎司	宿泊施設のキャパシティの問題など対応をしっかりと行って欲しい。ひがし北海道ルートとの連携をとりながら進めていただきたい(中長期的課題)。また、手ぶら観光を含め荷物の対応も考慮すること。

(2) The Top of Japan - 夏

	意見
KNT-CTホールディングス(株) 地域事業部 部長 富澤 美津男	レンタカー以外のコースの二次交通の整備が必要。食のコースについては、国別の嗜好(生ものを食べる習慣の無い東南アジア等)も考慮すべきである。
外国人(札幌在住/台湾国籍/男性) 上達国際株式会社 代表取締役 黄 奎達	きた北海道を観光する基本的な旅程で非常に良い。但し、実際にどのような観光地かわからないので外国人向けにWEBサイトで告知が必要。
外国人(香港在住/女性) 迦比旅行社 Kyle Yuen	団体ツアーで他の旅行会社が最北を周遊するツアーを販売しているが、個人ではやはりレンタカーでの移動だと思います。途中の観光場所の見どころは自然が多いので、自然好きにはいいと思う。香港人は北海道のグルメが好きなので、人気が出るかもしれない。
外国人(シンガポール在住/女性) Uniq Luxe PTE LTD Anglia Anthon	札幌と旭川以外は、ほとんど知られていない。実際にどんなところか想像がつかない。
外国人(タイ在住/男性) Abacus Travel Service Anuruck Ketklao	タイ人向けには、ただ単に自然を見るというツアーより何か体験する内容があるとよい。サイクリングとカヌー以外はただ見るだけなので、もっと体験を入れたほうがいい。 タイ人でワインを飲む人は少ない。
外国人(米国在住/男性) Polaris Tours Lance Kenji Imamura	ローカルワイナリーを巡るのはとてもよい。もっと歴史的な背景の説明を入れたり、アメリカと関係するスポットやストーリーがあるといいかもれない。
JNTOインバウンド戦略部 シニア・アシスタント・マネージャー 加藤 禎司	レンタカー推奨となっているが標識の問題や逆ハンドルの市場を考慮した告知が必要。4日目の移動が多く詰め込み過ぎではないか。

(3) The Top of Japan - 冬

	意見
KNT-CTホールディングス(株) 地域事業部 部長 富澤 美津男	北海道道内の航空機利用は二次交通のコストが高くなるため、実際の商品化の場合、航空会社との連携を図るなどの施策を必要。また、北海道には冬ならではの食があるのではないかな。
外国人(札幌在住/台湾国籍/男性) 上達国際株式会社 代表取締役 黄 奎達	冬のきた北海道は、他の地域と比べて外国人に魅力のある冬の素材が少ない気がする。きた北海道にしかない冬の自然景観や冬の味覚をPRしてほしい。
外国人(香港在住/女性) 迦比旅行社 Kyle Yuen	このコースの目的はなんですか。これだけの行程では商品として成り立ちにくい。最北に行く価値をもっとPRする必要がある。
外国人(シンガポール在住/女性) Uniq Luxe PTE LTD Anglia Anthon	12月は旅行シーズンなので、北海道ツアーの一部の行程に日本の最北に行く日程を入れると、FITで需要があるかもしれない。その他の素材では難しい。
外国人(タイ在住/男性) Abacus Travel Service Anuruck Ketklao	タイからJRパスを使った個人客が多くなっているため、JRで移動できるプランとしてはいいが、北海道の航空便の利用はコスト的にどうなのか。キャンペーン料金などありますか。
外国人(米国在住/男性) Polaris Tours Lance Kenji Imamura	北海道の冬の野鳥が有名だと聞いている。バードウォッチングなどが出来れば面白い。
JNTOインバウンド戦略部 シニア・アシスタント・マネージャー 加藤 禎司	離島めぐりコースと同様、1日目に稚内空港へ行ったほうが商品化するにあたり統一されていて良いのではないかな。体験が多いのは良いが、商品化する上でかかるコストについても考慮が必要。また、多言語対応など受入環境整備も必要。冬のコースということで公共交通機関での移動となっているのは良い。

(4) The Top of Japan - 離島めぐり

	意見
KNT-CTホールディングス(株) 地域事業部 部長 富澤 美津男	離島の宿泊施設や体験施設は外国人の受入に慣れていないところが多いので、受入整備が必要ではないかな。また、離島ならではの体験や島民との交流など外国人にとって魅力ある観光資源の開発も必要。
外国人(札幌在住/台湾国籍/男性) 上達国際株式会社 代表取締役 黄 奎達	沖縄と違って北海道の離島は全然知られていない。ブロガーなどのメディアの取材やSNSによって、離島の情報を発信するとよい。また、外国人は北海道の美味しい食べ物を期待して来るので、離島のグルメをPRしてほしい。
外国人(香港在住/女性) 迦比旅行社 Kyle Yuen	北海道の離島がどんなところか情報発信する必要がある。
外国人(シンガポール在住/女性) Uniq Luxe PTE LTD Anglia Anthon	自然好きの旅行者によいと思う。最北だけでなく、網走や知床、釧路なども一緒にめぐるツアーにして、北海道の地方の歴史や住民とふれあうプログラムを取り入れる。その場合、北海道に詳しいプロのツアーガイドが必要。
外国人(タイ在住/男性) Abacus Travel Service Anuruck Ketklao	タイ人好みの体験を入れないと、この行程内容では売れない。どんなところかも全くわからない。
外国人(米国在住/男性) Polaris Tours Lance Kenji Imamura	離島でのネイチャーツアーはアメリカ人好みだが、そこに行く価値を見出し、明確にするべき。アメリカには自分で旅行を手配したり、旅行会社に頼んだり、知られていない目的地に行くなど、いろいろな旅行者がいる。ただ、目的意識だけは、はっきりしており、中途半端なところへは行かない。
JNTOインバウンド戦略部 シニア・アシスタント・マネージャー 加藤 禎司	グリーンシーズン、ウィンターシーズンどちらを狙ったコースなのか。トレッキングは途中で何が見られるのか、どのようなスポットがあるのか、装備のレンタル情報などPRが必要。

第8章 協議会運営

1. 協議会運営

1-1 きた北海道広域観光周遊ルート推進協議会の概要

現在、道央圏に集中する訪日外国人旅行者を道北エリアに誘客するために、広域観光周遊ルートを形成する「日本のてっぺん。きた北海道ルート。」の申請団体として、石狩振興局、空知総合振興局、上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局の広域にまたがる自治体、観光関係団体、交通関係団体等によって構成された。

1-2 部会及び幹事会の位置づけ

(1) 部会

平成28年8月17日に開催した協議会の臨時総会において、次のとおり地域部会と専門部会を設置した。

地域部会 2部会	道央地域部会	地域段階における事業の企画立案に当たっての意見集約や事業の効果的な実施などを検討
	道北地域部会	
専門部会 2部会	交通対策部会	広大な「きた北海道」エリアを旅行者が円滑に移動し、観光を楽しむための交通間のつなぎや移動手段を検討
	商品開発部会	きた北海道エリアにおける外国人向け旅行商品の造成、商品開発を検討

・平成28年度 第1回道央地域部会

日時：平成28年11月24日（木）10:00 ～ 11:30
場所：札幌市中央区北2条西7丁目 かでる 2・7 810会議室B

・平成28年度 第1回交通対策部会

日時：平成28年11月24日（木）14:00 ～ 15:30
場所：札幌市中央区北2条西7丁目 かでる 2・7 810会議室B

・平成28年度 第1回商品開発部会

日時：平成28年11月25日（金）13:30 ～ 15:00
場所：旭川市5条通4丁目 旭川ときわ市民ホール 研修室101

・平成28年度 第1回道北地域部会

日時：平成28年11月25日（金）15:30 ～ 17:00
場所：旭川市5条通4丁目 旭川ときわ市民ホール3階304・305

(2) 幹事会

協議会役員、各部会長及び副部会長で構成する幹事会を開催し、事業内容の審議を行った。

・第1回幹事会

日時：平成29年1月26日（木）14:30～
場所：札幌市中央区北4条3丁目 西北海道建設会館 9階中会議室

1-3 部会議事概要

(1) 第1回道央地域部会

日時：平成28年11月24日（木）10:00 ～ 11:30

場所：かでの2・7 810会議室B

次第	
① 開 会	
② 挨拶	北海道観光振興機構 商品開発グループ 担当部長 渡邊 敏克
③ 議 事	
○ 議題1	部会長等の選出について
○ 議題2	平成28年度事業について
○ 議題3	平成29年度事業について
○ 議題4	目標設定の見直しについて（報告）
④ その他	

出席者名簿

敬称略

区分	名称	職名	出席者
観光関係 団体 (広域)	そらち広域観光協議会	事務局	長島 正己
		事務局	嶋田 浩彦
観光関係 団体 (単体)	(一社) 岩見沢市観光協会	常務理事	大川 伸二
	(一社) 札幌観光協会	総務グループ課長	細川 慎平
	(一社) 千歳観光連盟	事業本部長	小島英人
		プロジェクトマネージャー	大宮 裕輔
	北広島市観光協会	事務局次長	青木 潤
市町村	夕張市 まちづくり企画室 まちづくり企画係	主事	稲葉 一紀
	岩見沢市 観光物産振興課	観光物産振興課長	戸沼 貴志
	札幌市 経済文化局観光・MICE推進部	観光・MICE推進部長	森 有史
		誘致担当係長	吉岡 孝洋
	千歳市 観光スポーツ部観光企画課	観光企画課長	高本 典靖
	北広島市 経済部観光振興課	主査	青木 潤
交通	北海道中央バス株式会社	運行計画課長	研谷 敦
	北都交通株式会社	専務取締役	栗 喜代松
その他	札幌商工会議所 国際観光部国際交流観光課	国際交流担当課長	村松 孝記
北海道	空知総合振興局 産業振興部	商工労働観光課長	長島 正己
	石狩振興局 産業振興部商工労働観光課	主幹	中里 文美
		観光振興係長	萩原 晋太郎
		主任	田端 美紀
オプザバー	北海道運輸局 観光部	観光地域振興課長	長谷川 巧
	北海道開発局 開発監理部 開発連携推進課	開発専門官	横田 弘史
	北海道開発局 札幌開発建設部地域振興対策室	上席地域振興専門官	天野 淳
事務局	北海道経済部観光局	参事	内藤 智之
		主査	杉浦 美穂
		主任	瀬尾 雅秀
	(公社) 北海道観光振興機構 事業企画推進部 商品開発グループ	担当部長	渡邊 敏克
		次長	野村 翼
		次長	野田 卓司
		リーダー	福田 勝志
受託 事業者	(株) 近畿日本ツーリスト北海道	支店長	小川 龍彦
		副支店長	及川 伸一
	(株) 電通北海道	部長	林 純也
		部長	横澤 伸彦
	(一社) 北海道開発技術センター	研究員	芝崎 拓
	研究員	小西 信義	

第1回道央地域部会 議事概要

① 開会

② 挨拶

- ・北海道観光振興機構 商品開発グループ 担当部長 渡邊 敏克より開会の挨拶。
- ・資料1-1にて、本部会の趣旨や組織体制について説明した。

③ 議事

○議題1 部会長等の選出

- ・資料1-2にて、交通対策部会の部会長・副部会長案について事務局案を提示し、満場一致で承認された。

<承認された部会長・副部会長 一覧>

部会長	・札幌市
副部会長	・岩見沢市
	・千歳市

○議題2 平成28年度事業について

- ・資料2-1にて、平成28年度広域観光周遊ルート形成促進事業計画の全体計画について説明した。
- ・資料2-2にて、各事業の詳細について説明した。なお、資料2-2のNO.2-8～3-1までは地域の事業のため割愛。
- ・質疑応答

○議題3 平成29年度事業について

- ・資料3-1～3-3にて、平成29年度の事業計画検討の考え方について説明
- ・部会参加者の意見交換
- ・資料3-4にて平成29年度事業計画についてのスケジュールを説明。平成28年12月9日（金）までに次年度の事業計画案があれば事務局に提出をお願いする。なお、部会後に正式な案内を行う。
- ・資料3-5に従って、「平成29年度事業検討票」を提出していただきたい。

○議題4 目標設定の見直しについて

- ・「日本のとっぺん。きた北海道ルート。」形成計画における目標設定の再検討結果（案）資料にて、国の目標に基づいた目標設定見直しについて説明する。
- ・質疑応答

(2) 第1回交通対策部会

日時：平成28年11月24日（木）14:00 ～ 15:30

場所：かでの2・7 810会議室B

次第	
①	開 会
②	挨拶 北海道観光振興機構 商品開発グループ 担当部長 渡邊 敏克
③	議 事
○	議題1 部会長等の選出について
○	議題2 平成28年度事業について
○	議題3 平成29年度事業について 二次交通の取組みについて
○	議題4 目標設定の見直しについて（報告）
④	そ の 他

出席者名簿

敬称略

区分	名称	職名	出席者
交通	北海道旅客鉄道株式会社 営業部着地観光グループ	副課長	田中 洋一
			池田 弘宣
	東日本高速道路株式会社北海道支社		三塚 守幸
	日本航空株式会社北海道地区	副支配人	佐野 寛人
	全日本空輸株式会社北海道支社	副支社長	宮坂 純子
	株式会社AIRDO	営業本部長	本田 実
	株式会社北海道エアシステム	取締役	篁 俊彦
	(一社)北海道ハイヤー協会	専務理事	照井 幸一
	ハートランドフェリー株式会社	営業開発本部長	西浦 宏之
	羽幌沿海フェリー株式会社	代表取締役社長	舟橋 泰博
	宗谷バス株式会社	代表取締役社長	中場 直見
		営業部副部長	石橋 徹
	北海道中央バス株式会社	運行計画課長	研谷 敦
北都交通株式会社	専務取締役	粟 喜代松	
空港関係	稚内空港高度利用協議会（稚内商工会議所）	総務課長	山田 弘樹
ワザバーバー	北海道運輸局 観光部	観光地域振興課長	長谷川 巧
	北海道開発局 開発監理部開発連携推進課	開発専門官	横田 弘史
事務局	北海道経済部観光局	参事	内藤 智之
		主査	杉浦 美穂
		主任	瀬尾 雅秀
	(公社)北海道観光振興機構 事業企画推進部 商品開発グループ	担当部長	渡邊 敏克
		次長	野村 翼
		次長	野田 卓司
		リーダー	福田 勝志
受託事業者	(株)近畿日本ツーリスト北海道	支店長	小川 龍彦
		副支店長	及川 伸一
	(株)電通北海道	部長	林 純也
		部長	横澤 伸彦
	(一社)北海道開発技術センター	研究員	芝崎 拓
		研究員	小西 信義

第1回交通対策部会 議事概要

① 開会

② 挨拶

- ・北海道観光振興機構 商品開発グループ 担当部長 渡邊 敏克より開会の挨拶。
- ・資料1-1にて、本部会の趣旨や組織体制について説明した。

③ 議事

○議題1 部会長等の選出

- ・資料1-2にて、交通対策部会の部会長・副部会長案について事務局案を提示し、満場一致で承認された。

<承認された部会長・副部会長 一覧>

部会長	・宗谷バス株式会社
副部会長	・日本航空株式会社
	・全日本空輸株式会社

○議題2 平成28年度事業について

- ・資料2-1にて、平成28年度広域観光周遊ルート形成促進事業計画の全体計画について説明した。
- ・資料2-2にて、各事業の詳細について説明した。なお、資料2-2のNO.2-8～3-1までは地域の事業のため割愛する。
- ・特に質問は無かった

○議題3 平成29年度事業について

- ・資料3-1～3-3にて、平成29年度の事業計画検討の考え方について説明
- ・部会参加者の意見交換。
- ・資料3-4にて平成29年度事業計画についてのスケジュールを説明。平成28年12月9日（金）までに次年度の事業計画案があれば事務局に提出をお願いする。なお、部会後に正式な案内を行う。

○議題4 目標設定の見直しについて

- ・「日本のでっぺん。きた北海道ルート。」形成計画における目標設定の再検討結果（案）資料にて、国の目標に基づいた目標設定見直しについて説明した。

(3) 第1回商品開発部会

日時：平成28年11月25日（金）13:30 ～ 15:00

場所：旭川ときわ市民ホール 研修室101

次第	
①	開 会
②	挨拶 宗谷観光連盟 事務局長 東 政史
③	部会について（説明） 北海道観光振興機構 商品開発グループ 担当部長 渡邊 敏克
④	議 事
○	議題1 部会長等の選出について
○	議題2 平成28年度事業について
○	議題3 平成29年度事業について
○	議題4 目標設定の見直しについて（報告）
⑤	その 他

出席者名簿

敬称略

区分	名称	職名	出席者
観光関係 団体 (広域)	宗谷観光連盟	事務局長	東 政史
	上川地方観光連盟	事務局	戸田 友樹
	道北観光連盟	事務局長	野間井 照之
		事務局	畑中 覚是
	あさひかわ観光誘致宣伝協議会	事務局長	三宮 元樹
		事務局次長	白木 義宏
	大雪広域観光圏推進協議会	事務局	戸田 友樹
	留萌観光連盟	事務局長	佐藤 太紀
	(一社) 稚内観光協会	事務局長	瀬川 耕市
	そらち広域観光協議会	事務局	廣瀬 彩
	宗谷シーニックバイウエイルート 運営代表者会議	事務局長	杉川 毅
	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	副代表	佐藤 太紀
	天塩川流域ミュージアムパークウエイルート 運営代表者会議	会長代理	栗原 智博
(一社) シーニックバイウエイ支援センター	代表理事	原 文宏	
北海道	上川総合振興局 産業振興部商工労働観光課 食・観光戦略室	食・観光戦略室長	林 優香
		主事	工藤 万愛理
	宗谷総合振興局 産業振興部	商工労働観光課長	佐藤 匡法
その他	(一社) 日本旅行業協会北海道支部	支部長	池田 浩
オブザーバー	北海道運輸局 観光部観光地域振興課	課長補佐	阿部 泉
	北海道開発局 開発連携推進課	課長	平野 令緒
	北海道開発局 旭川開発建設部地域振興対策室	上席地域振興専門官	岡田 誠之
	稚内北星学園大学	准教授	藤崎 達也
事務局	北海道経済部観光局	参事	内藤 智之
		主査	杉浦 美穂
	(公社) 北海道観光振興機構 事業企画推進部 商品開発グループ	担当部長	渡邊 敏克
		次長	野村 翼
		次長	野田 卓司
	リーダー	福田 勝志	
受託 事業者	(株) 近畿日本ツーリスト北海道	支店長	小川 龍彦
		副支店長	及川 伸一
	(一社) 北海道開発技術センター	研究員	芝崎 拓
		研究員	富田 真未

第1回商品開発部会 議事概要

① 開会

- ・北海道産業経済部

② 挨拶

- ・宗谷観光連盟 事務局長 東 政史氏より挨拶。

③ 部会について（説明）

- ・北海道観光振興機構 商品開発グループ 担当部長 渡邊 敏克より、資料1-1にて、本部会の趣旨や組織体制について説明した。

④ 議事

○議題1 部会長等の選出

- ・資料1-2で、商品開発部会の部会長・副部会長案について事務局案を提示し、満場一致で承認された。

＜承認された部会長・副部会長 一覧＞

部会長	・一般社団法人 日本旅行業協会北海道支部長
副部会長	・一般社団法人 シーニックバイウェイ支援センター
	・道北観光連盟
	・留萌観光連盟

○議題2 平成28年度事業について

- ・資料2-1にて、平成28年度広域観光周遊ルート形成促進事業計画の全体計画について説明した。
- ・資料2-2にて、各事業の詳細について説明した。なお、資料のNO.2-8～3-1までは地域の事業のため割愛する。
- ・特に質問は無かった。

○議題3 平成29年度事業について

- ・資料3-1～3-3にて、平成29年度の事業計画検討の考え方について説明。
- ・資料3-4にて平成29年度事業計画についてのスケジュールを説明。平成28年12月9日（金）までに次年度の事業計画案があれば事務局に提出をお願いする。なお、部会後に正式な案内を行う。
- ・部会参加者の意見交換

○議題4 目標設定の見直しについて

- ・「日本のでっぺん。きた北海道ルート。」形成計画における目標設定の再検討結果（案）資料にて、国の目標に基づいた目標設定見直しについて説明した。

⑤ その他

- ・天塩川流域ミュージアムパークウェイ 栗原氏から報告会開催について話題提供。
- ・稚内北星学園大学 藤崎講師から広域観光周遊ルートに関するアドバイス。

4年前まで知床でガイドの仕事をしてきた。広域観光周遊ルートの事業が終わった際に、体験型ツアー等、小さな事業が各地で立ち上がり儲かっているような、実感のある成果を目指して欲しい。知床でも体験観光の市場規模は2億円ほどで、その程度で十分である。

コンテンツ開発においては、商材にすることを意識して事業を進めて欲しい。

通年で誰でも利用できるサービスを考えて欲しい。

大学も学生集めに苦勞しており、今後、留学生を積極的に入れることが求められ、大学も学生が増えている。人材の確保等においても、繋がりのある大学に声かけしてもらえれば良いのではないかな。

外国人を地域に連れてきて、来訪する外国人旅行者に外国人スタッフが対応するサービスは、細かな所も外国人目線で行き届くので良いのではないかな。

(4) 第1回 道北地域部会

日時：平成28年11月25日（金）15:30 ～ 17:00

場所：旭川ときわ市民ホール3階304・305

次第
① 開 会
② 挨拶 宗谷観光連盟 事務局長 東 政史
③ 部会について（説明） 北海道観光振興機構 商品開発グループ 担当部長 渡邊 敏克
④ 議 事
○ 議題1 部会長等の選出について
○ 議題2 成28年度事業について
○ 議題3 平成29年度事業について
○ 議題4 目標設定の見直しについて（報告）
⑤ そ の 他

出席者名簿

敬称略

区分	名称	職名	出席者
観光関係 団体 (広域)	宗谷観光連盟	事務局長	東 政史
	上川地方観光連盟	事務局	戸田 友樹
	道北観光連盟	事務局長	野間井 照之
	あさひかわ観光誘致宣伝協議会	事務局長	三宮 元樹
		事務局次長	白木 義宏
	大雪広域観光圏推進協議会	事務局	戸田 友樹
	留萌観光連盟	事務局長	佐藤 太紀
	宗谷シーニックバイウエイルート運営代表者会議	事務局長	杉川 毅
萌える天北オロロンルート運営代表者会議	副代表	佐藤 太紀	
観光関係 団体 (単体)	(一社) 旭川観光コンベンション協会	事務局	戸田 友樹
	NPO法人 なよろ観光まちづくり協会	観光係長	畑中 覚是
	NPO法人 留萌観光協会	理事	海東 剛哲
	(一社) 稚内観光協会	事務局長	瀬川 耕市
	礼文島観光協会	事務局	今野 直樹
	利尻町観光協会	事務局	小坂 勝哉
	利尻富士町観光協会	事務局	山本 博文
市町村	旭川市 経済観光部	経済観光部長	佐藤 幸輝
		観光課長	三宮 元樹
		観光課長補佐	白木 義宏
	士別市 経済部	商工労働観光課長	徳竹 貴之
	名寄市 営業戦略室	営業戦略室長	水間 剛
	留萌市 地域振興部	地域振興部長	中村 秀寿
		経済港湾課長	近藤 豊
	羽幌町 商工観光課	商工観光課長	大平 良治
	稚内市 建設産業部	観光交流課長	中村 清司
	礼文町 産業課	主幹	今野 直樹
	利尻町 まちづくり振興課	商工観光振興係長	小坂 勝哉
利尻富士町 産業振興課	商工観光係長	山本 博文	
空港関係	稚内空港高度利用協議会 (稚内商工会議所)	総務課長	山田 弘樹

出席者名簿

敬称略

区分	名称	職名	出席者
交通基盤	ハートランドフェリー株式会社	営業開発本部長	西浦 宏之
	宗谷バス株式会社	代表取締役社長	中場 直見
		営業部副部長	石橋 徹
	道北バス株式会社	シニアアドバイザー	成田 廣光
			薩来 利光
北海道	上川総合振興局 産業振興部商工労働観光課 食・観光戦略室	食・観光戦略室長	林 優香
		主事	工藤 万愛理
	留萌振興局 産業振興部	商工労働観光課長	守屋 光章
	宗谷総合振興局 産業振興部	商工労働観光課長	佐藤 匡法
アドバイザー	北海道運輸局 観光部観光地域振興課	課長補佐	阿部 泉
	北海道開発局 開発連携推進課	課長	平野 令緒
	北海道開発局 旭川開発建設部地域振興対策室	上席地域振興専門官	岡田 誠之
	稚内北星学園大学	准教授	藤崎 達也
事務局	北海道経済部観光局	参事	内藤 智之
		主査	杉浦 美穂
	(公社)北海道観光振興機構 事業企画推進部 商品開発グループ	担当部長	渡邊 敏克
		次長	野村 翼
		次長	野田 卓司
		リーダー	福田 勝志
受託事業者	(株)近畿日本ツーリスト北海道	支店長	小川 龍彦
		副支店長	及川 伸一
	(株)電通北海道	部長	横澤 伸彦
	(一社)北海道開発技術センター	研究員	芝崎 拓
研究員		富田 真未	

第1回道北部会 議事概要

- ① 開会
 - ・北海道産業経済部
- ② 挨拶
 - ・宗谷観光連盟 事務局長 東 政史氏より挨拶。
- ③ 部会について（説明）
 - ・北海道観光振興機構 商品開発グループ 担当部長 渡邊 敏克より、資料1-1にて、本部会の趣旨や組織体制について説明した。

④ 議事

○議題1 部会長等の選出

- ・資料1-2にて、道北部会の部会長・副部会長案について事務局案を提示し、満場一致で承認された。

<承認された部会長・副部会長 一覧>

部会長	・旭川市
副部会長	・留萌市
	・稚内市

○議題2 平成28年度事業について

- ・資料2-1にて、平成28年度広域観光周遊ルート形成促進事業計画の全体計画について説明した。
- ・資料2-2にて、各事業の詳細について説明した。なお、資料2-2のNO.2-8～3-1までは地域の事業のため割愛する。
- ・特に質問は無かった

○議題3 平成29年度事業について

- ・資料3-1～3-3にて、平成29年度の事業計画検討の考え方について説明。
- ・資料3-4にて平成29年度事業計画についてのスケジュールを説明。平成28年12月9日（金）までに次年度の事業計画案があれば事務局に提出をお願いします。なお、部会後に正式な案内を行う。
- ・部会参加者の意見交換

○議題4 目標設定の見直しについて

- ・「日本のでっぺん。きた北海道ルート。」形成計画における目標設定の再検討結果（案）資料にて、国の目標に基づいた目標設定見直しについて説明する。

⑤ その他

- ・稚内北星学園大学 藤崎講師から広域観光周遊ルートに関するアドバイス。

ひがし北海道の冬旅ブックの16～17ページに掲載されている流水ガイウォークやプレペの滝スノーシューハイキング等の体験メニューを、道東でガイドの仕事をしている時に立ち上げた。徐々に外国人の利用者も増え、お客様の半分くらいは外国人だった。

稚内ではインバウンド対応が不足しており、カルチャーショックをうけた。広域観光周遊ルートを進めていくことで、道北地域が伸び、北海道全体が伸びると期待している。

本事業は広域で連携しながら事業を行う必要がある。各市町村単体での視点の場合、なかなか事業が展開しにくいところもある。難しいとは思いますが、きた北海道全体を俯瞰した中での事業計画案を念頭において、平成29年度の事業アイデアを出していただきたい。

(5) 第1回 幹事会

日時：平成29年1月26日（木）14:30 ～ 16:30

場所：北海道建設会館 8階A会議室

次第
① 開 会
② 挨拶 きた北海道広域観光周遊ルート推進協議会 会 長 工藤 広
③ 議 事
○ 議題1 平成28年度事業について（進捗報告）
○ 議題2 平成29年度事業について（審議）
④ その他報告事項
○ 形成計画目標値の再設定について
○ 専門家派遣事業について
⑤ 閉会

出席者名簿

敬称略

区分	名称	職名	出席者
部会	きた北海道広域観光周遊ルート推進協議会	会長	工藤 広
	道北地域部会 部会長	(代理) 旭川市観光課長補佐	白木 義宏
	道北地域部会 副部会長	稚内市建設産業部長	鈴木 聡
	道北地域部会 副部会長	留萌市地域振興部長	中村 秀寿
	道央地域部会 部会長	(代理) 札幌市観光誘致・受入担当課長	岩立 明彦
	道央地域部会 副部会長	(代理) 岩見沢市観光物産振興課長	戸沼 貴志
	道央地域部会 副部会長	千歳市観光スポーツ部長	小田 賢一
	交通対策部会 部会長	宗谷バス(株)代表取締役社長	中場 直見
	交通対策部会 副部会長	全日本空輸(株)北海道支社副支社長 (代理) 日本航空(株)北海道地区副支配人	宮坂 純子 若松 務
	商品開発部会 副部会長	シーニックバリエイティブ支援センター代表理事	原 文宏
北海道運輸局	北海道運輸局観光部	道北観光連盟事務局長	野間井 照之
		留萌観光連盟事務局長	佐藤 太紀
		観光部 次長	安田 稔幸
		観光地域振興課 課長	長谷川 巧
		国際観光課 課長	水口 猛
		観光地域振興課 課長補佐	阿部 泉
		国際観光課 課長補佐	酒井 啓友
		観光地域振興課 地域第一係長	新吾 元規
オブザーバー	日本政府観光局	インバウンド戦略部 次長	広瀬 正彦
		インバウンド戦略部誘致戦略グループ シニア・アシスタント・マネージャー	加藤 禎司
	北海道開発局開発監理部	開発連携推進課長	平野 令緒
		開発連携推進課 開発企画官	本田 肇
随 行	札幌市	札幌市観光・MICE推進課誘致担当係長	吉岡 孝洋
	留萌市	地域振興部経済港湾課長	近藤 豊
	稚内市	建設産業部観光交流課長	中村 清司
	道北観光連盟	事務局	畑中 覚晃
	宗谷バス(株)	営業部副部長	石橋 徹

出席者名簿

敬称略

区分	名称	職名	出席者
振興局	空知総合振興局	商工労働観光課長	長島 正己
	石狩振興局	商工労働観光課 主幹	中里 文美
		商工労働観光課 主任	田端 美紀
	上川総合振興局	商工労働観光課 観光振興係長	大西 有希子
	留萌振興局	産業振興部長	仲野 克彦
		産業振興部長	上原 剛明
宗谷総合振興局	商工労働観光課 観光振興係長	中村 栄二	
	宗谷観光連盟	事務局長	東 政史
事務局	(公社) 北海道観光振興機構	常務理事兼事務局長	金子 健太郎
		広域観光周遊ルート形成促進事業 担当部長	渡邊 敏克
		商品開発グループ 次長	野田 卓司
		商品開発グループ 次長	野村 翼
		商品開発グループ リーダー	福田 勝志
	北海道 経済部 観光局	局長	後藤 規之
		参事 (国内誘客)	内藤 智之
		国内誘客グループ 主幹	新田 清文
		国内誘客グループ 主査	杉浦 美穂
		国内誘客グループ 主任	瀬尾 雅秀
受託事業者	(株) 近畿日本ツーリスト北海道	支店長	小川 龍彦
	(株) 電通北海道	部長	林 純也
		部長	横澤 伸彦
	(一社) 北海道開発技術センター	研究員	芝崎 拓
研究員		富田 真未	

第1回 幹事会 議事概要

① 開会

- ・司会：宗谷観光連盟 東事務局長

② 挨拶

- ・きた北海道広域観光周遊ルート推進協議会会長より開会の挨拶

③ 議事

○議題1 平成28年度事業について（進捗報告）

- ・資料1-1に基づき(1)事業計画策定・マーケティングの1-1、(2)受入環境整備・交通アクセスの円滑化の2-1～2-7までの事業について進捗を説明。2-8以降は、各地域で実施している事業のため割愛する。
- ・質疑応答

○議題2 平成29年度事業について（審議）

- ・資料2-1に基づき、国から出された指針について説明した
- ・資料2-2、2-3に基づき、各地域から提案された各種事業について概要を説明した
- ・資料2-5について、次年度事業の事務局案について説明した
- ・質疑応答

④ その他報告事項

○形成計画目標値の再設定について

- ・資料3に基づき、目標設定の見直しについて説明した

○専門家派遣事業について

- ・資料4に基づき、専門家の派遣事業について説明した

○ドライブ観光パスの実証実験について

- ・別紙資料により平成28年度北海道ドライブ観光パス社会実験の概要について説明。
- ・道東を対象にクーポンを活用したドライブ観光の実証実験を行い120以上の民間施設にドライブ旅行者用のサービスを提供いただいた。ドライブ観光クーポンを冊子としてまとめ、1,900冊配布した。次年度は冊子ではなく、アプリによる取組みを予定している。

【日本政府観光局 インバウンド戦略部 広瀬次長】

- ・広域観光周遊ルートに期待されている自然や美観のみでは、ルートは儲からないし、地域にも貢献されない。旅行者がお金を使う仕組みの検討が必要となる。
- ・プロモーションについてHPやSNS等の議論があったが、受入環境の問題もあることから、まずは受入が整備されたところから発信していくことが良い。
- ・きた北海道はポテンシャルが高いとの話があったが、ポテンシャルとブランドは大きく違う。これからつくるブランドが重要となる。
- ・次年度の事業についてきた北海道としての柱となる事業や各事業の順位付けを検討すると良い。
- ・モデルルートやコースが重要である
- ・北海道に多く訪れているアジア圏の旅行者の滞在日数は、外国人旅行者全体の平均滞在日数よりも短い。具体的な商品化は、旅行者や旅行会社から長いモデルコースをどのように短くしたら良いかとの問い合わせがある。
- ・今後は外国人動態調査をビックデータで把握し、地域を把握することが重要となる。
- ・外国人はガイドブックを見て旅行するのではなく、スマートフォンを見るが多い。今後、ウェブをどのように活用するか、加速的に技術や手法が進むと思われる。
- ・ガイドブックについては、BtoBとして海外旅行会社やインフルエンサーが使える販売マニュアル（業者目線）が必要となる。
- ・JNTOとしてきた北海道の食と歴史のモデルコースをPRする場合、分かりやすく「日本一の食品ルート」として売り出す。
- ・二次交通においてはタクシーも重要。
- ・東北の広域観光周遊ルートでプロモーション動画を作成した。今後の参考にして頂きたい。

【北海道運輸局観光部 安田次長】

- ・広域観光周遊ルート of 事業において、国が100%費用を負担し、事業を実施するのは北海道だけである。是非、地域も本気になって広域の事業を推進して欲しい。
- ・今までの日本の常識をリセットし、グローバルな視点で進めて欲しい。
- ・きた北海道では、ターゲットを明確にし、事業を展開することができると思う。
- ・ポリビアのウユニ塩湖は、美しい写真一枚で、世界中から人が訪れる場所である。きた北海道では、このようなことを狙えると思う。
- ・次年度の事業については満額獲得できるよう、運輸としても協力する。
- ・JAL、ANAも外国人の乗り継ぎサービスを行っており、羽田から気軽に乗り換え国内を移動できる。大きなチャンスである。

【北海道開発局開発監理部 開発連携推進課 平野課長】

- ・開発局としてドライブ観光パスを全道に広げるに当たり、道北も対象地域としていきたい。
- ・開発局としては防災関係の仕事もあり、外国人旅行者を踏まえた防災も重要であり、今後充実していきたい。

⑤ 閉会

- ・北海道経済部観光局 後藤局長より閉会の挨拶

